

東京女子高等師範學校
第六臨時教員養成所

一覽

自昭和十一年
至昭和十二年

第六臨時教員養成學校

一覽

至昭和二十一年

東京女子高等師範學校一覽

至昭和十二年

目次

勅諭令旨及御歌	一
第一 教育要旨及生徒心得	六
一 東京女子高等師範學校教育要旨	六
二 東京女子高等師範學校生徒心得	六
第二 沿革略	八
第三 學年曆	八
第四 關係法令	一
一 師範教育令	一元
二 女子高等師範學校規程	三
三 文部省直轄諸學校官制(抄)	三
第五 規則	四
一 東京女子高等師範學校規則	四

第一章 本科	三	第六章 授業料	一交
第一節 總則	四	東京女子高等師範學校附屬小學校規則	充
第二節 學科課程及教授時數	四	五 東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則	大
第三節 學年、學期及休業日	四	六 東京女子高等師範學校生徒獎勵費給與規	
第四節 入學在學、休學及退學	四	七 東京女子高等師範學校授業費償還二關ス	
第五節 成績考查修了及卒業	五	八 外國人特別入學規程細則	全
第六節 教育實習	五	九 聽講生編入規程	全
第三章 專修科	四	十 外國政府委託留學生ニ關スル件	全
第四章 選科生	四		
二 東京女子高等師範學校保育實習科規則	三		
三 東京女子高等師範學校附屬高等女學校規	一		
則	六		
第一章 總則	六		
第二章 學科課程	三		
第三章 學年、學期及休業日	三		
第四章 入學、在學、休學及退學	三		
第五章 成績考查修了及卒業	三		
	九		

四 本校生徒本籍府縣別學歴別 一
 五 入學志願者及入學者本籍府縣學歴別 一
 六 入學志願者及入學者學歴及卒業年次別 一
 七 本校生徒年齢別 一

第十 卒業者 一

一本校卒業者氏名 一
 二 本校卒業者數 一

第十一 敷地及建物 一

一 敷地 一
 二 建物 一
 三 建物略圖 一

附錄 一

一如蘭會規則 一
 二 東京女子高等師範學校寄宿生徒規約 一

東京女子高等師範學校一覽

勅諭令旨及御歌

明治八年二月二日皇后陛下本校創立ノ事ヲ被聞召文部大輔田中不二麿ヲ宮中ニ召
サセラレテ賜リタル令旨

女學ハ幼稚教育ノ基礎ニシテ忽略ス可カラサル者ナリ聞ク頃者女子師範學校設立ノ擧
アリト我甚タ之ヲ悅ヒ内庫金五千圓ヲ加資セシ

明治八年十一月二十九日皇后陛下本校開校式ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨
女學ノ根柢ヲ培養セん爲メ去年此校ヲ設置有ントスルヲ聞キ嘉尚ニ堪ヘス今經營
既ニ成リ爰ニ開業ノ典ヲ學ク庶幾クハ自今此校ノ旺盛ニ赴キ遂ニ女教ノ美果ヲシテ全
國ニ蕃結スルヲ觀ンコトヲ

明治九年二月十五日皇后陛下ヨリ賜リタル御歌
みかゝすは玉もかゝみもなにかせん學ひの道もかくこそ有けれ

明治九年九月二十五日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨

今や開業の後日尚淺しといへとも生徒の學業既に進歩の効あることを見る誠に喜ふへし猶教員の善く導くと生徒の善く勉むるとを以て倍其上達を致さんことを望む所なり

明治十年十一月二十六日皇太后陛下皇后陛下附屬幼稚園ニ臨御アラセラレシ時皇太后陛下ヨリ賜リタル令旨

義に此園の設けあるを聞き今其さまを觀るに幼稚の訓育稍々宜に適ひたることを知りぬ尙培訓育の方を竭し幼稚をして身を保ち智を増さしめむことを望む

同年同月同日皇后陛下ヨリ賜リタル令旨

人の身を保ち智を増さんは稚き時の育方にあれは此園の業もいと難かるへきをいま稚き者共の状を觀るに其身の健にして其智の開けゆかん效までまのあたりに知られたるはまことに喜はしき事なり尙務めて此園の育方を普く敷きなは人々をして皆洪福あらしめんこと誰れか疑ふへき

明治十二年二月十三日皇后陛下第一回卒業證書授與式ニ臨御アラセラレシ時賜リ

タル令旨

此學校創めて立しより教員善く教へ生徒善く學び今卒業證書授與の式を觀るに至る寔に喜ぶへしされと小しく成るに安んするは人情の常ならは縱ひ業を卒れりともますへ勉めて他日大に成ることあるを望む

明治十四年五月二十四日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨
生徒ノ學業年々遂フテ進歩ノ効アルコトヲ見ル誠ニ喜ハシ猶教員ノ善ク導クト生徒ノ善ク勉メンコトヲ望ム

明治十九年五月十八日東京師範學校ニ臨幸アラセラレシ時賜リタル勅諭
本日親しく此校に臨み教務改良諸事整理の緒に就くを見るは朕が甚だ嘉みする所なり
教官等の勉勵に因り將來益進歩する所あらんことを望む

大正四年十一月二十九日博恭王妃殿下開校四十年分立二十五年記念式ニ吉覽アラセラレシ時賜リタル令旨
茲ニ開校四十年記念式ノ舉行ニ際シテ恭ク

皇后陛下ノ旨ヲ承ケ來リ臨ミテ此ノ盛事ヲ睹ル欣喜何ソ勝ヘム惟フニ明治八年
昭憲皇太后ノ開校ノ式ニ臨ミタマヒシヤ深ク當局者ノ計畫ヲ嘉シ親諭シテ他日ノ効果
ヲ庶幾シタマヘリ蓋今日女子教育ノ隆運ヲ馴致シタルハ其ノ胚胎セシ所亦甚遠シト謂
フヘクシテ實ニ從事ノ人眞勉努力シテ懿旨ニ奉答セントヲ期セシニ外ナラストス
皇后陛下遺範ヲ紹述シタマヒ方ニ女子教育ノ事ニ御心ヲ注キテ更ニ將來ノ大成ヲ望マ
セタマヘハ諸員ハ宜ク益奮勵シテ敢テ或ハ懈ルコトナカルヘシ

大正十四年十一月二十九日皇后陛下開校五十年記念式ニ臨御アラセラレシ時賜リ
タル令旨

茲に親しく開校五十年記念式を舉くるの盛事を見る欣悦何そ勝ヘム
昭憲皇太后義に開業の式に臨ませられ深く當路の計畫を佳尙し女子教育を發展せしむ
へきことを親諭せらる惟ふに今日の興隆由て来る所已に尙し從事の人常に志を此に置
き又能く時世の進運に鑑みて懈ることなく業を修むる者亦意を潜めて訓育の國家人心
と須くも離るへからざる所以を究めは庶幾は
遺範に副ふことあらむ各自其れ之れを眞めよ

昭和五年三月二十七日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル御言葉

本日此校ニ臨ミ詳ニ課業ノ實際ヲ見學校長ヲ始メ職員等ガ熱心ニ教導ニ當リ生徒等モ
亦眞率ニ勉勵シツツアルハ満足ニ堪ヘズ

此校ハ創立以來既ニ五十餘年ヲ経成績愈々揚ガリ國家社會ニ貢獻セシ所洵ニ多シ此レ
實ニ

昭憲皇太后竝皇太后陛下ノ御謫旨ニ副フ所以タルヲ信ズ
今ヤ女子教育ハ益々振興ノ必要ヲ感ゼシムルモノアリ諸子宜シク此校ノ本旨タル師範
教育ガ眞ニ女子教育ノ源泉ヲ爲スヲ思ヒ一層努力ヲ加ヘ以テ時世ノ進運ニ伴ハシコト
ヲ期スベシ

昭和九年十月二十九日皇后陛下本校開校六十年記念式ニ臨御アラセラレシ時賜リ
タル令旨

茲に開校六十年記念を學くるに當り親しく諸子を見るに満足に勝ヘス
昭憲皇太后義に開業の式に臨ませられ當局の計畫を佳尙せられ他日其の美果の全國に
被結せむことを庶幾ひ給ヘリ今や女子教育大に興り此校の成績愈々揚れるは其の淵源
する所甚だ遠しと謂ふへし學校長を始め職員は夙夜眞勉して事に當り生徒等は皆善く
習を勵み常に將來の進展を期し以て此校の使命を完くせむことを望む

第一 教育要旨及生徒心得

六

一 東京女子高等師範學校 教育要旨

本校ハ女子教育ノ淵源ニシテ風教化育ノ依テ
生スル所ナレハ殊ニ教育ニ關スル勑語ノ趣旨
ヲ奉體シテ其ノ實効ヲ舉ケンコトヲ務ムヘシ
乾坤德ヲ異ニシ陰陽行ヲ同シクセス本校ノ教
育ハ一ニ女子ノ性ニ順ヒテ之ヲ施スヘシ
徳義ヲ以テ教化スルハ教育ノ骨髓ナリ本校生
徒ハ他日人ノ師表母儀タルヘキ重任ヲ負フモ
ノナレハ最モ品行ノ端正志操ノ廉潔ヲ尚ハシ
ムヘシ且ツ謙讓ノ美德ト進取ノ氣象トハ偏廢
スヘカラス二者其ノ宜シキヲ得シムヘシ
生徒心身ノ關係ニ注意シテ其ノ健康ヲ増進セ

二 東京女子高等師範學校 生徒心得

一 本校生徒ハ卒業ノ後國家教育ノ重任ニ當
ルヘキ者ナリ故ニ特ニ教育ニ關スル勑語ノ
大旨ヲ奉體シ徳ヲ修メ業ヲ勤ミ以テ其ノ本
分ヲ盡サンコトヲ期スヘシ
一 常ニ貞淑勤儉ヲ旨トシ聊カモ虚偽浮薄ノ
言行ヲナス可ラス言ハ衷心ヨリ發シ行ハ誠
意ヨリ出テ女子ノ師表タルヘキ徳操ヲ備ヘ
ンコトヲ務ムヘシ

一 校規學則ヲ守ルハ勿論時々ノ訓諭命令ニ

第二 沿革略

八

廣ク世局ノ進運ニ鑑ミ女子教育ノ忽ニスヘカラサルヲ察シ明治七年一月文部少輔田中不二麿ハ女子師範學校設置ノ必要ヲ具シテ太政大臣ノ裁可ヲ乞フ茲ニ於テ文部卿ハ同年三月十三日神田區宮本町八番地後現時ノ本郷區湯島三丁目二十四番地ニ變更トシテ東京女子師範學校ヲ創立セリ之ヲ本校ノ起源トナス明治七年四月十四日小杉恒太郎校長ニ任せラル

明治八年二月二日皇后陛下本校ノ設立ヲ嘉シ給ヒ御内庫金五千圓下賜セラル〇七月廿九日當校ニ於ケル學科ヲ定メラレタルヲ以テ翌八月教則ヲ制定ス〇十一月十八日中村正直代リテ本校ノ攝理トナル〇同月二十九日校舍新

築成ル仍テ開校式ヲ舉ク此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治九年二月十五日皇后陛下御歌ヲ賜フ奉シテ校歌トナス〇四月師範學科ヲ本科ト名ツケ別ニ豫備ノ教科ヲ設ケテ別科ト稱シ尋イテ豫科ト改稱ス〇六月附屬幼稚園ヲ設立シ幼兒ノ保育ヲナス之レ本邦ニ於ケル幼稚園ノ嚆矢ナリ〇九月二十五日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治十年十一月二十六日皇太后陛下皇后陛下幼稚園ニ行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治十一年六月保姆練習科ヲ置ク〇七月附屬小學校ヲ創設シ練習小學校ト稱ス
明治十二年二月十三日第一回卒業證書授與

式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ〇同月豫科ヲ廢ス
明治十三年五月福羽美靜代リテ本校攝理トナル〇七月大ニ校則ヲ釐革シ保姆練習科ヲ廢シ幼兒保育法ハ之ヲ本校ノ課程ニ編入シ再ヒ豫科ヲ置ク
明治十四年二月十二日禮節教場新設落成ノ旨聞シ召サレ特ニ攝理ヲ召シ皇后陛下ヨリ該教場用トシテ抱一上人筆三幅對畫幅ヲ賜フ〇四月附屬練習小學校ノ教則ヲ改メ附屬小學校ト改稱ス〇五月二十四日皇后陛下行啓アラセラル〇七月那珂通世校長ニ任セラル
明治十五年七月豫科ヲ廢シ附屬高等女學校ヲ設置シ附屬小學校ノ教則ヲ改メ附屬女兒小學校ト改稱ス〇十二月二十六日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル
明治十八年八月本校及附屬校園ヲ東京師範

學校ニ合併シ本校ヲ東京師範學校女子部ト稱ス時ニ高畠秀夫東京師範學校長タリ
明治十九年二月附屬高等女學校ト文部大臣官房附屬トシ東京高等女學校ト稱斯
明治二十年四月曩ニ勅令ヲ以テ公布セラレタル師範學校令ニ基キ東京師範學校ヲ改メテ高等師範學校ト稱ス〇同月山川浩校長ニ任せラル
明治二十三年三月二十四日高等師範學校女子部ヲ分離シ女子高等師範學校ト稱シ東京高等女學校及高等師範學校附屬幼稚園ヲ本校ノ附屬トシ別ニ附屬小學校ヲ設置シ高等師範學校附屬小學校ノ女兒ヲ轉學セシム〇同月中村正直校長ニ任セラル〇十二月二十五日御親署勅語ヲ下賜セラル
明治二十四年四月本校學則及寄宿舍規則ヲ定ム〇六月校長中村正直卒去村岡範爲馳校長

心得ヲ命セラル○八月十日中川謙二郎代リテ
校長心得ヲ命セラル○八月十六日細川潤次郎
校長ニ任セラル
明治二十五年 四月二十五日皇后陛下行啓ア
ラセラル○五月附屬小學校分室ヲ設ク○九月
附屬幼稚園分室ヲ設置ス
明治二十六年 二月七日皇太子殿下ノ御寫真
ヲ下賜セラル○三月附屬校園ノ規則ヲ改正ス
○十月十六日皇后陛下行啓アラセラル
明治二十七年 三月秋月新太郎校長ニ任セラ
ル○五月本校各部ノ内規ヲ定ム○六月本校教
育要旨ヲ定ム○七月附屬小學校規則ヲ改正ス
○十月本校規定ヲ定ム○十二月本校規則ヲ改
正シテ選科ヲ置ク
明治二十八年 四月附屬高等女學校規則ヲ改
正ス○十月本校生徒心得ヲ定ム○十一月寄宿
舍規則ヲ改正ス

明治二十九年 五月本校規則ヲ改正シ專修科
ヲ置ク○五月十八日皇后陛下行啓アラセラル
○七月本校規則ヲ改正シ保姆練習科ヲ置キ十
月授業ヲ開始ス
明治三十年 九月第一回家事專修科及第二回
保姆練習科ノ授業ヲ開始ス○十一月高嶺秀夫
校長ニ任セラル○十二月曩ニ公布セラレタル
文部省令ニ基キ本校規則ヲ改メ科ヲ分チテ文
理科ノニトシテ生徒定員ヲ二百名トス
明治三十一年 一月本校規則ヲ改メ研究科ヲ
設置ス
明治三十二年 二月本校規則ヲ改正シ文理科
科ノ外ニ技藝科ヲ置キ生徒定員ヲ増シテ三百
名トナス○三月高等女學校令ニ基キ附屬高等
女學校ノ規則ヲ改メ同月附屬小學校規則ヲ定
ム○六月國語專修科地理歷史專修科ノ規則ヲ
定ム

明治三十三年 一月國語專修科ヲ置ク○三月
本校規則ヲ改正シ本校生徒假入學ノ件ヲ削除
シ又曩ニ發布セラレタル幼稚園設備準則ニ基
キ附屬幼稚園規則ヲ改正ス○五月本校規則中
試驗ニ關スル件ヲ改正ス○六月國語專修科ノ
名稱ヲ改メテ國語漢文專修科トナス○九月地
理歷史專修科ヲ置キ授業ヲ開始ス
明治三十四年 一月第三回保姆練習科ノ授業
ヲ開始ス○二月改正小學校令及小學校令施行
細則ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス○同月高
等女學校令施行規則ニ基キ附屬高等女學校ノ
規則ヲ改正シ補習科ヲ廢シテ修業年限三箇年
ノ專攻科ヲ置ク○六月國語漢文專修科及附屬
高等女學校ノ規則ヲ改正ス○九月第二回國語
漢文專修科ノ授業ヲ開始ス
明治三十五年 一月地理歷史專修科規則ヲ改
正シ修業年限ヲ延ヘテ二箇年トシ學科目中ニ

英語ヲ加フ○二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス
○三月生徒學資支給規則ヲ改正セラル○四月
第二回地理歷史專修科及家事專修科ノ授業ヲ
始ム○同月附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○
七月本校規則中ニ改正ヲ加フ○十月二十八日
皇后陛下行啓アラセラル
明治三十六年 一月國語體操專修科ヲ置ク○
四月國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス○十月文
部省令第三十二號ニ基キ本校規則ヲ改正シ同
時ニ附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○十二月文
部省令第三十六號ニ據リ生徒學資支給規程ヲ
定ム

明治三十七年 二月訓令ニ依リ附屬小學校第
三部ニ二部教授ヲ施行スルコトトシ其ノ規則
ヲ定ム○同月小學校令施行規則ノ改正ニ基キ
附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月附屬小
學校第三部ニ二部教授ヲ開始ス○同月文部省

令第三號ノ趣旨ヲ準用シ出征又ハ應召軍人ノ子女ニ對シ授業料ヲ免除ス〇五月第三回家事専修科ノ授業ヲ開始ス〇同月數學物理化學專修科ヲ設置ス〇十月數學物理化學專修科ノ授業ヲ開始ス〇十二月本校及附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ

明治三十八年 一月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス〇同月國語體操專修科規則第七條試驗科目中ニ漢文ヲ加フ〇三月教員服制ヲ改正ス〇同月附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ〇四月本校規則中ニ改正ヲ加フ〇同月研究科生徒學資支給規則ヲ定ム〇官費研究科授業ヲ開始ス〇同月第二回國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス〇十一月家事專修科ノ規則ヲ改定シ修業年限ヲ延ヘテ三箇年トス

明治三十九年 三月本校規則中ニ改正ヲ加フ〇同月保育實習科ヲ設置ス〇四月當校内ニ第

六臨時教員養成所英語科ヲ置カル〇同月第四回家事專修科ノ授業ヲ開始ス〇五月保育實習科ノ授業ヲ開始ス〇六月生徒學資支給規則中ニ改正ヲ加フ〇十月地理歷史專修科ノ規定ヲ改正シ修科年限ヲ延ヘ三箇年トス

明治四十年 二月附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ〇四月官費研究科第二回ノ授業ヲ開始ス〇五月第三回地理歷史專修科國語體操專修科及第二回保育實習科ノ授業ヲ開始ス〇六月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス〇十一月本校規則中改正ノ豫備トシテ教育實習ニ關スル條項ヲ假定シ四十一年度ヨリ試ニ施行スルコトトス〇十二月小學校令中改正ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス

明治四十一年 三月文部省令第三號ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ〇同月三十日勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制改正ノ結

果トシテ當校ハ四月一日ヨリ東京女子高等師範學校ト改稱ス〇六月本校規則中ニ改正ヲ加フ〇同月五日皇后陛下行啓アラセラル〇十一月二十九日皇孫迪宮淳宮兩殿下成ラセラル

明治四十二年 一月第三回保育實習科ノ授業ヲ始ム〇二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス〇三月前年度ニ於テ假ニ施行セル教育實習ニ關スル條項ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ〇同月當校内ニ附設セラレタル第六臨時教員養成所ノ英語科ヲ廢シ更ニ家事科ヲ置カル〇四月第三回官費研究科ノ授業ヲ始ム〇同月外國人特別入學規程細則ヲ定ム〇五月私費專修科生徒寄宿舍ヲ牛込區揚場町ニ設ケ東京女子高等師範學校寄宿分舍ト稱ス〇同月第五回家事第四回國語體操兩專修科ノ授業ヲ始ム〇十二月十三日皇孫光宮殿下成ラセラル

明治四十三年 二月二十二日校長高畠秀夫薨

十三日事務員分掌規程中ニ改正ヲ加ヘ圖書掛
ヲ新設ス〇六月五日附屬高等女學校同小學校
ノ規則中ニ改正ヲ加ヘ夏季休業ヲ短縮ス〇六
月十七日本鄉區湯島三丁目二十三番地所在東
京高等師範學校所用土地建物ヲ本校ノ管理ニ
屬セラル〇九月八日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ
本科ニ於ケル試験科目ヲ定メテ各科共通トス
〇十月七日入學志願者心得ヲ定ム
明治四十五年一月十八日選科細則ヲ定ム〇
同月二十五日生徒學資支給規程中ニ改正ヲ加
ヘ研究科ノ定員三人ヲ十人以内ニ改ム〇同月
二十三日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加ヘ本園
ヲ第一部・分室ヲ第二部ト改メ第一部ニ於ケル
保育料ヲ増シ第二部ノ保育料ヲ徵收スルコト
トス〇二月一日附屬高等女學校規則中ニ改正
ヲ加ヘ定員ヲ増シテ四百人トシ授業料ヲ増シ
專攻科學科課程ヲ改メ選科生ハ第二部ニ限り

入學ヲ許スコトトス〇三月二十八日附屬小學
校規則中ニ改正ヲ加フ〇四月第三寄宿舍ヲ牛
込區赤城元町二十五番地ニ移シ第二寄宿舍ヲ
第六臨時教員養成所寄宿舍トナス〇六月三日
皇后陛下行啓アラセラル〇六月十二日第一回
女子通俗講話會ヲ開催ス〇六月三十日職員心
得及附屬校園職務規程ヲ定ム〇七月六日皇太
子皇太子妃兩殿下ノ御寫眞ヲ下賜セラル仍テ
明治二十六年二月下賜セラレタル皇太子殿下
ノ御寫眞ヲ返納ス
大正元年十月十二日本校規則中ニ改正ヲ加
ヘ從來生徒ハ地方長官ノ薦舉ニ依ルモノナリ
シヲ其ノ出身學校長ノ薦舉トナシ同時ニ入學
志願者心得ヲ改ム〇同月十五日學科主任ヲ
置ク〇同月二十三日學校醫職務規程ヲ定ム〇
同月二十八日明治四十五年六月三日皇后陛下
行啓ノ節下賜セラレタル金員ヲ恩賜獎學資金

トシテ永久ニ保管スルコトトス〇同月三十日
圖書室規程ヲ定ム
大正二年一月二十四日生徒學資支給規程中
ニ改正ヲ加フ〇三月三日共通學科主任ヲ置キ
同日女子教育研究部ヲ設ケ主任ヲ置ク〇三月
八日本校規則中ニ改正ヲ加フ〇四月一日附屬
校園規則中ニ改正ヲ加フ〇東校舍ニ接續シテ
增築セル本校々舍一部竣工ス〇第二寄宿舍ヲ
本鄉區森川町一番地ニ設ク〇同月十一日本校
生徒ニ佩用セシムヘキ徽章ヲ定ム〇五月二十
一日女子教育研究部規程ヲ定ム〇七月二十四
日西校舍(明治八年築造)ヲ取毀ツ〇十二月十
八日醫局ヲ新設シ主任ヲ置キ其ノ職務規程ヲ
定ム〇同日寮務掛ヲ新設シ事務員事務分掌規
程ヲ改正ス
大正三年二月二日必要アル場合ニ於テハ各
科ニ副主任ヲ置クコトシ技藝科ニ副主任ヲ

學校卒業式日ヲ三月二十七日ニ改メ同小學校卒業式日ヲ三月二十六日トナス○十一月二十日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ○十二月一日昭憲皇太后御遺物梨子地桐鳳凰蒔繪御料紙文匣同硯箱ヲ下賜セラル
大正四年 一月物品會計規程細則ヲ定ム○二月二十五日保育實習科規程ヲ改正シ授業料ヲ徵收スルコトトナス○同月同日寄宿舍規則中ニ改正ヲ加フ○同月同日附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○三月十二日會議規定ヲ改メ教授會ヲ設ク○三月二十七日家事參考品室ヲ設ク○四月十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ入學檢定料ヲ徵收スルコトトシ選科生ノ授業料ヲ定ム○四月二十四日第二回女子通俗講話會ヲ開催ス○五月二十八日外國人特別入學規程規則中ニ改正ヲ加ヘ入學檢定料ヲ定メ附屬高等女學校專攻科ニ入學スル者ノ授業料ヲ定ム○八月二

日學科主任學級主任及學科主任規程ヲ定ム○八月三日庶務教務會計ノ三掛ニ掛長ヲ置ク○八月十四日高等女學校令施行規則ノ一部改正ニ基キ附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ加フ○九月三日附屬高等女學校專攻科規則ニ改正ヲ加ヘ同科卒業者ニシテ相當ノ成績ヲ得タル者ハ無試驗檢定ニ依リ家事科教員ノ免許與式例第五條ニ依リ勳章授與式次第ヲ定ム○十月二十一日天皇陛下御真影ヲ下賜セラル○十一月卒業者ノ爲講習會ヲ開催スル計畫ヲ以テ其ノ第一回ヲ開ク○十一月即位ノ大禮ヲ行ハセラレタルニ付此ノ曠古ノ盛典ヲ記念スル爲大禮記念文庫ヲ設ク○十一月二十九日開校四十年分立二十五年記念式ヲ舉行ス當日ハ皇后陛下思召ヲ以テ特ニ博恭王妃經子殿下ヲ御

差遣アラセラレ殿下ヨリ令旨ヲ賜フ此ノ日昭憲皇太后ノ御下賜品御遺物等ノ保管並明治時代ニ於ケル我カ國文化ノ發達變遷ヲ記念スキ物品ノ陳列ヲナスタメ明治記念室ヲ設ク○十二月十七日明治記念室主任ヲ置ク
大正五年 一月十四日庶務主任及教務主任ヲ置ク○一月十五日圖書主任ヲ圖書室主任ト改メ其ノ規程ヲ定ム○三月二十八日圖書室規程ヲ改正ス○四月寄宿舍生徒心得及通學生徒心得ヲ改ム○五月十六日附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○五月二十五日教育實習ニ關スル規程ヲ定ム○六月十二日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○六月十四日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ本科入學志願者年齡十七年ヲ十六年トス○六月十八日第四回女子通俗講話會ヲ開ク○七月十二日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○八月四日獎學資金ニ關スル規程ヲ定ム○十月

二十一日皇后陛下、皇太子殿下御真影ヲ下賜セラル○十月二十三日皇后陛下行啓アラセラル○十一月卒業者第二回講習會ヲ開ク
大正六年 六月九日第五回女子通俗講習會ヲ開ク○六月十一日東京音樂學校長湯原元一校長ニ任セラル○七月六日前校長中川謙二郎名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○七月二十五日卒業者第三回講習會ヲ開ク○十一月二十七日本校ニ於ケル重要事項ヲ評議スル機關トシテ評議員ヲ設ケ十二月六日其ノ規程ヲ實施ス
大正七年 四月二十五日卒業生ノ身上ニ關スル取扱内規ヲ定ム○五月二十五日第六回女子通俗講習會ヲ開ク本會ハ從來本校ノ事業トシテ繼續シ來リシカ今回之ヲ卒業生團體櫻蔭會ノ事業ニ移ス○六月五日東伏見宮妃周子殿下台臨アラセラル○八月一日卒業者等第四回講習會ヲ開ク○十月一日退職職員送別ニ關スル

内規ヲ定ム〇十一月二十八日教育實習ノ改善ヲ圖ル爲假規定ヲ定メ試ニ之ヲ實施ス
大正八年三月附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ無試驗檢定ニ依リ中等教員家事科免許狀授與ノ特典ヲ得〇四月四日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ家事科第二部ヲ廢シ家事科第一部ヲ家事科トナス〇同月同日圖畫專修科設置規則制定ノ許可ヲ得新ニ修業年限三箇年ノ圖畫專修科ヲ置ク〇四月十六日學科主任學級主任及學科目主任規程ニ改正ヲ加ヘ學級主任ヲ止ム〇四月二十六日寄宿舍內規及通學生心得ヲ改正ス〇圖畫專修科主任及副主任ヲ置ク〇五月十九日圖畫專修科ノ授業ヲ始ム〇五月三十一日寄宿舍規則ヲ改正ス〇十月八日現代ニ於ケル内外ノ情勢ニ就キ精確ナル理解ト正當ナル判断トヲ與フル目的ヲ以テ現代科ヲ置ク
大正九年三月三十一日許可ヲ得テ附屬小學

校規則中ニ改正ヲ加ヘ第三部ニ於ケル授業料ヲ徵收スルコトトス〇大正八年度中ニ於テ寄宿舍食堂及寮舍ノ一部改築ヲ了ス〇六月九日附屬高等女學校專攻科ニ於ケル夏季休業ノ期間ヲ改メテ本校同様トナス
大正十年二月十七日許可ヲ得テ本校竝圖畫專修科規則中ニ改正ヲ加ヘ入學試驗科目中ニ英語及代數初步ヲ加ヘ教育實習期間ヲ減縮ス〇三月十六日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加ヘ專攻科ニ於テ從來ノ第一部第二部ヲ廢シテ新ニ國語部、英語部、家事部ノ三部ヲ置ク〇四月二十六日書記ノ定員ヲ増シテ七名トス〇五月四日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ〇七月九日豫テ當校職員及櫻蔭作樂兩會員中ニ於ケル有志ノ醸金ヲ以テ當校開校四十年分立二十五年祝賀記念ノタメ建築ニ計畫アリシカ工事落成ヲ告ケタルヲ以テ本日之ヲ當校

ニ寄贈セリ仍テ受ケテ記念館ト稱ス〇十一月九日校長湯原元一東京高等學校長ニ轉任、松本高等學校長茨木清次郎校長ニ任セラル〇十二月十四日本校及附屬校園規則中ニ改正ヲ加ヘ本校選科附屬各部ニ於ケル授業料保育料ヲ増額シ附屬高等女學校生徒ノ檢定料竝入學料ヲ增徵スルコトトス又保育實習科ノ定員ヲ増シテ二十名トシ同時ニ授業料ヲ増シ檢定料ヲ徵收スルコトトス
大正十一年三月三日附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ加フ〇七月十四日文部省告示ヲ以テ中等教員無試驗檢定ニ關スル指定學校及學科中ニ改正ヲ加ヘラレタルニ依リ當校附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ國語部ニ在リテハ國語英語部ニ在リテハ英語家事部ニ在リテハ家事ノ免許狀ヲ授與セラルコトトナリ

大正十二年九月一日午前十一時五十八分稀有ノ大地震アリ煉瓦建ノ校舍(本部)ハ龜裂ヲ生シ加フルニ破壊墜落セシ箇所多ク到底再ヒ使用スルニ堪ヘサル程度ノ損害ヲ被リシカ木造ノ校舍ハ其ノ一部ノ屋根瓦搖落セシニ止リ被害比較的少カリシモ西方ヨリノ延火ニ依リ僅ニ表門々衛所一棟ヲ残シテ午後五時悉ク類焼ノ災ニ罹レリ但御真影其ノ他貴重品ハ之ヲ奉還シ緊要書類ハ其ノ一部分ヲ搬出スルヲ得タリ〇九月二日東京音樂學校内ニ假事務所ヲ設ケ应急事務ヲ開始ス〇九月十七日御真影其ノ他貴重品ヲ一時宮内省ニ保管方頤出ツ〇十月一日假事務所ヲ東京府女子師範學校内ニ移シ子師範學校内ニ本校ノ一部及附屬高等女學校專攻科假教場ヲ、東京高等師範學校内ニ本校ノ一部及附屬小學校ノ假教場ヲ、女子學習院内ニ

附屬高等女學校本科及實科ノ假教場ヲ、帝國女子専門學校内ニ本校ノ一部及附屬幼稚園假保育場ヲ設ケ東京盲學校内ニ第一假寄宿舎ヲ、東京府立第五高等女學校内ニ第二假寄宿舎ヲ置ク〇十月十五日附屬小學校ノ授業ヲ始ム〇十月二十二日附屬高等女學校本科及實科ノ授業幼稚園ノ保育ヲ開始ス〇十一月一日本校附屬高等女學校專攻科及第六臨時教員養成所ノ授業ヲ始ム〇十一月八日獎勵費給與規程中ニ改正ヲ加フ〇十二月八日皇后陛下女子學習院ニ行啓ノ際當校附屬高等女學校ノ授業ヲ御巡覽アラセラル

大正十三年 一月三十一日東京盲學校内ニ假設セル寄宿舎ヲ東京府立第五高等女學校内ニ設ケタル第二假寄宿舎ニ移ス〇三月二十日本鄉區湯島三丁目舊校舍跡ニ昨年震災後建築ニ着手シタル假校舍略落成シタルヲ以テ全部復

歸ス新築假校舍ハ木造平家ニシテ其ノ建坪五千七百餘坪、工費九十七萬餘圓ヲ算ス〇六月十日震災直後宮内省ニ保管ヲ願ヒ置キタル御眞影其ノ他ノ貴重品ヲ本校ニ奉安ス〇十月二十七日皇后陛下行啓アラセラル

大正十四年 四月一日勅令第八十號ヲ以テ職員定員令中改正ヲ加ヘラレ助教授九人ヲ八人ニ改メラル〇五月十三日岩川友太郎東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル〇六月三日勅令第二百十六號ヲ以テ職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ書記七人ヲ八人ニ増員セラル〇六月十一日東伏見宮妃周子殿下台臨アラセラル〇十一月二十九日開校五十年ニ相當スルヲ以テ記念式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ

大正十五年 八月二十七日文部省令第二十八號ヲ以テ生徒募集規程ヲ改正セラレタルヲ以

テ本校規則中ニ改正ヲ加ヘ十月五日許可ヲ得タリ之ニ仍リテ從來ノ志望學科ニ對スル第一第二ノ制ヲ廢シ入學試驗科目ニ就テハ國語、英語、數學ハ各科共通トシ外ニ文科ニ在リテハ歴史又ハ地理ヲ、理科家事科ニ在リテハ物理、化學又ハ動物植物ノ内其ノ一ヲ課ス而シテ選拔試験ハ之マテ東京府ヲ除クノ外ハ當該學校ノ屬スル地方廳所在地ニ於テ地方長官監督ノ下ニ施行セシカ之ヲ限定シテ東京奈良、札幌、仙臺、金澤、松江、廣島、福岡ノ八ヶ所ニ試驗場ヲ設ケ直接本校監督ノ下ニ試驗シ右ノ外沖繩縣竝朝鮮、臺灣、關東州、樺太、青島ノ管外各廳下ニ於ケル志望者ハ其ノ當該長官監督ノ下ニ受驗セシムルコトトナレリ〇九月十八日校内ニ於ケル一般ノ情報ヲ通知スルタメ毎週土曜日校報ヲ發行スルコトトナス〇校門閉鎖ノ時間ヲ定ム〇九月二十八日會議規程中ニ改正ヲ加フ〇十月二十

九日評議員會規程並同細則中ニ改訂ヲ加フ昭和二年 二月二十三日保育實習科規則中改正ノ件許可セラル本改正ニ依リ課程及實習ヲ了ヘタル者ニハ卒業證書ヲ與フルコトトナリ〇二月二十八日校長茨木清次郎浦和高等學校長ニ轉任、浦和高等學校長吉岡郷甫校長ニ任せラル〇三月三十一日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ〇五月一日本校ニ於ケル旅費支給內規ヲ定ム〇六月十七日本校細則中職員服務規程、校務分掌規程、會議規程及評議員會內規ヲ改定シ九月十一日ヨリ實施ス〇九月一日附屬高等女學校ノ規則ヲ改正ス〇同月十一日本校規則ヲ改正ス〇同月同日本校規則施行細則ヲ制定ス〇十月寄宿舍規程及生徒心得細則ヲ制定ス〇十二月勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ本校ニ助手二名ヲ置カル

昭和三年 一月七日保育實習科規則ヲ改正ス
○二月一日昭和三年三月限本校圖畫專修科廢止ノ件並ニ昭和四年三月限附屬高等女學校實科廢止ノ件認可セラル但附屬高等女學校實科ハ現ニ在學スル生徒及昭和三年四月入學スヘキ者ニ對シテハ其ノ卒業スルニ至ル迄仍之ヲ存續ス○二月二日生徒願届書式例ヲ定ム○四月三十日聽講生受業内規ヲ定ム○四月四日入學スヘ徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○五月四日遠足、修學旅行及見學ニ關スル事項ヲ定ム○六月十五日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○六月二十日本校及保育實習科附屬高等女學校附屬小學校附屬幼稚園規則ヲ改正シ皇太后陛下御誕辰ヲ休業日ニ加フ○八月二十三日生徒獎勵費給與規程並ニ獎學資金ニ關スル規程中ニ改正ヲ加フ○八月入學者選拔ノ方法ヲ改正シ沖繩縣朝鮮、臺灣、關東州、樺太、青島ノ入學志願者ニ對シテ

ハ從前ノ通各廳ニ選拔試験ノ施行ヲ委託スルモ内地ノ入學志願者ニ對シテハ本校並ニ奈良女子高等師範學校ニ於テノミ選拔試験ヲ施行シ之ニ引續キ第一次身體檢查ヲ施行スルコトトス又入學志願者ヲシテ文科、理科及家事科ニ就キ志望ノ順位ヲ定メ二科ヲ併セ指定スルヲ得シム○九月十四日勅令第二百三十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加へ訓導二十一人ヲ二十二人ニ増員セラル○十月九日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル○十月三十日勅令第二百五六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ニ改正ヲ加へ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ別ニ生徒主事補ヲ置カル同時ニ勅令第二百五十七條ヲ以テ定員令中ニ改正ヲ加へ教諭ノ次ニ生徒主事書記ノ次ニ生徒主事補各一人ヲ加ヘラル○十一月十日大禮記念事業トシテ新校地ニ記念植樹ヲナスコトトス○

十一月二十六日小石川區大塚町三十五番地ノ十四號、東青柳町二十八番地ノ一號ニ於ケル二萬七千二百六十四坪ヲ新校地トシテ文部省ヨリ交付セラル○十二月二十日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加ヘ專攻科英語部ハ昭和四年三月限廢止スルコトトス但現ニ在學スル生徒ニ對シテハ其ノ卒業ニ至ルマテ仍之ヲ存續ス昭和四年一月十二日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○一月十八日會議規程及生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○二月二十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ規則第三十五條第一號ニ依リ一旦退學シタル者モ退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再ヒ入學シ得ルノ途ヲ開ク○三月七日聽講生編入規程ヲ定ム○三月十一日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○七月十七日文書處理規程ヲ定ム○九月六日勅令第二百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加

ヘ教授二十八人ヲ三十人ニ、助教授八人ヲ十人ニ増員セラル○九月十四日本校規則並ニ同施行細則中ニ改正ヲ加ヘ各學科ニ選修ノ區分ヲ設ク○十一月二十二日寄宿舍(小石川區大塚町三十五番地所在)ノ新營工事竣成ニ付移轉ヲ了ス
昭和五年 二月一日校門開閉ノ時間中ニ改正ヲ加フ○三月二十七日皇后陛下行啓アラセラレ御言葉ヲ賜フ○四月二十五日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○五月二十九日勅令第百九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ助教授十人ヲ十二人ニ増員セラル○九月四日寄宿舍規程中ニ改正ヲ加フ○同月旅費支給内規中ニ改正ヲ加フ○十月四日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○十一月集會所及雨天體操場ノ新營工事竣成ス集會所ハ之ヲ営鳴合ト名付ク

昭和六年 二月五日天皇皇后兩陛下ノ御影ヲ
下賜セラル 因テ曩ニ御下賜ノ御影ハ之ヲ奉還
ス〇三月三十日本校並ニ附屬校園規則中授業
料保育料ノ徵收方法ニ改正ヲ加フ〇四月二十
七日東伏見宮大妃殿下ヨリ講堂ニ奉掲ノ料ト
シノ御染筆ヲ御下賜アラセラル〇六月附屬幼
稚園ノ新營工事竣成ス〇七月本校卒業生團體
櫻蔭會並ニ附屬高等女學校卒業生團體作樂會
ノ寄附ニ係ル水泳プール竣成ス〇十二月二十
八日附屬幼稚園規則中第二部幼兒保育料金額
ニ改正ヲ加フ

昭和七年 四月十二日附屬高等女學校規則中
ニ改正ヲ加フ〇四月十五日下村三四吉東京女
子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル〇
五月圍障通用門及門衛所ノ新營工事竣成ス〇
六月十三日東伏見宮大妃殿下ヨリ圖書閱覽室
ニ奉掲ノ料トシテ御歌ヲ御下賜アラセラル〇
十一月二十九日本校開校記念式並ニ附屬高等
女學校創立五十年祝賀式ヲ舉行ス此ノ日東伏

見宮周子殿下台臨アラセラル〇十二月十二日
附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ〇十二月二十
八日本校校舍ノ新營工事竣成ニ付本校及附屬
幼稚園ノ移轉ヲ了ス〇十二月二十八日勅令第
三百九十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定
員令中ニ改正ヲ加ヘ助教授十二人ヲ十一人ニ
助手二人ヲ一人ニ減員セラル

昭和八年 三月物置ノ一部門衛所及車庫ノ新
營工事竣成ス〇十月機關室ノ新營工事竣成ス
〇十二月圖書閱覽室及書庫ノ新營工事竣成ス
昭和九年 三月附屬小學校校舍ノ新營工事竣
成ニ付同月三十一日移轉ヲ了ス〇十月二十九
日本校開校六十年記念式ヲ舉行ス此ノ日皇后
陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ

昭和十年 三月附屬高等女學校ノ新營工事竣
成ニ付三月三十一日移轉ヲ了ス〇四月二日文
部省普通學務局長下村壽一校長ニ任セラル〇
五月四日前校長吉岡鄉甫東京女子高等師範學
校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル〇九月二十六日

外國政府委託留學生ニ關スル規則ヲ定ム
昭和十一年三月七日會議規程中ニ改正ヲ加
フ〇三月二十四日第二寄宿舎ノ新營工事竣成
ス〇六月正門ノ新營工事及校内道路ノ鋪裝工
事竣成ス

第三學年曆

至昭和十二年三月

昭和十一年

四月一日	本校、附屬學校第一學期及附屬幼稚園 季休業始	本校附屬學校及幼稚園
四月三日	神武天皇祭	
四月七日	附屬學校及幼稚園春季休業終	
四月八日	附屬學校第一學期及附屬幼稚園第二期 始業	
四月十日	本校春季休業終	
四月十一日	本校第一學期始業	本校生徒入學式
四月廿九日	天長節	拜賀式
六月廿五日	皇太后陛下御誕辰	拜賀式
七月十日	本校及附屬高等女學校專攻科第一學期 及附屬幼稚園第一期終業	
九月廿四日	秋季皇靈祭	
十月十七日	神嘗祭	

十月卅日	勅語捧讀式	三月六日	皇后陛下御誕辰 拜賀式
十一月三日	明治節 拜賀式	三月廿一日	春季皇靈祭
十一月廿三日	新嘗祭	三月廿四日	附屬小學校卒業式
十一月廿九日	開校記念日 記念式	三月廿五日	本校及附屬高等女學校卒業式
十二月廿四日	本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園 第二期終業	三月卅一日	本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園 第三期終業
十二月廿五日	大正天皇祭 本校、附屬學校及幼稚園 冬季休業始		
十二月卅一日	本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園 第二期終業		
昭和十二年			
一月一日	拜賀式 本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園 第三期始		
一月七日	本校、附屬學校及幼稚園冬季休業終		
一月八日	本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園 第三期始業		
二月十一日	紀元節 拜賀式		

第四 關係法令

一 師範教育令	
(勅令第三百四十六號)	
第一條	高等師範學校ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
女子高等師範學校ハ師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス	
第六條	高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ募集及卒業後ノ服務ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
第七條	高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ學資ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ學校ヨリ之ヲ支給スヘシ
前項ノ外文部大臣ノ定ムル所ニ依リ私費生	

前三項ニ記載シタル學校ニ於テハ順良信愛
威重ノ德性ヲ涵養スルコトヲ務ムヘシ
第二條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ
東京ニ各一校ヲ設置シ師範學校ハ北海道及
各府縣ニ各一校若ハ數校ヲ設置ス

第八條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校ノ學科及其ノ程度並教科書ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 師範學校ニ豫備科小學校教員講習科及幼稚園保姆講習科ヲ置クコトヲ得

附則

第十條 本令ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

明治十九年勅令第十三號師範學校令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第十一條 他ノ法令中尋常師範學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然師範學校ト改正セラレタルモノト看做ス

参照

明治三十五年五月勅令第九十八號(直轄諸學校官制改正)ヲ以テ廣島高等師範學校ヲ加フ明治

四十年三月勅令第六十八號(直轄諸學校官制改正)ヲ以テ女子高等師範學校ヲ東京女子高等師範學校ト改稱シ其ノ次ニ奈良女子高等師範學校ヲ加フ

二 女子高等師範學校規定

(明治三十年十月十二日文部省令第
二十四號、明治三十一年第一號ヨリ
大正三年第五號マテ屢次改正)

第一條 女子高等師範學校ノ學科ヲ分チテ文科、理科、家事科トス

第二條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歷史、地理、外國語、家事、音樂、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、鑽物及地質、植物、動物、生理及衛生、外國語、家事、圖畫及手工、音樂、體操トス

家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、裁縫、手藝、手工、園藝、圖畫、國語、外國語、數學、音樂、體操トス

家事科ハ之ヲ分チテ第一部及第二部トナスコトヲ得
學校長ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ前各項ノ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第三條 前條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトヲ得
第四條 女子高等師範學校ノ學科ハ師範學校女子部ノ課程ニ照シ更ニ一層精深ナル程度ニ於テ教授スルモノトス

第五條 女子高等師範學校各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第六條 刪除

第七條 第四學年生徒ハ附屬學校及幼稚園ニ於テ實地授業及保育ニ從事セシム

第八條 生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者

ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ
文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資及授業費ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 生徒在學中疾病ニ罹リ若ハ學業進マス又ハ品行修マラサルカ爲ニ成業ニ適セスト認ムルトキハ學校長ヨリ退學ヲ命スヘシ

第十條 女子高等師範學校ノ卒業生又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノニシテ第二條ニ規定シタル科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

研究科ノ修業年限ハ一箇年乃至二箇年トスノ缺乏ヲ充タス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトヲ得

專修科ノ學科目及其ノ程度並修業年限募集

人員、入學者資格等ハ其ノ都度文部大臣ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム

第十二條 師範學校女子部又ハ高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル者ニシテ各學科中ノ一科目若ハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得選科生ハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身教育ヲ兼修スルコトヲ要ス
選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但シ特別ノ事情アル者ニ就キテハ學校長ニ於テ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得
第十三條 一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル本科生ニハ學業ノ成績ニ依リ所設ノ科目中其ノ數ヲ限り修メシムルコトヲ得

附則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテハ仍

從前ノ規定ニ依ル但シ學校長ニ於テ便宜本令ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得

三 文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年勅令第八十六號、明治二十九年第二百二十六號、昭和十年第五十四號マテ屢次改正)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ
東京女子高等師範學校 奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校 鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校 東京高等蠶絲學校
京都高等農林學校 千葉高等農林學校
岐阜高等農林學校 宮崎高等農林學校
三重高等農林學校 東京高等農林學校
長崎高等商業學校 福島高等商業學校
小樽高等商業學校 大分高等商業學校
福島高等商業學校 山口高等商業學校
彦根高等商業學校 名古屋高等商業學校
和歌山高等商業學校

横濱高等商業學校	高松高等商業學校	廣島高等工業學校	金澤高等工業學校
高岡高等商業學校	第一高等學校	仙臺高等工業學校	明治專門學校
第二高等學校	第三高等學校	東京高等工業學校	神戶高等工業學校
第四高等學校	第五高等學校	濱松高等工業學校	德島高等工業學校
第六高等學校	第七高等學校造士館	長岡高等工業學校	福井高等工業學校
第八高等學校	新潟高等學校	山梨高等工業學校	秋田鐵道專門學校
松本高等學校	山口高等學校	東京高等商船學校	神戶高等商船學校
松山高等學校	水戶高等學校	函館高等水產學校	東京外國語學校
山形高等學校	佐賀高等學校	大阪外國語學校	東京高等齒科醫學校
弘前高等學校	松江高等學校	東京美術學校	東京音樂學校
東京高等學校	東京首學學校	東京首學學校	東京聲學學校
浦和高等學校	高知高等學校	附屬小學校及附屬幼稚園ヲ置ク	
姫路高等學校	廣島高等學校	第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク	
富山高等學校	熊本高等工業學校		
京都高等工藝學校	名古屋高等工業學校		
熊本高等工業學校	大阪高等學校		
桐生高等工業學校	米澤高等工業學校		
	橫濱高等工業學校		

助教授

生徒主事

校長

教授

書記
生徒主事補
前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令
ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得
第七條 校長ハ勤任又ハ奏任トス文部大臣ノ
命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
第八條 教授ハ勤任又ハ奏任トシ助教授ハ判
任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ
生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生
徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事
ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之
ヲ補ス
生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌
ル
第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務
會計ニ從事ス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ
於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學
校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ
生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ
文部大臣之ヲ命ス
生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職
務ヲ助ク
第十條ノ三 助手ハ判任トス教授又ハ助教授
ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス
第十一條 第六條ニ掲タル職員ノ外女子高等
師範學校ニ教諭助教諭、訓導及保母ヲ置ク
教諭ハ奏任トシ助教諭、訓導及保母ハ判任ト
ス
教諭及助教諭ハ附屬高等女學校ノ生徒ノ教
育ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス
訓練ハ附屬小學校生徒ノ授業ヲ掌リ兼テ師
範生徒ノ實地授業ヲ監督ス

保姆ハ附屬幼稚園幼兒ノ保育ヲ掌ル
第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科
ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任
教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大
臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學
科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
第十八條 文部大臣ハ女子高等師範學校、名古
屋高等工業學校、橫濱高等工業學校及東京高
等工藝學校ノ教官ノ中ヨリ各其ノ附屬學校
主事、教員養成所主事、附屬幼稚園主事ヲ命シ
其ノ事務ヲ掌ラシムルコトヲ得
第十九條 文部大臣ハ學校上ノ須要ニ依リ學
校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ
委員ハ文部大臣之ヲ命ス

四 文部省直轄諸學校職員定員
令(抄) (明治三十五年三月廿八日勅令第九十九
七年第三百九十五號マニ第六號ヨリ昭和
七年第五百五十六號ヲ屢次改正)

東京女子 高等師範 學校		校長 教授 教諭 主事 授助教 諭 助教 訓導 保姆 助手 書記 主事 補
一人	三十人	
人十五	一十一人	
人十六	人十六	
人廿二	六人	
人八人	一人	
一人	一人	

五 文部省直轄諸學校ノ名譽教
授ニ關スル件 (大正三年六月二十日勅令第
百二十四號、昭和四年勅令第四十三號ヲ以テ改正)
高等師範學校又ハ文部省直轄諸學校ノ教育ニ
付功勞顯著ナル者ニハ文部大臣ノ奏薦ニ依リ
名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ東京高等師範學校名譽教授タル者ハ本令ニ依リ東京高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ與ヘラレタルモノトス

六 帝國大學名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ノ待遇ニ關スル件（大正四年八月十日勅令第百五十五號、昭和四年第四十九年第七十九號、昭和四十四年第七十九號ヲ以テ改正）

帝國大學名譽教授官立大學名譽教授高等師範學校名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ハ勅任官ヲ以テ待遇ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七 奏任文官及判任文官ノ優遇

ニ關スル件（大正十年五月廿一日勅令第二百二十三號）

第一條 高等官官等俸給令別表第二表第一號

第三表及第五表ニ依ル奏任文官ニシテ引續

キ五年以上高等官三等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得但シ帝國大學教授官立大學教授行政裁判所評定官及高等官四等ヲ最高官等トスル奏任文官ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條 判任文官ニシテ引續キ五年以上一級俸ヲ受ケテ在職シ事務熟練優等ナル者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ノ待遇相當官等ハ高等官六等以下トス

第一項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ハ之ヲ主事ト稱ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八 文部省直轄諸學校長職務規程（大正二年六月二十三日文部省訓令）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ専行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムル事

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 債給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 教官以下内國各地出張ニ關スルコト

第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第九 前條ニ掲タル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

九 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集規定抄（大正十五年八月二十七日文部省令第二十八號）

第二條 女子高等師範學校文理科家事科及專修科ノ生徒ハ左ノ各號ノ一一ニ該當シ身體健全品行方正ニシテ出身學校長ノ推薦シタル者ニ就キ試験ノ上之ヲ選拔ス但シ第三號又ハ第四號ニ該當スル者ニ付テハ女子高等師範學校長ニ於テ出身學校長ノ推薦ニ代ル

ヘキ適當ノ方法ヲ定ムルコトヲ得
 一 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
 二 專門學校入學者検定規程ニ依リ卒業者
 ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限
 四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上
 ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定
 ヲ受ケタル學校ノ卒業者
 三 前號ノ外專門學校入學者検定規程ニ依
 リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定
 ヲ受クル資格ヲ有スル者
 四 專門學校入學者検定規程ニ依リ試驗檢定
 ニ合格シタル者
 第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ノ
 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一一該當スル
 者ハ入學ヲ許サス
 一 身體虛弱ナル者
 二 精神機能ニ障礙アル者

三 急治ノ見込ナキ重症トラホームヲ患フ
 ル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇五以上ニ矯正シ得
 サル視力障碍ヲ有スル者
 四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者
 五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル
 者
 六 高度ノ脊柱彎曲著シキ畸形又ハ運動障
 碍ヲ有スル者
 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
 八 癡ヲ患フル者
 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 〇 惡性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血
 ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ
 異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患者
 ル者

第四條 高等師範學校長及女子高等師範學校
 長ハ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ認可
 ヲ受ケ第一條及第二條ニ規定シタル事項ノ
 外生徒推薦ニ關スル條件ヲ定ムルコトヲ得
 第五條 第一條及第二條ニ規定シタル選拔試
 驗ノ學科目及其ノ程度、期日、場所募集人員出
 願手續其ノ他必要ナル事項ハ當該學校長ニ
 於テ豫メ官報ヲ以テ公告ス

第六條 高等師範學校及女子高等師範學校生
 徒募集ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受
 ケ當該學校長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 高等師範學校生徒募集規程及女子高等師範
 學校生徒募集規程ハ之ヲ廢止ス

十 文部省直轄學校外國人特別
 入學規程
(明治三十四年十一月
文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ
 一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科
 若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省
 在外公館又ハ本邦所在外國公館ノ紹介アル
 モノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ
 第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國
 人ハ前條ノ紹介書ヲ添へ帝國大學總長若ハ
 學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條
 ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト
 認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校
 ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者
 ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人
 ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサ

ルコトヲ得
第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ承ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト看做ス
第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規定ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢ス

十一 臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用

(明治四十四年四月四日)
文部省令第十六號)若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シ

テハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス
十二 高等師範學校等卒業者服務規則
(文部省令第二十九號)

第一條 本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校、圖畫師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業者ニ適用ス

第二條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

二 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ其ノ修業年限ノ二分之一ニ相當スル期間

前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ

第三條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年於テハ通シテ八年ヲ超エス

免除セラレタルモノトス

第五條 卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ掲タル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學校ノ學費ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學資、學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者

二 服務年限中懲戒免職又ハ免許状被奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ける學校長之ヲ定ムヘシ

第六條 卒業者ニシテ服務年限中研究科專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セムトスルモ

間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其ノ期間トス
一學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス
第四條 卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其ノ理由ヲ具シ道府縣ニ奉職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ
第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ

ノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアル
ヘシ
第七條 卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務
ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究
科專攻科若ハ帝國大學學部等ニ入學シタル
トキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數
ニ算入セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了
ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規定
ニ依ル大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ
規定ニ依リ服務義務ナキモノノ服務ハ仍從前
ノ例ニ依ル

明治四十二年文部省令第二十五號高等師範學
校卒業者服務規則同年文部省令第二十七號女
子高等師範學校卒業者服務規則明治四十二年

文部省令第二號東京美術學校圖畫師範科卒業
者服務規則同年文部省令第三號東京音樂學校
甲種師範科卒業者服務規則及明治四十五年文
部省令第八號臨時教員養成所卒業者服務規則
ハ之ヲ廢ス

十三 行幸啓ノ節學生生徒敬禮

方抄

(明治四十三年八月廿六日文部省訓
號第十八號、明治四十四年第十一號、
大正五年第五號ヲ以テ改正)

二 武裝セル場合(女生徒ヲ含ム)
學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮官ハ各組
ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付
ケ」フ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動
ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シ
タルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ(體ノ上部
ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)直
レ「フ」號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム
御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長
職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

第五 規則

一 東京女子高等師範學校規則

學、植物、動物、生理及衛生、礦物及地質、外國語、音
樂體操トス

第一章 本科

第一節 總則

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部
及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼
テ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ
以テ目的トス

第二條 學科ヲ分チテ文科、理科、家事科トス

第三條 各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第四條 生徒ノ定員ハ凡四百五十人トス

第九條 文科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ
修身 修養論 教育ニ關スル勅語、戊申詔書及國
民精神作興ニ關スル詔書ノ述義 國民道
理 認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトア
ルヘシ

教育 心理學 論理學 教育學 教育史 教授

皇后陛下御誕辰 三月六日
 春季皇靈祭 春分日
 第四節 入學、在學、休學及退學
 第十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス
 第十九條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ
 一 身體健全品行方正ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
 二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(二)又ハ(二)ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得
 (一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
 (二) 專門學校入學者検定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業

年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者
 (三) 前號ノ外專門學校入學者検定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗検定ヲ受クル資格ヲ有スル者
 (四) 專門學校入學者検定規程ニ依リ試驗検定ニ合格シタル者
 三年齡十六年以上二十二年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者
 第二十條 前條第二號ノ(二)又ハ(二)ニ該當スル入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス
 出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者ノ入學志願票、履歷書、學業成績調査人物考定書、身體檢查書及寫真ヲ

添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘシ
 第二十一條 第十九條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願票、履歷書、身體檢查書及寫真ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ
 第二十二條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第二十條又ハ第二十一條ニ掲記セル書類ノ外本屬長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス
 第二十三條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス
 一 身體虛弱ナル者
 二 精神機能ニ障碍アル者
 三 急治ノ見込ナキ重症トラホームヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇五以上ニ矯正シ得タル視力障碍ヲ有スル者
 四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者

第五著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル者
 六 高度ノ脊柱彎曲、著シキ畸形又ハ運動障碍ヲ有スル者
 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
 八 癪ヲ患フル者
 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 一〇 惡性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 一二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 一三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若クハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者
 第二十四條 入學志願者ハ入學檢定料金參圓ヲ所定ノ期間内ニ納付スヘシ
 既納ノ檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス
 第二十五條 入學志願者ニ對シ選拔試驗及第

一次身體検査ヲ行フ但第一次身體検査ハ選拔試験ノ施行ヲ他ニ委託セル場合ニ於テハ之ヲ行ハサルコトアルヘシ
前項ニ依リ入學志願者ニ就キ入學候補者ヲ選抜ス
選拔試験ノ科目及其ノ程度、期日、場所、募集人員其ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公告ス
第二十六條 入學候補者ハ指定ノ期間内ニ戸籍謄本ヲ差出スヘシ
第二十七條 入學候補者ニ對シ第二次身體検査及口頭試問ヲ行フ但第一次身體検査ヲ行ハサル入學候補者ノ身體検査ハ第一次及第二次ヲ併セ之ヲ行フ
前項ニ依リ入學候補者ニ就キ入學者ヲ選抜ス
第二十八條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓書ヲ差出スヘシ

第二十九條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ
保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊族又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ
第三十條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ
代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
第三十一條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
第三十二條 生徒ノ學費ハ總テ私費トス但別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

トアルヘシ
第三十三條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給ノ學資ヲ償還ス
ヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第三十四條 引續キ二箇月以上課業ヲ缺キ又ハ缺クヘシト認メタル者ニハ一箇年以内休學ヲ命ス但時宜ニ依リ本文ニ依ラサルコトアルヘシ
第三十五條 ノ二 前條第一號ニ依リ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再ヒ入學ヲ志願スルトキハ其ノ身體ヲ検査シタル上同一學年以下ニ限り之ヲ許可スルコトアルヘシ
第三十六條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス
第五節 成績考査、修了及卒業

第三十七條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス
第三十八條 各學科目ハ之ヲ一ノ評點科目トス但毎週教授時數ヲ顧慮シ之ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツコトアルヘシ
教育中教育實習ハ之ヲ二ノ評點科目ト看做ス各評點科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高トス
第三十九條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ平素ノ學業ノ成績又ハ試験及平素ノ學業

品行修ラサル者

三 二回同一學年ニ止レル者

四 本校教育ノ趣旨ニ適セサル者

ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム
第四十條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ
各學期成績評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム但
第四學年ニ於テハ第一學期及第二學期成績
評點ノ和ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ學年
成績ト看做ス

第四十一條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成
績評點ノ和ヲ四除シタルモノヲ八倍シ之ニ
教育實習ノ成績評點ヲ加ヘ十除シテ之ヲ定ム

第四十二條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成
績評點全課程ノ卒業ハ卒業成績評點ニ依リ
之ヲ認定ス

第四十三條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテ
ハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

校印

卒業證書	族籍	年月日生
------	----	------

右者當校何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ
之ヲ證ス

第號	校印	卒業證書	族籍	年月日生
----	----	------	----	------

前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ
様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第四十四條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生
徒ニハ其ノ學業成績ヲ顧慮シ規定ノ學科目
中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアル
ヘシ

第四十五條 第四學年第三學期ニ於テ各學科
生徒ヲシテ附屬學校幼稚園ニ於テ教育實習
ニ從事セシム

教育實習ニ從事スル生徒ヲ教生ト稱ス

第四十六條 教生ハ教育實習中附屬學校幼稚
園主事ノ指揮監督ヲ受ク

第四十七條 附屬學校幼稚園主事ハ教育實習
細則ヲ定メ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第四十八條 各學科ノ學科目中一科目又ハ數
科目ヲ專攻セムトスル者ノ爲ニ研究科ヲ置
ク

第四十九條 研究科ノ修業年限ハ一箇年以上
二箇年以下トス

第五十條 研究科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ
本校卒業者又ハ試験ニ依リ之ト同等以上ノ

學力ヲ有スト認メタル者タルヘシ

第五十一條 研究科ニ入學セムトスル者ハ別
ニ定ムル様式ニ依ル入學志願票、履歴書及身
體檢查書ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ但本
校卒業後直ニ入學セムトスル者ニ在リテハ
身體檢查書ヲ要セス

第五十二條 入學志願者ノ學力、人物及研究學
科目等ヲ考查シ適當ト認メタルトキハ教授
設備ニ差支ナキ場合ニ限り入學ヲ許可ス

第五十三條 第十五條乃至第十七條、第二十二
條乃至第二十四條、第二十八條乃至第三十三
條、第三十五條、第三十六條ハ之ヲ研究科生徒
ニ適用ス

第五十四條 研究科生徒ハ學校長ノ指定スル
指導教官ニ就キ研究ニ從事スヘシ

第五十五條 研究科生徒ハ修業期間ノ終ニ於
テ研究報告ヲ差出スヘシ

第六十五條 選科生ノ在學期間ハ四箇年トス
但特別ノ事情アルトキハ本文ノ期間ヲ伸縮
スルコトアルヘシ

第六十六條 第五條乃至第七條、第十五條乃至
第四十二條、第四十五條、第四十六條ハ之ヲ選
科生ニ適用又ハ準用ス

第六十七條 選科生ノ授業料ハ一學年金五拾
五圓トス

授業料ハ始業日後十五日以内ニ於テ其ノ學
年分ヲ完納スルカ又ハ其ノ學期分若ハ月分
ヲ分納スヘシ其ノ月分ヲ分納スル場合ニ於
テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

每學期又ハ毎月分納スル場合ニ於ケル其ノ
學期分又ハ其ノ月分ノ授業料額ハ左ノ通之
ヲ定ム

第三學期	金拾五圓
毎月	金五圓
第六十八條	既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但 臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當 スル金額ヲ返付ス
授業料ノ滯納二箇月以上ニ亘ル者ニハ出席 ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ	
第六十九條	所選科目ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ ハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム	
校印	<p>卒業證書</p> <p>族籍</p> <p>何生</p> <p>年月日</p>
右者當校何科中何々選科生トシテ成規ノ課程ヲ履修シ其 ノ業ナ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	
第 號	東京女子高等師範學校長位勸學位爵何某

第五十六條 前條ノ報告書ヲ審査シ合格ト認
メタルトキハ修了證書ヲ授與ス

第三章 専修科

第五十七條 女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校教員ノ缺乏ヲ充ス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトアルヘシ

第五十八條 專修科ノ學科目及其ノ程度並修業年限募集人員等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第五十九條 第十五條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十二條、第四十五條、第四十六條ハ專修科生徒ニ適用又ハ準用ス

第六十條 全課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某	年月日
第六十一條 女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル女子ニシテ各學科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セムトスル者アルトキハ教授上差支ナキ場合ニ限り選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ	第四章 選科生
第六十二條 選科生ニハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身及教育ヲ兼修セシム	第六十三條 選科生トシテ入學スルコトヲ得ル者ハ品行方正身體健全ニシテ所選科目ノ

附則	
第七十條	本規則ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ各學科目ノ程度及毎週教授時數ハ從前ノ規程ヲ參照シテ之ヲ定ム
第七十一條	昭和六年三月三十日改正規則附則 本規則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條	保育實習科ノ學科目ハ修身、教育、保育
第五條	各學科目ノ程度ハ左ノ如シ
教育	育兒法 保育法 乳兒幼兒保護事業概要
修身	生徒心得 道德要領
保育	教育學 兒童心理 教授法及管理法ノ大要
理科	自然研究 植物栽培 動物飼育
手工	圖畫 自在畫 考案畫
音樂	紙細工 粘土細工 きびから細工 簡易ナル木工
單音唱歌	重音唱歌 樂器使用練習

體操	體操			遊戲及競技			第六條 各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル	
	學科目	每週教授時數	修身	體操	遊戲及競技	音樂	手工	圖畫
理科	實習	一〇四	三	一	圖畫			
保育								
體操	計	三〇	二	三	二	二		

第七條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第九條 休業日ハ左ノ如シ

紀元節 皇后陛下御誕辰 春季皇靈祭

冬季休業日 新開校記念日 明治神嘗祭

春季休業日 春季皇靈祭

第十條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第十一條 保育實習科ニ入學スルコトヲ得ル

者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ
 一 身體健全品行方正ニシテ保姆タルニ適
 當ナリト認ムル者
 二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(二)又ハ(二)ノ
 學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於
 テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メ
 タル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコト
 ヲ得

(二) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
 (三) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業
 者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業
 年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同
 等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大
 臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者

(三) 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ
 依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗
 檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

(四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗
 檢定ニ合格シタル者
 三 年齡十六年以上ニシテ夫ヲ有セサル者
 第十二條 前條第二號ノ(二)又ハ(二)ニ該當スル
 入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ
 推薦ヲ要ス出身學校長又ハ當該學校長ニ於
 テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別
 ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者ノ入學志願
 票、履歷書、學業成績調査人物考定書、身體檢查
 書及戶籍謄本並寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ差出ス
 ニ差出スヘシ

第十三條 第十一條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當
 スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ム
 ル様式ニ依ル入學志願票、履歷書、身體檢查書
 及戶籍謄本並寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出ス
 ニ差出スヘシ

第十四條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務
 檢定ヲ受クル者

ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第十二
 條又ハ第十三條ニ掲記セル書類ノ外本屬長
 官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

第十五條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一二
 該當スル者ハ入學ヲ許可セス

一 身體虛弱ナル者
 二 精神機能ニ障碍有ル者
 三 急治ノ見込ナキ重症トロホームヲ患フ
 ル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得
 サル視力障害ヲ有スル者
 四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者
 五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル
 者
 六 高度ノ脊柱彎曲、著シキ畸形又ハ運動障
 碍ヲ有スル者
 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
 八 瘰ヲ患フル者

九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 一〇 惡性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血
 ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 一二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 一三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ
 异常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患ア
 ル者

第十六條 入學志願者ハ入學檢定料金參圓ヲ
 所定ノ期間内ニ納付スヘシ
 一セス
 第十七條 入學志願者ニ對シ選拔試驗、身體檢
 查及口頭試問ヲ行ヒ入學者ヲ選拔ス
 既納ノ檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付
 ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公
 告ス

第十八條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓

書ヲ差出スヘシ
第十九條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ
保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル
一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ
該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人
ニ就キ之ヲ定ムヘシ
第二十條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居
住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ
代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住
スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム
者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人
ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替
ヘシムルコトアルヘシ
第二十一條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定
ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
第二十二條 已ムヲ得サル事故ニ依リ退學セ

ムトスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ
連署ヲ以テ願出ツヘシ但疾病ノタメニ退學
セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添
付スヘシ
第二十三條 左ノ各號ノ一一該當セリト認メ
タル者ニハ退學ヲ命ス
一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
二 學業進マシテ成業ノ目途立タサル者
三 品行修ラサル者
四 本校教育ノ趣旨ニ適セサル者
第二十四條 授業料ハ一箇年金五拾五圓トス
前項ノ授業料ハ缺席ノタメニ之ヲ免除スル
コトナシ
第二十五條 生徒ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ
學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月
分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八
月分ヲ納付スルヲ要セス

校印	卒業證書	族 何籍	年 月 日 生
<small>右者當校保育實習科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因 テ茲ニ之ヲ證ス 年 月 日 東京女子高等師範學校長位勵學會何某</small>			
第一學期 四月十六日ヨリ同十八日マテ	第二學期 九月十七日ヨリ同十九日マテ	第三學期 一月十六日ヨリ同十八日マテ	每月 其ノ月五日ヨリ同七日マテ
第一學期 分又ハ毎月分ノ授業料額ハ左ノ通之 ヲ定ム	第一學期 第二學期 各金貳拾圓	第三學期 金拾五圓	每月 金五圓
第二十六條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但 臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當 スル金額ヲ返付ス	授業料ノ滯納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停 メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ 第二十七條 所定ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ 卒業證書ヲ授與ス 卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム	第一章 総則 第一條 附屬高等女學校ハ女子高等普通教育 ノ方法ヲ研究シ本校生徒ヲシテ之ヲ練習セ シムル所トス	第二條 附屬高等女學校ニ本科專攻科ヲ置ク 第三條 附屬高等女學校ノ修業年限ハ本科ニ 在リテハ五箇年、專攻科ニ在リテハ三箇年トス 第四條 附屬高等女學校本科ニ入學スルコト

音 樂	裁 縫	教 育	家 事	圖 畫	理 科	數 學	地 理	歷 史
二 歌單 音 唱	縫縫チ類普 通方ノ裁衣			一 考 案 生 畫 畫	二 動 植 物	三 算 術	日本 地	三 史 日本歷
二 歌重音歌單 音 唱歌輪唱	三 同上			一 同 上	二 生 動 物 衛	三 幾 何 數	外 國 地	三 同上
一 同上	三 同上			一 同 上	四 化 學 物	四 同 上	史 外 國歷	三 同上
一 同上	三 同上			二 住 衣 食	三 物 理 學	四 同 上	說 地 理 概 概	二 同上
(二) 同上	四 同上	(二) 保 育 教 育 法 學	四 家 事 業 實 踐 濟	一 寫 考 案 生 畫 畫	三 生 理 衛	三 幾 何 三 數 角 法 初 步	地理 概 說	日本 及 外 國 史
論 心 理 及 理	漢 文	國 語	修 身	學 科 目	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	體 操
二 心 理	三 講 讀	三 作 業	一 修 養 論	時 每 週 數	教 授 事 項	時 每 週 數	シ ム	三 競 遊 教 體 操 及
二 心 理 、 論 理	四 同 上	文 學 史	文 作 文	一 國 民 道 德	教 授 事 項	時 每 週 數	第五 學 年 ノ 外 國 語 (英 語)	四 ハ 之 ヲ ニ 減 ス ル コ ト ヲ 得 此 ノ 場 合 ニ 於 テ ハ 教 育 (二 ヲ 必 修 セ シ ム 第十 條 專 攻 科 各 部 ノ 各 學 科 目 ノ 教 授 事 項 及 每 週 教 授 時 數 ハ 左 表 ニ 依 ル 國 語 部
	四 講 讀	國 語 學 史	文 作 文	二 國 文 學 史	教 授 事 項	時 每 週 數	五 學 年 ノ 外 國 語 (英 語)	四 ハ 之 ヲ ニ 減 ス ル コ ト ヲ 得 此 ノ 場 合 ニ 於 テ ハ 教 育 (二 ヲ 必 修 セ シ ム 第十 條 專 攻 科 各 部 ノ 各 學 科 目 ノ 教 授 事 項 及 每 週 教 授 時 數 ハ 左 表 ニ 依 ル 國 語 部
	四 講 讀	國 語 學 史	文 作 文	二 國 文 學 史	教 授 事 項	時 每 週 數	五 學 年 ノ 外 國 語 (英 語)	四 ハ 之 ヲ ニ 減 ス ル コ ト ヲ 得 此 ノ 場 合 ニ 於 テ ハ 教 育 (二 ヲ 必 修 セ シ ム 第十 條 專 攻 科 各 部 ノ 各 學 科 目 ノ 教 授 事 項 及 每 週 教 授 時 數 ハ 左 表 ニ 依 ル 國 語 部

第五學年ノ音樂(二)之六月間意科目
第十條 專攻科各部ノ各學科目ノ教授事項及
每週教授時數ハ左表ニ依ル

シム
第五學年ノ外國語(英語)四ハ之ヲ二ニ減スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ教育(二)ヲ必修セ

計	體操
三	三 競遊教體 技戲練操 及
三	三 同上
三	三 同上
三	三 同上
(三)三	三 同上

第二章 學科課程

ヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス附屬高等女學校專攻科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス第五條 附屬高等女學校ノ生徒定員ハ本科ニ在リテハ凡五百名、專攻科ニ在リテハ凡百五十名トス

第二章 學科課程

第六條 本科ノ學科目ハ修身、公民科、國語、外國語(英語)、歷史、地理、數學、理科、圖畫、家事教育、裁縫、音樂體操トス但第五學年ノ音樂ハ隨意科目トス

第七條 專攻科ヲ國語部及家事部ニ分ツ國語部ノ學科目ハ修身、國語、漢文、心理及論理教育及美學、英語、歷史、地理、法制及經濟、體操習字トス但習字ハ隨意科目トス

家事部ノ學科目ハ修身、家事理、數學、裁縫及手藝圖畫、心理及論理、教育及美學、國語、法制及經濟體操トス

第八條 削除

第九條 本科ノ各學科目ノ教授事項及毎週教授時數ハ左表ニ依ル但夏季休業ノ前後各二週間以内八十八時迄、第三學期中ハ二十八時迄毎週教授時數ヲ減スルコトアルヘシ

一一八

七日ニ至リ專攻科ハ四月一日ヨリ四月十日ニ至ル	皇后陛下御誕辰 三月六日 春季皇靈祭 春分日
天長節 四月二十九日	第十五條 入學、在學、休學及退學
皇太后陛下御誕辰 六月二十五日	第十六條 入學志願者ハ別ニ定ムル志願票ニ所要事項ヲ記入シ検定料金五圓ヲ添ヘ指定ノ期間内ニ之ヲ差出スヘシ但本校附屬小學校第一部卒業者ニシテ引續キ本科ニ入學セムトスル者ハ検定料ヲ要セス
夏季休業 本科ハ七月二十一日ヨリ八月三十一日ニ至リ專攻科ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル	既納ノ検定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス
秋季皇靈祭 秋分日 十月十七日	第十七條 入學ヲ許可スヘキ者ハ入學志願者中學力及身體ノ検査ニ合格シタル者ニ就キ之ヲ選定ス
神嘗祭 明治節 十一月三日	第十八條 願ニ依リ退學シタル者一箇年以内入學ヲ願出ツルトキハ同一學年以下ニ限
新嘗祭 開校記念日 十一月二十三日	
冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル	
紀元節 二月十一日	

リ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ
第十九條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期
限迄ニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ但本科卒
業者ニシテ引續キ専攻科ニ入學スル者前條
ニ依リ入學スル者ハ此ノ限ニ在ラス
既納ノ入學料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付
セス

第二十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ保護
者ヲ届出ツヘシ

保護者ハ父兄之ニ當リ在學中學校ト協定シ
テ生徒ノ監督指導ニ任スヘキモノトス但本
文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後
見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 保護者東京市又ハ其ノ附近ニ居
住セサルトキハ別ニ代理人ヲ定メ届出ツヘ
シ

代理人ハ東京市又ハ其ノ附近ニ居住スル丁

年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシ
テ保護者ノ責務ヲ遂行スルニ足ル者タルヲ
要ス

第二十二條 保護者又ハ代理人ノ住所等ニ變
更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク届出ツヘシ

第二十三條 保護者又ハ代理人死去若ハ他ノ
事故ニ由リ其ノ義務ヲ盡ス能ハサルニ至ル
トキハ他人ヲ以テ之ニ代へ直ニ届出ツヘシ

第二十四條 疾病其ノ他ノ已ムヲ得サル事由
ニ由リ缺席缺課遲參又ハ早退スルトキハ其
ノ日時及事由ヲ記シ保護者又ハ代理人ヨリ
届出ツヘシ

第二十五條 已ムヲ得サル事故ニ由リ二箇月
以上課業ニ就ク能ハサル見込ノ者ニ對シテ
ハ當該學年間ニ限り休學ヲ許可スルコトア
ルヘシ

休學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護
者

者ヨリ願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ休學セムト
スルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十六條 已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セ
ムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護者ヨリ
願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ退學セムトスルト
キハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ
退學ヲ命ス

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メ
タル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メ
タル者

三 引續キ一箇年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナク引續キ一箇月以上缺席
シタル者

五 前各號ノ外本校教育ノ趣旨ニ適セスト
認メタル者

第五章 成績考査修了及卒業

第二十八條 各學期ノ終ニ於テ其ノ學期間ニ
於ケル生徒ノ學業成績ヲ考査シ各學年ノ終
ニ於テ其ノ各學期ノ學業成績ニ依リ其ノ學
年ノ課程ノ修了ヲ認定ス

最終學年ノ課程ヲ終了シタル者ハ全課程ヲ
卒ヘタルモノトス

第二十九條 全課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證
書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第一樣式(本科)

校印	卒業證書	族籍
	何某	年月日生
第號	右者當校附屬高等女學校本科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒 ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	年月日
	東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某	

第二様式(専攻科)

校印	卒業證書	族籍	年月日生
右者當校附屬高等女學校專攻科何部ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ了ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス			
年月日	東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某		
第號			

第六章 授業料

第三十條 授業料ハ一學年ニ就キ本科ニ在リテハ金四拾九圓五拾錢、専攻科ニ在リテハ金五拾五圓トス。

第三十一條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但シ毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス。

第一學期 四月十九日ヨリ同二十三日マテ

第二學期 九月十二日ヨリ同十六日マテ

學期、月	納額		事攻科額
	第一學期、第二學期	各金 拾 八 圓	
第三學期	金拾參圓五拾錢	金拾五圓	金 五 圓
每月	金四圓五拾錢	金	五 圓
第三十二條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル全額ヲ返付ス。			
授業料ノ滯納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停			

メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第三十三條 授業料ハ缺席休學等ノ爲ニ之ヲ免除スルコトナシ

附則

第三十四條 本則ハ昭和二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ各學科目ノ教授事項及毎週教授時數ハ從前ノ規程ヲ參照シテ之ヲ定ム

昭和三年十二月十日改正規則附則

第三十五條 本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ教授事項毎週教授時數ニ關シテハ其ノ生徒ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ準ス

昭和六年三月三十日改正規則附則

第三十六條 本則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

四 東京女子高等師範學校附屬

小學校規則

(本規則中第三部ニ關するモハ試ニ施行シムアルモノナリ)

- 第一條 附屬小學校ハ普通教育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ教育ノ方法ヲ練習セシムル所トス
- 第二條 附屬小學校ヲ第一部、第二部、第三部トス
- 第三條 第一部ハ單式學級ニ編制セル女兒ノ尋常小學校ニシテ附屬高等女學校ニ連續スルモノトス
- 第四條 第二部ハ複式學級ニ編制セル男兒女兒共學ノ尋常小學科並ニ複式學級ニ編制セル女兒ノ高等小學科ヲ以テ組織セル尋常高等小學校トス
- 第五條 第三部ハ單式學級ニ編制セル男兒女兒共學ノ尋常小學校トス

第六條 附屬小學校高等小學科ノ修業年限ハ
二箇年トス

第七條 附屬小學校ノ教科目ハ左ノ如シ
尋常小學科ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、鄉
土科、圖畫、手工作業、唱歌、體操トシ女兒ニハ裁
縫ヲ加フ但郷土科及作業ハ第三部ニ限ル

高等小學科ハ修身、國語、算術、國史、地理、理科、圖
畫、手工、唱歌、體操、實業(商業、家事)裁縫、外國語(英
語)トス但外國語(英語)ハ隨意科目トス

第八條 削除

第九條 各部兒童ノ定員及學級ノ編制ハ左ノ
如シ但特別ノ事情アルトキハ本文ニ據ラサ
ルコトアルヘシ

第一部ノ兒童定員ハ凡二百四十人トシ六學
級ニ編制ス

第二部ノ兒童定員ハ凡百八十人トシ四學級
ニ編制ス

第十條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ
四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期
ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三
學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至
ル

前後各二十日以内ニ於テハ之ヲ十八時マテ
ニ減スルコトアルヘシ

第十一條 各學年ノ教授程度及每週教授時數
ハ別表ニ依ル但毎週教授時數ハ夏季休業ノ
日タル祭日、祝日及日曜日

第十二條 削除

第十三條 休業日ハ左ノ如シ
一月一日昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休
業年月日

春季休業 四月一日ヨリ同月七日マ
ニ

皇后陛下御誕辰	三月六日	第三部ノ兒童定員ハ凡百八十人トシ六學級 ニ編制ス
皇太后陛下御誕辰	六月二十五日	第十四條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム
夏季休業	七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ	第十五條 入學期ハ每學年ノ始トス但缺員アルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ 第十六條 入學ヲ願フ者ハ左式ノ履歷書ヲ差 出スヘシ
開校記念日	十一月二十九日	第十七條 保護者ニシテ東京市若ハ附近ニ居 住セサル場合ニ於テハ代理人ヲ定メテ届出 ツヘシ保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近 ニ居住シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者 ニ限ル
冬季休業	十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ	第十八條 授業料ハ兒童一人ニ就キ第一部ニ 在リテハ一學年金參拾參圓第二部ニ在リテ ハ尋常科ニ於テ一學年金貳拾貳圓、高等科ニ 於テ一學年金五圓五拾錢、第三部ニ在リテハ 一學年金參拾參圓トス
履歷書	道廳府縣華士族平民 誰何女(男)妹弟戸主等	本籍道廳府縣何區市町村何番地 住所東京府何郡區市町村何番地 第何部何科何學年志願
年月日生	某(印)	
用紙半紙	道廳府縣華士族平民	

七

第十九條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ
學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月

第二十一條 學年中途ニ於テ入學シタル兒童ノ授業料ハ其ノ入學シタル月分ヨリ之ヲ納付スヘシ

第一學期 四月十日ヨリ同十四日マテ
第二學期 九月五日ヨリ同九日マテ

臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當

十四日マテ其ノ他ノ月ハ其ノ月
五日ヨリ同七日マテ

メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

定ム
納題

第二十四條 學年ノ終ニ於テハ其ノ學年間ノ

第三學期	金九圓	各金拾貳圓	各金八圓	各金貳圓
	金六圓	金壹圓五拾錢		

第二十五條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニ

第二十條 削除

卷之三

100

ヘシ

第一號書式

シテ其ノ旨保護者ヨリ申出ツヘシ
第二十九條 無届缺席一箇月ニ及フ者ハ除籍

年月日生
常高等小學校第何學年ノ課

第三十條 當校教育ノ趣旨ニ適セスト認ムル
者ニハ退學ヲ命ス

卷之二

第三十一條 本則ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

右ハ當校附屬小學校第何部ニ於テ
何箇年ノ高等小學科ノ全
教科ヲ修了セシコトヲ證ス

第三十二條 本則ハ昭和六年四月一日ヨリ之
ア施行ス

二十六條 児童又ハ保護者ノ轉居シタル時

第三十三條 本則ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但第十八条ハ現ニ在學スレ各部第

ハ缺席スルトキハ其ノ旨保護者ヨリ届出ツ

三七

100

卷之三

算術	國語	修身	數學	裁縫
四 ナ方數百 ル及計簡書唱下 算易キヘノ	九 話綴書讀文ナ字須名、 シリキミノル及知、音、 方方方普通易文常假	第一學年 二道徳ノ要	第一學年 時數週度	手工一八 簡易ナル細工
四 ナ方數千 ル及計簡書唱下 算易キヘノ	一 話綴書讀普近ノ日假 シリキミ通易文常名 方方方文ナ字須 ノル及知	第二學年 二道徳ノ要	第二學年 時數週度	手工二一 簡易ナル細工
五 算整數ノ計	一 話綴書讀普近ノ日 シリキミ通易文常 方方方文ナ字須 ノル及知	第三學年 二道徳ノ要	第三學年 時數週度	手工二二 簡易ナル細工
五 ナ及ノ算整 計前唱數 算易ヒ小ノ ナ方數計	一 話綴書讀普ノ日 シリキミ通文常 方方方文ナ字須 ノル及知	第四學年 二道徳ノ要	第四學年 時數週度	手工二三 簡易ナル細工
四 珠分小數 計ノ計ノ算 算	八 話綴書讀普ノ日 シリキミ通文常 方方方文ナ字須 ノル及知	第五學年 二道徳ノ要	第五學年 時數週度	手工二四 簡易ナル細工
四 珠步比 合 算算例	八 話綴書讀文文日 シリキミノ字常及須 方方方普通ノ	第六學年 二道徳ノ要	第六學年 時數週度	手工二五 簡易ナル細工
四 珠幾の數分小整 何計代 算形算數數數	六 話綴書讀文文日 シリキミノ字常及須 方方方普通ノ	第一學年 二道徳ノ要	第一學年 時數週度	手工二六 簡易ナル細工
四 日珠幾の數步比 用何計代 算圖記算形算數算例	六 話綴書讀文文日 シリキミノ字常及須 方方方普通ノ	第二學年 二道徳ノ要	第二學年 時數週度	手工二七 簡易ナル細工

(別表) 第一部

體操		唱歌		圖畫		地理		地圖		算術		國語		修身		科學	
四	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	單形、簡單ナル	四	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	二直觀教授	七	易須知ノ文字及近讀ミ	假音、假名、日常音	一道德ノ要旨	第一學年	第一學年
及體操、教練、遊戲	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	單形、簡單ナル	四	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	二直觀教授	八	ノ文字及近讀易須知	假名、日常須知	一道德ノ要旨	第二學年	第二學年
三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	單形、簡單ナル	三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	二直觀教授	一	ノ文字及近讀易須知	日常須知	二道德ノ要旨	第三學年	第三學年
及體操、教練、遊戲	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	單形、簡單ナル	三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	二直觀教授	二	ノ文字及近讀易須知	日常須知	二道德ノ要旨	第四學年	第四學年
三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一單形、簡體	單形、簡單ナル	三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一簡單ナル形體	一	ノ文字及近讀易須知	日常須知	二道德ノ要旨	第五學年	第五學年	
及體操、教練、遊戲	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一簡單ナル形體	簡單ナル形體	三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一簡單ナル形體	二	ノ文字及近讀易須知	日常須知	二道德ノ要旨	第六學年	第六學年	
三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一簡單ナル形體	簡單ナル形體	三	及體操、教練、遊戲	狀	平易ナル單音唱	一簡單ナル形體	二	ノ文字及近讀易須知	日常須知	二道德ノ要旨	第六學年	第六學年	

地 理	國 史	算 術	國 語	修 身	日 科 學	時 數 週	第 一 學 年	英 語	裁 縫
第一三部									
			二	六	一	程	度	二	
		ル測ヘ闇小ナ 計リ方内ニル 算方及書於整 簡易方ノ數範	讀易須知發音、假名、假名、 リミナルノノ文及日常 方方、普通文字及近易方 及書ノ數範易方ノ ナ、數範	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
			四	一〇	一	程	度	二五	二
		計リ方通常方 算方及書ノ數 簡易方ノ數 ル測ヘ	方ルノ假名、 普文字及日常須知 書通文字及近易方 話キ文及日常須知 方、讀易ナ 及書ノ數範易方 ナ、數範	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
			四	一一	一	程	度	男女 五六	方方類通 常ノ縫裁ヒ衣
		整易數ノ計 算定	リ方普字日 方、書通文及日常須知 方、讀易ナ 話キ文及日常須知 方、讀易ミル文	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
			五	九	一	程	度	男女 五六	方方類通 常ノ縫裁ヒ衣
		定ナ書小數 計方唱算及 測易方	方普字日 方、書通文及日常須知 方、讀易ナ 話キ文及日常須知 方、讀易ミル文	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
			四	八	二	程	度	男女 五六	方方類通 常ノ縫裁ヒ衣
		珠ノ數整數 計算計算分數 小	シキ文及日常須知 方、讀易ミル文 及書通文字	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
			四	八	二	程	度	男女 五六	方方類通 常ノ縫裁ヒ衣
二	二	日本地理ノ大要	珠ノ數整數 計算計算分數 小	シキ文及日常須知 方、讀易ミル文 及書通文字	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年	第三學年
二	二	地理ノ大要	前學年ノ讀 其ノ讀	近易步比 知識ナル 經濟上	シキ文及日常須知 方、讀易ミル文 及書通文字	道德ノ要旨	時數週	第一學年	第二學年

國	史	地	理	圖	手	唱	體	實	家
			科	畫	工	歌	操	業	事
				一 單	一 單		四 及練體、競技、遊戲、戲教	及練體、競技、遊戲、戲教	
				一 單	一 單		四 及練體、競技、遊戲、戲教	及練體、競技、遊戲、戲教	
				一 形	一 形		三 及練體、競技、遊戲、戲教	三 及練體、競技、遊戲、戲教	
				一 形	一 形		三 及練體、競技、遊戲、戲教	三 及練體、競技、遊戲、戲教	
				二 現化常現及物植物象學ノ象自、物、上物、然鑑ノ理通ノ物動	二 現化常現及物植物象學ノ象自、物、上物、然鑑ノ理通ノ物動		二 ノ日本地理	二 ノ日本地理	
				二 現化常現及物植物象學ノ象自、物、上物、然鑑ノ理通ノ物動	二 現化常現及物植物象學ノ象自、物、上物、然鑑ノ理通ノ物動		二 ノ日本地理	二 ノ日本地理	
				二 初人象化通ノ鑑植物步身學常現物、及、動物現理ノ	二 初人象化通ノ鑑植物步身學常現物、及、動物現理ノ		二 ノ前學年ノ續	二 ノ前學年ノ續	
				二 人造ル物元素化學常現物、及、自動物現理ノ	二 人造ル物元素化學常現物、及、自動物現理ノ		二 ノ外國地理	二 ノ外國地理	
				二 大生作械簡易化合衛	二 大生作械簡易化合衛		二 ノ前學年ノ續	二 ノ前學年ノ續	
				二 ノ身造物器簡易化合衛	二 ノ身造物器簡易化合衛		二 地理ノ補習	二 地理ノ補習	
四	二	二	一 藝	一 體	一 作、製圖、手製	音 單音 唱歌 ナル複	遊體 戲操、及 競技練	商業 要家、經 濟住、不 看	一大病衣 要家、食 經濟住、 兒、看
四	二	二	一 藝	一 體	一 作、製圖、手製	音 單音 唱歌 ナル複	遊體 戲操、及 競技練	商業 要家、經 濟住、不 看	一大病衣 要家、食 經濟住、不 看

第三條 第一部ハ同年齢ノ幼兒ノミヲ以テ組 ヲ編制シ第二部ハ年齢ノ異ル幼兒ヲ相混シ テ組ヲ編制ス	第四條 附屬幼稚園ノ保育項目ハ遊戲、唱歌、觀 察、談話、手技等トス	第五條 幼兒ノ年齢ハ第一部ニ在リテハ満四 歳ヨリ小學校ニ就學スルマテトシ第二部ニ 在リテハ満三歳ヨリ小學校ニ就學スルマテ トス	第六條 幼兒ノ定員ハ第一部凡百二十名、第二 部凡九十名トス	第七條 一箇年ヲ分チテ三期トス	第一期 四月一日ヨリ八月三十日ニ至ル	第二期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル	第三期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル	第八條 保育時數ハ第一部ハ毎週二十五時ト シ第二部ハ毎週二十八時トス但夏季休業前 後各三週以内ハ第一部ニ在リテハ十八時マ テ、第二部ニ在リテハ二十一時マテ減スルコ トアルヘシ	第九條 休業日ハ左ノ如シ	祝日、大祭日及日曜日	春季 休業 四月一日ヨリ同七日ニ至ル	夏季 休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル	秋季 休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
---	--------------------------------------	--	----------------------------------	-----------------	--------------------	----------------------	-----------------------	---	--------------	------------	--------------------	----------------------	--------------------------

三、東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則

東京女子高等

師範學校附屬幼稚園八

第

二條
附屬

屬幼稚園ヲ

分チテ

第一部、第二部

ト

		理		鄉土科		三 キ事物現象ニ近		三 キ事物現象ニ近		三 郷土ノ國史的、地理的、社会的、理科的事象		二 象化學上ノ現物現象	
計		作業	手工	圖畫	裁縫	體操	唱歌	體操	唱歌	體操	唱歌	體操	植物、動物、礦物、鐵
一八				二 (單形、簡易ナル 形體)		四 及競技	平易ナル單音唱	四 及競技	平易ナル單音唱	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌
二四				二 (單形、簡易ナル 形體)		四 及競技	平易ナル單音唱	四 及競技	平易ナル單音唱	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌
二八				二 學校生活ニ伴 發表、勞作等	二 簡單ナル細工	一 單形、簡易ナ ル形體	女三 チノ縫針法、繕ヒ 方、縫ヒ方	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌
三〇				二 學校生活ニ伴 發表、勞作等	男三 簡單ナル細工	一 簡單ナル形體	女三 ヒ方、裁チ方、縫ヒ 方	三 及競技	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌	三 體操、教練、遊戲	一 唱歌
三〇				共同作業	二 學校生活ニ伴 發表、勞作等	男三 簡單ナル細工	一 簡單ナル形體	女三 ヒ方、裁チ方、縫ヒ 方	二 勤勞研究發	男三 簡單ナル細工、 製作	一 簡單ナル形體	二 勤勞研究發	二 勤勞研究發
三〇				共同作業	二 學校生活ニ伴 發表、勞作等	男三 簡單ナル細工、 製作	一 簡單ナル形體	女三 ヒ方、裁チ方、縫ヒ 方	二 勤勞研究發	男三 簡單ナル細工、 製作	一 簡單ナル形體	二 勤勞研究發	二 勤勞研究發

五 東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則

幼兒保育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ幼兒保育ノ方法ヲ練習セシムル所トス

第一條 東京女子高等師範學校附屬幼稚園ハ

第二條 附屬幼稚園ヲ分チテ第一部、第二部ト

履歴書	幼兒何某
一族稱	北海道廳、何府縣、華族、土族
本籍	北海道廳、何府縣何市區郡何町村何番地、何某幾男
女姉妹等	
住所	東京府市何區郡何町村何番地何某内
保護者	○職業及幼兒トノ關係、何官、何商、何社ノ何役等
他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其ノ家長ノ職業ヲ併記スヘシ	
出生地	一出生年月日
營養品	○生母ノ乳、乳母ノ乳、牛乳、奶粉等
養育場所	○自宅、乳母ノ家等
痘瘡第一期完了年月日(痘瘡經過年月日)	
生來著シキ疾病ニ罹リシコトノ有無及病狀病名等	
兩親ノ年齢及健否	
兄弟姉妹ノ數及健否	
右之通ニ御座候	
年月日	住所
保護者何某	

- 第十二條 保護者ニシテ東京市若ハ其ノ附近ニ住居ニ、住居セサル場合ニ於テハ代理者ヲ定メテ居出ツヘシ
- 第十三條 保育料ハ一箇年ニ就キ金參拾參圓トス
- 第十四條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ期分ノ保育料ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス
- 第一期 四月十六日ヨリ同十八日マテ
- 第二期 九月十七日ヨリ同十八日マテ
- 第三期 一月十六日ヨリ同十八日マテ
- 毎月 其ノ月五日ヨリ同七日マテ
- 毎期分又ハ毎月分ノ保育料額ハ左ノ通之ヲ定ム

第一期及第二期 金拾貳圓	ハ直ニ届出ツヘシ
第三期 金九圓	第十九條 幼兒缺席スルコト一週ヲ超ユルトキハ其ノ事由ヲ届出ツヘシ但幼兒傳染病ニ罹リタルトキハ直ニ其ノ病狀ヲ届出ツヘシ
毎月 金參圓	第二十條 退園セムト欲スルモノハ其ノ理由ヲ具シ保護者ヨリ其ノ旨申出ツヘシ
第十五條 一箇年ノ中途ニ於テ入園シタル幼兒ノ保育料ハ其ノ入園シタル月分ヨリ之ヲ納付スヘシ	附則
入園シタル月分ノ保育料ハ入園後七日以内ニ於テ之ヲ納付スヘシ	第二十一條 本則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十六條 既納ノ保育料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス	本則施行前ニ入學シタル幼兒ノ保育料ハ從前ノ通トス
第十七條 保育料ノ滞納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退園ヲ命スルコトアルヘシ	昭和四年三月十一日改正規則附則
第十八條 保育料ハ缺席ノタメニ之ヲ免除スルコトナシ	第二十二條 本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十九條 ノ二 刪除	昭和六年三月三十日改正規則附則
第二十条 幼兒又ハ保護者ノ轉居シタルトキ	本則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年十二月二十八日改正規則附則
第二十四條 本則ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則施行前ニ入園シタル幼兒ノ保育料ハ從前ノ通トス

六 東京女子高等師範學校生徒
獎勵費給與規定

第一條 本校生徒ニシテ學力優等品行方正ナル者又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子若ハ入學後非常ノ災害ニ遭遇シ家計上ニ著シキ變化ヲ來シ學資ニ困難ヲ生シタル者ニハ獎勵ノ爲月額金拾五圓以内ヲ支給スルコトアルヘシ但特別ノ事情アル者ニ對シテハ月額金貳拾五圓ヲ支給スルコトヲ得

第二條 獎勵費ハ其ノ月十五日以後ニ於テ支給命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限リ月額

ノ半額トス
第三條 獎勵費ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル場合ニハ其ノ期間獎勵費ヲ支給セス但此ノ場合ニ於テハ日割計算トス

第四條 獎勵費ハ其ノ月二十三日(七月ニ在リテハ五日)休業日ナレハ繰下クニ之ヲ支給ス但半途退學者卒業者死亡者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

七 東京女子高等師範學校授業費償還ニ關スル事項
一 女子高等師範學校規程第八條同卒業者服務規則第五條ニ依リ償還セシムヘキ授業費文科
研究科(文科ニ屬スルモノ)
專修科(文科ニ屬スルモノ)
同上卒業者
月額金五圓

年額金六拾圓

理科
家事科
研究科(理科並ニ家事科ニ屬スルモノ)
專修科(理科並ニ家事科ニ屬スルモノ)
同上卒業者
月額金七圓
年額金八拾圓

八 外國人特別入學規程細則
第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ入學ヲ希望スル者アルトキハ設備上差支ナキ場合ニ在リテハ本校各科及附屬高等女學校專攻科聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ
第二條 第一條ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ毎年三月末之ヲ定ム
第三條 入學志願者ニ對シテハ試験ヲ以テ相當ノ學力を認定スヘキモノトス
第四條 入學志願者ハ入學検定料トシテ金參

圓ヲ納付スヘシ但既納ノ検定料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス
第五條 聽講生ハ授業料トシテ本校各科附屬高等女學校專攻科各部共ニ一學年金四拾圓ヲ每學年四月十五日(休日ナラハ繰下ク)ニ納付スヘシ但明治四十四年文部省令第十六號ニ依リ入學シタル者ニハ授業料ヲ減額シ又ハ徵收セサルコトアルヘシ
第六條 半途退學其ノ他如何ナル事情アルモ既納ノ授業料ハ返還セサルモノトス但全學年間休學ヲ命シタル場合ニハ之ヲ徵收セス
第七條 聽講生在學中ハ特ニ定メラレタル本校敎官ノ指揮監督ヲ受クヘキモノトス
第八條 聽講生ニシテ成規ノ課程ヲ修了シ成績佳良ト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ
第九條 本校諸規則ニシテ本則ニ抵觸セサル

モノハ聽講生ニ適用ス
附則

第十條 本則ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

九 聽講生編入規程

第一條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ全課程ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ願ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之ヲ本科ニ編入スルコトアルヘシ

第二條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ課程中ノ一科目又ハ數科目ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ願ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之ヲ選科生ニ編入スルコトアルヘシ

第三條 前二條ニ依リ本科又ハ選科生ニ編入シタル者ノ授業料ニ付テハ本校規則第六十

七條及第六十八條ヲ準用又ハ適用ス但朝鮮人及臺灣人ニシテ本科ニ編入シタル者ノ授業料ハ此ノ限ニ在ラス

十 外國政府委託留學生ニ關スル規則

第一條 外國政府ノ本校ニ委託シタル留學生ニシテ本校ニ修學ヲ許可シタル者ハ特別聽講生ト稱ス

第二條 特別聽講生ニハ入學検定料及授業料ノ徵收ヲ免除ス

第三條 特別聽講生在學中ハ特ニ定メタル本校教官ノ指導監督ヲ受クヘシ

第四條 特別聽講生ニシテ在學中ノ成績佳良ナル者ニ對シテハ誼衡ノ上其ノ履修シタル學科目ノ修習證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第五條 本校諸規則細則及内規ニシテ本則ニ抵觸セサルモノハ之ヲ特別聽講生ニ準用ス

第六條 本則ハ昭和十年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス
附則

第六 細則

一 東京女子高等師範學校規則

施行細則

第一章 選修科目及隨意科目

第一條 規則第十二條乃至第十四條ノ各第二項ニ依リ生徒ヲシテ選修セシムヘキ科目ハ生徒ノ志望順位及當該科目ノ學業成績ト教授上ノ都合トヲ考量シテ之ヲ定ム

第二條 第二學年生徒ハ其ノ選修スヘキ科目ノ志望順位ヲ定メ第三學期ノ指定期間内ニ教務課ニ届出ツヘシ

第三條 隨意科目ノ學年ノ中途ニ於テ其ノ履修ヲ開始シ又ハ中止スルコトヲ得ス

第三條ノ二 隨意科目ヲ履修シ又ハ其ノ履修ヲ中止セムトスル者ハ前學年第三學期ノ指

定期間内ニ教務課ニ届出ツヘシ

第二章 式日

第四條 紀元節、天長節、明治節、皇后陛下御誕辰

皇太后陛下御誕辰及一月一日ニハ拜賀式ヲ行フ

拜賀式ノ次第八左ノ通之ヲ定ム

一 生徒着席

二 職員着席

三 校長着席

四 敬禮

五 御帳ヲ開ク

六 御影ヲ奉拜ス

七 唱歌

八 生徒總代祝賀

九 教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

十 唱歌(勅語奉答)
 十一 學校長式辭
 十二 唱歌(君が代)
 十三 御帳ヲ閉ツ
 十四 敬禮
 十五 學校長職員生徒順次退場
 前項第七號ノ唱歌ハ一月一日紀元節天長節
 明治節ニ在リテハ其ノ歌皇后陛下御誕辰及
 皇太后陛下御誕辰ニ在リテハ校歌(みがかす
 ば)トス紀元節ニハ第九號「教育ニ關スル勅語」
 ノ次ニ憲法發布勅語ヲ加フ
 第五條 開校記念日ニハ記念式ヲ行フ
 記念式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 着席
 二 敬禮
 三 唱歌(校歌みがかすば)
 四 開校ノ日ニ於テ昭憲皇太后ヨリ賜リタル
 令旨及開校五十年記念日ニ於テ皇太后

陛下ヨリ賜リタル令旨ヲ奉讀ス
 五 學校長式辭
 六 生徒總代祝辭
 七 卒業者總代祝辭
 八 唱歌(君が代)
 九 敬禮
 退場
 第六條 生徒入學ノ日及卒業ノ日ニハ入學式
 及卒業式ヲ行フ
 入學式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 生徒着席
 二 職員着席
 三 學校長着席
 四 敬禮
 入學ノ許可ヲ申渡ス
 入學生徒總代誓書ヲ朗讀ス
 入學生徒總代誓書ヲ呈出ス
 八 學校長告辭
 九 敬禮

十 學校長職員生徒順次退場
 卒業式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 一 着席
 二 唱歌(みがかすば)
 三 唱歌(みがかすば)
 四 卒業證書ヲ授與ス
 五 唱歌(おもへばはてなき)
 六 學校長告辭
 七 文部大臣祝辭
 八 卒業者總代謝辭
 九 敬禮
 十 退場

第三章 入學及在學
 第七條 規則第二十條第二項ノ推薦書入學志願票履歷書學業成績調查及人物考定書並ニ身體檢查書ノ様式ハ附錄第一號乃至第五號ノ通之ヲ定ム
 第八條 規則第二十八條ノ誓書ノ様式ハ附錄

第六號ノ通之ヲ定ム
 第九條 規則第三十一條ノ保證書ノ様式ハ附錄第七號及第八號ノ通之ヲ定ム
 第十條 保證人又ハ代理保證人ノ住所身上等ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク届出ツヘシ
 第十一條 保證人又ハ代理保證人死去若ハ他人ノ事故ニ由リ其ノ業務ヲ盡スコト能ハサルニ至ルトキハ他人ヲ以テ之ニ替へ更ニ規則第三十一條ノ手續ヲナスヘシ

第十二條 文科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル
 第四章 成績考查

漢文	國語	教育	修身	學科		學年
				第一學年	第二學年	
一	二	一	一			
一	二	一	一			
一	三	一	一			
一	三	二	二			

(第一學年)
 (第二學年)

合計	體操	音楽	外國語	地理	歴史	第十三條 理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル		
						第一學年	第二學年	第三學年
1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1
(2)	1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
1	1	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	2	1

合計	體操	音楽	外國語	手芸	圖畫	理科	裁縫	家事	教育	修身	第十四條 家事科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル		
											第一學年	第二學年	第三學年
1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	2	(2)	(2)	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	(2)	(2)	2	2	2	2	2

第十五條 教官ハ規則第三十九條ニ依リ毎學期末ニ於テ其ノ擔任ニ屬スル評點科目ニ就キ各生徒ノ學期成績評點ヲ定ムヘシ	前項ノ評點ハ所定ノ評點表ニ之ヲ記入シ試験ノ問題ト共ニ指定ノ期日迄ニ教務課ニ差出スヘシ	第十六條 一評點科目ヲ數人ニテ擔當スルトキハ當該學科目主任ハ各人ノ擔當スルモノニ就キ評點ノ割合ヲ定メ學校長ノ承認ヲ受クヘシ	第十七條 一學科目ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツ場合ニ於テ教授事項ニ區分ヲ立テ難キトキハ其ノ學科目ノ成績評點ヲ以テ各評點科目ノ成績評點ト見做ス	第十八條 演習及實驗實習ニ關スル分科目並ニ左ノ學科目又ハ分科目ノ成績評點ハ平素ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤情ヲ參酌シテ之	文科 國語中講讀、習字、作文及作歌 漢文 理科 外國語 音樂 體操(體育概論) 家事科 裁縫 圖畫 手藝 外國語 音樂 體操(體育概論)	ヲ定ムヘシ但隨時一樣ノ演習ヲ課スルコトヲ得	第十九條 前條外ノ學科目及分科目ノ成績評點ハ試驗及平素ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤情ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ	第二十條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ某評點科目ノ試驗ニ缺席シタル者ニシテ當該學期ニ於ケル其ノ科目ノ出席總時數教授總時數ノ二分ノ一以上ナル者ニ對シテハ認定試驗評點ヲ付與ス	前項ノ認定試驗評點ハ他ノ二學期(二學期ニ
---	--	---	--	--	---	-----------------------	---	---	----------------------

テ完了スル科目ニ在リテハ他ノ一學期ノ試験評點ヲ勘案シテ定メタルモノノ十分ノ八トス
第二十一條 左ノ各號ノ一二該當スル者ニハ認定試験評點ヲ付與セス
一 試験ニ缺席シタル理由正當ナラスト認メタル者
二 當該學年ニ於テ某評點科目ノ試験ニ缺席スルコト二回以上ニ及フ者
第二十二條 左ノ各號ノ一二該當スル者ニ對シテハ追試験ヲ許可スルコトアルヘシ但第三號ニ該當スル者ニ對シテハ一學年一回ニ限ル
三 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ三科目アルモ其ノ評點何レモ五十五以上ナル者又ハ一ハ五十以上ニシテ他ノ二ハ五十五以上ナル者
二十四條 當該學年ニ於ケル缺席日數、缺課回數ノ夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス之ヲ原學年ニ止ムルコトアルヘシ
二十五條 各學年ノ各學科目ノ平均評點六十未滿ノ者ニ對シテハ規則第四十四條第二項ヲ準用ス
第五章 教育實習

第二十六條 教育實習ノ期間ヲ分チテ左ノ二期トス
第一期 一月八日ヨリ二月十一日マテ
第二期 二月十二日ヨリ三月十七日マテ
第二十七條 各學科ノ教生ヲ分チテ二組トシ各組交番ハ附屬高等女學校及小學校ニ於ケ
三 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ三科目アルモ其ノ評點何レモ五十五以上ナル者又ハ一ハ五十以上ニシテ他ノ二ハ五十五以上ナル者
二十四條 當該學年ニ於ケル缺席日數、缺課回數ノ夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス之ヲ原學年ニ止ムルコトアルヘシ
二十五條 各學年ノ各學科目ノ平均評點六十未滿ノ者ニ對シテハ規則第四十四條第二項ヲ準用ス
第五章 教育實習

第二十六條 教育實習ノ期間ヲ分チテ左ノ二期トス
第一期 一月八日ヨリ二月十一日マテ
第二期 二月十二日ヨリ三月十七日マテ
第二十七條 各學科ノ教生ヲ分チテ二組トシ各組交番ハ附屬高等女學校及小學校ニ於ケ
三 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ三科目アルモ其ノ評點何レモ五十五以上ナル者又ハ一ハ五十以上ニシテ他ノ二ハ五十五以上ナル者
二十四條 當該學年ニ於ケル缺席日數、缺課回數ノ夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス之ヲ原學年ニ止ムルコトアルヘシ
二十五條 各學年ノ各學科目ノ平均評點六十未滿ノ者ニ對シテハ規則第四十四條第二項ヲ準用ス
第五章 教育實習

二 父母、祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニ丁リ其ノ他非常ノ事情起リタルタメ其ノ評點科目ノ試験ニ缺席シタル者
三 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ某評點科目ノ試験ニ缺席シタル者ニシテ當該學期ニ於ケル其ノ科目ノ出席總時數教授總時數ノ三分ノ一ニ満タサル者
前項第一號及第三號ニ該當スル者ノ試験評點ハ追試験評點ノ十分ノ八トス
第二十二條ノ二 追試験ハ次學期ノ始ニ於テ第二十三條 學年成績ノ平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一二該當スル者ハ其ノ學年ノ課程ヲ終了シタル者トス
一 評點科目ノ評點六十未滿ノモノナキ者
二 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ二科目以内アルモ其ノ評點五十以上ナル者

東京女子高等師範學校入學志願票							
・入學資格	・氏名	・本籍	・生日	・志望	・學科	・受驗地	・受信場所
大昭 正和 年 月	(氏名ノ漢字ニハ右傍ニ振假名ヲ施スヘシ) 専門學校入學ニ關シ無(試験検定ヲ受クル資格)		明治正 月	第一志望	第二志望		
		縣府道	年 日	科	科		
		番號					
		學業成績					
		人物考定					
		體格					

▲本票記入方ニ關シテハ裏面ノ注意ナ見ルヘシ
(第三號)

注 意

<p>1 本票ハ折ルヘカラス</p> <p>2 本票各欄中ニ印アルモノニ限リ夫々遗漏ナク記入シ不用ノ印刷文字ハ抹消スヘシ</p> <p>3 本票ニ記入スルニハ黒インキベンチ用フベシ字體ハ楷書トス</p> <p>4 女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校及專門學校入學者検定規程ニ依ル指定學校ノ卒業者又ハ卒業見込者ハ入學資格欄中ニ其ノ卒業シタル又ハ卒業スヘキ年月及學校名（學校所在ノ道府縣名ヲ冠スルコト）ヲ記入シ「卒業」又ハ「卒業見込」ノ文字ヲ殘シテ他ヲ抹消シ専門學校入學者検定規程ニ依リ試験検定ニ合格シタル者ハ其ノ年月及合格證書ヲ交付セラレタル學校名ヲ記入シ試験検定ノ文字ヲ殘シテ他ヲ抹消スヘシ又同規程ニ依リ専門學校入學ニ關シ無試験検定ヲ受ケル資格ヲ有スル者ハ其ノ文字下ノ括弧内ニ其ノ資格（何々免許</p>	<p>状所有等）ヲ記入シ他ヲ抹消スヘシ</p> <p>5 氏名欄ニ記入スヘキ氏名ハ戸籍面ノモント相違セサルヤウ注意スヘシ</p> <p>6 理科ヲ第一志望學科トスル者ニシテ家事科ヲ第二志望學科トシ、家事科ヲ第一志望學科トスル者ニシテ理科ヲ第二志望學科トスル者ハ志望學科欄ニ第一第二ノ志望學科名ヲ記入スヘシ文科ヲ志望スル者及理科、家事科ヲ志望スル者ニシテ第二志望學科ナキ者ハ第二志望學科ノ欄ニ何等記入スヘカラス</p> <p>7 受信場所欄ニハ本票提出ノ日ヨリ翌年四月末日迄確ニ且速ニ郵便物ヲ受ケ得ヘキ場所ヲ定メ記入スヘシ</p> <p>8 本票提出後ハ何等ノ事情アルモ記入事項ノ變更ナシ許サズ但改メテ再出願ノ手續ヲナス場合ハ此ノ限りナラス</p>
--	---

(第四號) 履歷書

學業	年月日
卒業	何學校何科第何學年ニ入学
何所ニテ何教員免許狀受領	年月日
何學校ニテ試験検定合格證書受領	年月日
業務	何道廳府縣ニテ何職拜命
何事由ニ依リ退職	年月日
何業ニ從事	年月日
何事由ニ依リ廢業	年月日
何事由ニ依リ何賞	年月日
何事由ニ依リ何罰	年月日
何事由ニ依リ何罰	年月日
何事由ニ依リ何ト氏名ヲハム	年月日
上記	何年月日生

(第五號) 身體檢查書

氏名	年月日	身長	體重	胸圍	脊柱	體格
		cm	kg	cm	cm	cm
		ノ盈差		ノ盈差	ノ盈差	ノ盈差

〔記載上ノ注意〕
學業ノ箇所ニハ學歴ニ就テハ中等學校程度以上ニ限り記
載シ放員免許狀試験合格證書ニ就テハ別ニ其ノ寫ヲ添付
スヘシ

(第六號) 身體檢查書

氏名	年月日	身長	體重	胸圍	脊柱	體格
		cm	kg	cm	cm	cm
		ノ盈差		ノ盈差	ノ盈差	ノ盈差

〔記載上ノ注意〕
學業ノ箇所ニハ學歴ニ就テハ中等學校程度以上ニ限り記
載シ放員免許狀試験合格證書ニ就テハ別ニ其ノ寫ヲ添付
スヘシ

(第七號) 保證書

印紙	東京女子高等師範學校何科生徒
年月日	東京女子高等師範學校何科生徒
保謹人	東京女子高等師範學校何科生徒
現住所	東京女子高等師範學校何科生徒
本人トノ權柄	東京女子高等師範學校何科生徒
昭和年月日検査住	東京女子高等師範學校何科生徒
學校醫又ハ醫師	東京女子高等師範學校何科生徒
何某	東京女子高等師範學校何科生徒

(記載上ノ注意)
検査ノ表記ハ度ハ cm 單位衡ハ kg ナ以テ單位トシ各單位以
下一位ニ止ムヘシ

(第八號)

代理保證書
東京女子高等師範學校何科生徒
何某

右者今般御校ニ入學許可相成候處保證人何某儀御校所在地
チ距ルコト遠キ土地ニ居住致居候間御校ノ要求アル場合ハ
拙者ニ於テ其ノ義務ヲ代理可仕此段保證仕候也

第三條 前條但書ニ依リ通學ヲ命スル場合ニ
ハ第三學年以上ノ生徒中通學ヲ希望スル者
ニ就キ選定スルヲ常例トス

第四條 寄宿舍生徒ハ生徒主事ノ許可ヲ得ル
ニアラサレハ外泊、歸郷又ハ旅行スルコトヲ
アルヘシ

第五條 寄宿舍生徒ニシテ疾病ニ罹リタル者
アルトキハ其ノ種類症狀ニ依リ外泊、通學又
ハ移轉療養ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 夏季休業中ハ寄宿舍ヲ閉鎖ス

第七條 寄宿舍生徒室ノ人員ノ配當ハ生徒主
事之ヲ定ム

第八條 寄宿舍ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ
得ス

第一條 寄宿舍ハ生徒ヲ寄宿セシメ本校ノ教
育ト相俟テ學業ヲ自習シ德行ヲ磨礪シ特ニ
和衷協同ノ精神ヲ涵養シ兼テ事務ヲ練習セ
シムル所トス

二 寄宿舍規程

經テ生徒主事之ヲ定ム
第九條 寄宿舍生徒ハ規約ヲ定メ學校長ノ認
可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ規約ヲ以テ定ムヘ
キ事項左ノ如シ

第一 舍内ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト
二 舍内ノ清潔及衛生ニ關スルコト
三 炊事々務ニ關スルコト
四 其ノ他必要ナル事項

第十條 寄宿舍ニ左ノ役員ヲ置ク
一 寄宿舍各寮二名
一 寄宿舍各室一名
一 委員若干名
寮總代ハ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ規則規約ノ
實行ヲ督勵ス
室總代ハ其ノ室ノ常務ヲ取扱ヒ規則規約ノ
ニ任ス
委員ハ其ノ分擔事務ヲ取扱フ

第十一條 寄宿舍ハ第三學年生徒中ヨリ其ノ
寮生徒ノ選舉セル倍數ノ候補者ニ就キ學校
長之ヲ命ス

室總代ハ第一學期、第二學期ニ在リテハ第四
學年生徒中ヨリ、第三學期ニ在リテハ第三學
年生徒中ヨリ、委員ハ第三學年及第二學年生
徒中ヨリ各室又ハ各寮生徒之ヲ選舉シ生徒
主事ヲ經テ學校長ノ認可ヲ得タル後就任ス
役員ノ任期ハ寮總代及委員ニ在リテハ一箇
年、室總代ニ在リテハ一學期トス但再選スル
コトヲ得

第十二條 役員ハ生徒主事ノ指揮監督ヲ受ク
第十三條 寄宿舍ニ週番ヲ置ク
週番ハ生徒主事ノ指揮ニ從ヒ寄宿舍事務ヲ
練習ス

第十四條 週番ハ第四學年及第三學年生徒ニ
任ス

名輪番ヲ以テ之ニ當リ毎週日曜日交替ス

三 生徒心得細則

第一章 一般生徒心得

- 一 受業及教室事務
 - 二 教室ノ清潔整頓及煖房換氣ノ責ニ任スルコト
 - 三 每時限ノ始ニ於テ其ノ學級生徒ニ傳フルコト
 - 四 每日其ノ學級日誌ヲ記載シ放課後ニ於テ之ヲ生徒課ノ所定場所ニ納置スルコト
 - 五 授業ニ所要ノ物品ヲ準備スルコト
 - 六 其ノ他學級ニ關スル諸般ノ事務
- 第一條 生徒ハ始業ノ號鈴ヲ聞クトキハ直ニ定席ニ着キ教官ノ入室ヲ待ツヘシ
教官入室スルトキハ起立シテ敬禮ヲ行フヘシ退室スルトキ亦同シ
- 第二條 授業時間中ハ勿論休憩時間中ト雖靜肅ヲ旨トスヘシ
- 第二條ノ二 自修實驗又ハ實習時間中ハ電氣給水瓦斯ノ節約並ニ器具機械ノ保存整頓ニ留意スヘシ
- 第二條ノ三 生徒ハ校舍校庭ノ清潔整理ニ從事スヘシ生徒ハ整理委員ヲ置キ前項實行ノ統制ニ資スヘシ
- 第三條 各學級ニ學級當番ヲ置ク
學級當番ハ左ノ事務ヲ擔當ス

- 一 本校ノ示達ヲ其ノ學級生徒ニ傳フルコト
- 二 教室ノ清潔整頓及煖房換氣ノ責ニ任スルコト
- 三 以テ之ニ當リ隔週月曜日交替ス
- 四 正課外ニ於テ實驗實習ノタメ教室ヲ使用セムトスルトキハ擔當教官ノ承認ヲ經テ事務當直ニ申出テ使用終リタルトキハ其ノ檢閱ヲ受クヘシ
- 五 授業ニ缺席缺課シタル場合ニ於テハ之ヲ他ノ事故ニ由ル缺席缺課ト區別シ左ノ各號ノ期間内ニ限り缺席日數、缺課時數ニ算入セス
- 第六條 教室其ノ他ノ床壁備品ヲ毀損又ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ毀損又ハ汚染シタルトキハ學級當番ヲ經テ直ニ教務課ニ申出ツヘシ

三ノ實行ノ統制ニ任ス

第四條ノ四 整理委員ハ各學級又ハ組ノ生徒ニ就キ二名トシ當該學級生徒ノ互選トス其ノ任期ヲ一學期トス但再選スルコトヲ得

第五條 正課外ニ於テ實驗實習ノタメ教室ヲ使用セムトスルトキハ擔當教官ノ承認ヲ經テ事務當直ニ申出テ使用終リタルトキハ其ノ檢閱ヲ受クヘシ

第六條 教室其ノ他ノ床壁備品ヲ毀損又ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ毀損又ハ汚染シタルトキハ學級當番ヲ經テ直ニ教務課ニ申出ツヘシ

第七條 疾病共ノ他ノ床壁備品ヲ毀損又ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ毀損又ハ汚染シタルトキハ學級當番ヲ經テ直ニ教務課ニ申出ツヘシ

二 缺席、缺課及遲刻

第八條 疾病ノタメ課業ニ缺席スルコト一週日以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添經テ三日以内ニ生徒課ニ差出スヘシ

證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘ

シ但寄宿舎ニ在舍スル者ニ在リテハ此限ニ在ラス

第八條ノ二 父母、祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニ丁リ課業ニ缺席缺課シタル場合ニ於テハ之ヲ他ノ事故ニ由ル缺席缺課ト區別シ左ノ各號ノ期間内ニ限り缺席日數、缺課時數ニ算入セス

一 父母ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ七日以内ヘシ
二 祖父母、兄弟姉妹ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ五日以内
三 集會及旅行

第九條 集會ヲ開カムトスルトキハ其ノ代表者ヲ定メ其ノ目的、日時、場所、會費等ヲ具シ生徒課ヲ經テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 集會ハ成ルヘク校内ニ於テ之ヲ開ク
教室ヲ使用セムトスル場合ニハ豫メ教務課ノ承認ヲ經テ前條ノ手續ヲナスヘシ

ハ規約ヲ具シ願出ツヘシ
第十條ノ三 前條ノ集會ヲ解散シタルトキハ

直ニ届出ツヘシ
第十條ノ四 雜誌、冊子其ノ他印刷物ヲ頒布セ
云トスルトキハ原稿ヲ具シ願出テ指定教官
ノ検閱ヲ受クヘシ
第十一條 休業日ニ於テ旅行ヲナサムトスル
トキハ其ノ代表者ヲ定メ其ノ目的、日時、場所
費用等ヲ具シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
第十二條 服裝ハ質素實用ヲ旨トスヘシ附屬
品持物等亦同シ
第十三條 衣服ノ地質ハ左ノ通トシ色合、縞柄
模様等ハ目立タサルモノヲ用フヘシ
一 和 服
(二) 衣 木綿織、麻織、絹織(銘仙ノ程度)毛織
(三) 帯 モスリンノ程度(寄宿舎ニ於テハ
帶ヲ使用スルモ妨ナシ)

洋服ノ型ハ所定ノ標準服ニ據ルヘシ
第十四條 四大節及指定ノ式日ニハ式服ヲ用
式服ハ白襟黒紋付(木綿、紬ノ類)及袴トス
第十五條 生徒ハ靴ハイヒールヲ除クヲ穿ツ
ヘシ但校内ニ在リテハ上靴ヲ用フルモノトス
第十六條 體操ノ授業ヲ受クル際ニハ體操服
シ其ノ位置ハ和服ニ在リテハ袴紐ノ左寄、洋
服ニ在リテハ衣ノ左胸部下寄トス
第十七條 生徒ハ難ハイヒールヲ除クヲ穿ツ
ヘシ但校内ニ在リテハ上靴ヲ用フルモノトス
第十八條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情アリテ所定ノ時
間外ニ外出セムトスル者ハ豫メ生徒主事ノ
許可ヲ受クヘシ
第十九條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生
シ歸舍時間又ハ豫定期限ニ歸舍スルコト能
ハサルトキハ直ニ其ノ事由ヲ申出テ生徒主
事ノ指揮ヲ受クヘシ
第二十條 休日(式日ヲ除ク)ノ前夜自宅、近親者
又ハ代理保證人ノ宅ニ時々外泊ヲナサムト
スルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己ト
ノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願ヒ出テ
生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但時々外泊八月
二回以内ニ限ル
第二十一條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ
セムトスルトキハ豫メ宿泊場所、戸主ノ氏名
年齢、職業、自己トノ續柄及外泊ヲ要スル事情
ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出テ生徒主
事ノ許可ヲ受クヘシ
第二十二條 己ムヲ得サル事情ニ由リ臨時外泊
スルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己ト
ノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ
生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但時々外泊八月
二回以内ニ限ル

第十四條 洋服ノ型ハ所定ノ標準服ニ據ルヘシ
第十五條 式服ハ白襟黒紋付(木綿、紬ノ類)及袴トス
第十六條 生徒ハ靴ハイヒールヲ除クヲ穿ツ
ヘシ但校内ニ在リテハ上靴ヲ用フルモノトス
第十七條 體操ノ授業ヲ受クル際ニハ體操服
シ其ノ位置ハ和服ニ在リテハ袴紐ノ左寄、洋
服ニ在リテハ衣ノ左胸部下寄トス
第十八條 生徒ハ難ハイヒールヲ除クヲ穿ツ
ヘシ但校内ニ在リテハ上靴ヲ用フルモノトス
第十九條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生
シ歸舍時間又ハ豫定期限ニ歸舍スルコト能
ハサルトキハ直ニ其ノ事由ヲ申出テ生徒主
事ノ指揮ヲ受クヘシ
第二十條 休日(式日ヲ除ク)ノ前夜自宅、近親者
又ハ代理保證人ノ宅ニ時々外泊ヲナサムト
スルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己ト
ノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願ヒ出テ
生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但時々外泊八月
二回以内ニ限ル
第二十一條 己ムヲ得サル事情ニ由リ臨時外泊
スルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己ト
ノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ
生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
第二十二條 己ムヲ得サル事情ニ由リ臨時外泊
スルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己ト
ノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ
生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但時々外泊八月
二回以内ニ限ル
第二十三條 春季、夏季及冬季休業中ノ進退ニ
就テハ左ノ各號ニ依ル
一 蘭鄉セムトスルトキハ蘭鄉先及期間ヲ
具シ届出ツヘシ
二 蘭鄉ノ途次宿泊又ハ旅行セムトスルト
キハ豫メ宿泊場所、月日又ハ期間、宿主ノ氏
名、年齢、職業、自己トノ續柄及宿泊又ハ旅行
ヲ要スル事情等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ
願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

三 休業中歸郷セシテ近親者代理保證人等ノ宅ニ宿泊シ又ハ旅行セムトスルトキハ前號ニ準ス

四 歸郷先又ハ宿泊先ニ到着シタルトキハ直ニ保證人又ハ宿主ヨリ生徒主事宛安着届ヲ差出スヘシ

五 特別ノ事由アリテ夏季休業中歸郷ヲ延期セムトスルトキハ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

六 歸校ノ際ハ保證人ヨリノ歸校届ヲ持參スヘシ

七 歸校ノ途次宿泊又ハ旅行シタルトキハ保證人ヨリノ宿泊届又ハ旅行届及宿主ヨリノ歸校届ヲ持參スヘシ

八 歸郷、宿泊又ハ旅行シタル者始業ノ前日迄ニ歸校スル能ハサルトキハ豫メ事由ヲ

具シ保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ

第二十四條 寄宿舍ニ到達セル信書ハ來信函ニ挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度掲示板ニ掲示スヘキニ付當直教官ニ就キ之ヲ受領スヘシ

第二十五條 郵便爲替ヲ以テ送金ヲ受ケムトスルトキハ拂渡郵便局(大塚郵便局又ハ小石川郵便局及受取人ヲ指定シテ送付スヘキヤウ豫メ學資支出者ニ通知シ置クヘシ

第二十六條 前條ノ郵便局ニ就キ爲替金ヲ受領セムトスルトキハ爲替證書ニ生徒主事ノ證印ヲ受クヘシ

第二十七條 外來者トノ面會ハ應接室ニ於テ

三 面會

ナスヘシ
面會時間ハ放課後ヨリ午後六時三十分トス

四 疾病

第二十八條 疾病ニ罹リタルトキハ直ニ生徒主事ニ申出ツヘシ但當該室總代ニ於テ代理スルコトヲ得

第二十九條 疾病ニ罹リタルトキハ所定時間ニ於テ校醫ノ診察ヲ受クヘシ但不時發病セルトキハ所定時間外ト雖當直教官ヲ經テ其ノ來診ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 校醫ニ於テ必要ト認ムルトキハ患者ヲシテ休養室ニ於テ療養セシム

休養室ニ入りタル患者ハ療養ニ關シ校醫ノ指揮ニ從フヘシ

第三十一條 校外ノ診療ヲ受ケムトスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第三章 通學生徒心得

一 宿所

第三十二條 通學生徒ハ毎學年ノ始ニ於テ所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ記入シ生徒課ニ差出スヘシ

第三十三條 通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ更ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第三十四條 通學生徒ノ宿所ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシム

第三十五條 通學生徒入舍セムトスルトキハ入舍ヲ要スルニ至レル事情ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ

二 歸郷及旅行

第三十六條 通學生徒課業ヲ缺キテ歸郷又ハ旅行セムトスルトキハ豫定期間及事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ歸京延期ヲ要スル場合亦同シ

第三十七條 通學生徒春季、夏季及冬季休業中

歸郷又ハ旅行セムトスルトキハ保證人又ハ
代理保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ
三 郵便物
第三十八條 本校ニ到達セル信書ハ來信函ニ
挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受
領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度掲示板ニ
掲示スヘキニ付生徒課ニ就キ之ヲ受領スヘシ
四 傳染病

第三十九條 通學生徒ニシテ左ノ各號ノ傳染
病ニ罹リタル者ハ速ニ届出テ治癒スルニ至
ル迄昇校ヲ差控フヘシ治癒シタル後昇校セ
ムトスルトキハ醫師ノ全治證明書ヲ差出ス
ヘシ
一 痘瘡實布蛭利亞、猖紅熱、發疹蛭扶斯、ベス
ト、赤痢、虎列刺、腸蛭扶斯、バラチフス、流行性
腦脊髓膜炎
二 百日咳、麻疹、流行性感冒、流行性耳下腺炎

風疹、水痘

第四十條 通學生徒ニシテ左ノ各號ノ傳染病
ニ罹リタル者ハ昇校ヲ差控フヘシ但第一號
中ノ肺喉頭以外ノ結核又ハ第二號ノ傳染病
ニ罹レル者ニシテ醫師ニ於テ適當ト認ムル
豫防處置ヲナシタル者又ハ病況ニ依リ傳染
ノ虞ナシト認メタル者ハ該醫師ノ證明書ヲ
差出シタル上昇校スルコトヲ得

一 肺、喉頭其ノ他ノ機關ノ開放結核、瘤
ル傳染病患者アル家ニ居住スル者又ハ該病
ノ他ノ傳染性皮膚病
二 トロボーム其ノ他ノ傳染性眼炎、疥癬其
ノ他ノ傳染性皮膚病
第四十一條 通學生徒ニシテ第五十條ニ掲ク
事項ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ハ該
醫師ノ證明書ヲ差出シタル上昇校スルコト
得

第六條 第八條乃至第二十二條ノ規程ハ之ヲ
ノ限ニ在ラス
第七條 書記及雇員ハ學校長及幹事ノ指揮ヲ
受ケ分課ノ事務ニ從事スヘシ
雇員ハ前項ノ外特別教室ニ勤務セシムルコ
トアルヘシ此ノ場合ニ於テハ當該教官ノ指
揮ヲ受ケテ執務スヘシ
第八條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スル
モノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖執
務スヘシ
第九條 疾病其ノ他ノ事故ニ由リ遲刻又ハ缺
勤セムトスルトキハ當日執務時間前ニ事由

ヲ得

四 職員服務規程

第一章 教官ノ服務

第一條 教官ハ其ノ擔任スル範圍内ニ於テ生

徒教育ノ責ニ任ス

第二條 教官ハ毎學年末ニ於テ其ノ擔任スル

學科目ニ就キ次學年度ノ教授要目ヲ調製シ

學科目主任及學科主任ヲ經テ學校長ニ具申
スヘシ

第三條 教官ハ每學期末ニ於テ前條ノ教授要

目ニ基キ其ノ學期間ニ於ケル教授ノ進程ヲ
記載シ學科目主任及學科主任ヲ經テ學校長

ニ報告スヘシ

第四條 教官ハ教授訓育其ノ他ノ事項ニ就キ
意見アルトキハ之ヲ學校長ニ具申スヘシ

第五條 報酬ヲ受ケテ其他ノ職務ニ從事セムト

チ具シ届出ツヘシ
疾病ニ由リ缺勤スルコト一週日ニ至ルトキ
ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出テ爾後二週日ニ
至ル毎ニ同様届出ツヘシ
第十條 執務時間中發病等ノタメ退出セムト
スルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ
第十一條 女子ノ職員ハ分娩豫定日前二週日
以内分娩後六週日以内休養スルコトヲ得
前項分娩豫定日ハ醫師ノ診斷書ニ依ル但特
別ノ事情アル場合ニ在リテハ產婆ノ證明書
ヲ以テ醫師ノ診斷書ニ代フルコトヲ得
第十二條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スル者ハ前
日中ニ届出ツヘシ
第十三條 親屬ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クルトキ
ハ其ノ親屬關係ヲ記シ届出ツヘシ
第十四條 病氣療養父母ノ看病又ハ墓參ノタ
メ請暇セムトスルトキハ日限及行先地ノ宿

所ヲ具シ願出ツヘシ延期ヲ要スルトキハ其
ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ
第十五條 陸軍召集令又ハ海軍召集令ニ依リ
召集又ハ簡閱點呼ニ應スルトキハ日限及應
召地部隊名又ハ艦艇名ヲ具シ出發前ニ届出
ツヘシ
第十六條 賦暇中旅行セムトスルトキハ日限
及旅行先地ヲ具シ出發前ニ届出ツヘシ
第十七條 出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸
校ノ際其ノ旨ヲ届出テ且歸校後一週日以内
ニ復命書ヲ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口
頭ヲ以テ復命スルコトヲ得
第十八條 新任者ハ五日以内ニ住所届及履歷
書ヲ差出スヘシ
第十九條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名族籍ニ異動
ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ
第二十條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシ

テ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歴ニ關係アル
モノハ其ノ都度届出ツヘシ
第二十一條 轉任免官休職等ノ際又ハ分掌事
務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル
書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ
第二十二條 非常事故アルトキハ速ニ登校シ
上官ノ指揮ヲ受クヘシ事急ヲ要スルトキハ
當直者及登校者ニ於テ臨機ノ處置ヲナスヘ
シ

第三章 學校醫ノ服務
第二十三條 學校醫ハ學校長及生徒課幹事ノ
命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル事務ニ從事ス
校ニ亘リ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ
第二十四條 學校醫ハ毎月二回以上出校シ全
毎日定時寄宿舍醫局ニ出頭シ疾病ニ罹レル
生徒アラハ診療スヘシ
第二十九條 學校醫ハ學校内學校所在地及其
ノ近傍ニ傳染病ノ發生シタルトキハ其ノ情
況ニ依リ十分ナル清潔方法ヲ施行シ全校若
ハ其ノ一部ノ閉鎖ヲ必要ト認ムルトキハ之
ヲ學校長ニ申告スヘシ
第三十條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事
項ニ就キ學校長ニ申告スヘシ
第三十一條 學校醫ハ其ノ執務ノ狀況及調查

又ハ申告シタル事項等ニ就キ其ノ大要ヲ記
載シ其ノ都度之ヲ學校長ニ提出スヘシ
第四章 當直ノ服務
第三十二條 當直勤務ハ事務當直及寄宿舍當直トス
第三十三條 男子ノ書記又分課事務ニ從事スル男子ノ雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服ス
ヘシ但丁年未滿ノ者ハ此ノ限ニ在ラス
生徒課勤務ノ女子教官ハ輪番ヲ以テ寄宿舍當直ニ服スヘシ但學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス
第三十四條 當直時間ハ平日ニ在リテハ執務時間ノ終ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時間迄トシ休日ニ在リテハ執務時間ノ始ニ相當スル時間ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時間迄トス
第三十五條 左ノ各號ノ一一ニ當ルトキハ當直

ヲ免ス
一 出張中、出張ノ前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日
二 賜暇中
三 忌引中
四 疾病其ノ他ノ事故ニ依ル缺勤中
五 新任者着任ノ日ヨリ七日間
六十以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ
第三十六條 事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ
一 校舍各室ノ鑰匙ヲ管守スルコト
二 校舍内外ノ取締ヲナスコト
三 接受シタル物件ヲ處理スルコト
四 火災ノ虞アル場所及備品ニ對シ特ニ注意スルコト
第三十七條 寄宿舍當直ハ寄宿舍ノ管理及取

締ニ任シ舍内一切ノ事務ヲ處理スヘシ
第三十八條 當直者ハ勤務中學校又ハ寄宿舍ヲ離ルコトヲ得ス
第三十九條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助
四十條 當直中非常事故アルトキハ直ニ學校長及庶務課幹事ニ報告シ事急ナルトキハ力ヲ求ムルコトヲ得
第四十一條 當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課幹事寄宿舍當直ニ在リテハ生徒課幹事之ヲ定ムヘシ

附 則
第四十二條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス
五 校務分掌規程
第一章 教育事務

第一條 教授ニ關スル事務ハ各教官之ヲ分擔
第二條 訓育ニ關スル事務ハ全教官之ヲ擔任シ生徒主事之ヲ主掌ス
生徒主事ハ其ノ事務ヲ寄宿舍生徒ニ關スル事項ト通學生徒ニ關スル事項トニ分チ之ヲ分擔スルコトヲ得
第三條 教育事務整理ノ責ニ任セシメムカタメ學科目主任、學級主任及學科主任ヲ置ク
第四條 學科目主任ハ學科目毎ニ各一人トシ
教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
學科目主任ハ當該學科目ニ就キ左ノ事務ヲ擔任ス
一 教授ノ連絡統一ニ關スルコト
二 教授ノ分擔ニ關スルコト
三 教授要目及教授進程報告ノ整理ニ關スルコト

四 教科用圖書ノ豫選ニ關スルコト
 五 教授上必要ナル参考用圖書器具機械標本藥品等ノ調査ニ關スルコト
 六 其ノ他當該學科ニ關スル事項
 第五條 學級主任ハ學級毎ニ各一人トシ教官
 中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 學級主任ハ當該學級ニ就キ左ノ事務ヲ擔任ス
 一 生徒ノ統率及風紀ニ關スルコト
 二 生徒ノ性行學業及健康ニ關スルコト
 三 校規命令ノ實行ニ關スルコト
 四 生徒當番ニ關スルコト
 五 其ノ他當該學級ニ關スル事項
 第六條 學科主任ハ文科理科家事科毎ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 學科主任ハ當該學科ニ就キ學科目主任及學級主任ノ擔任スル事務並ニ卒業生ニ關スル

事項ヲ掌理ス
 學科主任ハ其ノ掌理スル事務ニ關シ關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得
 第七條 保育實習科ハ主任ノ關係ニ於テ之ヲ學級ト看做ス
 第八條 本校ニ庶務課教務課圖書課生徒課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム
 第九條 各課ニ幹事ヲ置キ所屬職員ヲ率ヰ分掌事務整理ノ責ニ任セシム
 幹事ハ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 第十條 各課所屬ノ職員ハ幹事ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス
 第十一條 庶務課ニ庶務掛及會計掛ヲ置ク庶務掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 御眞影勅語及令旨ノ保管ニ關スルコト
 二 學校長ノ官印及校印ノ監守ニ關スルコト

ト
 三 校旗ノ保管ニ關スルコト
 四 職員ノ進退及身分ニ關スルコト
 職員ノ服務ニ關スルコト
 公文書ノ處理ニ關スルコト
 統計報告一覽等ニ關スルコト
 校報ニ關スルコト
 諸規則ノ制定ノ改廢ニ關スルコト
 日誌及諸記錄ニ關スルコト
 儀式ニ關スルコト
 評議員會ニ關スルコト
 寄贈ノ金品等ニ關スルコト
 本校ノ當直ニ關スルコト
 教員免許狀ニ關スルコト
 面會人ノ取扱ニ關スルコト
 乗車船割引證交付ニ關スルコト
 他ノ課掛ニ屬セサル一切ノコト

會計掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 歲入歲出豫算及決算ニ關スルコト
 二 資金ニ關スルコト
 三 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
 四 物品ノ購入及不用品處分ニ關スルコト
 五 圖書以外ノ物品ノ出納及保管ニ關スルコト
 六 土地建物ニ關スルコト
 七 道路庭園ニ關スルコト
 八 營繕ニ關スルコト
 九 電話電燈瓦斯給水及煙房ニ關スルコト
 一〇 傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
 一 警備取締ニ關スルコト
 二 酒掃ニ關スルコト
 三 其ノ他會計ニ關スル一切ノコト
 第十二條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 一 學科課程ニ關スルコト

教授要目及教授進程報告ニ關スルコト
教科用圖書ニ關スルコト
教官ノ分擔及日課ノ配當ニ關スルコト
授業及休業ニ關スルコト
生徒ノ募集及入學ニ關スルコト
選拔試験ニ關スルコト
成績考査、進級及卒業ニ關スルコト
成績證明ニ關スルコト
教授上ノ設備ニ關スルコト
教官會議ニ關スルコト
修學旅行ニ關スルコト
卒業生ニ關スルコト
參觀人ノ取扱ニ關スルコト
教室、教官室ニ關スルコト
其ノ他教務ニ關スル一切ノコト

第十三條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 圖書ノ出納、保存及整理ニ關スルコト
二 圖書印ノ監守ニ關スルコト
三 圖書ノ貸付閲覽ニ關スルコト
四 圖書目錄編纂ニ關スルコト
五 書庫閲覽室ニ關スルコト
六 其ノ他圖書ニ關スル一切ノコト
第十四條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 生徒ノ取締ニ關スルコト
二 生徒ノ訓誨及賞罰ニ關スルコト
三 生徒ノ當番ニ關スルコト
四 生徒ノ學籍ニ關スルコト
五 詔書、保證書ノ整理、保管ニ關スルコト
六 生徒ノ出席簿ニ關スルコト
七 退學、休學其ノ他生徒ノ事故ニ關スルコト
八 在學及品行證明ニ關スルコト
九 家庭及保證人トノ連絡ニ關スルコト
一〇 生徒ノ願、伺、居ニ關スルコト

三一 特別入學生徒ニ關スルコト
云 其ノ他生徒ノ調育及寄宿舍ニ關スル一
切ノ事項
第十五條 其ノ課ノ分掌事務ニシテ他ノ課ニ
關聯スルモノハ合議スヘシ
第十六條 各課所屬職員ハ時宜ニ依リ互ニ他
課ノ事務ヲ補助スヘシ

附 則

第十七條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ
之ヲ施行ス

六 圖書室規程

第一條 東京女子高等師範學校圖書室ハ本校
ノ圖書ヲ收藏シ職員及生徒ノ閲覽參考ニ供
スルヲ以テ目的トス
第二條 閲覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開
ク但時宜ニ依リ臨時之ヲ閉閉スルコトアル

二 生徒ノ郵便物ニ關スルコト
三 生徒ノ集會ニ關スルコト
三 運動競技ニ關スルコト
四 學校衛生ニ關スルコト
五 身體検査ニ關スルコト
六 寄宿舎ノ清潔整頓ニ關スルコト
七 寄宿舎ノ警備取締ニ關スルコト
八 寄宿舎ノ當直ニ關スルコト
九 入舍、退舍外泊、旅行其ノ他寄宿舎生徒ノ
異動ニ關スルコト
一〇 寄宿舎生徒ノ舍室配當ニ關スルコト
三 寄宿舎ノ炊事監督ニ關スルコト
三 寄宿舎生徒ノ食費等ノ收支ニ關ス
ルコト
三 寄宿舎ノ傭人監督ニ關スルコト
西 寄宿舎ニ於ケル而會人、參觀人ノ取扱ニ
關スルコト

ヘシ

閲覽室ニ於ケル閲覽時限ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 閲覽室ニ入り圖書ヲ借覽スルヲ得ル

者左ノ如シ

一本校及附屬校園職員

二 本校生徒

三 附屬高等女學校第五學年及專攻科生徒

四 閲覽票ヲ所有スル者

第四條 左ニ掲タル者ニハ其ノ請求ニ依ル閲

覽票ヲ交付ス

一本校卒業生

二 附屬高等女學校卒業生

三 特ニ校長ノ許可ヲ得タル者

第五條 職員ハ掛員ノ承認ヲ得テ自ラ書庫及

閲覽室ニ入り圖書ヲ検索シ之ヲ借覽スルコ

トヲ得其ノ他ノ者ニ在リテハ圖書ヲ借覽セ

ムトスル時ハ必ス掛員ニ申出テ其ノ貸出ヲ

受クヘシ

第六條 圖書ヲ借覽セムトスル者ハ規定ノ用

紙ニ書名及冊數年月日等ヲ記入シ署名ノ上

掛員ニ差出シ貸出ヲ受クヘシ

第七條 借覽ノ圖書ハ閲覽室外ニ帶出ヲ許サ

室内ニ携帶スヘカラス

第八條 職員以外ノ者ニ在リテ同時ニ借覽シ

得ヘキ圖書ハ一人ニ付十冊ヲ限トス

第九條 圖書筆墨紙類ヲ除クノ外物品ヲ閲覽

談等他人ノ妨害トナルヘキ舉動ヲナスヘカラス

第十條 各學科目主任並ニ附屬校園主事ハ教

授上及參考上必要ナル圖書ヲ借受シ之ヲ各

教室若ハ各特別教室等ニ備付ケ其ノ學科目

ノ借受ヲ許スコトアルヘシ

第十四條 本校生徒ニシテ日曜日、祝祭日及閲

覽室閉鎖後ニ圖書ヲ借受セムトスル者ニハ

之ヲ貸出スルコトアルヘシ但同時ニ借受シ

得ヘキ圖書ノ冊數ハ五冊ヲ限トス

前項貸出時限ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 本校生徒ニシテ教生タル者ハ其ノ

期間教育實習上必要ナル圖書一人五冊五日

ヲ限リ借受スルコトヲ得

第十六條 新ニ購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタル圖

書ハ一ヶ月ヲ經ルニアラサレハ借受スルコ

トヲ得ス但本校又ハ附屬校園教官ノ共用ニ

供スル爲購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタルモノハ

此ノ限ニ在ラス

第十七條 圖書ヲ借受セムトスル者ハ圖書課

ニ就キ規定ノ用紙ヲ受取り之ニ書名、冊數、年

月日等ヲ記入シ署名捺印ノ上掛員ニ差出シ

又ハ其ノ校園教官ノ共用ニ供スルコトヲ得
各事務主任ハ事務上必要ナル圖書ヲ借受シ
之ヲ各事務室ニ備付ケ其ノ掛員ノ共用ニ供
スルコトヲ得

前二項ニ依ル圖書ノ借受ニハ別ニ部數ノ制
限ヲ設ケス圖書室備置ノ共用圖書貸出簿ニ
書名、冊數、年月日等ヲ記入シ捺印ノ上其ノ貸
出ヲ受クヘシ

第十一條 教官ハ一人三十冊其ノ他ノ職員ハ
一人十五冊ヲ限リ圖書ヲ借受スルコトヲ得
第十二條 貴重ナル圖書及教官ノ請求ニ依リ
圖書室ニ常備シ置クヲ要スル圖書ハ借受ス
ルコトヲ得ス但特ニ校長ノ許可ヲ得タルモハ
ノハ一週間ヲ限リ借受スルコトヲ得

第十三條 生徒ハ受持教官ノ指定ニ係ル教科
用圖書ニ限リ之ヲ借受スルコトヲ得但本校
夏季休業中ハ一人十冊ヲ限リ特ニ一般圖書

リ本校職員及生徒ニ准シテ圖書借受及借覽
ヲナスコトヲ得

(参考) 圖書閱覽票様式

第 號	有 效 期 間 (自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日)		
職 業	住 所	何	校 印
某			

其ノ貸出ヲ受クヘシ
第十八條 第十條ニ依リ備付ケタル共用圖書
ハ借受者其ノ保存ニ任シ目錄ヲ調製シ其ノ
借受借覽ニ關シテハ別ニ規則ヲ定ムルモノ
トス

第十九條 凡テ借受ノ圖書ハ六月、十二月指定
ノ期日ニ於テ悉皆返納スヘシ但時宜ニ依リ
臨時之ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第十條ニ屬スル圖書ハ其ノ所屬部局ニ付テ
之ヲ調査スルモノトス

第二十條 凡テ借受ノ圖書ハ之ヲ他人ニ轉貸
スルヲ許サス

第二十一條 借受借覽ノ圖書ヲ汚染毀損シ又
ハ紛失シタルトキハ之ヲ償還若ハ修理セシ
ムルコトアルヘシ

附 則

第六臨時教員養成所職員及生徒ハ本規程ニ依

裏
一此ノ票ヲ交附セラレタル者ハ凡テ圖書閱覽ニ關スル
規則ヲ遵守スヘシ
一圖書ヲ閲覽セムトスルトキハ此ノ票ヲ掛員ニ示スヘ
シ
一此ノ票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス又遺失シタルト
キハ速ニ届出ツヘシ
一此ノ票ハ有效期間ヲ過キタルトキハ速ニ返納スヘシ

第七 附屬學校幼稚園主事等職務
規程

主事
規程

指揮ヲ校長ニ承ケ校園ニ於ケル事務ヲ掌理
シ所屬職員ヲ指揮監督シ教生ノ教育實習ヲ
指導シ生徒兒童幼兒ノ教育ヲ擔任ス

上席所屬職員ヲシテ事務ヲ代理セシムルコ
トヲ得

左ノ諸件ハ主事ニ於テ適宜處分スルコトヲ
得但一二三ニ就テハ處分後報告スヘシ

一附屬校園ノ事務ヲ處理シ教育ノ方法ヲ
改良セム爲細則ヲ設ケルコト

二所屬職員ニ分擔ヲ命スルコト

三生徒兒童ノ及第落第ヲ判定スルコト

四參觀ヲ許否スルコト

五通常ノ事項ニ關シ生徒兒童幼兒ノ保護

八 會議規程

者若ハ其ノ代理者ヲ呼出シ又ハ之ト文書
ヲ往復スルコト

事務掛

指揮ヲ主事ニ承ケ附屬校園内ノ整理器具標
本簿冊ノ整頓、物品ノ受渡、圖書ノ保管、外來人
ノ應接、文書報告、校園印章ノ保管等ノ事ヲ掌
ル

第一條 會議ヲ分チテ評議員會及教官會トス
第二條 評議員會ハ學校長ノ諮詢ニ應シ校務
ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第三條 評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
評議員ハ左ノ職員ニ就キ學校長之ヲ命ス
一各課幹事及寄宿舍主任生徒主事及附屬
學校幼稚園主事
二教授、生徒主事ヲ本官トスル者ノ互選シ
タル者若干名

必要アルトキハ臨時評議員外ノ職員ヲシテ
會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ
第四條 前條第二項第二號ニ依ル評議員ノ任
期ハ當該學年間トス
第五條 教官會ハ學校長ノ諸問ニ應シ學科課
程、成績考查其ノ他學校長ニ於テ必要ト認メ
タル事項ヲ審議ス
第六條 教官會ハ左ノ五種トシ當該教官ヲ以
テ之ヲ組織ス

一 學科主任會
二 學科目主任會
三 學級主任會
四 教授會
五 教官總會

前項第一號乃至第四號ノ各教官會ニ於テ必
要アルトキハ當該教官外ノ教官ヲシテ會議
ニ加ハラシムルコトアルヘシ

第七條 評議員及各教官會ノ當該教官ハ其ノ
會議ニ附議スヘキ議案ヲ提出スルコトヲ得
第八條 評議員會及教官會ノ議長ハ學校長之
ノ三日以前ニ於テ學校長ニ提出スルヲ要ス
ニ當ル

第九條 評議員會及教官會ニ理事ヲ置ク
評議員會理事ハ庶務課幹事、教官會理事ハ教
務課幹事之ニ當リ學校長ノ指揮ヲ受ケ其ノ
會ノ庶務ヲ處理ス

第十條 評議員會及教官會ニ書記ヲ置ク
評議員會書記ハ庶務課庶務掛主任書記、教官
會書記ハ教務課主任書記之ニ當リ上司ノ指
揮ヲ受ケ其ノ會ノ庶務ニ從事ス

第十一條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ
之ヲ施行ス

九 文書處理規程

第一條 公文書ハ附屬校園ニ於テ直接處理ス
ルモノ及本規程第四條ニ依ルモノノ外庶務
課庶務掛ニ於テ收受シ左ノ各號ニ依リ取扱
フヘシ
一 親展文書ハ月日、受信名及發信名ヲ親展
文書送付簿ニ登記シ封緘ノ儘之ヲ宛名ニ
配付スヘシ
二 前號外ノ文書ハ之ヲ開封ノ文書收受簿
ニ登記シ其ノ件名、番號及年月日ヲ記入シ
タル後直ニ主掌分課掛ニ配付シ其ノ證印
ヲ徵スヘシ
三 二分課掛以上ノ關聯スル文書ハ關係ノ
重キニ從ヒ之ヲ配付スヘシ
第二條 親展文書ノ回付ヲ受ケタルトキハ前
條第二號ニ準シ之ヲ取扱フヘシ

第三條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ分課
掛ノ主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務
課庶務掛ニ還付スヘシ
第四條 左ノ文書ハ庶務課庶務掛ヲ經由セス
主掌分課掛ニ於テ直ニ接受スヘシ
一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
二 生徒ヨリ差出ス願居書類
三 入學志願者及入學候補者ニ關スル書類
四 其ノ他學校長ノ指定シタル書類
第五條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速
ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ
事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能
ハス又ハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ學校
長ニ供聞シ指揮ヲ受クヘシ
第六條 處分案ニシテ他ノ分課掛ニ關係アル
モノハ合議スヘシ
第七條 決裁済ノ文書ハ主掌分課掛ニ於テ決

裁年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ
 第八條 発送ヲ要スル文書ハ庶務課庶務掛ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ事務當直ニ回付スヘシ
 第九條 庶務課庶務掛ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ文書發送簿ニ登記シ原議ハ之ヲ主掌分課掛ニ還付スヘシ
 第十條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ直接文書ヲ發送スルトキハ月日、受信名、發信名及番號ヲ文書送付簿ニ記載シ送達ノ上送先ノ證印ヲ徵スヘシ
 第十一條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ月日、受信名、發信名及料金ヲ郵便切手受拂簿ニ登記シ取扱者檢印スヘシ
 第十二條 學校長ノ官印又ハ校印ヲ使用セム

トスルトキハ監守者ノ承認ヲ受クヘシ
 第十三條 事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課掛ニ於テ編纂保存スヘシ
 第十四條 文書ハ之ヲ分類シ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ
 一 事件ノ完結シタル順序ニ依リ暦年別(會計ニ關スルモノハ會計年度別)ニ綴込ムヘシ但紙數ノ多寡ニ應シ便宜一年分ヲ分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得
 二 保存期限十年以上ノモノハ卷首ニ目錄法ニ依リ之ヲ保存スヘシ
 三 圖書其ノ他合綴シ難キモノハ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ保存スヘシ
 第十五條 文書ノ保存期間ハ之ヲ無期、十年、五年及一年ノ四種ニ分ツ
 第十六條 無期保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

御眞影拜戴、勅語謄本下附及御下賜品等ニ關スル書類行啓ニ關スル書類訓令、告示、告諭及通牒書類職員進退及叙位叙勳等ニ關スル書類職員履歴書儀式ニ關スル書類規則細則ノ制定改廢ニ關スル書類卒業證書原簿教員免許狀ニ關スル書類命令簿學校一覽校報諸統計並報告書類寄付ニ關スル書類文書收受簿文書發送簿官廳往復重要書類歲入徵收簿支出簿支出內調簿經費推算簿支拂元受高差引簿核算渡整理簿現金出納簿保證金出納簿資金ニ關スル重要書類科學研究獎勵費ニ關スル書類歲入歲出概算書物品出納計算書收入金現金出納計算書委任經理現金出納計算書歲入歲出外現金出納計算書會計檢查院審理答辯書寫常備員命令簿學業成績簿成績調查表入學者寫真入學者及特別入學者關係書類評議員會及敎官會記錄學期別課程表研究科生徒研究報告書生徒學籍簿生徒處分ニ關スル書類休退學伺簿寄宿舍重要書類ノ如シ

文部省在外研究員關係書類職員勤務調查表職員出張復命書類職員本籍以外應囑書類會計關係計算報告書類歲入歲出豫算施行ニ關スル書類競爭入札ニ關スル書類郵便切手受拂簿消耗品受拂簿俸給支出原簿傭人給料支出原簿諸契約書見積書歲入徵收報告簿物品請求書類高等師範學校等ニ關スル書類競爭入札ニ關スル書類教科書選定表教授要目教授進程報告日課表試驗問題入學者選拔試驗問題選修學科目選擇屆日學旅行關係書類生徒身體檢查統計表生徒警書及保護書學生徒ノ思想性行ニ關スル書類生徒學資關係書類宿直日誌文書送付簿職員願伺届書類職員生徒身分證明原簿乘車船貨割引證交付原簿通知伺簿揭示伺簿支拂課算科目流用伺簿經費推算簿經費分割簿豫算分割簿當備人出勤簿小切手支拂番號原簿俸給其ノ他交付簿臨時傭上人夫出面帳入學志願者名簿入學者選拔試驗成績表入學志願票(入學者ノ分)入學者選拔試驗答案講習會關係書類成績證明書類評點科目割合表ノ如シ

十 物品會計規程細則

第一章 總 則

教官受持時數調 卒業生配當ニ關スル書類 教官配當ニ關スル書類 教官生徒圖書借覽書類 生徒戸籍牌本 生徒履歴書 生徒勤怠報告 生徒出席簿 生徒宿所届 入舍及退舍ニ關スル書類 生徒並保護人印鑑簿 保護人變更届 寄宿舍役員任命認可關係書類 在學證明書交付簿 集合頒給通學願ニ關スル書類 生徒ノ外出、外泊歸省ニ關スル書類

第十九條 一年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

書留郵便授受簿 常備員額届書類 入學志願票及寫真(不合格者ノ分) 入學出願書類(不合格者ノ分) 参觀人ニ關スル書類 生徒書留郵便物受渡簿 生徒缺席届 第二十條 文書ノ保存期間ハ事件ノ完結シタル翌年ヨリ之ヲ起算シ但會計ニ屬スルモノハ翌年會計年度ヨリ之ヲ起算ス 第二十一條 保存期間ノ經過シタル文書ハ之ヲ庶務課會計掛ニ引繼クヘシ 庶務課會計掛ニ於テ前條ノ文書ヲ受繼キタルトキハ經同ノ上相當ノ措置ヲナスヘシ

第二條 物品ハ之ヲ分チテ備品消耗品ノ二種トス 第三條 物品ノ出納ハ總テ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス 第四條 各部局ニ於テ所要ノ物品ハ請求書ニ品目、數量、需要ノ事由ヲ記載シ會計掛ニ請求スヘシ但註文上圖案ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

第五條 會計掛ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ之ヲ當該

物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ學校長ノ許可ヲ受ケ購入ノ上支給ノ手續ヲナスヘシ 第六條 通常所要ノ物品ハ一箇年ノ所要ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ得テ一回若ハ數回ニ取繩メ會計掛ニ於テ購入ノ手續ヲナスヘシ 第七條 生產品又ハ寄贈品ニ係ル物品ハ會計掛ニ於テ其ノ品目、數量及價格ヲ記シ藏置若ハ支給ノ手續ヲナスヘシ 第八條 物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ハ直ニ物品出納簿ニ登記スヘシ 物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ヲ支給セムトスルトキハ備品ニ在リテハ現品ニ番號ヲ付シ備品支給簿ノ登記ヲ了シタル後之ヲ交付スヘシ 圖書機械標本ハ各物品監守者ニ於テ各自一定ノ番號ヲ附記スヘシ

第九條 物品ノ監守及取扱ニ關スル責ニ任せシムル爲各部局ニ物品監守者及物品取扱主任各一名ヲ置ク 第十條 物品監守者ハ備品監守簿ヲ、物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ支給簿又ハ請求書ニ受領ノ印ヲ押シ授受ノ手續ヲ爲スヘシ 第十一條 物品監守者若ハ物品取扱主任交迭シタルトキハ前任者後任者ニ於テ物品監守簿消耗品受拂簿ト現品トヲ對照シ其ノ引繼ヲ了シタル事由及年月日ヲ帳簿餘白ニ記入シ相互記名捺印スヘシ 第十二條 甲備品監守者ノ監守スル物品ニシテ不用ニ歸シタルモ乙備品監守者ニ於テ必

要ナルモノアルトキハ甲乙監守者ヨリ其ノ旨物品會計官吏ニ通告シ現品ノ受渡ヲナスヘシ
第十三條 物品監守者ハ監守セル物品ニシテ自然ニ毀損シタル爲修理ヲ要スルモノアルトキハ現品ヲ添ヘ會計掛ニ請求スヘシ
會計掛ハ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲナシ出來ノ上ハ物品監守者ニ交付スヘシ
第十四條 物品監守者ニ於テ自然毀損シ若ハ不用ニ屬シタル物品ハ直ニ之ヲ會計掛ニ返付シ監守簿ニ其ノ事由及年月日ヲ記入シ物品會計官吏ノ受領ノ證印ヲ受クヘシ
第十五條 物品會計官吏ニ於テ前項物品ノ返付ヲ受ケ將來所要ノ目的ナシト認メタルモノハ其ノ處分案ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ受ク

第十六條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各物品監守者及物品取扱主任ノ物品ヲ査閲シ備品監守簿消耗品受拂簿ノ調査ヲナシ其ノ狀況ヲ學校長ニ申報スヘシ
第十七條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り學校長ニ申報スヘシ
第十八條 物品監守者ハ時々監守物品ヲ帳簿對照シ點検スヘシ若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經由シテ學校長ニ申報スヘシ
第十九條 物品ヲ亡失シ或ハ毀損シタル者アルトキハ學校長ハ其ノ事實ヲ審査シ其ノ監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出テタルモノト認ムルトキハ文部省直轄各部物品會計規程第十二條若ハ第十三條ニ依リ處分スヘシ

第三章 帳簿
第二十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ
一普通備品出納簿
一機械標本類出納簿
一圖書出納簿
一普通備品支給簿
一機械標本類支給簿
第二十一條 物品監守者ハ物品ノ監守、物品取扱主任ハ消耗品ノ受拂ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ
一備品監守簿
一消耗品受拂簿
一郵便切手類受拂簿
第二十二條 諸帳簿等ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ(別紙様式略ス)
第四章 檢閲

第二十三條 學校長ハ毎年物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ任命シ物品第二十四條 物品檢閲ハ毎年時期ヲ定メ之ヲ行フ
第二十五條 物品檢閲ノ時日ハ檢査委員長ヨリ豫メ物品會計官吏及物品監守者又ハ物品取扱主任ニ通知スヘシ
第二十六條 物品檢閲委員ハ現在物品ト帳簿ト對照シ物品ノ保管、出納、使用消費ノ適否及物品缺損ノ有無等ニ關スル實況ヲ檢閲スヘシ
第二十七條 物品檢査上在庫物品ニ付テハ物品會計官吏、監守及取扱物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テ其ノ保管監守取扱ニ係ル現品及帳簿等ヲ取揃ヘ立會ノ上之カ検査ヲ受ケ檢閲委員ヨリ質問アリタル

トキハ之ニ答辯スヘシ

第二十八條 物品検閲委員検閲ヲ終了シタル
トキハ検閲ノ顛末ヲ具シ意見ヲ付シテ學校
長ニ申報スヘシ

十一 非常心得

第一條 非常事變アルトキハ報鐘ヲ連打シテ
之ヲ報ス
第二條 非常事變ノ節職員ハ晝夜ヲ論セス直
ニ出校シ上官ノ指揮ニ從フヘシ
第三條 非常事變ノ節立退場ハ運動場及正
門附近トス
第四條 非常ヲ認知シタル者ハ直ニ報鐘ヲ連
打スヘシ
第五條 報鐘ヲ聞キタルトキ或ハ非常ヲ認知
シタルトキ生徒兒童幼兒ハ左ノ指揮ヲ受ケ
テ急速最近ノ立退場ニ整列スヘシ

一 寄宿舍ニ在リテハ生徒主事及寮總代、室
總代若ハ其ノ代理者

二 教室内ニ在リテハ受持教員

第六條 生徒兒童幼兒立退場ニ集リタルトキ
ハ上官ノ指揮ヲ受ケテ進退スヘシ
第七條 大地震等ノ場合ニ在リテハ非常報鐘
ノ有無ニ拘ラス教員、生徒主事、寮總代、室總代
若ハ其ノ代理者ハ便宜速ニ立退カシムヘシ
但教員ノ指揮ヲ受クル暇ナキトキハ生徒ハ
便宜ノ處置ヲ採ルヘシ

第八條 火災ノ節ハ最モ先ニ左ノ物品ノ持退
ヲ終ヘテ他ノ物品ニ及フヘシ
一 庶務課庶務掛緊要書類
一 庶務課會計掛緊要書類
一 教務課緊要書類
一 圖書課緊要書類
一生徒課緊要書類

第十五條 附屬校園並ニ寄宿舍ニ於テハ非常
心得ニ基キ更ニ實施ノ方法ヲ定ムヘシ

一 寄宿舍緊要書類
一 醫局緊要書類
一 附屬學校幼稚園緊要書類
第九條 各部所管ノ緊要書類物品等ニハ常ニ
非常持退品ノ文字ヲ標記シ置キ至急持退ニ
便スヘシ
第十條 執務時間外ニ於テ火災アルトキハ宿
直員ハ電話ヲ以テ直ニ校長ニ急報スヘシ
第十一條 火災ノ節職員ハ小使人足等ヲ指揮
シテ消防ニ盡力スヘシ
第十二條 非常ノ節指揮者ハ校内便宜ノ場所
ニ其ノ居ヲ定メ夜間ハ高張提灯ヲ掲ケテ目
標トスヘシ
第十三條 庶務課庶務掛ハ諸官省學校又ハ其
ノ他ヨリ駆付ヲ受ケタルトキ之カ應接ノ任
ニ當ルヘキモノトス
第十四條 非常立退ノ方法ハ時々練習スヘシ

第七 奨學資金

一一八

一 奖學寄附金管理規程

第一條 奖學寄附金ニシテ文部大臣ヨリ交付セラレタル現金ハ株式會社三井銀行當座預金トシ又有價證券ハ中央金庫ニ保管ヲ託スルモノトス但預入人ハ學校長ノ名義トス
第二條 奖學寄附金ノ銀行預金通帳及有價證券ノ中央金庫保管證書ハ當校備付ノ金櫃ニ藏置シ會計主任之ヲ保管ス
第三條 有價證券ノ利子ハ第一條ノ預金トス
第四條 預金ノ支出ヲ要スルトキハ當該銀行ヨリ預金ヲ引出シ現金ヲ以テ其ノ受取人ニ交付ス

二 奖學資金

明治四十五年六月三日昭憲皇太后本校へ行啓アラセラレ職員生徒ニ金五百圓ヲ賜フ本校カ陛下ノ行啓ヲ辱ウシタルコト實ニ十一回ニシテ其ノ都度ニ於ケル御下賜ノ金品ハ職員生徒ノ協議ヲ經テ或ハ本校及附屬校園ニ分配シ有益ナル機械器具ニ替ヘ又ハ校歌タル陛下ノ御詠ヲ謹寫セシメ之ヲ分チ戴キテ以テ永ク記念シ奉リタル事アリ故ニ今回亦一般ニ諸リ將ニ先例ニ倣ハントセシニ何ソ圖ラン其ノ年七月三十日明治天皇俄ニ御登遐アラセラレ昭憲皇太后ノ本校行啓ハ其ノ時ヲ以テ最終ノ御事トナレルニ依リ前記御下賜金處理ノ方法ヲ更メ後之ヲ恩賜獎學資金トシテ永久ニ記念シ奉リ其ノ利子ヲ以テ獎學ノ資ニ充テムトシ其ノ手

續ヲ了シタリ而シテ右ノ外有志ノ寄附ニ係ル
獎學寄附金アリ

昭和十一年八月末日現在高左ノ如シ

金六千七百六十二圓八十一錢

内譯

金五百七十四圓五十一錢（五百圓）

恩賜獎學資金

金百七十五圓七十六錢（百圓）

黒田獎學寄附金

金八十七圓八十九錢（五十圓）

山本獎學寄附金

金九百八十七圓六十三錢（五百圓）

今村獎學寄附金

金二百五圓九十三錢（同百圓）

第五回理科卒業生記念獎學寄附金

金二百三十五圓四十五錢（同二十圓）

杉本獎學寄附金

三 奖學資金ニ關スル規程

第一條 經理委任ニ屬スル獎學資金ヨリ生スル利子ハ本規程ニ依リ使用スルモノトス但寄附者ヨリ用途ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

ト

第八職員

〔昭和十一年九月末調〕

職員

二 本校生徒中品行方正ニシテ學業優等ノ者ニ學資ノ補給ヲ爲スコト
第三條 前條第二號ニ依ル學資ノ補給ハ之ヲ一時ニ爲シ或ハ期間ヲ定メテ毎月之ヲ爲ス但期間ヲ定メテ學資ノ補給ヲ爲スモノニ對シ其ノ月十六日以後ニ於テ補給ノ命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限リ月額ノ半額トス
第四條 每月ノ學資補給ハ其ノ月二十三日(七月ニ在リテハ五日、休業日ナレハ繰下ク)ニ之ヲ爲ス但半途退學者、卒業者、死亡者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
第五條 學資ノ補給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル場合ハ其ノ翌月ヨリ休學期間補給ヲ停止ス

體操	第六臨時教員養成所教授	佐々木	等	東京
家事	由井 テイ	内藤 智秀	久米 又三	兵庫
歴史	東京	山形	東京	大岩
動物	津田 芳雄	網祐次	石川	金岡山
植物	大槻 虎男	東京	東京	折原 さだ群馬
漢文	林 太郎	富山	奈良	戸倉 ハル香川
國語	網祐次	石川	東京	大岩
化學	大槻 虎男	東京	中村 宽	折原 さだ群馬
英語	林 太郎	富山	ヨシ	佐々木
數學	網祐次	石川	ふみ	内藤 智秀
物理	大槻 虎男	東京	山形	久米 又三
裁縫	久米 又三	兵庫	寛	兵庫
助教授	久米 又三	兵庫	吉田 熊次	新宮 凉
	兵庫	東京	一山 形	東京
	東京	東京	吉田 熊次	松井 武昭
	東京	岡山	吉田 熊次	新宮 凉
	東京	東京	保科 孝一	國東
	東京	東京	作山 形	東京
	東京	東京	藤井 寿	東京
	東京	東京	及川 ふみ	東京
	東京	東京	助教	東京
	東京	東京	教諭	東京
	東京	東京	圖畫	東京
	東京	東京	裁縫	東京
	東京	東京	手工	東京
	東京	東京	園藝	東京
	東京	東京	家事	東京
	東京	東京	體操	東京
授業擔當	授業擔當	授業擔當	授業擔當	授業擔當
講師	講師	講師	講師	講師
習字	習字	習字	習字	習字
國語、教育	國語、教育	國語、教育	國語、教育	國語、教育
修身	修身	修身	修身	修身
圖畫	圖畫	圖畫	圖畫	圖畫
歷史	東京高等學校教諭	東京文理科大學教授	東京文理科大學教授	東京高等學校教諭
生理及衛生				

理科第一學年	教授 久米又三	勤務(兼) 勤務	書記 菅沼 隆靜岡
理科第二學年	教授 保井コノ	書記 堤 善吉	履香山 茂夫 東京
理科第三學年	教授 乙部孝吉	書記 金井眞八郎	群馬
理科第四學年	教授 岩間綠郎	書記 野村正實	山口
家事科第一學年	教授 黒田子力	履吉田 義治	東京
家事科第二學年	教授 近藤耕藏	履寺田 熊助	鹿兒島
家事科第三學年	教授 成田順	履松田 孝司	東京
家事科第四學年	教授 山井テイ	履松岡 和男	東京
保育實習科	教授 倉橋惣三	續長野	
幕事		神奈川	
臨時勤務			
勤務(兼)			
主任、勤務			
勤務			
庶務課			
庶務課庶務掛			
教授 水野敏雄	勤務 勤務	書記 堤 善吉	勤務(兼) 勤務
教授 林太郎	勤務 勤務	書記 金井眞八郎	履香山 茂夫
書記 西堂信一	勤務 勤務	書記 野村正實	隆靜岡
朽木鉄吉	勤務 勤務	履吉田 義治	東京
書記 專山形	勤務 勤務	履寺田 熊助	鹿兒島
東京	勤務 勤務	履松田 孝司	東京
勤務	勤務 勤務	履松岡 和男	東京
幕事	電氣技術員	續長野	
	機關技術員	神奈川	
教務課			
教授 内藤智秀	囑託 池田	續長野	
書記 西堂信一	囑託 石井一之	神奈川	
堺玉	囑託 石井一之	神奈川	
勤務			
幕事			
臨時勤務			
勤務(兼)			
主任、勤務			

中内寺關杉執佐黒河大木會
村藤田野本印藤川津橋
彌千君園洋直サ美代子
生代子子子チ
福静東福鹿静鹿兒
岡岡京島島岡島知阜京
附東福不岩安福横第鹿愛大櫻
女村須兒第一
屬師岡二田積岡賀一島一垣蔭
島天越山二川蔭京津

渡山森村村宮舟深平
文科第三學年
國語選修

夏千齊佐大大内石
日野藤木橋瀧田井
アキ子江子子子
大山島京岡東東靜
分梨根都山京京岡
大甲宮長光下廣島
大分第一府第一崎州館島田

藝山宗光松増前古福平菱檜
中崎像谷橋田田村田村垣
百京幸恭禮喜よし
榮合子子子子久江子子
東新福廣東千福千廣高長愛
國京湯島島京葉島葉島知崎媛
小東京第五市竹原津葉島探一治

築鈴大小宮濱中常瀧角木川岡小上井
田木島野津邊原光澤
壽エ昌滿喜子
蕙イ演房千登志
福東佐和熊兵
山島京賀本庫
就磐東附高實城
京都第一原

松平西
理科第三學年
數學選修

北梶大生伊淺原林中大稻井渡和吉安本所吉
村山狭田藤井田鷺橋並上物理及化學選修
敏俊ひ志滿子枝子子正和子江
子秀ろ貞子政重子子登志子江
靜山長福福東京東神奈川
岡口野岡島京京都京岡島知都山山崎野野
大長須西安女神手日學前府坂市積院戶
豊京第一京第一藤生蔭順

中外高高高斯後玄栗川蒲海植石飯淺
尾川橋野田波藤山越池名田澤山田
よ道啓悅滿すみ和禮美耐花真ト
よしみ子子帆子辰子枝子子ミ
鹿東廣長山東愛朝京石東東兵
兒島京島野口京知鮮都川京京庫形木野
東京長京城東京四女京岡第宇女高青岡
洋三岡野第二市普城山一宮院部院山
金眞長伸家事科第四學年
志鍋田野家事選修
佐草美惠子開子
佐草美惠子
高三朝香
重鮮川知重
伊實山形第一
那女高高
松娘松鹿

濱常土田瀨須佐櫻長小上宇佐見
田田屋中沼藤井竹淵田野野
美キ暉文みよし幸愛子子子
枝ヨ代江錦シズ子子子
東富靜福東山富香樹福東
京山岡井京形山川木野鳥島
附東滑浦舞實富丸京第一神戶
女高川和鶴踐華山山龜津
佐堺玉女師城津
横須賀大連神明原
福東女高岡
原

古船藤弘日橋中中津丹高鈴下志佐昆小久久金岡大
澤田田野本谷井曲内橋木坂村藤野林保世九谷
伸ふ壽瑞昌明ゆ佳ト吉直瑞凱節光り壬紀春草
世さ子子子リ子子子枝子子子妙弘う野子子月
香宮京東愛兵長東宮北埼福崎東岩千青富宮徳愛
川城都京知庫野京崎道玉木岡玉京手葉森山崎島媛
京城第一黑京佛愛知第一東附東都小川第宇附東東金野藤富第鹿小愛知
澤都第一和高第一津屬師城櫻越一宮屬師五一立田枝山二島原
第一

直島塩佐小工河川上堀大鶴今稻丸米吉吉山村古
江田崎藤松藤野原池原原飼井葉理科第二學年
斐まシズエヒ通光サ昌喜千貞江子文サ子子代枝子
喜百里禮彰美代合子子子子子子子子子
廣群東山東大福鹿激東東長東板長三鹿富福群東
島馬京形京分島賀京京野京木野重島山島馬京
廣前第鹿鶴成臺灣會第鹿彦東京青女川柄全小東富誓桐附東
兒嘉喜第一東京第一日本院村木州櫻三山城生屬師
島橋二島岡女義津二島根

垣岡鶴石井蟻渡渡吉山毛水美松細古船藤乃中中
見本飼探原川家事科第二學年(一ノ類)邊邊澤田利上和田井川丸田美村村
好公美保子子ヨ花なみみ喜富恵貞生千靜照マ
枝子子子子子子子子子子子子子子子子子
岐岡兵鹿東山愛禰千石熊熊愛大東東佐富山德山
阜山庫京形知鳥葉川本本知阪京京賀山口鳥梨
加岡第一小成山愛佐神奈川原山形第二蕉本第一
納山戶林女形知第一神奈川原山形第二蕉本第一
立教二部院屬師谷第一高第二谷第一高第二谷第一

藤長寺高高山増細平根
西永沼山本
野田田橋城植物及動物
英靜マス子子子子子子
喜久代好喜久代好喜久代好喜久代好喜久代好
シヅエマス子子子子子子
家事科第三學年
富宮東佐長東山茨城和歌德愛福
北海道
山城京賀野京形城木賀山島媛岡京都京賀道
高古臺北須賀本教田和岡
愛女東撫松小學
東京第一東京第六寄
岡川一賀本教田和岡
知館京養山倉

小草久北太尾一石
島刈保島田訣形木田
の文雪文治み經靜枝治
ふ子枝子子よ子子子子
家事科第三學年
富宮東佐長東山茨城和歌德愛福
北海道
山城京賀野京形城木賀山島媛岡京都京賀道
高古臺北須賀本教田和岡
愛女東撫松小學
東京第一東京第六寄
岡川一賀本教田和岡
知館京養山倉

佐衣加大内生張蓬吉徹水府平比濱野長島菅清
藤川藤山保出田裁明田川脇野中山企田元濱山原水
初典治婦英とくゑ壽美江し清ひ靜喜ヒ滿美像好嘉
惠子代久子子代久子子代久子子代久子子
岡京東東群東朝宮三秋富石福福鹿兵長群廣神奈川
山都京京馬京鮮城重田山川岡井島庫崎馬島
大舞女川東別安東京第一女平宮和川高輪立千大第鹿京横濱第一
連彌生鶴院村四府中第一普壤一山越岡島教葉明一島二島

小江今伊淺米横安村宮水本早濱野丹武砂佐
野鷗井井集院山永山田山本谷間坂多中野正岡藤
章富壽み富むも瑞綏蟲道百合富美君き由公登壽美子
子子子よ實つ京璃子ぞ子子子子子子子子
奈官兵兵鹿長石長岐東東北海宮富熊宮岡東福
良城庫野川野阜京京京城山本城山京島
東宮城第一大連東女高師樟松新加下東京第五札古魚阿磐東川福
京都第一任鴻納田一幌川津蘇城洋崎島

小久木川管岡大小櫻岩入伊井淺若横村村宗宮
林保保下田木橋寺田田江藤芹田理杉田山田定崎
ミ和ツサ禮美靖一清輝靜和幹信トの玉
道エ子ネミ子枝陸子子子素子ヨ子恵良
東北東福廣青北海群岩東山崎長熊岡富滋新岡神奈川
京道京井島赤道馬手京梨玉野本山山賀湯湯山川
忍東附東三安宮小前成福都浦附東新附東女富長新熊本第一
京第一高輪城樟高義高山濱湯湯第一

小小石井阿和吉森星深平樺林馬中武高田鈴須芝
野上上部家事科田田瀬田口場野川木村木田田
よ節芳明和秀て初幸香公光満康它和靜輝善泰
子子子子子子代子江子子玄子枝薰子子子
廣岡富福山愛和兵柄高靜愛東東香東岐崎長東德
島山山岡形知山庫木知岡媛京京川京阜玉崎京島
福岡女子大連鶴愛家鉢姫眞高平松松東第愛附東高青浦長附東清
岡第一高輪城樟高知女山淑高女學高水
女山學院明岡第一政等路岡師探北戸立一德屬師院和崎屬師谷

漢輪山宮藤禰林西仲中穂竹須齋佐小岸蒼門長大日方
湖本本本本本子野光内藤藤蘿松本野川口方
家事科第一子子子子子子千恵子子子子子子
きよ子子子子子子子子子子子子子子子子子
山長愛山山和富東山神奈山鹿北宮岩東岡福兵靜長
梁野知形口山山京口川口島道城手京山岡野
甲松豐酒久女和高横濱第一愛知第六東山基函和歌東京第三津小神戸第一女子學院長
府本立田賀師山岡第一口藤館山山倉

石飯井渡吉吉森三藤福原長谷並名粒鷹住白齊小莉
村上家事科第一幹信トの玉百藤キ貞隆美俊よ禮千壽壽芳光美智子
すアミ江イ榮年二世子タ子子冬惠子し子代枝直子江江子
千柄島新山東佐青岡三岡宮千新千長鹿兒長福岡柄
葉木根湯口京賀森山重山城葉湯葉野島野島山木
佐第宇廣柏德附東佐八岡阿生宮城第一横濱長親長京佐
都島高女第一岡賀野和野二山野倉一宮市崎山屬師賀戸山山石第一岡賀野和野二山野

海井和八村古藤久林西並中寺竹背相佐木柏鹿大
老澤文科第一芳可那道和和雅春明壽フ菊ま禎道美夕惠育
前勝枝子年江子子子子子子子子子子子子子子
茨福東京東佐山福長鹿群長香神岩千山石富東山
城岡京都京賀口井野島野川川手葉形川山京梨
東小花宮東佐櫻尚飯第鹿安長大横盛岡長金澤上附東甲
京第四蓮第一賀蔭桐田一島中野川賀岡山井二科屬師府

三九増前北藤福平原林瀧高多須三佐佐木栗乙大小
田山田條田田林田口野紀藤枝藤暮原骨森野
ゆ富和俊靜綾初ふ英政治美はる美春美菊雪眞佐
きき子子子子江隆子子子子子子子子子子子
岩山青福長北京神福靜富新和群山山富群東新青
手形森島野道都岡岡樹山湯山馬梨形山馬京京湯森
青米弘會長小京都第一横濱富京城歌和太巨東高附東女高師
森澤前津野繪第一賀戸松山第一山田摩第一岡蔭罪屬師立

(文)徐祖慧	中華民國
(文)常石瑞穂米	上海市立務本女子中學
(家)張載錦中	廣東執信中學
(家)鮑以文	奉天省遼中縣立女師
(家)鄭蘭滿洲國	新嘉坡泗光中學
高研究科第一學年	奈良女高師

宮本藤福昌西中中只高島佐近北萱上遠長岡大小繪井
本間井田中村村野野規田藤藤島野野田村野澤鳩上
ミサヲ悠セト和壽艶美節美靜たき壽
須雅子芙蓉子つ靜シ子子子代子江子壽益いみ恭子
愛栢愛熊高鳥青兵福福東宮佐兵佐兵千千長
媛木知本知取森庫島島京城庫賀山島京島庫葉崎
東佐愛知第一栖高知女師馬戶津賀島第一宮島金子崎
宇第一神戶第一路第一島第一宮島金子崎

竹竹高田諱下柴酒岸菅大小池 松東竹瀬小大山
中内瀬谷訪田崎井 野瀬九畠保育 寺村川山山本富美
澤和妙ヨ春八百合友朋ユキ千萬悌富 美子サカエ
子子子シ子子重綠子子リミヅ子福鹿兒島第一學年
島廣東柄東東東和歌山東福東大東岩大東岩大東
根島京木京京京京京京京京京京京京京京京京
櫻三櫻東京第六正山島屬師館馬立校校校校校校
蔭原蔭第三蔭講生

(文)朱銀聰講生
(文)玉仁善朝鮮
(文)小野寺ルース米國
本科第一學年 哈爾濱第一女子中學
本科第二學年
(文學科名ハ略稱ニ依ル略稱ハ文科ヲ
理科ヲ理、家事科ヲ家ヲ以テ示ス)
美末敏百國シ行薫テ啓松
榮子子子子子イ子イ子イ子イ子イ
若横山山宮三町福日馬土
山瀬根口田浦田圓高場子
廣東東山山分大德東京島嶼崎東
院廣東附東京島嶼崎東京島嶼崎
高島女高部學五屬師葉津蔭
前附東女高師明橋屬師

二 生徒兒童幼兒數

(一) 生徒兒童幼兒數

(一) 生徒兒童幼兒數									
		生徒		本校		附屬學校		合計	
		聽講生	計	高等女學 生徒	小學校 兒童	幼稚園	幼稚園	計	
		四九	一六	四九	三一	三〇	三九	二七	
(二) 本校生徒數		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	合計	合計	一八八	
		一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
		四九	三一	三〇	三七	三八	三九	二七	
		四六	二九	二六	三五	三七	三九	二七	
		四四	二九	二六	三五	三七	三九	二七	
		四六	三〇	三〇	三七	三八	三九	二七	
		一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	一八五	
		一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
(三) 附屬高等女學校生徒數									
		合科		本科		科		合	
		攻	專	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
		國語部	家事部	學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
		二四	二七	第一學年	一〇〇	一〇〇	一〇二	九七	九四
		二〇	一七	第二學年	一〇〇	一〇〇	一〇二	九七	九四
		六一	一	第三學年	一〇二	一〇二	一〇二	九七	九四
		四九三		第四學年	九七	九七	九七	九七	九四
				第五學年	九四	九四	九四	九四	九四
				計	一	一	一	一	一
(四) 附屬小學校兒童數									
		科		學年		科		合	
		第一	第二	第一	第二	第一	第二	第一	第二
		學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年
		第一	第二	第一	第二	第一	第二	第一	第二
		學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年	學年
		第五	第六	第五	第六	第五	第六	第五	第六
		第六	第七	第六	第七	第六	第七	第六	第七
		計		計		計		計	
		高		第		合		合	
		等	一部	一	一部	一	一部	一	一部
		等	常	常	等	常	常	等	常
		科	科	科	科	科	科	科	科
		男	女	男	女	男	女	男	女
		一三	二四	一三	二四	一三	二四	一三	二四
		一二	二三	一二	二三	一二	二三	一二	二三
		一四	一	一四	一	一四	一	一四	一
		一〇	一	一〇	一	一〇	一	一〇	一
		一五	一	一五	一	一五	一	一五	一
		一〇	七三	一〇	七三	一〇	七三	一〇	七三
		備考		*印ハ聽講生ヲ示ス		合計		*一四〇	
		*一四八		*一一二		*一〇五		一一三	
		*四六九		*四六〇					

男	女	女	年
一	二	三	第一學年
三	四	四	第二學年
二	一	二	第三學年
四	一	一	

(五) 附屬幼稚園幼兒數

		第三部		第二部		第一部	
		尋常科		粗山ノ海ノ粗森ノ川ノ		粗林ノ泡ノ	
		女	男	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		計	計	一九	一八	一九	二〇
		三一	三一	一五	一五	一八	一六
		三三	三三	一五	一八	一八	一六
		三四	三四	一五	一八	一五	一五
		三〇	三〇	一五	一四	一四	一六
		一	一	七	七	八一	八一
		三〇	三〇	一五八	一五八	一五八	一五八
		六〇九	六〇九	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		九六	九六	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		七二	七二	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		九三	九三	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		六〇九	六〇九	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		合	計	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		二八	二八	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		二八	二八	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		三〇	三〇	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		三〇	三〇	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		一六	一六	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		三〇	三〇	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		三〇	三〇	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		六〇	六〇	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ
		一七六	一七六	粗山ノ	粗海ノ	粗森ノ	粗川ノ

三
之
本
生
行
之
新
用
縣
別

區 陸 北		區 東 關		區 北 東		府 縣													
福	石	富	新	神	東	千	堺	群	茨	栃	宮	岩	青	海	北	縣	學	學	
井	川	山	湯	奈	川	京	葉	王	馬	木	城	島	形	田	城	手	森	範	文
																	師	科	
																	女	科	
																	高	理	
																	他	科	
																	範	家	
																	師	事	
																	女	科	
																	高	研	
																	他	究	
																	範	究	
																	女	科	
																	高	科	
																	他	育	
																	範	實	
																	女	保	
																	高	習	
																	他	科	
																	範	合	
																	師	計	
區 國 中		區 巍 近		區 海 東		區 山 東		府 縣		學		學		科		科			
山	廣	岡	鳥	鳥	和	奈	兵	大	京	滋	三	愛	靜	岐	長	山	縣	學	
口	島	島	島	島	歌	良	庫	阪	都	賀	愛	重	知	野	梨	阜	學	科	
					山												範	文	
																	女	科	
																	高	理	
																	他	科	
																	範	家	
																	女	事	
																	高	研	
																	他	究	
																	範	究	
																	女	科	
																	高	科	
																	他	育	
																	範	實	
																	女	保	
																	高	習	
																	他	科	
																	範	合	
																	女	計	
九	二	九	四	三	六	二	三	三	四	六	九	一	三	七	五	七	八	合	

四
之
橫
之
行
之
縣
之
分
學
歷
足

區國四
高愛香德
知媛川島

鹿宮大熊長佐福

兒島崎分本崎賀岡

一三一

二

一一五二四

二二三

一

七一二二六三

一二

一

一一一

一

三四三八七二五

四五五

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零二十一

一百零三十二

一百零四十三

一百零五十四

一百零六十五

一百零七十六

一百零八十七

一百零九十八

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零三十一

一百零四十二

一百零五十三

一百零六十四

一百零七十五

一百零八十六

一百零九十七

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零三十一

一百零四十二

一百零五十三

一百零六十四

一百零七十五

一百零八十六

一百零九十七

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零三十一

一百零四十二

一百零五十三

一百零六十四

一百零七十五

一百零八十六

一百零九十七

一百零十

一百零十一

一百零十二

一百零十三

一百零十四

一百零十五

一百零十六

一百零十七

一百零十八

一百零十九

一百零二十

一百零三十一

一百零四十二

一百零五十三

一百零六十四

一百零七十五

一百零八十六

一百零九十七

一百零十

一百零十一

一百零十二

六、入學志願者及入學者學歷及卒業年次別

(四)

10

卷八

第十 卒業者

七 本校生徒年齢別

平劉長◎	明治十五年二月	志长 川松多永本田厚吉堤小猪长谷川 田 岗 小学师范科卒业
*	*	賀嶺 名下贺井多寺木村 池子川 ***
兒大諸和相	明治十五年二月	宮本伏古林鶴服平坂小倉木神沖宇 島野方磯業(十一人)
つふぬま	明治十五年二月	本多見市 山部山根杉田暮中野川 ふさてふさむたなくてがきなふて 孙みいぞ人
鹿京大静	明治十五年二月	ふさてふさむたなくてがきなふて 長青愛兵東東東山靜靜群和兵東 兒島都分園
野森知庫京京京口岡岡馬山庫京	明治十五年二月	野森知庫京京京口岡岡馬山庫京
山渡	明治十六年二月	渡木藤 近田井 小平山 菊石 邊村田 藤澤上 小學師範科卒業
*	*	邊村田 藤澤上 小學師範科卒業
岡岩	明治十六年二月	茂鈴杉里澤熊飯本木田見崎田業(七人) 木木田見崎田業(七人)
かてい	明治十六年二月	かえすつすよ殿 いいじゆてうみ
山新	明治十六年二月	東靜福千千東東 和千鹿東崎北靜 形湯
京	明治十六年二月	京岡井葉葉京京
○小柏	明治十六年七月	寺賀井木西礁塚坂岡 川谷 分藤 小學師範科卒業
*	*	深古崎松川井田口本 ***
松	明治十六年七月	和安春戶高田島志坂佐 松土西柘佐岡小内
たさかまふふとかね	明治十六年七月	和智香田倉橋中村井野 ぎめくつかせげさけか
いちんまろんくくい	明治十六年七月	たれたまふふかたおせ くめくつかせげさけか
東大福茨東福東東福	明治十六年七月	山靜東和東靜東愛山靜 京分島城京岡京京島
梨岡京山京岡京知形岡	明治十六年七月	梨岡京山京岡京知形岡

厚山 宇吉清上	明治十三年七月	蘆箕寺柳早菊内高福 木下 佐美田川田 小學師範科卒業
*	*	野輪田 川池村 木島 ***
瀬菅信金井天淺川原太子上野岡	明治十三年七月	渡馬服中豐多田竹千枝澤木 邊原部島烏湖村澤足本原下 すき延け殿(十五人)
タス	明治十三年七月	たつせこ かまぞみ 駿は マ鉛く枝いつく
東神大岩新千長京川阪手湯葉崎	明治十三年七月	岐山滋東東東千兵兵岡東 奈京川阪手湯葉崎
京	明治十三年七月	阜口賀京京京葉庫山京

大◎原三	上九	加高
津田須	野橋	蘿峰
保母練習科修了(十一人)	***	***
山武水前福橋長田小勝相	村松穗高異武竹	
田藤野原田本竹中林山原	鳥井積田橋 田橋	
千ハ 布嘉	ちてきもきふ	左ゆん
代ナ桂鐵久次國良利貞春	かるんつんき錦	
静靜崎東東宮東東東宮	福東愛靜東千靜石	
岡岡玉京京城京京京城	島京媛岡京葉岡川	

押川	明治十四年二月	白鈴 渡里白 ◎ 安 杉南 佐々木 田金 小學師範科卒業
*	*	戸木 邊見石 達野
猪狩	明治十四年二月	杉木中子
ゑ	明治十四年二月	***
安町松寶平野關逆坂櫻小喜多見賀宇有相背	明治十四年二月	(十七人)
岡田枝生探間野藤口井林賀木	明治十四年二月	
いつことをえちつたてゑさつふもりえしん	明治十四年二月	
くるるよとつかるかういき孙みえしん	明治十四年二月	
佐崎高神奈川京葉京梨崎川京京分口城川車	明治十四年二月	
賀玉知	明治十四年二月	

井井 平染平代坂 古稻元 ◎ 茂	奥碓阿西
上口 野谷川島井 市野吉 木	山井部村
*** * * *	* *
三普藤深牛西長高坂加奥大岡温浅	中庄木岩
角喜田川田村岡槐野納宮野田美石卒業	川司村崎
てあとふとふしゆ 宇千ち	また良た
錫つりしちくよか鈴う茂鈴志代ゑ	お久つ
北山秋岐東滋東三石岐千石高和岩	東東北海道
北海道口田阜京賀京重川阜葉川知山手	京京
明治二十五年三月	高等師範科卒業(十五人)
明八安 森高 ◎ 鈴藤	貴佐島伯
石木田 岡畑木川	小學師範科卒業
明治二十六年三月	明治二十五年七月
中寺土田鈴十文北河島田中木文字川澤野	板倉和松高龜岡
を養と正こまみつ	木本橋田
ぬち尾竹ときねか	きひひさえで
愛京石滋新宮三長東	群馬
知都川賀湯城重野京	東三新京
明治二十五年十一月	高等師範科卒業(一人)
明治二十四年三月	小學師範科卒業(一人)
明治二十四年十月	小學師範科卒業(十七人)
明治二十四年七月	小學師範科卒業(一人)
明治二十四年十月	小學師範科卒業(四人)
明治二十四年七月	小學師範科卒業(五人)
明治二十四年十月	小學師範科卒業(四人)
明治二十四年七月	小學師範科卒業(五人)

西牧 小西 大宮 ◎ 竹野	木村	西川 *
里 川山 橋野	澤村	湯川 加め
明治二十三年三月	高等師範科卒業(四人)	長崎
野土戸寺塚田櫻木河長内海	森諸井永	西川 *
口岐野田本所井村野田	近藤	湯川 加め
ゆやみ佐そみむせをとせ	木	長崎
かそ葉まをとんほん	村	西川 *
兵京京茨福高東青東山東	木	西川 *
庫都都城岡知京森京梨京	村	西川 *
明治二十三年三月	小學師範科卒業(十三人)	西川 *
明治二十四年三月	小學師範科卒業(八人)	西川 *
明治二十四年七月	米鶴見	片岡
明治二十四年十月	波多野	中澤
明治二十四年七月	松村	高星
明治二十四年十月	田松	安井
明治二十四年七月	田垣	井つ
明治二十四年十月	木島	井て
明治二十四年七月	池	はね
明治二十四年十月	とまき	まく
明治二十四年七月	木	ふ
明治二十四年十月	ふみ	み
明治二十四年七月	とまき	く
明治二十四年十月	うね	ね
明治二十四年七月	ほ	ほ
明治二十四年十月	とまき	ま
明治二十四年七月	長茨	東京
明治二十四年十月	熊宮岡高千長茨	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年十月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年七月	京都	東京
明治二十四年十月	本城山本知葉崎城	東京
明治二十四年七月	山梨形	本城山本知葉崎城
明治二十四年十月	京都	東京
明治二十四年七月	本城山本知葉崎城	東京

玉宇沼馬	横和岡松	島宇佐牧熊	
造野内詰	山田村下	家事専修科卒業	明治三十二年七月
*	*	*	*
田曾瀬關佐久草川太池石井伊雨	成須木内市	長谷川本	足林寺田福平野福
原藤下根藤田間井平上田上藤田	田藤島原	高村藤	丹瀬羽達島邊地野口口田
や菊てむたたさひみむらさなの	よよち壽		*
へ江つつみけださち清ひみり	つね春う見		*
東和東東岩徳長秋愛高宮福新鹿兒	山東新長山		*
京山京京手鳥野田媛知城岡湯鳥	形京湯野形		*
石加赤伊馬茂宮土◎	人鈴◎木岡石	川島選科卒業(二人)	依迎松東平平八野富士竹田坂小岸北甲川大
居藤穂藤楊木地本	見木下村垣		岡崎木山田原永取崎中本林高島斐瀬探
*	*		ふこたひつそふとくてひな美
志佐河木草加兼大岩荆安	吉吉嶺本前野德高		愛照くうきさ敏翁の信安みみ裏あふさほ采
保木木内川瀬子塚間木藝	野本田田地富田		兵庫高佐東長福千山熊東愛高島群千福和香千兵
きひる成ふ満ウ榮きつ代人	ふうき蝶やゑふは		知賀京野岡葉梨本京媛知取馬葉岡山川葉庫
滋宮長長三新群高愛新北海	みたく子すうじる		
賀城野野重湯馬知知湯道	山香靜東德福東東		
	形川岡京島島京京		
丸加◎稻大三廣佐木吉◎小塚高伊		長門◎◎廣大	今小羽淡橋◎脇
山藤見羽池島藤内村		戸脇瀬探	井關田中本谷保母練習科修了(八人)
*	*	明治三十二年三月	明治三十一年七月
吉山藤武宮宮馬藤萩波西長田戸杉鈴新		小久保藤澤田野川	八星中北片折大石阪野島野山井山井
川川寺藤脇川川上崎森野森岡阪田立木町		大立日	ともさきせは富士彌留千しき
て瀧しかうひ千ていはりあるよもとし		とはともさきせは富士彌留千しき	も節つ鶴敏きとだくいる恵枝代げ
ねは野づめたさ幹るうのま元榮つやひし		愛東東高大徳宮	香新群大高岡大熊
東新岡柄香兵東福福神徳茨高北海廣東愛新香		知京京知分島城	川湯馬分知山分本鴻
京湯山木川庫京岡島城知道島京知湯川			

川島選科卒業(二人)	足林寺田福平野福	長門◎◎廣大	今小羽淡橋◎脇
	丹瀬羽達島邊地野口口田	戸脇瀬探	井關田中本谷保母練習科修了(八人)
*	*	明治三十二年三月	明治三十一年七月
小久保藤澤田野川	八星中北片折大石阪野島野山井山井	*	*
大立日	ともさきせは富士彌留千しき	*	*
とはともさきせは富士彌留千しき	も節つ鶴敏きとだくいる恵枝代げ	*	*
愛東東高大徳宮	香新群大高岡大熊	*	*
知京京知分島城	川湯馬分知山分本鴻	*	*
川島選科卒業(六人)	山淺島棚吉◎坂幸奥紀長田大中藤太影里石	長門◎◎廣大	今小羽淡橋◎脇
	田田村橋富井田村内谷澤村原村田山見井	戸脇瀬探	井關田中本谷保母練習科修了(八人)
*	*	明治三十二年三月	明治三十一年七月
渡横森溝宮武法藤平泥波西富遠田武高高佐	八星中北片折大石阪野島野山井山井	*	*
邊尾岡淵田藤貫村山谷井山中田野橋瀬	ともさきせは富士彌留千しき	*	*
すゑ駒みひそあてなたふみふまみさく	も節つ鶴敏きとだくいる恵枝代げ	*	*
みづ長衛ねさゑやみるきみねく綾つにきま	愛東東高大徳宮	*	*
新京福高愛新京徳佐長東佐兵岩東長宮富佐	香新群大高岡大熊	*	*
湯都井知知湯都島賀崎京賀庫手京野城山賀	川湯馬分知山分本鴻	*	*

森 廣島伊	窪石 廣安宮	◎ 星
瀬海勢	田崎 濱造村	
* * *	*	*
森牧牧松丸保廣久林島二中玉棚立瀬關鈴智清堺佐 野原本山田瀬門 田宮澤井橋川川木原水治		
キ乙八モき玄フヨキナ美トイクけし みしささ 緑ウ女季トクンフジ子くホ代リヲマいん順あげきや		
石新東和東岡群徳愛兵廣長柄徳鹿東新靜兵東福福 川湯京山京山馬島媛庫島野木島京湯岡庫京井島		
錄 田 林 中 伊 吉 海 富 漢 四 杉		
明治三十五年三月 田邊 澤藤 田野 関 保母練習科修了(十二人)	明治三十四年十二月 保母練習科修了(十二人)	淺野方野
赤井(二十三人) 吉矢藤人野中辻高關澤佐大 野野田見村川濱 村藤島 矢百森		矢百森
キタ 富よぎヨマキ壽キム小ムエ奈良免 春ヨ美しんネサノ賀エメ春		野瀬下
北海道 千葉山大群香香新香福岡 德長大 葉媛梨阪馬川川湯川島山 島野阪		島野阪
大寺◎小手 林池大 ◎江 規 小 ◎鈴岡山		
石島 高探 袋津 川 尾 島 木田川		
* * *		*
吉山森三武松服延永田館烏篠莊桑國工加大江植 川田岡原藤宮部原井島 倉原司田田越藤野口田 つトタ ナ 毒 マツとみ 鮎八タ八エ ゆ折 るタケ操つ寛節賀溝ス持先の子重ツ重々鑑き枝都 熊香島宮長京香鹿宮熊愛大長石岩鳥香岩福佐香 本川取城野都川島城本知阪野川手取川手井島賀川		

大 ◎ ◎ 橋宮 ◎ ◎ 木 建田 武 立 池	村 本川 村 部 中 井 野 側 選科卒業(二人)
村 本川 村 部 中 井 野 側 選科卒業(二人)	高等師範科卒業(四十四人)
*	*
木 錄 萱 蒲 河 大 小 小 遠 宇 井 泉 磯 安 阿	木 錄 萱 蒲 河 大 小 小 遠 宇 井 泉 磯 安 阿
村 田 野 生 濱 江 江 田 原 藤 野 口 屋 山 藤 部	村 田 野 生 濱 江 江 田 原 藤 野 口 屋 山 藤 部
よこ千さけスキ うみ ちよたつさ 雪 子 う	よこ千さけスキ うみ ちよたつさ 雪 子 う
ねと賀とさミまの梅ぎねかなつ子の榮	ねと賀とさミまの梅ぎねかなつ子の榮
新熊熊香福東長茨秋神秋北三山鳥奈	新熊熊香福東長茨秋神秋北三山鳥奈
湯本本川島京崎城田川道重梨取良	湯本本川島京崎城田川道重梨取良
大 城	王 阪
新松立桜 五 田 村 鈴 東 吉 ◎ 阿 阴 茂 空 安 澄 九 竹	新松立桜 五 田 村 鈴 東 吉 ◎ 阿 阴 茂 空 安 澄 九 竹
開木花 原 子 島 山 木 條 川 部 部 木 開 藤 谷 関 村	開木花 原 子 島 山 木 條 川 部 部 木 開 藤 谷 関 村
*	*
眞堀深平平東濱野丹中中永永照千立田高澤相黑木	眞堀深平平東濱野丹中中永永照千立田高澤相黑木
島内水岡生 本羽居尾 潤地内田澤頭田木良岩村	島内水岡生 本羽居尾 潤地内田澤頭田木良岩村
美まぞきのも い瀧ぶゆ まさきよ あみきと 千	美まぞきのも い瀧ぶゆ まさきよ あみきと 千
枝つるちえと冬く野んみ にわのよし浅ぬく増代	枝つるちえと冬く野んみ にわのよし浅ぬく増代
京長富福東長愛新愛徳愛佐山福山熊秋鳥佐高高	京長富福東長愛新愛徳愛佐山福山熊秋鳥佐高高
都野山岡京崎媛湯知島知賀口鳥形本田島取賀知知	都野山岡京崎媛湯知島知賀口鳥形本田島取賀知知
佐 大 武 松 中 白 太 江 竹 ◎ 福 ◎ 内 加	佐 大 武 松 中 白 太 江 竹 ◎ 福 ◎ 内 加
原 城 田 井 村 石 田 藤 津 國語漢文專修科卒業(三十九人)	原 城 田 井 村 石 田 藤 津 國語漢文專修科卒業(三十九人)
*	*
佐 黒 風 河 河 大 小 級 磯 澄 相 阿 阿 吉 山 山 村 村 宮	佐 黒 風 河 河 大 小 級 磯 澄 相 阿 阿 吉 山 山 村 村 宮
竹 田 間 嶺 口 野 泉 野 田 島 間 川 部 部 譯 下 嶺 上 山 島	竹 田 間 嶺 口 野 泉 野 田 島 間 川 部 部 譯 下 嶺 上 山 島
久と志コ龜代シマツチ美ツ となそつ松	久と志コ龜代シマツチ美ツ となそつ松
貞良のんト毒げツ徳ノ達保ル恒 幸みみゑね代	貞良のんト毒げツ徳ノ達保ル恒 幸みみゑね代
福 静 静 石 山 神 宮 福 高 廣 佐 静 山 千 新 京 乌 英 新 山	福 静 静 石 山 神 宮 福 高 廣 佐 静 山 千 新 京 乌 英 新 山
島 岡 岡 川 口 川 城 岛 知 島 賀 岡 口 葉	島 岡 岡 川 口 川 城 岛 知 島 賀 岡 口 葉

小秋上橋田打桐 ◎ 高 ◎ 渡松 町宮 中宮 高
林葉總本上越榮 橋 邊澤 田本 山崎木
* * * *

吉油松本古福藤林中田高高須鈴清小小向國木小小
田井村多谷永井 川邊橋柳藤木水泉池野稻村切野
ふちとひタふキ玉ひきみマセ しチきてハセもな
ぢかみ法ヨジ日子セ利セ久げヨヨるエツとみ
奈千大宮山兵福靜福滋東山長和東島新神奈山長千
良葉阪城口庫島島賀京梨野山京根湯川良形崎葉

◎ 杉高山平佐鈴小富 ◎ ◎ 平今 ◎ ◎ 村渡
村田沼藤木柳田 野澤 越邊理
科萃業
* * *

和山牧松堀半萩長中築高田木最佐大石一赤
知本野岡田澤原川野山橋中村所木森橋瀬星
チケマ芳ハ美セたゆヤ 八茂ミフ ツム千
ルムツ女ル加シメ江ヨ貞重枝ヨノ國コラ代

千千新島石北富兵山熊大富岡岡山福秋崎熊
葉葉湯取川道山車形本阪山山梨井田玉本

增 甲山赤芳 西大森太田日飯長 宮椎
田 妻木堺賀 里西山田中下田尾 田川
* * * *

横吉山森南松西成富高武田篠岸加奥越浦阿刀田
山村口脇 下村田田橋内中原本藤寺智野田
つはフな きヒ タフミチ サカキまた
や浅ジソ門静ぬサ要ツサツカ鐵キノヨ記ま

兵禰佐熊奈愛和富東香福山香東富福山熊宮
庫井賀本良知山山京川岡形川京山島口本城

森竹 中菊 甲下中龍 ◎ ◎ 川渡志川佐 ◎ ◎ 廣
澤研究科修了 井池 田瀬尾澤 井邊村井野 澄
* * * *

牧阿了 牧湯保山森三野中寺高築桑黑菊奥生淺
原部(二人) 澄川井田川溝村條本鉢尾原崎池山田見人
乙 敷コつ龍幾みひ美夕 せス他
女恒 茂世ノギ乃重ちる子マ鶴達直い春マ美
東千 山宮大熊山和山福富秋福山秋茨大富石
京葉 口城阪本梨山梨島山田島梨田城阪山川

土清矢赤田 遠朴北赤須忍 ◎ 中三 ◎ 高
屋河崎木北 藤澤野木田 井宅 地理歴史
科萃業
* *

澤佐佐小北木川小織岡江石糸伊伊相荒
田藤藤林澤崎口野田 頭田賀地藤藤羽木
ミソルテアマヨキキしほタカモ静らまつ
ミサツミモルのスネヨヨげんネとは子やす孙
廣長山長長香大神福宮石香靜北宮山新石
島野形崎野川分川島城川岡道城口湯川
東京

◎ 飯五十嵐 明治三十六年三月 伊山高波紀 高
山 岩佐佐志 橋谷志 橋 五 ◎ 東加
文科萃業
* *

大岩飯赤 (二十六人) 若山山牛村村宮峰野西中長千田高
岩尾沼江 林中崎口瀬松武村田木倉田葉崎橋
のラ志よ たトとミナハセユモハモタテ
ぶンづね まシミ枝チタル志いノアルモカイ

長東千富 新廣茨長大山香長新東石東山福岩
野京葉山 湯島城崎阪梨川野湯京川京梨島手

相	比	金	渡	河	諸	久	德	草	中	百	水	柏	河	柏	柴	木	山
川	山	山	邊	野	岡	保	永	野	島	澤	島	野	木	野	木	村	本
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
宮	東	田	澁	志	保	田	小	君	内	大	植	池	栗	荒	吉	矢	皆
本	原	村	谷	林	塚	田	松	村	上	松	屋	木	木	脇	吉	安	皆
ミ	マ	フ	ミ	ス	タ	サ	サ	ト	サ	ヒ	サ	ヒ	ヌ	カ	野	岡	川
ネ	サ	ヨ	デ	ル	ミ	高	ツ	秀	ダ	イ	リ	タ	イ	フ	喜	寅	惠
長	火	富	山	兵	靜	佐	大	福	青	大	福	和	兵	代	秋	東	大
轍	駿	駿	山	形	山	山	山	山	山	山	山	野	石	政	村	本	山

高	船	吉	岡	万	壽	福	井
木	家事專修科卒業(十五人)	芳	村	ヤスエ			
田	磯	宇佐見	ト	モブ	穢	烟	せい
木	原	川	ト	モブ	河	岡	シ
本	山	上	ヨシノ	野	野	上	イ
山	*	トヨシノ	ク	トヨシノ	トヨシノ	トヨシノ	トヨシノ
*	*	ム	マ	ト	ト	ト	ト
前	福	高	福	高	福	高	福
山	東	中	杉	中	杉	中	東
根	原	高	小	高	小	高	原
ム	ム	木	杉	木	杉	木	ム
春	春	原	野	原	野	原	春
ツ	ツ	野	野	野	野	野	ツ
も	も	シ	シ	シ	シ	シ	も
城	京	知	岡	知	岡	知	城
地	東	福	高	福	高	福	地
理	原	野	中	野	中	野	理
歴	原	原	高	原	高	原	歴
史	原	原	木	原	木	原	史
專	原	野	木	野	木	野	專
修	野	野	原	野	原	野	修
科	野	野	野	野	野	野	科
卒	野	野	野	野	野	野	卒
業	野	野	野	野	野	野	業
(二十六人)	*	*	*	*	*	*	

鈴竹内香◎ 池法菊 安室雄長杉村 ◎
木下田川 田田齋 波川本上
＊ * * * *
山山安森松福平橋速野生直永多須薄溢清柴佐佐小
日本屋本元田野本水村江江井賀藤 谷水田蘿藤堀
や茂よチ 勢千鯛 すうウ茂ナ貞百 基美あ之
う登しエ晴記惠壽信子幹左メ子ホ世代憲代幾いま
三熊東廣鹿東東宮山東東宮京福新福千靜靜北福熊
重本京島京京城口京京城都島湯島葉岡岡道島本

酒常 池井内鈴主 田	川柳 開 檜 國淺松
井川 田村田木方 潤	口井田 岐 澤野本
*	
田 鈴 齋 佐 國 神 神 井 佐 荒 中 木 藤 友 嵐 戸 上 藤 川 (三十人)	村 平 錦 田 鈴 島 佐 佐 來 風 田 尾 織 中 木 岡 野 藤 見 尾 チ 居 夏 チ マ キ ユ 茂 る 子 よ メ ウ よ 你 ウ サ で ん 福 東 千 愛 宮 福 宮 宮 駒 兵 岡 京 葉 姫 嵐 岡 城 同 库
	福 大 高 千 山 奈 富 德 和 福 岡 阪 知 葉 口 良 山 島 山 井
菅 鈴 關 雲 澄 ◎ 柳	石 ◎ 尾 佐 青 渡 齋
原 木 田 澤 澤	川 村 布 島 遊 藤
*	*
館 織 中 中 戸 關 漢 須 相 河 太 村 根 田 尾 藤 良 田 平 か イ タ ヨ ハ ん ち 正 テ ル ぶ ウ ケ シ つ い ウ 喜 リ	山 毛 森 三 滿 尾 原 西 竹 高 下 利 輪 田 藤 藤 村 下 松 フ ミ イ も あ 三 よ ノ 能 楽 サ ツ シ と い 生 ま ア 姉 代
宮 福 廣 京 石 東 石 新 東 城 島 島 都 川 京 川 湯 京	山 富 東 愛 大 熊 楠 新 熊 石 梨 山 京 知 阪 本 木 湯 本 川
山 須 小 斎 諧 馬	三 間 櫻 岡 川 ◎ 今 林 坂 古
本 藤 野 藤 方 場 文 科 卒 業 (明治三十九年三月)	輪 本 村 峰 保 井 本 川
*	*
織 岡 小 江 上 石 飯 蘆 (二十九人)	吉 吉 山 山 山 矢 森 皆 宮 的 廣 田 本 川 端 田 川 川 田 サ ハ よ ヨ 和 ミ セ ズ ダ ハ ウ ウ 歌 ネ ツ ハ
石 和 宮 福 島 福 大 山 川 山 城 島 取 島 分 形	石 京 島 英 国 東 群 東 香 和 長 川 都 取 島 山 京 馬 京 川 山 峰

藤 上 櫻 北 熊 山 小 猿 丹 寺 高 平 山 堀 木
野 野 井 野 澤 田 桐 田 宗 田 橋 野 中 合 宮

* * * * *

村 細 戸 田 田 田 須 清 小 小 黒 久 木 桧 神 金 織 大 大 内 池 秋
尾 野 島 中 中 磨 水 林 山 山 保 村 浦 谷 井 田 里 立 海 内 山
セ よ エ 巻 寿 ツ も え い サ ト 初 ス 三 菊 ト ツ 志 の わ 千 代
ツ し キ の タ や な に エ ト ク 清 見 マ 枝 子 シ ネ ぶ だ か 吉
愛 三 福 石 東 大 長 東 茨 鹿 京 石 石 島 東 北 岩 新 東 兵 福 静
媛 重 島 川 京 阪 野 京 城 島 都 川 川 根 京 道 手 湯 京 車 島

佐 小 小 布 杉 清 岩 早 神 宝 佐 關 中 藤 進 石 ◎ 大 根 田
藤 西 木 施 田 水 井 用 田 井 藤 川 井 藤 井 文 科 卒 業 (明治三十八年三月)
塘 梅 丸 高 鈴 佐 後 古 久 河 金 片 岡 落 內 井 鶯 湯 矢
野 橋 木 間 藤 賀 田 內 子 山 見 合 池 上 尾 田 部
ミ も ま ら 正 耐 ち き ら ツ ネ ミ ア ト よ イ エ ケ
ツ つ 口 め 尾 子 セ う み ノ 宏 ワ ヤ ヨ ね ツ 子 イ イ
佐 東 東 岩 静 岐 宮 山 鹿 山 熊 新 熊 山 秋 秋 富 鹿 棚
賀 京 京 手 岡 阜 城 梨 島 日 本 湯 本 口 田 田 山

富 渡 小 牧 富 山 平 ◎ 安 寺 古 淺 岩 原 土
田 逸 田 野 理 科 卒 業 (明治三十九年三月)

萱 川 尾 小 宇 石 阿 佐 美 谷 部 (十七人)

シ れ た ケ イ リ サ グ ハ ケ 淑 イ ミ つ

秀 サ ハ ゲ 荣 恒 ハ キ 枝 マ き す

大 山 山 東 棚 新 千 岡 秋 東 茨 長 山 濱 京 静 島 北 海

分 形 形 京 木 湯 葉 山 田 京 城 野 梨 賀 都 京 取 庫

高市青大北曾池中山梅 野原紙竹原根田江本原	家專修科卒業 選科卒業(一人)	水 中 田 田	
*	*	*	
中曾島小北今川岡奥遠井泉伊淺 田沼守池佐村上田山藤黒 藤見 せよサ春都カ千榮ミスは淑セト もしク生幾子鶴子キかる子みく	宇佐見 ア ヤ	山 山 安 岐下川 ミクら ツラム	
群静神山東福長千福滋熊福京岐 馬岡川形京島野葉島賀本島都阜	秋 田	熊 香 長 本 川 野	
明治四十年三月 文科卒業 明治三十九年十一月 文科卒業 明治三十九年十一月 保育實習科修了	十 鈴 山 時 木 田 田 志 齊 石 中 村 藤 田 あ ふ つ で 静 三 福 神 愛 廣 岡 重 岡 川 知 島	申 堀 ○ 村 越 吉 安 山 中 武 田 本 イ ム ニ 利 ソ う キ 福 神 愛 廣 岡 川 知 島	小 板 橋 片 沢 田 猪 樹 片 河 澤 田 吉 安 山 日 土 原 橋 内 中 武 田 本 名 生 本 田 村 ヨ と リ あ け ふ ヨ き た カ シ く カ あ み え き ん か ツ 熊 長 長 京 群 宮 新 宮 岡 新 本 崎 崎 都 馬 城 潤 城 山 潤
河澤別右辰高内森 内今西 岡山八城南 野 所近巳田田山 山泉村 村本等戸方	*	*	
山山三馬松福橋原野永長中鈴桑大大江打磯井 田本上井森本 田津留尾野木原西里口田田上 一フ はミストシマミドウ菊ふシミカニエトは 恵サ秀めツエシノサヤ美タ衛みヅシメタブミる 和秋東宮佐大新島福島長新高長山三福佐和熊東 山田京城賀阪湯根崎湯知野口重岡賀山本京			

中小 植伊今 ◎ 河木池田鹽松佐古 ◎ 田
村山 口早西 ◎ 口幡上口川本田戸 島

* 吉矢武平林早富鶴常竹竹田田杉鈴須須鳥作小來
田島藤川川岡田光内野申中山木甲藤村間原
イミキムキタクセ美ても志下ちてサトエ
ア幕木淑チ兎メキ森にイ加つぜう枝茂かる末
福和新熊秋山大熊岡青大滋長長京石熊富宮大徳
岡山湯本田形阪本山森阪賀野野都川本山城阪島

原布原小岩江山岩田宮牧伊鈴 本 ◎ 益渡高川
施鳥田澤本崎副内 藤木 多 田邊橋人 理科卒業
*

米山山見平西寺高田田關松佐黒清遠今石小豆安
田崎田山山内田尾所中屏木田原藤堀川澤薦
タヌミ安駒こ花津トアヒギチトキ一ふツマキ
クねマナ代路め子留ノテさんカクミ枝さタ
新千和香長高和千熊愛熊愛茨佐島佐和岐大徳
歌葉山川野知山葉木媛本知城賀根賀山阜阪島

横岩岩福齊布土 大 ◎ 大 ◎ 畦水津 江北 山
山村橋寺藤能井 野 黒 森野田 志爪 田 技藝科卒業
*

村福野田千清櫻澤佐齋古草熊黒貴大入間田
田島村村頭水井村伯藤賀光澤澤志志保内川
フ高小 あフ見ヒミキうミテ三タタリモ
サ晴子梅久をサニサネルのルる枝マノを
富石京新高山富滋富山長宮島山北海石德宮山宮福
山川都渴知梨山賀山口野城根口道川島城形島

宮菊玉牧伊阿	石栗菊	高大	鍋山高石
北田置藤部數學物理化學專修科卒業(三十人)	塚崎澤	山野	島口關丸
*	*	*	*
倉北尾上磯井荒田村鍋田部上川	吉森森松堀藤郡十鶴高鈴清盛		
はきとマくたサ	田山田岡井木須時田橋木水見		
まみはスわいダ	ト三ミキフナト菊ス宮良キ壽リククミツヨ井ズ子滿		
長兵愛大愛愛福野庫知分知知島	千熊三神東新京福佐山東愛岡葉本重川京湯都岡賀形京媛山		
明治四十年五月	鈴中市大扇祐大伊平田依鈴山◎菊木島原保育實習科卒業(一人)	田木崎池	
*	*	*	*
皆坂草久保田	渡山牧野中高田曾清齊佐小菅菅		
川木野田	邊内田口村山中我水藤藤島野野		
マセま次人	カナ登そみき千よサミシキきみどり		
サつき恵	ズキ代のなよ嘉ふアラケカヨ		
神東東神奈川京京川	廣愛鳥山宮靜熊靜北長鳥靜三岩島知取形城岡本岡道野根岡重手		
高○倉渡鍋○中荻薩○松稻天橋田邊島山野堙河葉野文科卒業(十九人)	明治四十一年三月	平野理科卒業(一人)	水野世志
*	*	*	*
野新高橋志佐菊木鹿大縫縫上有田家梨	佐伯	佐伯	長崎
ハミタミヤトミサ	和ヤフミ	ミチヨ	長野
マヤ種メシスヨチ	開菜スジ葉チ		
熊長東香兵佐福北海道川車賀島本野京川	大愛愛岐山		
本野京川	石大愛愛岐山		

鎮秋内佐山石中松吉宇原藤小吉永神常才三
目草田藤田川島本川田田谷林田岡田井石田
理科卒業(二十五人)

服橋中鳥鷦辻高滋佐桑北木金大稻今市今岩赤有
部本田越田本田賀藤門島谷田下木里川井倉川
き恒龜ト時ルテおさてなくキイヒチヨ安外世
みよ子喜ク得イツヒヨるゑにミワサエシ世勝喜
愛東高群靜秋北千佐山富三香山柄長山岡高石香
知京知馬岡田道葉賀梨山重川口木崎口山知川川

小久山松片金梅瀧末和馬場
西泉金田尾宗井澤日永田技藝科卒業(二十人)
平野野長津高酒坂齋小小金加加石五十嵐横松
山溝上澤田橋見井藤柴林土藤來附田木口
そヤケヨイサイ千すみゑしヒセヒトマキマ
そつゑイシ福ネトセ賀にくみんデムコ
和香新富京福佐靜岐長群東宮富新宮富新香長
山湯川山湯川山湯川野

溢天菊手香早村槌後渡木日近
谷野池島川川合永藤邊木下高藤
佐齊近小黒木小岡内岩井岸李山本浦
藤藤寺石村本田井上保井本コマキタツ
フヒツセイ須エマコノ川鉄
ミ朔テロヤ枝ク惠ヒス佐兵岩愛山神廣岡長福東
賀庫手知口川島山崎島京大東京阪京京野等都京

根○松田有温重岩古○露 岸岡代賀美松崎澤木	明治四十二年三月 文科卒業(二十一人)	太田 保育實習科修了 明治四十一年七月
齊近和桂太内魚五百岩秋阿 藤藤田山住木崎田部		野須倉勝大 タ村田田村石
美ふスタみ竹しげシカマス 禾かミマリ恵の珠エチ和		(五人) シスミハルか スエスエす
崎富山新長岡兵福福大徳岡 玉山口湯野山庫岡阪島山		廣滋新東靜 島賀湯京闇
加柄長佐○○佐紹小 藤澤井藤笠高理科卒業	*	澤松橋川田折○兒 本川村中笠玉
角須清清小太岡江井安 藤水名河田本合部	明治四十二年三月 文科卒業(二十三人)	山矢安門三松中島坂 崎島田野宅原川津梨
サノツさミヨトシク 尾アルホル子貢シキブロ		勝タちトクミラミウ 子メよ子孝チイチタ
大新薪熊新長高富新大崎 阪湯湯本湯崎知山湯阪玉		愛熊山大和福北長山 媛本形阪山同道野口
林山木○河川出○ 田谷村下田技藝科卒業		本佐遼河佐大鎮千德岡須 間藤州村木楓目葉永部田
久木岸大板石伊荒業 保田原高原倉井藤木	(二十三人)	山三三平花中中恒東田田竹 田田浦井木濱城藤惣上中内
喜ミイリタナイト 代チシキヨカチ		キセキしぶマヒミナミ ヨンシんきサ駒シルシミ
東廣宮福山香大石 京島城島口川分川		新新新宮愛東高福宮鹿長宮 湯湯湯城知京知島城島野城

南山天在佐中長福長野小中多大 内沼川藤田戸西尾上島野田石理科卒業	明治四十一年五月 文科卒業(二十六人)	三練朝 浦木川
關杉須清新果櫻栗鐵鑑金加尾大甘 本藤水庄山井林澤田井藤田山轄		山山山八宮 下崎脇木崎
ヒカタカミふのミミ由セヒ 俊コヨ柳カメリカ子リネ乃英ツで		くそ恭ウメチ にム操子チ
富山新崎長宮奈愛奈德新新岩山 山口湯玉崎崎真知真島湯湯湯手形		富柳東靜山 山木京岡口
井佐横河陣一上石中 原木山村内色野田野技藝科卒業		熊中兒田清萩池鹽三瀧 澤村玉淵野本田津島原
白道水坂揃草井鈴飯業 木藤野寄原間河木田	(二十二人)	山本平長原八野西中戸 本城野谷口條間崎馬井崎
トギヤわカセヒモト ネンスカメ鏡ツ込ム		ト岡マミキモトテキス リ子セスのリヨイチムケ
佐青禱京長長青滋長 賀森島都崎野森賀野		大山山兵宮福愛岡佐鳥群 阪口口庫崎岡媛山賀取馬
八木成田 技藝科卒業(二人)	明治四十一年五月 文科卒業(二人)	○小○袴吉○田七 野田川代條
松橋佐開 本藤本見 ヒサ 富青秋岡 山森田山	保育實習科修了 (三人)	* * * 吉吉村平藤藤波友富津立高杉 田見上松村岡永岡田野山森 ちはいリヤコチ政モセカキハ うちク啓トヨ江鈴シイズミチ 富宮廣長香靜福石兵柳奈宮東 山城島野川岡島川庫木良城京

大山村	鈴木	内中横後長荻
明治四十三年三月 文科卒業	保育實習科修了	田村藤井野
明治四十二年七月 文科卒業(十九人)	坂巖合田梅野	渡安三松樺林戸 邊川浦尾口津
小出石岩穴村川崎 みりんく都文	谷口けタイマ	テハ加ふハふ イ愛ル壽じルみ
長福静福野井岡岡	新神奈川	神山愛岡三新京
	潟	神奈川口媛山重湯都
山安成尾林雄井田村	岡九乾稻寺	○○福松遠湯田小河
理科卒業	田鬼垣山	井鳥藤川中畠邊
石磯今石青原部川葉	八尋深長直中竹田重後	小小陰岡岡
青(二十三人)	木田尾崎江谷田川藤山山本	トふのマムミヒ モづぶ葉ツ沐菊リキ鐵かキのミ
むチし人	トふのマムミヒ モづぶ葉ツ沐菊リキ鐵かキのミ	トカウヨコサアノもハキサツモソシヨクト モアルメモエイブゼルノタヤツのゲシナイ
政壽日げ	石熊福大愛川本島阪知	廣岐崎長崎島東福京石山島三大靜
		島阜玉野玉根京井都川梨根重阪岡
柿平木野技藝科卒業	劉沼石山	○西石清
	野澤崎	本穴安中海星岡
	澤田水	多澤部原惠田
*	*	*
手江據副工子	松堀堀橋沼新西永戸鳥辻	四河角大大海老原
江副工子	田越野本澤納尾井塚取	手井村田庭原揚
	はるふ	はりひ悦てや利お香瓜ヲふたキ
	順	カニ英傳ふ喜連いイ代みイ
石佐川賀	京東秋福千德岐芋群岡大島東崎東石新	山新新京新長新沖愛東靜山福東宮東
	都京田鳥葉島阜城馬山阪根京玉京川湯重	形湯都湯野湯繩知京岡形岡京城京

中田研究科修了	太谷白中寺村長南高堀徳	◎永林高
	田口鳥村川田川部田	武井平
*	*	*
山黒越丁(三人)	横湯安柳松水平成中鶴堤菅末佐黑	
下田智	山澤江田本原塙田村野	原永藤澤
クチキ	あみぎヨシキ	ひひナ鑄文み
ラカヨ	あさつんコカミ貞順で仲でチ式雅つ	
香佐山	岐崎靜兵大熊宮京石岡長北京石宮	
川賀口	阜玉岡庫分本城都川山野道都川城	
志高見澤	金三澤坂	緒三須佐
水澤	子浦井	○西豊綿
	*	*
武水益福	金上今	家事專修科卒業
橋野新中寺	武鈴鈴篠定菊菊龜川	(二十六人)
藤井川地都中帶屋地	井木木崎盛地池井元子野井	
トまかうよ	トまかうよ	トマカウヨ
モアルメ	モアルメ	モアルメ
モエイブゼルノ	モエイブゼルノ	モエイブゼルノ
タヤツのゲシナ	タヤツのゲシナ	タヤツのゲシナ
イ	イ	イ
熊長三	熊長三	青
静青	静青	愛宮
愛	愛	長崎
福	福	愛福
山	山	福山宮
島	島	東鹿兒
三大	三大	東岡
靜	靜	長
川	川	本野重岡森岡知城島野王媛岡島形城京島
本	本	京山崎

田大花邊鹽岡	加下山	宗中	橋黑
	藤山本	村	本
*	*	*	*
柘竹橋高鈴篠米後笠井井伊安有青	吉村由吉	吉村	
植越本橋木木須藤井上上木藤川木	渡邊井永田手	手	
セサセセチウム	は喜代	はテ	いあ
ク秀ツるヨシラ梅る爲幹	え	るイ秀	よづ
山新京新長新沖愛東靜山福東宮東	山	三	三
形湯都湯野湯繩知京岡形岡京城京	形	熊群	熊群
	玉	重	重
	本	馬	馬

齊岩服額神竹富白	村森鈴宮吉上師中
藤崎部田田坂川	田澤川川兼岡村
*	*
深原長中東石竹高田坂小小岡尾小小池石井伊知地 田瀧村條坂下橋中井林林木崎田穴上井瀧	(二十四人)
瀬松フミミまとトよいりいらやアクリ 生ま代コきち雪りきき登章茂芳ヨミカエ芦英	
群長東大富山福山兵新山静長島秋長崎愛鹿 馬野京阪山梨井形庫湯形岡野取田野野玉媛	
金神上宮松宮藤◎清坂上阿服牧秋鰐	豊水吉
子尾原坂本崎村水本田部部田山部	島田
*	*
藤長中名堂外近田砂相相佐栗金河板 吉川島川坂山藤中川良良木林山内瀧	吉山山三
ミはなつ・なつ喜春・秋ら多 ヤモはかる素木茂や壽江く野く艶美	井本内宅
岩山岡長鳥大香山山熊兵宮德京靜兵 手形山野取阪川梨形本庫城島都岡庫	愛靜鳥東
	媛岡取京
渡三林水野中吉園◎小林平笠	中高青
邊浦岡村川田出内原	尾井山
*	*
根南中近高鳥賀佐北龜大巖伊朝安 岸部村郷野田藤藤村高岡谷本藤倉藤	山丸松馬
アハ和登みいく初すふシ小松をひトマ サナ菜代きよ節子のエ歌枝んでクキ	崎茂橋場
福新石富東岐山東三廣岡兵岐秋新 岡湯川山京阜梨京重島山庫阜田湯	兵山舞岡
	庫梨岡山

文科卒業(二十四人)

明治四十四年三月

影天松小生牧森阿	望服村山田	朽川京
山沼岡山方村山部	月部上口村	葉島坂
*	*	*
森満町牧藤橋西土千關關進篠櫻佐越河海		
山田田野村本澤屋葉井藤崎藤木伯川野田		
ハシム益ま壽ハミ森ヒヤクミ奈フハ静ふひ ナマミ江ス美キツミサスラを尾ジ敵マ江みで		
鹿兒島福岡東兵富福岐長新福山兵熊神山山福長茨 岡山京庫山島阜野湯島梨庫木川形形岡野城		
◎清大権古飯清水三阿成大鹽柳		
水西地川田水谷宅部瀬探川澤		
*	*	
矢眞日林寺土高宗鈴庄柴白島海加字池石飯井		
作山野本屋木木司田井田沼畑野田田島上		
俊むきよみシなふ須曾コヨミ菊てた 讓尾めく法やグみう美乃トしな義枝勤いけ		
東長石東干東宮青長東東茨新東福東兵京千群 京野川京葉京城森野京京城湯京井京庫郡葉馬		
橋青松小山田		
木本保育實習科修了(六人)		
明治四十三年七月		
保育實習科修了(一人)		
*		
村水松原上炭本	山三松服竹小崎國廣	小山田
田間本田野本	村浦平部田野本	保育實習科修了(七人)
藤クフルモモヨル	千ハキ増和ツル江子	
枝マユツキム	野ナガ江子	
支那	大鹿兒島本木本	大熊高和歌山
	熊本木本	熊本分
	熊本木本	大鹿兒島分

明治四十三年九月

保育實習科修了(一人)

横川理科卒業(二十三人)	中關 ◎ 演土稻白渡小上 中島野屋葉鳥邊林村西	◎ 市大國語體操專修科卒業(三十一人)
*	*	*
神宇野次美喜惠を	谷目森村村松藤藤深長西中竹高田鹽始中良松上下田崎枝見川尾川田橋中澤關喜かさひつみシきじすヒ紺倭ス元宮ふさ久沐みでねつロ梅のかがサ重子エ恵子よ	高高齋木川大遠蛭稻田根田輪屋
和群歌山馬	千千京埼京新新長島兵廣德山島兵長長葉華都玉玉都湯湯野取庫島島梨根庫野野	マキアツかつツをキヨウさナれれ延マリ
	八安追勝松相飯松植	阿山關高土田澤池鈴
石在矢宮馬田岡田	○平村平佐横永田	部本口橋橋田田木
*	井岡藤見	研究科修了(三人)
成横山山南增町細坂沼中桐高椎庄佐紺藤木木葛吉田本口田野居内智谷榮木野川藤野田村下城つり竹徳敏シミキチヨ龜きヒつもイリハ付と恵代子良チツクカシ菜よテ年や和子静	高齋木川大遠蛭稻田根田輪屋	安津常安和山森三古八反田
美高鳥山岡石三滋福英福香石東新靜香岡福岡城知取形山川重賀鳥城島川川京湯岡岡川山岡山	マキアツかつツをキヨウさナれれ延マリ	あい福葉壽よロの國で
渡松加碧賀浦美崎	桑龍押小若半和丹吉鈴	群香宮佐靜崎岐山靜
原仁本戸林野	○平村平佐横永田	長京岡岡三香岐愛石
*	*	野都山山重川阜知川
山山三三福檜中寺武齋高鈴鈴杉樹細黒岡大	明治四十四年七月保育實習科修了(一人)	山中喜石伊
崎村野浦田崎村師本島山澤木江下宇田野塚橋野	木小今高澤井	谷村村西田堂藤
初みハルじイシフフツハヒミサ	明治四十四年七月保育實習科修了(八人)	＊＊＊＊
枝つ重ミなトチエミねルキネチ拂だサミでカね	ヒハツナ	吉力山茂村三松林野鶴恒武
富長香廣滋福英鹿東富宮長福滋千岡富富兵石三	テルな	田石西木井上村村木川山
山野川島賀岡城島京山崎野島賀葉山山山庫川重	島石兵愛	菊きちゲ正弘もフミコゲネ
	根川庫知	枝のよン子みよ
渡松加碧桑龍押小若半和丹吉鈴	明治四十五年三月文科卒業(二十八人)	京長三東香青宮廣富德三岐
原仁本戸林野	吉筒永井	都野重京川森城島山島重阜
*	加賀山牛堀千川竹尾葉村尾	追藤
*	明治四十五年十二月文科卒業(一人)	吉深武白桑
*	櫻佐川河岡奥上坂有淺井川井崎田村野倉竹野	田尾井崎原
*	藤ふたナタト安は惟	コさて竹キヨノ
*	枝みうツ貞マメ良な子	マだる尾ノ
*	京靜岡奈福熊千東宮城	德岐山福愛
*	都岡山良井岡本葉京京	鳥阜梨井媛

阿山關高土田澤池鈴	明治四十四年七月保育實習科修了(三人)	山中喜石伊
部本口橋橋田田木	*	谷村村西田堂藤
國語體操專修科卒業(三十一人)	*	＊＊＊＊
高高齋木川大遠蛭稻田根田輪屋	吉力山茂村三松林野鶴恒武	吉深武白桑
橋橋藤下上野藤子垣	田石西木井上村村木川山	田尾井崎原
マキアツかつツをキヨウさナれれ延マリ	菊きちゲ正弘もフミコゲネ	コさて竹キヨノ
キヨウさナれれ延マリ	枝のよン子みよ	マだる尾ノ
群香宮佐靜崎岐山靜	京靜岡奈福熊千東宮城	德岐山福愛
長京岡岡三香岐愛石	都岡山良井岡本葉京京	鳥阜梨井媛
野都山山重川阜知川		
山中喜石伊	明治四十五年三月文科卒業(二十八人)	吉深武白桑
谷村村西田堂藤	吉筒永井	田尾井崎原
＊＊＊＊	加賀山牛堀千川竹尾葉村尾	コさて竹キヨノ
吉力山茂村三松林野鶴恒武	明治四十五年十二月文科卒業(一人)	マだる尾ノ
田石西木井上村村木川山	櫻佐川河岡奥上坂有淺井川井崎田村野倉竹野	德岐山福愛
菊きちゲ正弘もフミコゲネ	藤ふたナタト安は惟	鳥阜梨井媛
枝のよン子みよ	枝みうツ貞マメ良な子	
京長三東香青宮廣富德三岐	京靜岡奈福熊千東宮城	
都野重京川森城島山島重阜	都岡山良井岡本葉京京	
山中喜石伊	明治四十五年十二月文科卒業(一人)	
谷村村西田堂藤	吉筒永井	
＊＊＊＊	加賀山牛堀千川竹尾葉村尾	
吉深武白桑	明治四十五年三月文科卒業(二十八人)	
田尾井崎原	吉筒永井	
コさて竹キヨノ	藤ふたナタト安は惟	
マだる尾ノ	枝みうツ貞マメ良な子	
德岐山福愛	京靜岡奈福熊千東宮城	
鳥阜梨井媛	都岡山良井岡本葉京京	

福大山東宮 岡島田野原理科卒業	野源樺水 中 部野 * * *	石橋宮増水 ◎天山 川本地賀民 生下 * * *
倉加大八岡 知藤館田田 春志ひあけ 野摩ろきみ	渡毛松藤福平廣畠山中富富堤谷多 邊利本本田野間中崎鳥野澤 原田 しミ鳥比ふサビフセソハ ハイサ んイ羽アメトでエンテツ芳ナトイ	
福愛岐石東 岡知阜川京	静新山長青東愛廣柳佐福熊崎德島 岡湯口野森京知島木賀島本玉島根	
竹笠藤 崎井井 技藝科卒業	山坂礪松三 青村 金 千 榆 口 部本方 木賀 森 代 木 * *	
小大石青 大和西野田澤木 モ静三千代操榮	吉八森田堀木藤深名東辻古小小 村木 口 間原見取崎村賀西林 ひゆフ春らナツ は三みマミナ でうエ野よヲた芳な壽よノサツ	
新熊山福東高 湯本口井京知	福宮奈岡兵新長崎宮東堺香秋柄 井城真山庫湯野玉城京玉川田木	
内伊神山上寺谷松田岡中清熊坪廣 ◎◎ 山藤岡本田尾口岡口宮山水野内岡 村		
茂松藤古橋西石塚竹中高瀬毎坂佐古 小小黒河 木見井川本村野本内屋野谷田梨藤黄松林澤池 ヒクハタキキチ てアサミす留ふチミ イ君ラルみそくの延虎るキキヤえ女みエヤつ		
新石福新長三石愛香高長福石熊岐熊長廣秋富 湯川島湯野重川知川知崎島川本阜本野島田山		

加雨宮 佐飯西矢大 大 宮 中 世宮本 藤沼尾野竹 森 城 村 家事專修科卒業	江 深 研究科修了(三人) * * * * *	牛 島
佐崎佐小岸片大大大岡池井石飯 治原智林田岡原野谷村田澤龍田	西 三 内 上 駒 久	吉 山
ミ美いゑト田故様龜嘉ときたあ 子津う孙ミ代子代の子よよかい	キシ 路み	キシ ンヅ
長東長岡熊福大愛山鳥愛鳥宮茨 崎京野山本鳥坂榎梨取知取城城	高 青 岡熊 知森 山本	

川 ◎ 金 明治四十五年七月 井 須 保育實習科修了(十一人)	齊 藤 田 藤 上 藤 石 内 庄 大 藤 原 島 田 見 吉 龜 藤 司 野 * * *	
小木加市 松下藤瀬	横三川九比羽羽萩濱濱長地杉須志 山上村山嘉生生森田田光主浦藤保 ミシタラ シキフと鶴リゼリナ カイふふ	
タアモヤ カイふふ	ツケノヒ秀ケくシ漣リ龜ンツツ哉 秋神愛兵 福廣山長高長福愛福鳥高秋愛福富 田川知庫 岡島口野知崎井媛岡取知田知鳥山	

○ 菅大山 大年二年三月 野竹川 芳岩眞 內 文科卒業(二十七人)	杉 堀 平 山 村 廣 林 長 梅 高 山 原 口 藤 田 田 澄 城 上 田 部 モヤケチハヒ フフニ房エ る榮スイハノサ晴ミの野ク	
静山德兵東新東山東宮奈堵 岡形島庫京湯京形京城真玉	山 神 宮 新 山 口 川 城 島 湯 形	

神鈴 稲堀 環	平尾 田丸 西加伊下坂	黒荒岸 白
田木 谷	田崎 中野館 茂藤 田本	田木 高井
*	*	技藝科卒業
横矢 松藤 藤早峰 西爾 中土 高竹 須佐 山近 肝大 白 安	佐 田 原 原宮 井 谷 本 見 島 林 橋 森 藤 多 本 藤 付 麻 杵 藤	佐木 初鹿 木
静はや時 や 愛キセトツカノヤアキツチとしれ	尾なく乃稻ウ麟子ミツルオヤ役ブスヤミエヨシ	齋前山 藤島野
京 静 京岡 新 大福 廣 香熊 熊福 大三 京熊 山鹿 熊福 長	都 岡 都 山湯阪 岡島 本 本島阪 重都 本口 本岡野	河 原 文科卒業(二十六人)
添 盛	菊 幸 平	今 伊 山
田 田	澤 原 川	泉 保育實習科修了
若吉 檜 中川 今岩 岩石 伊	命澤 山村 澄 本 井 村 田 原 東	伊 石 阿 上 理科卒業(二十五人)
キギた須シキ安よユ 八千代	キギた須シキ安よユ 八千代	藤 川 部
ミン京よ磨グく子ねキイ	ミン京よ磨グく子ねキイ	高 橋 井 合
神愛 東 神山 熊三 東愛 大千	奈川 知 京 川 形 本 重 京 知 分 葉	ケイ ラネ
山 福 島	福 島	福 島
伊○○ 國石 多武 江	藤 府 川 田 藤 藤	文科第一部卒業(二十二人)
*	*	技藝科第一部卒業(二人)
中中奈富闊齋五古岡大小阿	村山山澤 藤味田 木野部	杉山 久
タ 美ミサ 加富シ え キア	宏エ 樹穂サ 津美ダ よシツ	北海道
東佐東福山崎東福長新山長	京賀京島形玉京島野鴻梨野	山 日

大正三年七月
大正三年七月

大正四年三月
大正四年二月

大正四年十月
大正四年十月

佐柳 初鹿 木	齋前山 藤島野	河 原 文科卒業(一人)	牧星 田 研究科修了
*	*	*	*
河 大岡 小田 野	岡乙梅 内池	理科卒業(二人)	河 原 金 大
鹽切 本守	津田 邊	理科卒業(二人)	山 場
清已 節	美芳 子	理科卒業(二人)	山 場
東 靜山	鳥東宮 和廣熊	北海道	支 支 京新
京岡 梨取	京城山島本	那 那 都鴻	那 那 都鴻

田鈴 金	内小金稻田	師山田大	尾中千鹽
中木 上	田谷田垣中	岡内邊德	臺原野川
*	*	*	*
伊石 阿	横吉森三山本藤藤西澤土相瀬鈴須島古		
藤川 部	田澤 井崎田森田原重肥馬下木部内賀		
モスヤ	19信マのヤモフニキ芳モ伊テマツ		
ヒヤイ	キ子キブススノヨイ馨ナサヘ枝る野ウ國ヨ		
兵群福	東東福愛福長長福岡愛熊千長岡埼京佐		
庫馬井	京京岡知岡野野島山媛本葉野山玉都賀		

土立 牧高沼	安木竹	奥清井	村上 大佐
取入野間野	井原波	田水坂	上原石野
*	*	*	*
吉弓山森三三堀早林永中中奈土高曾烏黒熊片加大			
田田西 田井川 井里野真井柳蘭村瀬井山瀬山			
武キシケタムのそトニ梅そちイムヤフニセラ			
子カノ福つよぶふ薑クキ野うせシハセミム重ムク			
福群香愛三岡富愛愛福北岡群山熊宮兵滋長香埼京			
鳥馬川媛重山山知知鳥道山馬形本城庫賀野川玉都			

卒業者	本平 多田	荒田 蘭川	吉西 田茂	中田 堀庄	芹田 片山	黒田 渡川	古川 小林	渡川 小林
	技术科第二部卒業	(七人)	技术科第二部卒業	(七人)	技术科第二部卒業	(七人)	技术科第二部卒業	(七人)
正四年十月	松手	竹齋	赤荒	山山	源古	林西	永德	高竹
	本塙	田藤	城木	本本	谷田	橋永	原山	尾藤
正四年九月	正マツ	千輝	い	キハ	ふと	八え	満美	智點
	正七	ノ	代子	はる	さく	え	智喜	潔子
大正五年三月	島福	島宮	三島	山山	和岐	京宮	新岡	大福
	根岡	根城	根重	梨城	都玉	都城	岡阪	三阪
研究科修了(二人)	石原	竹田	平野	石原	保育實習科修了(六人)	大正四年七月	研究科修了(二人)	吉田津ヤ
	河本	坂石	篠野	河本	園伊	大正四年七月	研究科修了(二人)	吉田津ヤ
大正五年五月	天野	上田	熊本	千葉	廣三	伊達	小泉	大坂
	眞也	久	本	葉	田村	橋	田田	大坂
文科第一部卒業(三十人)	鈴木	日比野	佐藤	佐藤	横上	別木	中伊	阿細
	*	*	野	野	木	木	山	木村
文科第一部卒業(三十人)	梨田	中村	中丸	中川	坂本	武兵	青長	東宮
	島	村	正代	嘉	藤本	森	山	佐賀
文科第一部卒業(三十人)	美喜	よしの	喜嘉	津	藤	森	野	佐賀
	興	ス	ヤ	貞	木	森	野	島
文科第一部卒業(三十人)	秋田	岐阜	埼玉	福島	長山	青宮	東長	東宮
	阜	玉島	島	京	山	山	岡	佐賀

白市國飯小 ◎金	山安宮大小金加藤
神瀬枝沼泉森文科第二部卒業*	田永崎西倉谷浦*
富鳥寺高竹梅清提水前田美しちひ子げりせイ千ッか十三人)	渡和福吹水宮邊田坂谷田島井川嘉勝ミ年恵千あ初恵枝チ恵子年京や音沢岡長佐愛香岐熊岐長兵山野賀知川阜本阜崎庫
岡岐愛岐愛福島長石京山阜知阜知島根野川都	
福島坂小門坂加神安豐松	
島出田東谷林西賀理科第一部卒業*	田島橋*
山家矢宮高伊江栗尾岡大梅井猪有淺見	樺平中
本寺田木達山崎本和田原侯岡見	田江
ヒサヲ静ふ森秀川サあ辰りてミ喜代	ケモヤ
子梅ゆ由さ子なキき野よみチ甫	イとす
北廣山茨岡宮東山崎東岡兵兵秋長香	東茨青
北海道島日城山城京形玉京山庫庫田野川	京城森
梶安山石堀矢子常豊池三藤平西	
原藤崎川川島寺松田上木林原浦	
梶河川太海石池齊木勝井石池飯螺	
川野岸田野河田瀬本田藤下野芦川田野川	
カ喜キツイサエ千ちセ末津ヨマタメ	美トよ
シ久エヤエ代よ熊イ爾ネシ諒メ代日	榮孙
新大神奈川東新長靜高山水石福神	兵香熊谷
湯分京湯野間知形川島知本本川庫梨城	
梶藝科第一部卒業(二十一人)	理科第二部卒業(十二人)

蚊水新	安小須和	鈴佐田	太水土倉
泉野田	吉戸田	木藤中	文科第二部卒業(十四人)
*	*	*	*
和家水前前松藤古平常鎌江磯	丹永馬武山	本永馬武山	丹永馬武山
田城野田田井井庄井陸谷山見	中間庭	中間庭	中間庭
靖シのまヨシゲ	野好キセ	野好キセ	野好キセ
子ヶ薫ふすシ代子つ與康	好シツ江	好シツ江	好シツ江
石富青靜富宮山奈群茨福新岡岡	英愛和福	英愛和福	英愛和福
川山森岡山城梨真馬城島潟山山	鹿兒島日知	鹿兒島日知	鹿兒島日知

石村長相小河新奈西足中光木田鈴尾北
塙岡馬賀高上井良田立佐津島木越川
理科第一部卒業(十九人)

石川	加古大矢	築朝高	木宮	理科第二部卒業 〔十九人〕
技术科第一部卒業	藤市森吹	地川橋	村坂	
〔二十四人〕	*	*	*	水
石田	山山山百三本木野永長杉佐小小櫛窪柴川井阿部上船千代壽	山山山百三本木野永長杉佐小小櫛窪柴川井阿部上船千代壽	山山山百三本木野永長杉佐小小櫛窪柴川井阿部上船千代壽	
豊秋田	田本瀬野堂間垣井岡村藤澤林山田船里めスツ登重子じヨイ靜房ん代媛	田本瀬野堂間垣井岡村藤澤林山田船里めスツ登重子じヨイ靜房ん代媛	田本瀬野堂間垣井岡村藤澤林山田船里めスツ登重子じヨイ靜房ん代媛	

萩大柴藤深阿大日原高田井非部方	神竹鶴磯河岡眞瀧青戸内見貝田鍋下野	佐々木柳
藤福原西西千高竹清境佐小草黒木卯之阿知波	酒井第一部卒業(二十人)	渡山邊田秀之枝
森田田尾原野橋内家田藤井間澤下木原	阿知波(十四人)	秀之枝
きますのすみありひそ松テつアジんつやーふ幸てつ國へヨム徳子イるイウ	秀之枝	秀之枝
山群靜兵兵長福英愛愛秋愛新岡山香熊新梨馬岡庫野井城媛知田知湯山口川本湯	福崎	井玉
吉小神田高林研究科修了	金三佐杉大原田子村藤船黒田	阿部
山黒河有向本野成高近栗福大井間崎田島藤原本國	技術科第二部卒業(九人)	渡山望松
本瀬崎岡キツナ若き淺みふたコム	技术科第二部卒業(九人)	渡山月本
クヤツ甫枝重ね代なじまい	スルサケ衣セト	スルサケ衣セト
佐東奈長宮北崎岡群靜宮福岩	秋新山柄	秋新山柄
賀京良野城道玉山馬岡城岡手	田渴梨木	田渴梨木
守屋中川塙橋津保育實習科修了	大正六年十月	熊谷選科卒業(一人)
横松平林大鹽後片翁小梗生井朝	文科畢業(一人)	李高橋
田岡川道見藤山尾野本田上尾	高橋	高橋
秀ツ成てダ梅ふ静利ナ	昂	昂
子テ操子るエ代み枝喜磯力勝鶴	支宮	支宮
高熊千靜京岡和東沖岡香熊兵	都	都
如本葉岡都山山京繩山山川本庫	城	城

生 佐鳥西 中宇佐江堀 波野植 長西
田 文科治井川 村美 藤尾 田田 手田

* *
碧海南三三間堀平萩谷田田新小久川奥大上
海本田原浦浦島尾野原田中所庄林保井村橋田
キ志み千ミノモキアヒよタ清ささシ彌
ツツ貴博みね代へおサムデ操こキ子ゆきマ生
廣福熊石山秋新山岩宮京佐福東山德京兵北海石
島鳥本川形田渴梨手崎都賀井京口島都庫道川

村田庄石達三 岡佐神東比福登天杉
金村司川藤上 田廉 良井地野浦

* *
天千佐坂佐高相藤井良住(十六人)
瀟脇藤井良住(十六人)
視あみサ松サカカト 友つシ 静てて勝さ
子いりダ代ワメ よ代ヨ羊子やグ拙枝いる江か
廣千宮石福岩熊 兵千山愛東青東滋石兵和香靜
島葉城川島手本 庫葉口知京森京賀川庫山岡

森大大鈴藤森奥高大

豊中富山
口森島木阪安村野 理科第二部卒業(十三人)
松福楓砂木北北龜小岡安前福長西
木田渡川内村林山村達(十三人)
うとサゆてか市ふとしゑ里ウ松琴きウた千代
からしヨキム菜の野み智能メ苗路五タま子
埼柳長東埼兵富岡京兵北海道
玉木崎京玉庫山山都庫東秋石長石群東長京
京田川野川馬京都

吉岡佐々木長谷川上栗山犬白黒五上渡荒谷加土野田木井山本飼井屋味岡邊井口藤谷

滿吉山山向三林西新戸竹瀬瀬鈴齋佐佐黑菊片越
木岡根本井石原沼澤谷賀尼木藤木藤田池井智方
サ　さつ　小トイた静　セアみちん　政
操香日英花だる都春マト子枝浪くキきよ　松延野
石崎島長香愛英蕉東香北東岐愛山柳宮靜長崎愛島
川玉根野川知城本京川道京阜知梨木城岡野玉媛根

安	寺	竹	横	松	末	小	岩	馬	南	◎	真
元	選科卒業	尾崎	研究科修了	木	田	方	下	澤	浦	永	永
*	(二人)		(三人)	山						東	
具	金	石	大	齊	大	小	伊藤	天木	登之	劉	ミツエ
志	徳	野	西	藤	野	八	藤	藤	みや	ミヤ	静岡
堅		き	モ	矢	中	重	大	登	セン		
光	成	く	ト	崎	竹	藤	野	秀	野		
沖	朝	石	熊	内	村	カ	伊	登	之		
繩	鯨	川	本	藤	道	ヨ	藤	秀	野		
山	山	福	東	宮	宮	大	天	天	木		
山	山	群	宮	城	城	野	伊	藤	登		
梨	梨	東	京	岡	岡	分	藤	秀	之		
馬	馬	京	京	城	城	大	大	登	之		

小笠原 重土平平志 勝志篠中 小山山口
松方山山田 俣賀崎西

鶴市長折太田佐川田佐龍張平松松吉渡
原沼谷田茂中藤島谷野田生中野下田崎
喜ヨテ豊チ徳と茂ヒ壽登ヤ和治益綾テさす
歌代キ代ウ子子よ登ミ満代エ子子春枝女ルきみ
山長福岡山東山東長東山山崎岡福長山
口京形川山川本京葉重京野京梨玉山島野形

本富	◎	秋	宇	岡	葛	山	星	小	矢	野
多澤		山	田	田	野	内	野	山	谷	平
仁熊		小	加	大	石	淺	高	池	赤	秋
科本		島	藤	川	上	大	千	梶	木	今
初と	ミサヲ	セ	ミサヲ	の	石	田	木良	重	中	野
枝み	テ	セ	テ	い	淺	坂	村	松	原	木
北海道	茨城	神奈川	山形	岡	東京	仁	恒	ム	嘉	嘉
		奈川	川岡	取	鳥京	た	ミ	ヒ	ヒ	ヒ
					花	龍	子	ラ	子	子
						ま	子	テ	テ	ゆ
						兵	静	鳥	佐	長
						庫	岡	佐	佐	野
						東	京	賀	賀	野
						取	京	根	根	根

兩木酒 下島西廣横
宮下井 田崎塚田幕 海老澤 和松松堀鹽塚内
田浦尾井澤本田

森皆松丸堀細野小中友武田杉齋道影川川川金加藤
川見井山日川田林村田田中浦藤尾山上崎井木藤
き瑞樂う俊サ千代かほみ悲ひせり富チカノとト
く穂代た子ト野るシれのの忧みん貴ヨツ榮ブくハ
愛長岡茨岐山岡宮福愛東三柄東鳥長佐佐新柄茨佐
知野山城阜形山城島知京重木京取野賀賀湯木城賀

加	莞	大	藤	加	菊	青	小	松	平	稻
藤	川	塚	巻	藤	池	木	川	崎	原	葉
内	田	増	唐	龍	坂	佐	保	今	相	*
田	（三人）	淵	崎	野	井	竹	藤	澤	井	*
シズ	エ	き	ハ	ト	十	千	和	静	田	矢
長	と	ん	ツ	モ	ス	歳	チ	フ	島	山
崎		モ	ス	子	于	子	ヨ	ミ	和	下
東		茨	大	新	新	福	愛	新	山	口
京		城	阪	湯	湯	岡	千	鴻	島	ひ
						岡	葉		江	と
						山	知		ナ	み
						城	鴻		岩	で

成富	井上	西川	太田	高橋	中村	清水	齋藤	藤岡	文科畢業(一人)
	上川	田村	橋水	藤川	水田	高井	朝雲	阿部	大正八年十二月
	大正九年三月	文科卒業(三十人)	歴史選修	阿伊	朝植	石井	伊藤	藤倉	選科卒業(一人)
	佐々木	森寺	金井	原川	川村	藤原	川村	倉部	大西
	タシ	シ芳	マア	アイ	シヤ	ムイ	アム	スヨ	瑠璃
	メ操	ナ枝	サヤ	くむ	イ				眞理
	佐賀	東京	兵庫	石川	北海道	岩手	奈良	秋田	支那

柳平 佐小平 山田小佐森倉石登利屋津吉 横金
本山 藤林野 口村邦藤泉知田岡山丸

* 水 亭 宗
八十川澤尾間村西取繩井山橋田沼藤西船藤納藤橋澤森
トクタノリヨヘブカウ重エンヤコ巴薰ツキ江カ鶴子
香徳熊北海道岡島野形山本城川城崎川都賀都京
八江松野野中名出筒谷高竹杉後大木加嘉恩大板石

谷 玉 岩	石 井	植	小 曾 戸	矢 上	上 岩	佐 佐	◎
山 木 木	山 口	野	島 竹	杉 田		藤	
湯 高 鈴	下 小 池						
本 津 木	村 島 田						
ラ 登 ト ツ タタ							
ク 代 モ ル マダ							
佐 香 廣 東 新 熊							
賀 川 島 京 湧 本							
物理化學選修	理科卒業(二十三人)		*				
谷 武 高	島 佐 佐	小 津 木	吉 稲	渡 鶴			
川 田 田	岡 野 山	屋 下 成	村	邊 山			
さ キ ア ノ フ	愛 順	ふ い	テ	千 さ			
ヤ ノ ブ ク	キ ュ	さ ん	イ	代 き			
と ヨ コ プ ク	子 子	を よ					
兵 山 廣 新 宮 島	福 井	東 京					
庫 口 島 崎 根	湯 井	千 葉					

宮服	向柳	及會	佐磯	井深	大	小
原部	井澤	川澤	久間	貝田	谷	櫻川
*	*	*	*	動物植物選修	*	*
安相	吉福	平中	目々	對櫻片片	秋柳橫松	廣山中永
藤澤	岡田	岡川	澤馬	田山田山	山田山口	多井村井
ハルヨ	ミフミ	琴柱	トみキ	かフサノ	敏子	菊よ
人	ミ	キ	ツ	カ	ハルサノ	立茂シセ
廣宮	香園	埼官	茨千	東香新	靜岡福茨	東石山
島城	川山	玉城	城葉	京川渴	闊井城	京形

九	高古馬今桐瀬關把鉢赤	山大	
野	研究科修了	形竹	
*	橋川場井村藤谷田生塙家事科第二部卒業	*	
芳鈴土佐尼木林里トテ能ミル	渡關肥西中中小今石伊山部日本松根西野崎藤崎キキシカ芳ゆ壽きミちハキコクげネ野た美しいヲよ好一人	若若林林ハキナミ	
東富熊京山本	東岩靜香京兵兵宮山宮三京手岡川都庫庫城口城重	愛福媛島	
野中太板長口島田東野	野小口川保育實習科修了	橋高水樹森野間選科卒業(八人)	
藤田玉高齊久保美中川原藤山川田井坂千エ喜代イ子寅子	北鎌岩上伊坂藤外し絲外登茂枝寅子	村梨藤丹田成杉桑田谷井吳代義ヒサノ敏子	
大東東岡德愛石崎岡長分京京山島	愛石崎岡長玉山山野	新沖朝奈形良岡湯掘鮮川玉	
川江松島崎本	高日皆橋野川	吉平山植北	
*	文科卒業(三十人)	大正十年三月	理科卒業(一人)
河近木三大五池今岩赤木一晉ヶ瀬志津	木友味田井瀬ヒ壽さイ三ハよ春	童矢八足松澤木立永	吉依見前藤平服戸田斯下小飯池石津安
野藤村井支那	木美ミ春ツ子マ没代ル子	錫楨	田田田戸岡井澤部田中里波村林林田河野
長福兵奈秋東和野岡庫良田京山重京賀島	東滋廣知森野口庫田賀湯玉岡湯岡本京湯野梨城阜	支墻愛秋燕那玉媛田本	き花しいタみチ峰美子江繁ノ江代コミキヤエ代

漆沼山田	二木	伊藤山中石立金澤
間田室口	木	地理選修矢山向宮三松原坂千池筆齋
宮三野永佐嵯熊河阿修本浦口見藤峨代原部	木	下藤田下山井神子澤
國ヒ須雪セトセ志子口磨江ツヨ豊イえ	木	とツじキイハタテ美ダ
和北新東熊柄岡北海道湯京本木山城	木	しネえミツルニイ枝ネ壽シ
静熊滋東山東鹿兒岡木賀京形京島木京岡	木	東廣東靜
秋百森坪矢	戶	幣柿吹飯堀河石
田瀬川井部	田	田久原田野野
*	動植物	理科卒業(十七人)
山二本三近江物選根堂鄉好内角	和門安堤田丹齋河川村青	物理化學選修
千智ヒツもはキソたみ	田馬田中下藤野上上山	*
さわか江コ操んス	里代子ロルとみエノめつ	
静長山香靜島	千廣廣佐山茨福山廣兵愛	
岡野口川岡根	葉島島賀口城井口島庫知	
野吉平山植北	鈴小野塙	東上鈴清
坂川田中木郷	木塙	間條木水
*	家事科第一部卒業(二十三人)	
和吉吉依見前藤平服戸田斯下小飯池石津安		
田田田戸岡井澤部田中里波村林林田河野		
き花しいタみチ峰美子江繁ノ江代コミキヤエ代		
和高青長山兵秋滋新崎福靜新福熊東新長山宮岐		
歌山知森野口庫田賀湯玉岡湯岡本京湯野梨城阜		

小山研究科修了(三人)	申池星 山田 守正松木根 榎原恒子 長野	長谷川村 長谷屋木浦 千夫子 新福東北海 湯島京道	吉川 山田 仙人 屋木浦多岸 千夫子 北崎山長 形崎島	榮原 田川 種子 葉合尾 鹿兒島 富宮	圓石 川原 河神原 田橋葉合 宮岡岩	白鈴 石木 水華 元上岸 静あき 子ん 廣崎 島山城	鈴木 *
崎德宮桑白 山水武名石	保育實習科修了(十二人)	三堀福早津助佐 木内原 ま さ 山東熊東青福 梨京本京川島手 四五山竹松曾笠 味田田原我松	大正十一年三月 文科卒業(三十人)	松兼文字 選科卒業(四人)	湯渡小野田 浅邊田 シマ光ミ小キ ハルノ雪ラ 山廣宮宮	高岡 黒瀬 眞美ふる 支東	小高 鄭 始 那京
大正十一年七月 文科卒業(一人)	研究科修了(一人)	芝佐神貴金尾 木鳥子 マは菊 ス谷代豊	大正十一年七月 文科卒業(一人)	陶虞 孫	松平友子 東京	白 清 奥柳 島田本向西山山 研居水田川 石井江川坂戸藤越本藤池米川島村岩野返上條川原 ハリト ヨセニ 廣靜長熊青岡岡 島岡野本森山山島玉野玉鴻川島山木分京道鴻京	理科卒業(十八人)
*	*	小石石入猪安阿 山井山翁藤 千マフトかト 豊子サ朝キキ 千岐新宮山北 園葉阜湯城口 山福英福 島梨京葉阜湯城口 山福英福 島梨京葉阜湯城口	*	*	*	丸柳◎石岩 藤井中川原橋 山澤、黒田 村武前正中筒高飯神梅秋修横山南味福渡鈴佐 瀬藤田木條井木野谷森田 久ヨトムユコ勝くたチキトヒ 子ネキラウマ子にけエクシえ雪實秀普ムク 愛柄北宮福崎山千岐青東 媛木道城島玉口葉阜森京 市法原月 武益松田岡本 磯猪部熊 守三益杉林土筒須柴菅開江石重飯井 邦浦岡井井井田田野發間川枝原上 か か う 山熊千兵山岡靜東德福青岡新石靜秋山香岩 形本葉庫形山岡京島島森山鴻川岡田口川手 青中成西日山橫影鷺白清奥柳 島島田本向西山山取居水田川 石井江川坂戸藤越本藤池米川島村岩野返上條川原 ハリト ヨセニ 廣靜長熊青岡岡 島岡野本森山山島玉野玉鴻川島山木分京道鴻京	物理化學選修(二十五人)

田伊鹽田中松石 原藤井中川原橋 地理選修*	丸柳◎石岩 山澤、黒田 村武前正中筒高飯神梅秋修横山南味福渡鈴佐 瀬藤田木條井木野谷森田 久ヨトムユコ勝くたチキトヒ 子ネキラウマ子にけエクシえ雪實秀普ムク 愛柄北宮福崎山千岐青東 媛木道城島玉口葉阜森京 市法原月 武益松田岡本 磯猪部熊 守三益杉林土筒須柴菅開江石重飯井 邦浦岡井井井田田野發間川枝原上 か か う 山熊千兵山岡靜東德福青岡新石靜秋山香岩 形本葉庫形山岡京島島森山鴻川岡田口川手 青中成西日山橫影鷺白清奥柳 島島田本向西山山取居水田川 石井江川坂戸藤越本藤池米川島村岩野返上條川原 ハリト ヨセニ 廣靜長熊青岡岡 島岡野本森山山島玉野玉鴻川島山木分京道鴻京
*	家事科第一部卒業(二十五人)

伊	中植建森池市澤	海小林	川花
田	島尾部田田川龍	保野	・家事科第二部卒業
*			
木	三平坪齋古小北喜片大飯天	舊矢百古福	山仙竹鈴東白
橋	浦田内藤賀林澤田岡谷田野	澤口瀬川田	中藤山大
井	敏ふ小みゑ道ミふチ光きエ	とチエた智壽	岡波田木原畑
み	子さ枝へま子ンちセ枝よキ緑	みコキ	宅川崎内竹山
* (十三人)			
鳥	兵長滋岐東新靜大北千大石	長廣長鹿鳥	山宿森百宮横前細極肥西永大高關
取	庫野賀阜京湯岡分道葉分川	野鳥野島取	井澤本本谷瀬崎山川日田井友野木
* (二十二人)			
後	日中加石	雨小山◎	ウセは松キクユゑう小シキ文フリ天ミ蟲
藤	黒西藤原選科卒業	宮林内研究科修了	メ峰イ江野ノキム淑松ツく子ミツ矣ツよ
石	井渡山宮宮孫捕黑喜久大	陶皆藤長谷千木杉	神愛新愛秋兵北香山宮東京香北海鳥柄宮鹿福
井	井邊崎川澤田澤多保橋	見原川見原良沼	奈川媛湯知田庫道川形城京都川道取木城島鴻
み	雅松ふよゆ春タマ綾	處瑞カた仁ヨシコ	前我山白西平佐山横深玉河小中
た	子野ゆし圭江代カ子	孫穂ノま子	田妻浦坂浦賀藤田田井眞崎林島
宮	岡岡東靜朝三東大東山	支長富東鳥宮	* *
城	山山京岡鮮重京阪京梨	那野山京取城	湯山三松本平林野中富宮鳥鳥土高始佐小久甲
* (十一人)			
瀬	高牛板	鈴唐入城田	田好本田川瀬島田樺居海田山關木塚我斐
口	橋島橋	川木木澤所	ツは近芳ナ友セツふさ美代子はツ美智な八マノキ喜
井	橋保育實習科修了	*	ルヨツ江子カ恵ノ美代子るタ恵ケ重セエ久後麻
生	王巽小加右小市池藤阿江	森服丹土下佐耕岡大江	和神兵北福岡山滋和山秋岐靜廣東京福岐熊
藤	生田藤近田川口屋部	部羽屋山野田川藤	奈川庫道鳥山口賀山形田阜岡島京都岡阜水
光	廉光力領エフ於ヨヨヤ	は閑喜ユチエ千ウ和	飯國中西増宮二森土荻大片小佐飯田青
枝	枝ヨ子イエ敏シ子す	る子久通きカキ代タ哥	塙田野川田武方田井野野尾宮藤沼邊木
佐	和熊崎佐熊山兵福愛	長德富千神東石崎靜	家事科第一部卒業
賀	山本玉賀本口庫島媛	野鳥山葉葉川京川玉岡	(二十六人)
* (十四人)			

理	科卒業	山仙竹鈴東白	三中藤山大	中
科	卒業	岡波田木原畑	宅川崎内竹山	岡
* (二十二人)				
龜	安藤	涌芳山山宿森百宮横前細極肥西永大高關		
登	美子	井澤本本谷瀬崎山川日田井友野木		
ス	登美子	ウセは松キクユゑう小シキ文フリ天ミ蟲		
メ	峰	メ峰イ江野ノキム淑松ツく子ミツ矣ツよ		
神	愛	新愛秋兵北香山宮東京香北海鳥柄宮鹿福		
奈	媛	湯知田庫道川形城京都川道取木城島鴻		
* (二十二人)				
前	我	前我山白西平佐山横深玉河小中		
田	妻	田妻浦坂浦賀藤田田井眞崎林島		
* *				
湯	山	湯山三松本平林野中富宮鳥鳥土高始佐小久甲		
田	田	田好本田川瀬島田樺居海田山關木塚我斐		
好	本	ツは近芳ナ友セツふさ美代子はツ美智な八マノキ喜		
田	田	ルヨツ江子カ恵ノ美代子るタ恵ケ重セエ久後麻		
和	神	和神兵北福岡山滋和山秋岐靜廣東京福岐熊		
歌	兵	奈川庫道鳥山口賀山形田阜岡島京都岡阜水		
* (二十六人)				
飯	國	飯國中西増宮二森土荻大片小佐飯田青		
塙	田	塙田野川田武方田井野野尾宮藤沼邊木		
* (二十六人)				
箱	西	箱西坂坪仙檀芹關新志岸木木小岡岡石佐荒南		
崎	原	崎原山田田原澤保村田村對田田本黑藤木波		
ヨ	ミ	ヨミトモチフサカサ貞キク萬タ愛トト美喜ハ		
シ	チ	シチ代クカカノうチ靖代エ美キ子キ愛シ子		
福	埼	福埼長廣香靜鹿兒福山大兵宮岡青高東新		
島	玉	島玉崎鳥川岡形阪庫城山京山森知京鴻		
* (二十六人)				

野	中井 太 南山木上松水 米加 河新
田	村上川家木塚田木上 澤來 内納
* * *	
堀平馬長申次友高佐鈴柴柳小黑楠風加馬河仁沖 口賀場沼庭澤近橋藤木多原山林田田間藤場合科野 明葉婦須シフムヒ能コナ初トトミシエ 子月恵き磨エサめヲ鍊子乙ウル子ラヨシシ綽ヨイ 岐廣和長崎熊愛千福愛福福佐福東福山富熊東廣鹿 阜島山野玉木媛葉島知井井賀島京島形山本京島鳥	
河内山	猪白眇 中岩 本 選科卒業(六人)
赤岡まさ	研究科修了(三人)
長野	梶小大吉吉渡和安村安八三萬松松藤福 原島橋(三人) 原崎邊田仲上原津橋木本尾田島 千ミシサマ ヨマハ哉サセ喜シマ松シマ處靜 代サマ ノサツ子エツ努ンサ恵マテモ女 長神北海岩新東愛福新山長青岡宮福京熊 奈川道手湯京知島湯形崎森山城岡都本
石原	藤植高 保育實習科卒業(十六人)
沼川	本松木 圖畫專修科卒業(十二人)
松枝	山松竹増高田熊柴金長磯飯森高渡兒新 本平内田里林井田子田山田葉本橋達玉井 文是ツ さ芳ふ千キ治モカコモ みセ子子ル英慶だ江み代ヨト子
熊本	静熊山廣沖山東宮校山東東奈東福大東 岡本梨島湯形京城阜梨京京良京島分京

二一三

大屋	菊西鈴西 池村木川。 文科卒業(二十三人)
大正十二年三月	研究科修了(二人)
古中岡村	馬野三藤早村上原川
理科畢業(一人)	仲千ノクニ子
大正十一年十月	溝ヤスエ
古中岡村	支長青新京
理科畢業(一人)	那野森湯都
大正十二年三月	大正十二年三月
佐久間富	田中關中山島
理科卒業(十八人)	吉横龍岡山松藤成武奈鳥高坂佐 藤田本極原原田藤良居瀬藤 志慶千わり松文ヒ雪敷鹽ら静ユイキシ幾ハルヨ 子鶴かエ菜子ア子子子子悦キトんげ代ヨ 福和大靜福香岡岩千山長和愛山福秋愛茨三廣 井山分岡島川山手葉口野山媛形島田知城重島
水	石矢岩竹 上元島田内 家事科卒業(四十四人)
古玉	竹西大藤久保井
大久保井	伊地知力山森堀別野高田清河川 九田所村津木井水濯合 清光登喜子文クハテをフ花久く 子楓江子翠枝ニ郁ルいすミ孝子枝に 岡島高島愛鳥千鹿兒島
大久保井	山取知根知取葉
大久保井	熊靜東東宮福東京東岐三 本岡京京城井京都京阜重

二一二

吉浅置大	阿廣岡大坂	新柿北手	小川
田川塙野	部山島内東	納崎川塙	家事科卒業
*			(四十六人)
草楠久菊紀木鹿鹿生大小小小内伊足足	藤達	松平萩夏	元尾原好トト
信木世池納村野島島關棕野谷田	包ひ	好トト子ヨシ理	三大東愛重分京知
貞ノナフジ明靜敏千ア千ヤ道包ひ	ミ		
子ブヲノ子子定代メ里す枝子ヨ			
岡長富宮大京山廣兵宮德宮德堺愛柳			
山崎山城阪都梨島庫城島城鳥玉知木			
吉河橋濱野氏高村田加			赤西小
弘村口島界家橋上中藤			川川寺
*			
松藤古林伊旗佐小豊富角千田前竹庄篠佐佐佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
本井屋地持藤西島櫻田葉中田本田田藤	藤	藤	藤
キ千春ナシユノハタカ節し靜ミ理紀由千			東福寺
日枝枝コヅラ嬌アチ貞よる代ば巴子鉢エ喜文子代			
新愛和歌山山鹿兒山富宮廣宮廣靜愛千岐宮愛廣北海道			
湯知山口島梨島山城島城城島城島園知葉阜城媛島島			
阿田宮山數長見澤			
部原崎研究科修了			
選科卒業	*	*	
(六人)			
大島坪田スガ得	山馬松前戸寺木越	吉山山中谷森三松	
	口仲よハトハツ	岡崎縣野井山澤倉	
	し容マキル榮ナ延	鑑静幸壽美子	三四四
		子子子子	アヤ
福德岡島	芙蓉支和歌山郡本賀媛	千長兵廣山宮廣	富葉山

佐伊日廣柳荻原置澤田
星高龟八加櫻熊倉井山島畠野
中内
田竹
* *
理科卒業 (十七人)
伊藤原中高廣原渡邊
岩永木藤倉谷瀬村木
此木慶久のセセ秀芳綱
井木根村田本巻越藤ちみさセツ子乃
土鈴曾下島風水加小岩光のセセ秀芳綱
岡井木根村田本巻越藤ちみさセツ子乃
光靜す千サノイチニ子エふ
操枝子菜ム恵代ダユノ子エふ
兵廣東愛石千福福熊大板德岐
庫島京媛川菜島本阪本島阜
新岡山香川河津城賀
岡山口

津 篠 武村 釜森 早 中 趙清 佐 坂 德 阿 田 川 藤上 井藤川 九喜 水藤 下 差閉 * * *
吉 吉森 虫高 升平 早池 奈土 增柚島 相内 佐 小 小 新 井 重明 山味 井瀬田 井野 木原 模海 藤林 林 井 乃 絞エ 静智マ エミカフ フ勝慶ノス 芳勝 可ス 濟 ぶ 子ウ 枝子サノヲ つくさ 子子イミ 千代賀ガ子 京 廣福山岡栄 廣香三 東富 廣朝東 大岐宮宮 青石 都 島島口山木島川 重京山島鮮京分阜城城森川
吉市 今 小岡 釜北 佐木 上阿 光 弘川 村 原本 沼澤 藤村 田津 * * * *
和安山藤藤日三馬根土塚塚四佐金金太大大植伊井 田武中原田野木淵本井本家野崎子田島森田勢上 富絞テ 静エ芳秀ツ雪 らケミハ節壽 幸トヨ壽 起操子ウ子み子子ネ江克くイオエ子生翠代シネ美 茨熊東神高兵鹿兒京栄長新愛福廣栄廣東京大鹿兒 城本京川知庫島都木野鴻知島岡島木島京都分島都
熊 白平坂末榮 夏角土熊櫛川 大 松佐根 谷 島下田田 目谷屋代引西 森 本藤岸 家事科卒業 * * * *
移鉢本清林佐五小小栗黑小相木小東大江尾岩稻美(三十六人) 浦木多水間味沼島田杉田下原野隈原野淵富 千代子光フジ常アイとき澄み敏千ト行三和 千代子照エ子る子宰よよ子え佛子代ミカ榮子照 愛覺千東福廣長塔愛石靜和青兵東石福愛石岩群 知知葉京岡島野玉知川岡山森車京川岡知川手馬

扇 山野瀧 佐小淺 金森 田 保育實習科卒業(二十三人) 内村 治松野 一番ヶ瀧 * * *
朴 錄中染高志首清猪北鶴鈴荒 古任高常 官 倉瀧川島村藤水野川居木木 山北石 坂 聖 静れち梅愛澄田澄ミ 喜久代 ウ清 エ 煥江ひ豊子子江子子チ錦 メ宰枝貞 秋 朝愛福愛石埼岡福山北香靜東 佐朝福三 田 鮮知井知川玉山島白道川岡京 賀鮮島重
益 佐中寺◎ 島佐 豊 岡 竹山島 伯 日 * * *
趙 三丸藤廣朝中田高染伊西近行堺沖井 戸野山井瀧倉島瀧森谷藤 藤田伊 迨 花ヨ正多靜泰春富ふさ登富海波敏浪すハナ 今 子ノ尾計子子子子江美子子き子華ナ 支 岡鹿長長岐新和宮石東大熊三岡廣兵 那 山島野野阜湯山城川京阪本重山島庫田
倉 片 鈴大宮 金飯棚 安 大正十三年十一月 原 山木島 下崎田橋 藤 文科卒業(三十五人) * * *
高 黒金佐加及河大小梅石柏今井秋村 根木岡野藤川合橋熊津橋谷井上山岡 百ミカツ素ト干喜シマ美い君好茅登 代キム子ツミ代美ヅツ代つ代枝野喜 熊茨和歌東廣岩靜新岩福茨岐岡東 福岡 本城山京島手岡木湯手井城阜山京

高平 太久田 城澤 郡蓮 熊 黒 中 大 今 島島 田安中村 山田山沼川 川川田 福 水 水 水 水 水 水 水	文科卒業(三十人)
福村長中高西芹鈴小清仁小前黒猿大内石石塚 眞上野川柳村田木山水科林田河渡平山井井田 八キうタ好喜ミツ美鈴うき光文壽いう千 千代ミタマ恵美コ元子子たく子子順々さ昌た恵	(二十九人)
宮福 静岡山廣柄柄愛宮東福廣廣東柄東東山 崎岡森山日島木木知城京井島京木京京口	
篠白久保栗杉生 内石田野田田理科卒業(二十一人)	若横松津七中 山沼本下條西
田菅庄仁齋木上上上田 畑野科澤田野田田村 は千文お八芳千鈴ミノ る恵子う代枝子子勝ル	中山三三増野前星星 川高森浦田尻本野野 美登里東子子と子美ク 静兵兵群長宮山福愛長
岡庫馬野城形井知野	廣和山長京埼岡香大 島山口野都玉山川阪
刈植宇政池伊荒増 部松賀神池田東木田家事科卒業(三十六人)	米牛吉上仁尾高 村越田田科崎橋
大鈴吉石高一齊長谷安 井木村井井藤川藤 ヒ勢花のチトたし テ子子ふヨクなづチ	渡政山山本濱野杉中内原 邊池城口郷島田野澤藤 千ユキエはるよ子の工溢琴 新山靜愛廣福福靜廣
湯梨岡知島島井岡島	静熊長東靜愛靜靜山岡宮 岡本野岡岡岡口山城

望月◎遷科卒業(五人)	大江小森松 林永	奥酒和田脇 堂
吉嶽宋金川口泰今順すみ子娘瑞英末	吉鶴渡渡山廣前原服登戸津竹高田 尾邊邊口瀬田部田下谷淵 芳ムトシイ日コ富ひ利ツ壽りふ 子ツイ露サ士ろ富ネ理美うで娘	*
静朝朝朝新岡鮮鮮湯	長新新長三福京愛福大塔石兵石山 野湯湯野重岡都知井分玉川庫川梨	
北羽關平小島生根田川	野與高菱志村花子 口田	○圖畫専修科卒業
近内井石市朝青藤倉浦川橋川柳	渡塙安光福谷渡佐久吉金小 邊田富藤山山邊田嵐川森野 田雪淑カキシナ子三勝十二人 なほゑみイム美節鶴枝子壽ツウトニ吉重子	
秋秋千熊東三熊田田葉本京重本	大和山福長青崎茨大京三福 阪山口島崎森玉城阪都重島	
○研究科修了(一人)	山村○床北國木田 次條小侯	
沈慕蘭支那	家事科卒業(二人) 黃王愛	○圖畫専修科卒業(一人) 渡松平中德關柴岸後 部本田久本田藤本 き初梅孝千みどり よ枝子夏子枝子 高麗兒城岡京知梨都
趙迨今那	文科卒業(一人) 頌	
王愛頌	支支那	

太 小 保 成 堤 高 今 杉 小 金 福 下
田 川 坂 田 烟 村 田 島 成 本 山

水松松水藤芳梨中廣矢川鈴佐清佐有川川川小小井
野木崎島澤賀谷村見野上木道水野浦上井井野川上
富す茂あ千みしカシキス須春三千キミヨエキ静ヒキ
美子み子さ鶴りつエモクテ賀香恵ヨシシブヨ代サヨ
山福東長宮富愛青大福神廣東秋佐新靜岩大新北海
梨岡岡京野城山媛森分島川島京田賀湯岡手阪湯道

田森藤 鈴 佐 神 和 安 ◎ 橋
宮山本 木 野 保 田 原 本

高副杉白沙椎樟清古越石飯荒安
野島木井崎名原水部智井山井部
ふ皆き千千比君淺たア世意
み子英く代代佐代子子節イ操治
山福高東愛靜東大三愛新柄福高
梨岡知京知岡京阪重媛湯木島知

池 浅 守 丸 平 木
田 野 家 事 科 卒 業
屋 尾 尾 村

*
大岡海内石佐市猪小業(四十一人)
坂崎野田川木原間関
サ良ノ驚け利富光た
キ子ア江い音美子か
熊高鹿岡愛宮北京宮
本知島山知城都城

丸藤 野 篠 國 富 菲 小 曾 戸 原 河 楠 大
野 村 水 川 田 澤 田 村 木 竹

*
有森藤北谷竹高田水鈴鈴作戸高黒國丸神置小大鴻
里十田澤口村橋中主木木田板真川友本原鹽田泉某
トは幸シ田千鶴孝ハヤヒトヨ和タカ子斐かつひさ
シ枝枝ズ鶴萬道壽子ク代子えク壽子み
鹿兵廣新奈佐靜千大新靜石宮鹿兒島廣三香富茨宮英
島庫島湯良賀岡葉分鴻岡川崎岡島重川山城城

白 吉 菅 太 根 田 部 島 田 和 安 ◎ 橋

齊 賢 工 渡 陰 立 大 魚 齊 岩 渡 渡 山 毛 森
藤 藤 藤 遷 山 田 內 川 藤 田 邊 邊 口 藤 田
春 喜 初 ミ チ 富 ミ ゼ ス ミ タ
久 海 子 ツ カ 子 ナ ミ ミ ミ
代 珍 珍 菜 ミ 菜 ミ
子 ツ カ 子 ナ ミ ミ
一 エ 真 日 カ
喜 幸 幸 真 日 カ
代 代 佐 代 子 一 エ
代 代 佐 代 子 一 エ
治 節 節 一 エ
操 治 一 エ
山 熊 東 岩 石 朝 東 愛 富 長 廣 岩 奈
福 岡 京 京 手 川 朝 東 愛 富 長 廣 岩 奈
梨 京 京 京 手 川 鮮 京 知 山 峰 島 手 良

岩 阿 井 部 昭 和 二 年 三 月 家 事 科 卒 業
文 科 卒 業 (三十人) 家 事 科 卒 業 (二 人)

山 三 遠 岡 高 豊 田 上 藤 野 黄 橋 日
長 藤 堀 藤 林 長 谷 中 成 鈴 井 川 島 田 木
勝 藤 澤 田 井 川 島 田 木
富 一 藤 壽 と 琴 琴
子 秀 枝 信 子 子 し 子 子 肇
大 秋 阪 田 支 支 支 支
秋 阪 田 那 那 那 那

河川植石今大位	渡邊
西井島田井飼田	理科卒業(二人)
木魚川平尾木五長藤淺	劉玉
村井岸田島村味塩原野	映淑
千と千辰ユシ雅姫ミフ	王少
代み鶴子生キゲ子ヨミ	荷姪
岡愛大神北廣香岡福香	支支
山知阪川道島川山島川	那那
松演	島田
井	田
*	*
依毛村宮万宮洞林小西中友堤辻田杉清藤芝栗隈國	
田利上下波川上林田野田日本水本野原元芳	
新千文ハ一千正多松ク八富ト嘉貞文信澄淑玉君	
穂子子ル子操子子津代ラ子ク子子子子枝子	
長高長新岡神埼山長石東國佐佐廣新岡愛東鹿兒	
野知野湯山川玉口野川京山賀賓島湯山山知京	
永露千谷田田政鈴佐新龜	
井木田中代池木藤田井	理科卒業(三十人)
小名閑富河國瀧稻吉鈴中日小喜木木鈴伊井青	
口木橋永登行澤尾原本木木田野坪川村木藤上木	
喜みさ富千あコ澄靜りひ美は正利延文秋田和演カネチ	
代子さ江子バト江子ウル壽る子子子子雀子子	
長東神兵東山長岡新愛神東大廣京大東靜愛愛福	
野京川東京口野山湯知川京阪島都阪京知知井	

昭和三年三月

文科卒業

(三十二人)

藤須 前池松内土松 上佐岡森川鹽
原田 川内尾藤屋山 原藤田澤村田

*

遠谷高平弘日野中西富鈴關鈴杉茂齊佐兒小葛吉大
藤橋野田比上島村田木木山田藤木鳥島日田谷
満み幸三千タケノ象千駒春む信喜代ナ充ハコヒ政
壽子つ子代敬子子野重俊輝祐つ子子カ子ヨルさ子
岡東東千山大東岡滋東靜東岩靜福山岩岡廣高千島
山京京葉日阪京山賀京岡京手岡井梨手山島知葉根◎◎◎ 吉村阿坂築村
選科卒業(三人) 研究科修了(四人) 部本瀬田方崔 沼辻武王山山山山稻牧松堀帆
順義 澤田愛本岡本崎田葉野本田山
順順 孝チの英珠蓮恭清ナキ久貞芳
朝朝 東福東支東三島兵高棚愛愛愛福
鮮鮮 京岡京那京重根庫知木知媛如非瀧關 豊渡移坂櫻木和淡
川口 口邊井口井下田井森諸福平成松立篠熊四佐三小玄久久門菅乙荒藤
井島田田隅野田野田原國關保田山黒川澤
清南愛和みミ加ナ民磁政ム君と郁相美津フ
子江春子子のるニ子ミ子子美ぞ順子ム代子雄サ壽東静佐三富秋岩千群北海東岡千朝石兵東東山秋千
京岡賀重山田手葉馬道京山葉鮮川庫京梨田葉

中湯澤辻寺北内清伊 島屋澤島山水藤	保育實習科卒業(二十三人)
*	
丸松野三龍白白篠岡胡熊木川大岡小神池稻原赤 野山本田根根本桃井金崎原村川野田並田澤 サ英きナ綾ユ美サ登ト嘉文千千壽小文宣春サ キ子のヲ子キ子ダ子シ鶴子東節子美枝子子イ 鹿福崎東大大廣東鹿高千愛三千千神石東東千桜 兒鳥玉京分分鳥京島知葉知重葉葉川京京葉木	
漁三領皆加吉織國清足和 池枝眞田藤村田友水立田	昭和四年三月
黒大川丁片笠兒青大山小内安渡 田田柳井島山谷保崎倉川藤邊 氏智大敏恒齊フ紀眞靜雲 エ子き梅干子子ユ子子武節子子	楊浦伊井東 楊綠ミフツミ 湘
東岩山臺茨廣長岐奈東愛千長岡鳥 京手梨灣城島崎眞京知葉野山取	支東東京京
和藤東高鈴 田森條橋木	*
理科卒業(二十七人)	
秋山佐和子 神奈川	櫻横八向松本鳥福原永鳥富高戸高原田木信 井山木山尾多飼田田松居澤橋部外村佐耕 てしひセミ恭登5敏千輝キ春一千代子 るゑな子つ子子ム淑秋子春子峰ミ子英徳子 愛茨東橋東東長崎新熊東福山岡廣愛東柄石 知城京木京野玉鴻木京島口山鳥知京木川

大越矢伊
村野智澤藤

白牧佐
石藤長谷川

**

大山井出上上今井井秋業(三十七人)
澤根利野原澤村上筒田
てキヨタ晴よ志房セキ晴
キノ明ミ淑子
ミア子チ子子
柄廣高愛山柄千島岩靜
木鳥知媛梨木葉根手岡
山鹿山新愛愛三兵愛青
口島梨湯知知重庫知森

丹長寺谷立竹田田
羽根田口石内村中

齊小上山
藤山總縣

*

服野島田傳小石莉市高戸松島司坂島常公木若金加
部村崎中田宮井谷川溫部宮田馬本田文村林山藤
リ幸順とめ史ミ文政ミイ芳英イ嘉
操ツ子子繁子シ子子清
大福愛埼長山岡東長岡石福香岡福長高静大高宮
阪井知玉野梨山京野山川岡川山島野知岡阪知城

佐荒小
木井原中川

研究科修了(三人)

*

吉福廣平土瀬柴松大岩安守村姪
開澤島澤田崎崎田沼崎
ミシゲノ千ヨムカ
千代子重シツツ操
福徳東福大崎三宮茨大
岡岡島烏分玉重城城分

支靜那

千石埼群

葉菜川馬

大越 梅 谷智澤	保育實習科卒業(一人)	日◎ 川 置 西 研究科修了
坂小久保大石遠佐荒澤	王原富高鈴木木下少秀美タミ英子穂工浪備	(六人)
口島田圓田藤寺井	澤橋木木谷澤元野井生坂原田	
つ光ス美喜美京千賀代	郁文秀松は幸千アアム君美初幸千郁さ幸	
る子イ孙美子子代	子卓野代子の歌子代ヤイマ代知園子子代枝だ子	
東東柄東東愛北海東茨京京木京京媛道京城	愛山愛熊岡石柄山東島香新静和岡大愛長兵福群新	
	支岡福富愛兵那山井山知庫	
渡邊	沼林館塚	滝谷
家事科卒業(二人)	林米藤二平白一平中坪辻須落	
羅王李孫(二人)	山野木野貞渡館堀内子合	
孟淑眞虞	久宮英綾弘タア元雪啓ミ	
平榮玉卿	子子子子千鎌カキ子梅江子ツ	
支支朝支	山東石東千朝青岩東東東福東	
那那鮮那	形京川京葉鮮森手京京京島京	
田齋宮	奥尾内高寺上山橋	磯部
		昭和五年三月 文科卒業(三十一人)
田外島清内佐佐小長大丸岡土谷上上宇市石池		
村島貫水田藤島内森尾田肥杉野多川岡田		
満芳朝け豊恒みどり貞よし子美知子綠昌子ギエ子		
澄子野子み子盛り子子子子		
東愛山岐宮島鹿兒岩愛東東新東福香東岡大		
京媛形阜城根山手媛京京島鴻京岡川京山阪		

船橋 北關 周近栗九木 河藤加
村口 藤田鬼山 合山藤

*

朽藤夏築塚高鈴鈴塚茂佐天松中齋木河藤土田折岡
名津目山田木木木谷原木澤山野藤元野井生坂原田
郁文秀松は幸千アアム君美初幸千郁さ幸
子卓野代子の歌子代ヤイマ代知園子子代枝だ子
愛山愛熊岡石柄山東島香新静和岡大愛長兵福群新
知口知本山川木形京根川鴻岡山山分媛野庫井馬鴻

佐野近小小桑江赤吉山
藤松林島木口松田田

下近笛安花宇中川柿大土梅内上植野 渡菅鈴町
條藤原澤井村又村山屋島田田村上(三十七人) 逸野木田
さ澤淑靜・愛貞サ八春幸君房た 綾フ富貴子
だ子恒子子江久子子節エ重江子子江か 高子ユ
山福新福千柄岡茨新福千靜東島東兵 岡岡新群
梨岡鴻岡葉木山城鴻岡葉岡京根京庫 山山湯馬

渡宇古藤林野塚萩月種高鈴杉齊
邊野市井上本原野田田木木藤

平吉八木村淺沖初阪西戸久田武竹栗田新井清眞鈴
野村田越沼見本岡田島島林屋本野上水田木
き節道と千鈔て登テ孝や秋清サツ玉文み
きよ子子子代子い和イ子秀夙保子子子エよ壽子つ
茨兵愛三北海愛茨大佐東鹿兒島北海神奈川井川重道知京川
城庫知重道知城分賀京島

理科卒業(四人)	渡村高小 邊上舛探 キ喜 勵 朝	山三三三 岸橋島浦 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川	藤早 田野 中藤高外筒高 下澤巻橋村井 喜美子アヤコ エブヨ 香愛鳥千熊德 川知坂葉木本 齊高公加飯安 藤地平藤田藤 永中富高澤平 井尾田橋木賀 て茂登枝正 茨千富富東東 城葉山山京京 石川昭和六年三月 文科卒業(三十人)	研究科修了(四人)	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川
理科卒業(四人)	渡村高小 邊上舛探 キ喜 勵 朝	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川	藤早 田野 中藤高外筒高 下澤巻橋村井 喜美子アヤコ エブヨ 香愛鳥千熊德 川知坂葉木本 齊高公加飯安 藤地平藤田藤 永中富高澤平 井尾田橋木賀 て茂登枝正 茨千富富東東 城葉山山京京 石川昭和六年三月 文科卒業(三十人)	研究科修了(四人)	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川
理科卒業(四人)	渡村高小 邊上舛探 キ喜 勵 朝	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川	藤早 田野 中藤高外筒高 下澤巻橋村井 喜美子アヤコ エブヨ 香愛鳥千熊德 川知坂葉木本 齊高公加飯安 藤地平藤田藤 永中富高澤平 井尾田橋木賀 て茂登枝正 茨千富富東東 城葉山山京京 石川昭和六年三月 文科卒業(三十人)	研究科修了(四人)	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川
理科卒業(四人)	渡村高小 邊上舛探 キ喜 勵 朝	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川	藤早 田野 中藤高外筒高 下澤巻橋村井 喜美子アヤコ エブヨ 香愛鳥千熊德 川知坂葉木本 齊高公加飯安 藤地平藤田藤 永中富高澤平 井尾田橋木賀 て茂登枝正 茨千富富東東 城葉山山京京 石川昭和六年三月 文科卒業(三十人)	研究科修了(四人)	山三三三藤早 岸橋島浦田野 渡堀御松工永 邊江船本藤田 ミス 高繁ミ久 岡高廣神奈 山知島川

佐小河藤出村	伊秋藤本	渡邊阿部	長野
理科卒業(二十七人)			
市平波風市池泉井横 瀬川岡間瀬上口田 園智恵子江子子枝イ	清柳保森前早並後鳥唐寺 水澤田下野坂河藤居木岡 慶大美代子浦枝子子敦子	はる子	豊
長千岡神長愛山熊青 野葉山野知日本森			
阿吉田	牧廣野松	中玉道城	高石
家事科卒業(三十七人)			
野秋口山不文二子 吉田橋浅崎田口川不文 秋千惠子江子ヨ	渡吉高湯山山村井藤能平山大高 邊田橋淺崎田口川美岩口泉木岡 秋千惠子江子ヨ	福田鈴 木木	田道城雄田
愛岡千北海岸道山山知 野葉山野知湯京本道岡庫井城 葉山山知湯京本道岡庫井城知島媛島葉			
島近根藤	小熊池谷	金大谷	上泉
文科卒業(一人)			
斧谷村井福島浩	渡山村山二邊田上木芳玄露 谷村井藤崎原井井浩	勝山松大小上江内池河 原水井藤川池島崎川田木本原西尾村端田上野 喜見子貞香佐昌子エキツツ子	五十嵐
長石長福英千群富岩北海 野川野岡城葉馬山手田神奈川川城崎梨阪島庫川城			

大 槻	米 山 藤
保育實習科卒業(五人)	井 形 田
岡森朝明尹伊傳崔金井口日石喜恩鐘完如千道光綾枝子枝子山愛德東形知島京	小山山萩森松間鈴玉本口森川井島島木ナ愛き松登代千のぶ子ヨ子ね子子和子滿洲朝朝朝島滋山茨東廣靜香靜國鮮鮮鮮根賀形城京島岡川岡
大 槻	山 口
和吉山田水堀北野中富陳立武高下島澤小川董 田井下中谷條間村田石井野川内島村野 美津キミ春穂ヨコヒ喜マ美勝そミマ 子をエ干子敏靜子ナと滿妙サ子サ代子の子サ 神富福山東東茨愛靜群臺熊板東福富茨東福新 奈川山岡口京京城媛岡馬灣本木京岡山城京岡湯	
浦 上	望
上 田	昭和六年七月
坂齊小久北落吉内藤犬伊石石井天 田藤林西保田合田海井飼東川川上野 京文恒み美慰春千正美朋ス道民都 子于子于子于世春江紀子マ子榮子ン 千岡長靜愛岡和岡香廣岡鹿兒 葉山野岡知山山川鳥山島媛知山川	月 家事科卒業(三十人)
浦 上	望
上 田	昭和七年三月
坂齊小久北落吉内藤犬伊石石井天 田藤林西保田合田海井飼東川川上野 京文恒み美慰春千正美朋ス道民都 子于子于子于世春江紀子マ子榮子ン 千岡長靜愛岡和岡香廣岡鹿兒 葉山野岡知山山川鳥山島媛知山川	月 家事科卒業(一人)

早 安 土 高 新 倉 金
田 延 屋 橋 田 田 岡 森

*

渡弓平相八尾古福乃小平佐關須田矢高菅
部場塚徳木越島美作藤根田邊田内山木藤
正三み孝秀シト久清春朝綾慶春千夕壽ミ喜子
子子子子子子子子子子子子子子文子子子
愛兵宮東神奈川廣長東廣東和歌兵東宮鳥山香東香
媛庫城京島野京島京島京島京島取口川京川北海道

角 鈴瀧 小 亀 池
田 木 谷 林 井 永

*

藤平平野西中館立富長重佐佐小橋鶴梅田栗雨
本田田坂林石岡安倉田野木林本澤田島屋田
総しげ君俊淑綾靜百八道す幹キ浪ミ君フ
きぬ子子恵子江子壽枝子重子重子み子ヨ子サ子サ
東廣兵山京岡岩東東新岡山富長東東廣長茨鹿
京島庫口都山手京京湯山梨山野京京島崎城島見

花 高 櫻 神 荻 正
形 橋 井 長 原 田

中永中武高井原黒青近内宇井浅阿
木村井川田畑野坂木藤山神手輪部
トナナ千代子子代子ミヨダクタ子子
子かだ子子代子ミヨダクタ子子
山千神奈川高京東福長東静東柄長長山
梨菜川知都京島野京岡京木崎野形
富東福岡
山京烏山

前久畠富
橋末福永
高木中

盛松中星望肥高大富寺角直千高高高入高田壽
山澤村名月後橋方川見崎原野橋橋塚江垣中田
愛富サ俊玉ヒ信壽大律順譽て幸操鷹
子子ト房操子枝口子傳枝へ子子君子る子子子
北海長柄新福鹿兒秋長富岡島長山靜岡東廣長北海
道野木湯岡島田崎山山坂山野形岡山京島野

河合	保育實習科卒業(二十四人)	家事科卒業(二人)	選科卒業(二人)	研究科修了(三人)
桑村川壹大入一青 田田野村澤木木 富妙富久子子子 子子子子子子子 東東柄新德福山東 京京木湯島岡梨京	王王 瑚金 英英 支支	王梁 孝左 思四 支支	御小島 船靜 于盛江 鳥東	大和久 鈴江 于盛江 鳥東

雨宮
昭和八年三月
文科卒業

遊山山宮松廣早橋青橋高杉周澤澤小
佐田日本本津川本木口島浦藤村林
百靜光正い幸と文ミ靖靜力美菊
合子操代榮清さ子み子ツ子枝ヨ代子
熊山東東岐東和香福芋岡麗言富東山兵山
本梨京京阜京川岡山城山京山根口庫梨

布辻清
施水

理科卒業(二十八人)

家大小江鶴阿武守澤渡川武松壽照綾喜久
子子代子子子子子子子子子子子子子子
福廣廣青香山朝愛熊岡東石茨東福山長東東德
岡島森川口鮮知本山京川城京形崎京京島

後草柳

屋村水見松堀土橋長谷永中中東田鈴杉齋清小山金
代上口澤岡江屋本川堀山村川寺中木村水山口子
孝智友子子子子子子子子子子子子子子子
子貞子子子子子子子子子子子子子子子子
兵大靜宮三長岡兵大東岡東茨大東愛愛神東靜長
庫分岡城重崎山庫分京山京阪京京媛知川京岡野

井明上間

瀬庄定佐越古河神加達大大緒小浦市一石石岩
戸司森藤原藤合谷藤賀芳弘静百シルハルイ
は花許華三佐喜か英ひ芳テ愛ヨシ子江子江子江
な枝江子子子子子子子子子子子子子子子子
富千岡東東茨和熊福佐山山秋新
葉山京京知知京城本梨川京田湯

萩原研究科修了三人	薊山山森毛 邊下利
近安	大吉 橫 横 新 中 日 鈴 前 藤 藤 藤 中 捜 鈴 清 澤 齋 藤 田 内 町 村 向 木 川 井 井 村 本 木 水 村 藤 き 静 利 幸 文 ふ さ 絞 毒 道 懈 寿 登 せ ほ と フ 日 初 よ 予 子 子 子 銀 子 子 子 寿 子 ハ 和 つ み エ 出 子 静岡 東 東 岡 長 東 鹿 東 東 鳥 千 愛 長 群 東 茨 秋 新 東 岡 山 京 京 山 野 京 京 取 葉 如 嶠 馬 京 城 田 鴻 京
武田司中	
中 中 奈 所 河 田 日 移 酒 清 榆 池 池 井 栗 野 澤 真 内 中 向 山 井 原 田 田 上 屋 千 ア 絞 美 房 よ 順 滌 早 八 道 正 靜 鶴 キ 碧 子 子 れ 子 子 百 合 代 紗 子 子 柄 新 神 奈 爰 福 鹿 静 爰 福 熊 東 熊 山 山 木 鴻 川 奈 岬 京 岬 京 本 京 本 口 口	保育實習科卒業(二十四人) 選科卒業(二人) 張 金 愛 三 希 純 朝 朝 傅 喜 珍 滿 洲 國
笠原文科卒業(三十二人)	成田昭和九年五月 家事科卒業(一人) 町 渡 古 彦 坂 宮 松 延 押 井 邊 都 坂 東 川 本 本 川 み ス 良 喜 能 喜 代 子 久 美 子 れ 子 葵 布 布 子 子 三 山 鳥 東 德 東 福 鳥 熊 重 形 取 京 島 本 本 山

鍋島	葛城
*	
横 大 森 村 三 藤 平 西 坪 角 竹 高 田 後 近 木 川 飛 大 內 今 石 山 和 田 田 村 岩 尾 井 川 尾 木 內 藤 藤 元 邊 田 森 野 烟 原 照 フ 寿 ら 茹 孝 鈴 寿 正 キ 正 玉 文 君 シ ト 久 芳 道 恭 美 知 子 ジ エ 子 ム ジ 子 子 美 子 ヨ 子 枝 子 子 ゲ 香 シ 子 子 ヨ 東 福 高 東 愛 福 石 茂 香 宮 長 愛 愛 東 福 大 鹿 神 愛 神 奈 山 岡 京 知 京 知 島 川 城 川 城 嶠 知 知 京 島 分 島 島 島 京 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島	
廣本ニキ子	蒲池
*	理科卒業(二十七人)
西 南 長 中 澄 多 多 說 小 倉 木 高 奥 大 大 内 稲 朝 浅 山 保 谷 西 田 田 島 田 村 橋 村 森 西 田 並 倉 野 有 須 俊 不 い 初 正 愛 光 君 野 ミ 種 美 喜 房 工 喜 美 枝 金 子 美 子 枝 き 音 子 子 子 恵 都 合 ナ 子 子 ミ 兵 東 愛 愛 東 東 茨 岐 東 長 石 東 福 岡 大 千 東 鹿 京 庫 京 知 島 京 京 城 阜 京 野 川 京 島 山 阜 葉 京	綿引富美 北海道
河川井口	家事科卒業(三十人)
佐 小 前 小 海 香 岡 大 小 内 板 益 本 藤 深 藤 山 田 野 稲 川 村 江 田 田 橋 田 岡 尾 多 津 倭 富 美 田 貞 智 加 恵 千 鶴 子 み オ 子 美 代 文 敏 春 美 子 代 代 子 子 子 子 子 子 文 文 子 代 代 子 子 子 子 子 子 子 愛 東 岡 長 愛 東 長 山 伎 東 岡 神 奈 京 野 島 京 野 島 京 野 島 京 京 京 京	

熊野

古藤福藤坂長野中堤辻長辰善仙杉白佐佐倉譽黒山
澤原地谷西川日村川田波石藤伯田田澤田
初君清ゼハ榮章や千繁ノ操眞靜ニ美惠子
順佑江子子エナ子予貢子淳ひ代子リ子子リ子子
新山神山東東福佐愛東愛三東山鹿山廣三新宮山
湯形川日京京京岡賀媛京媛重京口島形島重鴻城口

天

岫	保育實科卒業	研究科修了	渡和龍横横山山柳梁三三九
石飯	飯秋	王高(三人)	邊住山山元田澤取谷上山
田	田田	瓊美智子	初靖秋喜メ千美澄チ壽ち正
貞	都法好	予予子枝	枝子千惠イ子代子イ枝ゑ子
右	留予子	英子	津東東兵福鳥群北海新長新岡東長
江	岡		岡山那京京庫岡取馬道湯野鴻山京野

佐藤

昭和十年三月 文科卒業(三十三人)
渡山森滿松藤羽野中大田榆小桑川萱景小岩
邊本山井田澤生呂村洞島木菅原上野山野澤
壽シ好ヨ伊敏八千多ツトト正壽德泰
代シ子シ子京子代子ぎシヨ子枝枝江禮妙
東新東福東東靜東東熊群岩東愛東島靜岩
京鴻京島京京岡京京本馬手京媛京根岡手

三宅

渡三光松松古福平新中永外秩山名杉杉鹽宰小國加
邊浦藤川本田富木納座田村父内尾山森田田島弘藤
五喜初美ゆ和秀昭百ミ重久眞貞千美富正子工子智
感滿音代リ子子子オ子江子孝子子貴子智
三大愛東青東熊福東山東北石新岡岡靜福岡兵山愛
重分媛京森京本岡京口京道川鴻山山岡島山庫口知

岩

名竹高新品小小草岡大内毛今伊伊有
越下田海川松島川嶋林田塚井藤藤賀
右千松キテ伊い正茂ハ静禮富美子
江子子ミル子き枝子チ枝純子
岡東岡長香岡茨三大岡秋神奈川北東東長
山京山野川山城重分山田田野京野京京島鴻

藤

高吉中小遠山磯栗家事科卒業(四十二人)
田村蟠藤崎村村井
東ニ淑芳信ミ和音節ミ文正き博文波幸
珠珉キ子子子モ茂子
朝東山宮宮山愛岡
詳京口城城口知山

竹内

渡米米横八森三松藤横原中
邊山田田島屋尾原田村島
和音節ミ文正き博文波幸
子枝子ホ子枝みる枝子文子
神奈川長兵東廣石東兵岡岡東長
野京島川京京庫山山京野

平平原野丹南中角立竹高高宗杉菅澁篠佐坂栗岸
尾野崎村羽保村崎澤内橋橋橋田山 谷崎藤井田本
あト富和きく美壽登みサたそ修壽芳智榮敏マは
やメ美子子利美枝ほダ子の幸子子子枝子エる行
愛福靜石愛東德鳥福東東長宮岡東岡東柄岩新岐東
知岡岡川知京島取岡京野崎山京山京木手湯阜京

文科畢業	研究科修了
伊佐井田山 静淑子子 埼新玉湯	中竹村下初正廉蘿子子 支滿洲國京京
保育實習科卒業(二人)	渡渡若山谷室村三増深邊邊林内川田上宅田瀬俊ふハ正ツ光忠理龜道子みル子ギ枝子和美
伊佐井田山 静淑子子 埼新玉湯	千東富鹿長福岡青高葉京山島城崎岡山森知

山矢矢松戸谷竹田田鈴末坂賛後葛工橋北川川大磯
中田島本川川内中中木光田藤岡藤川澤野上岡野
勝伊八葉貞玲喜ゆ秀貞ト美富千茂ち淑須泰
于江重野子子き子子保子子孟子留賀薰子
三東長福東熊東東愛大香福愛千東宮長東東新
重京野島京本京京知葉京城野京京京湯

土三高曾根駿鈴柴古小黒菊川金加太太大牛今茨市赤
志輪橋原田木山林島木池村田藤田田島田村木川鹽
エかつ幸ま靜輝秀君正ウハヨタケ子八重秀美喜彌敏
リ子正子り子子子子子子代壽道子
神奈川知京野山岡山島車京島鴻都城崎京川知京崎崎京

岩松	理科卒業	岩松	理科卒業
瀧高關樺浦井志乾石浦橋口島口上甫	渡横安森三九松新新中宮		
テヨア喜眞榮義秋久ルねや美左子子子	邊山井宅山本田沼尾田千ト孝美富幸ヒロ子		
京千柄東東北愛東山都葉木京京道知京形	三千正光蟲代ヨ子子子子子子枝代枝美		
	北海道新東福茨東靜廣東京湯京岡城媛京岡島島		

家事科卒業	林
鹿大上井今家新子村野上堀坂井そたた優幸マザのづう子澄江コ	吉山宮福廣平日山恒玉田竹田田下原瀬井高崎遠田中内正順シ節コ常久政マ美壽清江子ケ子ト子子子キ江子ル
東富長東富新廣京山野京山湯烏	新神奈群山柄岡東東福愛山千福湯川馬口木山京京岡城媛梨葉井

昭和十年六月
理科卒業（三十人）
渡横山三藤平平日江成中
邊田口輪原野田井島里
玉茂恵ふ美智咲三の万は
枝子子さ子子ヨ子枝り壽ま
愛東千愛廣靜柳東神秋高群
京山島阜山道鴻知京葉知島岡木京川田知馬

昭和十一年三月
文科卒業（二十八人）
塙田田武高瀬瀧佐佐栄黒熊尾大石安
原中代田橋川尾藤藤田澤野崎森川蒜
佳み敏み芳千幸靜千ト園喜和筆人
子子子よ子悌予子惠代シ群子子子
山神東埼兵岩北岡岡兵英岐東岡新東
梨川京玉庫手道山山庫城阜京山湯京
東京

卒業者
家事科卒業（四十三人）
佐佐小小後小工神川香折小大大太遠伊井石
藤藤林林藤池藤田村月原原橋峠田藤藤手田
淑直美マ貞田紹ふ政節エ靜かふタ壽美敏
子枝ツ子子惠さ子子イ子和えさエ淑美子美
愛宮岐新新大岡宮群宮佐崎東富東長山長熊廣
知城卓湯湯分山城馬城賀玉京山京崎形野本島

矢宮宮溝水三三牧前細原橋中田田高高相鈴白志
中島澤口谷井上野澤谷野村村代田田橋馬木鳥賀
ミキマミタケ藤敏清淑定政綾兎和タタ信清品美
子江子子子子子子惠子惠都子尙豊エヘ子子子津
茨東長岡三山愛宮新高島佐廣崎新岡山秋長東千茨
城京野山重梨如城湯知取賀島玉湯山口田野京葉城

二四一
鳥酒坂佐佐小北木桂藤小石石山西貴美東京
深井田藤久間烏村藤原田倉垣井恒達
信美久フ陸百富士幸四方和き嘉代
良子子ミ美子子子子み
愛愛香福東京東東福東知知川鳥京京都京
保育實習科卒業（二十三人）
研究科修了（一人）
選科卒業（一人）
李寶
朝鮮
山西貴美東京

脇山森見松牧前堀寅珠廣橋永田高高鈴柴重佐近
川立田島井山森本島井中見井木崎枝野武嶮
美枝千春貞待百幸いろ育玄和富愛美子カツ子
メノ江代江滋子子節子子子ん喜澄重子そのゑ淑
山新神山東大東福福三柄東愛茨岡東愛東兵靜新
口湯川形京分京井岡重木京知城山京知京庫岡湯

白瀬田中下井雅智子
吉村西富辻田中口下井雅智子
澤崎岡永中實信美智子
光喜頼文信美智子
代子和代由枝子
長富宮滋鳥鹿兒東京
野山城川賀取島東京

第十一 敷地及建物

(昭和十二年七月調)

二四六

一 敷地

小石川區大塚町三十五番地ノ十三號十四號同
區東青柳町二十八番地ノ一號ニ於テ新敷地二
萬八千五百四十四坪三合二勺

集會所木造平家建

六十五坪

圖書閱覽室木造平家建

百五坪

溫室鐵骨硝子張造平家建

十五坪

園丁室及物置肥料室木造平家建

二十三坪

藥品庫(鐵筋混凝土造平家建)

二坪

弓道場(木造平家建)

九坪

書庫鐵筋混凝土造三階建

八十九坪

便所及渡廊下物置木造平家建

一百八十二坪

二合一勺一才

百八十二坪二合一勺一才

寄宿舍及附屬建物木造二階建及平家建

五百八十五坪延坪

雨天體操場及附屬建物木造平家建

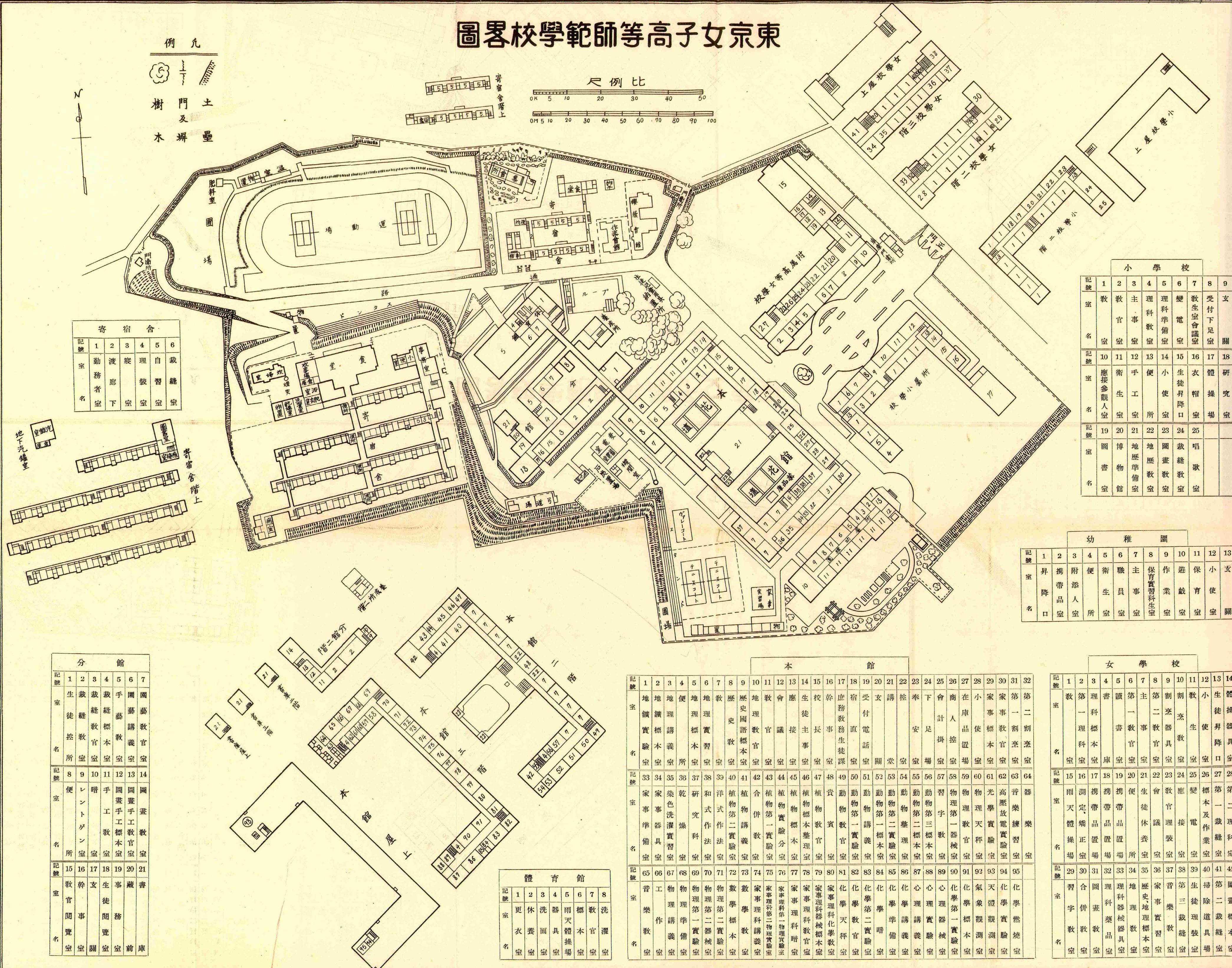
二百八十坪

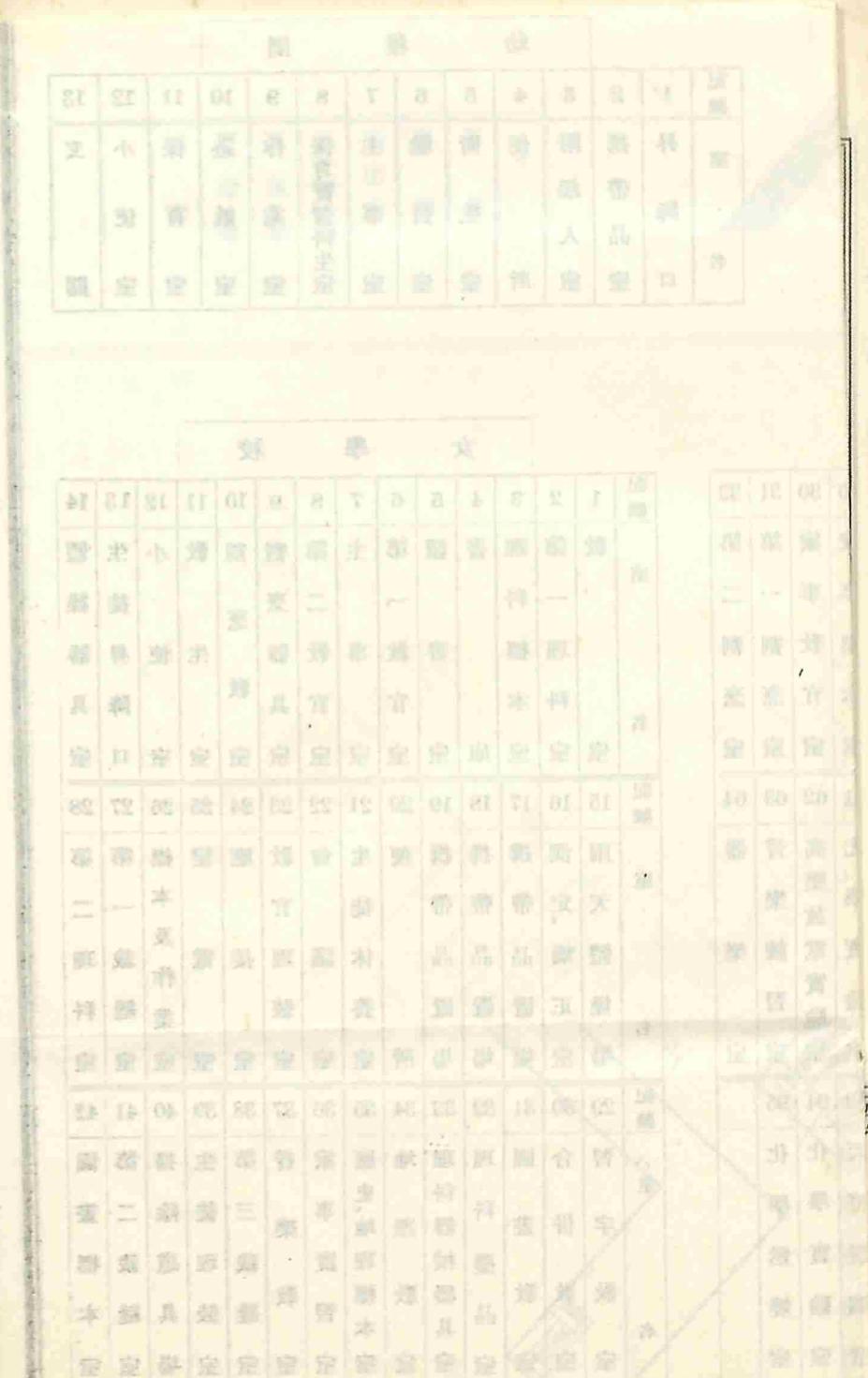
生徒控所木造平家建

五十九坪三合七勺五才

圖畧校學範師等高子女京東

例 几





寄宿舍附屬建物(鐵筋混凝土造平家建)	千三百七十四坪六合六勾(延坪)
寄宿舍附屬建物(木造平家建)	百五十四坪
寄宿舍附屬建物(木造平家建)	三百一坪五合
第二寄宿舍及附屬建物(木造二階建及一部平家建)	三百坪
第二寄宿舍附屬建物(木造平家建)	七十三坪
附屬高等女學校(鐵筋混凝土造三階建)	一千四百十四坪四合五勾三才
附屬高等女學校雨天體操場(木造平家建)	二百十五坪五合八勾九才
附屬高等女學校渡廊下及物置(木造平家建)	二十七坪九合三勾二才
附屬小學校(鐵筋混凝土造二階建)	千四十八坪二勾四才
附屬小學校雨天體操場(木造平家建)	百九坪七合七勾一才

三 建物略圖別圖

一 東京女子高等師範學校略圖

附 錄

二四八

一 如蘭會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ東京女子高等師範學校如蘭會ト稱ス

第二條 本會ハ東京女子高等師範學校ノ職員生徒及同附屬校園ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六臨時教員養成所ノ職員生徒ハ之ニ東京女子高等師範學校ノ職員生徒ト看做ス

第三條 本會ハ會員相五ノ親睦ヲ圖リ心身ヲ鍛磨シ趣味ヲ涵養シ兼テ善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第四條 本會々員ヲ分チテ左ノ二種トス

一 特別會員 職員

一 通常會員 生徒

第五條 本會ニ左ノ十五部ヲ置ク

學術部弓道部柔道部庭球部卓球部籠球部排球部陸上競技部旅行部水泳部謡曲部茶道部花道部音樂部琴曲部

前項ノ十五部中謡曲部茶道部及花道部ト音樂部及琴曲部トハ當分之ヲ各一ノ部ト看做ス

第六條 會員ハ各部ノ部員タルコトヲ得

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會長 一名

一 理事 一名

一 部長 各部ニ付一名宛

學スルモノトス

第三章 會計

第十二條 特別會員ハ手當月額三十圓以下ノ嘱託員及月俸三十圓以下ノ雇員ヲ除キ會費

トシテ毎學年一學期毎ニ月俸百分ノ一半ニ相當スル金額ヲ寄附ス

通常會員ハ會費トシテ毎學年金五圓ヲ四月(所第一學年ハ五月)六月、九月十一月及一月ノ五回ニ分納ス

既納ノ會費ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス

第十三條 本會ニ金品ノ寄附ヲ申出ツル者アルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス

第十四條 収入金ハ信用アル銀行ノ預金トシテ之ヲ保管ス

第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十六條 本會ハ第十二條ノ會費第十三條ノ寄附金及第十四條ノ預金ヨリ生スル利子ヲ以テ收入トシ一切ノ經費ヲ支出トス
第十七條 理事及事務委員ハ毎年度ノ始ニ於テ其ノ年度ノ收入及支出豫算概算書ヲ編成ス
前項ノ收入支出豫算概算書ハ會長之ヲ決定ス
第十八條 避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フタメニ又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルタメニ豫備費ヲ設ク
豫備費ハ收入豫算金額ノ百分ノ五以上十以内トス
第十九條 物件ヲ購入又ハ營繕セムトスルトキハ各部委員ハ所定ノ請求簿ニ品目、數量、價格、供給者又ハ請負者其ノ他ノ所要事項ヲ記入シ當該部長ノ檢印ヲ經テ事務委員(會計擔

當者)ニ差出スモノトス
事務委員ハ前項ノ請求簿ヲ接受スルトキハ直ニ購入又ハ營繕ノ手續ヲナシ請求簿ニ價格豫算残額等ヲ記入シタル上之ヲ物件ト共ニ請求者ニ交付又ハ引渡スモノトス
第二十條 豫備費ヲ以テ補充スヘキ費用及豫備費ヲ以テ支辨スヘキ費用ノ金額ハ理事ノ意見ヲ聞キ會長之ヲ決定ス
第二十一條 理事及事務委員ハ毎年度ノ始ニ於テ前年度ノ總決算報告ヲ調製ス
第二十二條 各年度ノ收入ニ剩餘ヲ生シタルトキハ之ヲ翌年度ノ收入ニ繰入ル
第二十三條 會長ハ各年度末ニ於テ事務委員中特ニ勤勞アル者ニ對シ若干金額ノ報酬ヲナスコトヲ得

第四章 役員會及總會

第二十四條 會長ハ會務ニ關シ隨時役員會又

ハ總會ヲ召集ス
第二十五條 役員會ニ於テハ左ノ各號ノ事項ヲ決議ス
一 收入支出豫算
二 通常會員二十名以上ノ贊成ヲ得テ提出
三 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項
第二十六條 總會ニ於テハ左ノ第一號ノ事項ヲ議決シ第二號以下ノ事項ノ報告ヲ受ク
一 規則ノ改正其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項
二 庚務決算報告
三 各部長ノ各部事業報告
第五章 附則

第一條 私達寄宿舍生徒ハ自治ノ精神ニ基キ學校ノ規則命令ヲ守ツテ寄宿舍ヲ校風發揚ノ源泉ト致シマセウ
第二條 私達寄宿舍生徒ハ寮内ノ秩序ヲ整ヘ風儀ヲ正シ且ツ衛生ニ留意シテ寄宿舍ヲ清イ氣持ノ好イ領域ト致シマセウ
第三條 私達寄宿舍生徒ハ寮ヲツノ自治體トシテ相結ヒ互ニ融和諒睦シテ寄宿舍ヲ安ラカナ潤ヒノアル生活境ト致シマセウ
第四條 寄宿舍ニ左ノ役員ヲ置ク
一 寄宿舍全體ニ關スルモノ
(二) 寮總代

- (二) 炊事部委員
 (三) 文庫部委員
 (四) 購買部委員
 (五) 室總代
 (六) 各寮ニ關スルモノ
 (七) 運動部委員
 (八) 娯樂部委員
 (九) 園藝部委員
 (十) 整理部委員
 第五條 寮總代ノ任務ハ左ノ通之ヲ定メル
 一 生徒主事ノ指揮ニ從ツテ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ規約第一章ノ趣旨ヲ達成スル上ニ其ノ寮ニ於ケル責任ヲ負フコト
 二 各寮ニ於テ隨時修養會ヲ催ス事ヲ得ルコト其ノ際若シ講師ヲ招ク場合ニハ生徒主事ノ承認ヲ受ケルコト
 第六條 炊事部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 一 食事及食堂ニ關スル一切ノ事務ニ當ル

- コト
 二 各寮ノ會計部委員カラ差出シタ食費ヲ繰メテ銀行預金トスルコト但預金通帳ノ名義及保管ハ生徒主事ニ委嘱スルコト
 三 月末ニ於テ炊事諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其承認ヲ經テ之ヲ舍生ニ報告スルコト
 四 所屬傭人ノ指導監督ニ當ルコト
 五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名ツツヲ五選スルコト
 第七條 文庫部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 一 文庫ノ整理圖書ノ整理保存ニ當ルコト
 二 舍生ノ意見ヲ徵シテ生徒主事ノ指導ノ下ニ圖書ヲ購入スルコト
 三 每月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ文庫部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末
- ニ於テ文庫ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
 四 第二學期ノ終ニ各科三年生カラ一名ツツヲ五選スルコト
 第八條 購買部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 一 舍生ノ要求ニ應シ生徒主事ノ承認ヲ經テ物品ヲ購入シ之ヲ舍生ニ販賣スルコト
 二 月末ニ於テ購買ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
 三 購買部ノ純益ハ役員會議ニ依リ生徒主事ノ承認ヲ得テ費途ヲ定メルコト
 四 所屬傭人ノ指導監督ニ當ルコト
 五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名ツツヲ五選スルコト

第九條 室總代ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 一 寮總代ノ指示ニ從ツテ其ノ室ノ常務ヲ
 取扱ヒ寮總代ヲ助ケテ規約第一章ノ趣旨
 ヲ達成スル上ニ其ノ室ニ於ケル責任ヲ負
 フコト
 二 室内ノ備品ヲ保管スルコト
 三 其ノ室友ヲ代表スルコト
 四 每月始室友ノ食費及舍費ヲ集メテ會計
 部委員ニ差出スコト
 五 室友中ニ病者又ハ事故アル者ヲ生シタ
 時ニハ直ニ之ヲ生徒主事ニ報告スルコト
 六 室ノ火ノ元戸締ニ就イテ責任ヲ負フコ
 メル
 第十條 會計部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定
 メル
 一 各寮各室總代カラ差出シタ食費及舍費
 ヲ纏メ食費ハ之ヲ炊事部委員ニ差出シ舍

費ハ之ヲ銀行預金トスルコト但預金通帳
 ノ名義及保管ハ生徒主事ニ委嘱スルコト
 食費 一日五十錢ノ割
 舍費 一箇月平均壹圓七拾錢但シ七八ノ
 二箇月ハ徵集セス
 三 舍費ノ費目ハ左ノ通トスルコト
 1 圖書部
 2 運動部
 3 娛樂部
 4 園藝部
 5 整理部
 6 炊事部以外ノ石炭及木炭費
 7 備人給料
 8 雜費
 四 舍費ニ就イテハ毎學期ノ始ニ收支ノ豫
 算ヲ編成スルコト但圖書部費、運動部費、娛

樂部費園藝部費整理部費ニ就イテハ先ツ
 當該部ノ委員ニ於テ其ノ原案ヲ作製スル
 コト
 收支豫算ハ役員會テ之ヲ決議シテ生徒主
 事ノ承認ヲ受ケルコト
 五 每月末ニ於テ舍費ノ決算表ヲ作ツテ生
 徒主事ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生
 ニ報告スルコト
 六 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名
 ワツヲ互選スルコト
 第十一條 運動部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
 定メル
 一 寮生ノ健康ノ向上ニ努メルコト
 二 寮生ノ希望ヲ徵シ寮總代ト協議ノ上生
 徒主事ノ承認ヲ受ケテ各寮適宜ニ次ノヤ
 ウナ會ヲ催スコトヲ得ルコト
 1 運動競技會

2 達足會
 右ハ寄宿舍全體又ハ幾寮カ聯合シテ開ク
 コトヲ得ルコト
 3 其ノ寮ノ運動器具ノ整理保管ニ當ルコ
 ド
 四 寮生ノ希望ヲ徵シ生徒主事ノ承認ヲ經
 テ運動器具ヲ購入スルコト
 五 每月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ
 運動部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末
 ニ於テ運動部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ
 簡月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ
 其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
 六 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一
 名ワツヲ互選スルコト
 第十二條 娛樂部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
 定メル
 一 特ニ本規約第一章第三條ノ趣旨ヲ達成

スルコトニ努メルコト
二 寄總代ト協議ノ上生徒主事ノ承認ヲ受
ケテ各寮適宜ニ次ノヤウナ會ヲ催スルコト
ヲ得ルコト
1 茶話會
2 音樂會
3 茶ノ湯、生花其ノ他ノ會
右ハ寄宿舍全體テ又ハ幾寮カ連合シテ開
クコトヲ得ルコト
三 其ノ寮ノ娛樂器具ノ整理保管ニ當ルコ
ト
四 寄生ノ希望ヲ徵シ生徒主事ノ承認ヲ經
テ娛樂器具ヲ購入スルコト
五 每月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ
娛樂部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末
ニ於テ娛樂部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一
箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ
其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

一 其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
六 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一
名ツツヲ五選スルコト
第十三條 園藝部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ
定メル
一 各寮所屬ノ庭園ヲ常ニ美シク清々保ツ
コトニ就イテ責任ヲ負フコト
二 各寮ノ庭園ニ附屬スル器具及園藝材料
ヲ保管スルコト
三 季節ニ應シテ適當ノ園藝材料ヲ購入シ
之ヲ始末スルコト
四 每月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ
園藝部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末
ニ於テ園藝部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一
箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ
其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名

ツツ二年生カラ二名ツツヲ五選スルコト

第十四條 整理部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ

定メル

- 一 各寮及其ノ寮ノ掃除分擔箇所ノ整理整頓ニ就イテ一切ノ責任ヲ負フコト
- 二 各寮ヲ清潔ニスル爲左ノ通掃除ヲ行フ
- イ 每朝 普通掃除
- ロ 每週土曜日朝 大掃除
- ハ 每月一回中旬ノ日曜日朝 特別大掃除

三 每月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ
整理部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末
ニ於テ整理部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一
箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ
其ノ査閲ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
四 各寮ノ掃除器具ノ請求及保管ノ任ニ當
ルコト

第十五條 寄生中規約ヲ犯シ風儀ヲ棄リ其ノ
他寄生ノ本分ニ背ク者カアルトキニハ事情
ヲ知ツテキル室友又ハ寮友カ之ニ忠告ヲ加
ヘ尙改メ又時ニハ室長會議ヲ開イテ穩當ナ
制裁ヲ加ヘ極力其ノ矯正ヲ圖ルコト
第十六條 本規約ノ訂正削除追加等ノ必要ヲ
生シタ場合ニハ役員會ノ決議ニ依リ生徒主
事ヲ經テ學校長ノ承認ヲ受ケルコト

第三章 制裁

附 規

第六臨時教員養成所一覽

第六臨時教員養成所一覽

至昭和十二年

目 次

第一 沿革略	一
第二 學年曆	一〇
第三 關係法令	二
一 臨時教員養成所官制	二
二 臨時教員養成所規程	二
三 臨時教員養成所卒業者服務規則	四
四 臨時教員養成所學科名稱等	四
五 臨時教員養成所管理者職務規程	五
第四 規則	六
一 第六臨時教員養成所規則	六
二 第六臨時教員養成所生徒學費支給規則	七
第六 職員	七
一 生徒	三
二 生徒氏名	三

二 生徒數	三百四十九人
三 生徒本籍府縣別	一品
四 生徒本籍府縣學歷別	二品
五 入學志願者及入學者本籍府縣學歷別	三品
六 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別	四品
七 生徒年齡別	五品
第八 卒業者	六品
一 卒業者氏名	七品
二 卒業者數	八品
第九 敷地及建物	九品

第六臨時教員養成所一覽

第一 沿革略

明治三十五年三月二十七日勅令第百號ヲ以テ

臨時教員養成所官制ヲ公布セラレ同月二十九日省令第八號ヲ以テ臨時教員養成所規程ヲ定

メ同時ニ告示第五十八號ヲ以テ東京帝國大學外四校ニ第一ヨリ第五ニ至ル臨時教員養成所ヲ設置セラル後明治三十九年三月三十日告示第六十八號ヲ以テ同年三月三十一日限り第一

第四第五ノ三臨時教員養成所ヲ廢止シ四月二日告示第八十三號ヲ以テ女子高等師範學校内ニ第六臨時教員養成所ヲ設ケ英語科ヲ置キ同月ヨリ開始セラル官制第三條ニ基キ女子高等師範學校長高嶺秀夫之ヲ管理ス是レ本所ノ起

源ナリ

明治三十九年 四月二十日認可ヲ得テ本所規程ヲ定ム〇六月十一日板野久野外二十五名ニ對シ入學許可式ヲ舉行シ即日授業ヲ開始ス入學生徒ハ之ヲ女子高等師範學校寄宿舎ニ收容ス

明治四十年 二月補缺募集ヲ行ヒ高橋のぶ外四名ニ入學ヲ許可ス

明治四一年 六月五日皇后陛下東京女子高等師範學校ニ行啓アラセラレタルヲ以テ本所生徒モ同時ニ課業台覽ノ榮ヲ荷フ

明治四十二年 二月二十四日認可ヲ得テ家事

科規程ヲ定ム〇四月二十五日文部省告示第四十號ヲ以テ明治四十二年三月三十日限り第六臨時教員養成所英語科ヲ廢止シ別ニ家事科ヲ置キ同年四月ヨリ開始セラル〇三月三十日英語科卒業證書授與式ヲ舉行ス〇五月四日新帶かく外二十六名ニ入學ヲ許可シ即日授業ヲ開始ス

明治四十三年 二月二十二日管理者高嶺秀夫薨去ス〇三月四日仙臺高等工業學校長中川謙二郎東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

明治四十五年 三月九日文部省令第八號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘラレタルニ依リ同三十日家事科規則ヲ改正シ生徒委託規程細則ヲ定ム〇三月三十日家事科生徒新帶かく外二十五人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十三日生徒心得寄宿舍規則寄宿舍生徒心得ヲ

定ム〇四月十五日早瀬一外十二人ニ入學ヲ許可シ之ヲ京都府立第一高等女學校ニ委託ス〇同月二十日飯野千萬外八十六人ニ入學ヲ許可シ内市川ぬい外十人ヲ共立女子職業學校ニ細貝きん外十人ヲ東京裁縫女學校ニ橋本みさほ外四人ヲ和洋裁縫女學校ニ委託ス〇四月當所寄宿舍ヲ牛込區揚場町二十番地ニ設ケ生徒ヲ收容ス〇六月三日皇后陛下東京女子高等師範學校ニ行啓アラセラレタルニ依リ當所在京生徒一同講堂ニ於テ拜謁ヲ賜フ

大正二年 三月委託規程細則中ニ改正ヲ加ヘ更ニ京都府立第一高等女學校ニ十五人、和洋裁縫女學校ニ十五人共立女子職業學校ニ十五人和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス

大正三年 四月委託規程細則中ニ改正ヲ加ヘ更ニ京都府立第一高等女學校ニ十五人、東京裁縫女學校ニ十五人共立女子職業學校ニ十五人

和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス〇七月規則ヲ改正シ家事科ヲ分チテ第一部第二部トス

大正四年 二月委託規程細則中ニ改正ヲ加フ〇三月二十七日本所生徒飯野千萬外五十四人委託生早瀬一外三十一人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十二日本所第一部生徒二十一人、第二部生徒二十九人及京都府立第一高等女學校、東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十一人、和洋裁縫女學校ニ生徒七人ノ入學ヲ許可ス〇五月各部主任ヲ置ク〇五月三十一日東京裁縫女學校委託生須賀原靜子ニ卒業證書ヲ授與ス

大正五年 二月委託規程細則ヲ改正ヲ加フ〇三月二十七日委託生神田操外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十一日京都府立第一高等女學校ニ十五人東京裁縫女學校ニ十五人共立女子職業學校ニ十五人和洋裁縫女學校ニ十人ノ生徒ヲ委託ス

大正六年 三月委託規程細則中ニ改正ヲ加フ〇三月二十七日委託生大塚かほる外四十四人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二十八日京都府立第一高等女學校ニ十五人、五月七日東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ七人ノ生徒ヲ委託ス〇六月十一日管理者中川謙二郎退官ニ付東京音樂學校長湯原元一東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

大正七年 二月二十日文部省令第二號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘ同日告示第二百七八號ヲ以テ第六臨時教員養成所ニ於ケル家事科ヲ家事裁縫科體操家事科トセラレタルニ依リ當所ニ於ケル家事科第一部第二部ヲ改メテ家事裁縫科修業年限三箇年、體操家事科修業年限二箇年トシ同時ニ生徒ノ入學シ得ル年齢最低滿十七年ヲ満十六年ニ改ム〇二

月二十七日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇三月二十七日本所生徒石川ミサホ外四十八人委託生長谷波幾美子外三十二人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二十三日家事裁縫科生徒トシテ伊藤靜枝外三十人體操家事科生徒トシテ石井キクノ外二十九人ノ入學ヲ許シ同時ニ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人、和洋裁縫女學校ニ十人ノ生徒ヲ委託ス

大正八年三月十三日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇三月二十七日委託生石川セツ外四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二十五日家事裁縫科生徒トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス

大正九年三月二十七日體操家事科生徒石井キクノ外二十八人委託生稻田サダヲ外四十一

人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月二日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇五月十一日體操家事科生徒トシテ伊藤マサイ外二十九人家事裁縫科委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人和洋裁縫女學校ニ十人ノ入學ヲ許ス

大正十年三月十六日許可ヲ得テ規則ニ改正ヲ加ヘ從來本所ニ於テ養成セシ家事裁縫科ハ一時之ヲ中止シ代フルニ理科家事科ヲ以テシ同時間ニ生徒ヲ募集ス〇三月二十七日家事裁縫科生徒伊藤靜枝外二十七人委託生伊藤靜子外四十四人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月四日委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇五月七日理科家事科生徒トシテ飯川鐵外二十九人家事裁縫科委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校共立女子職業學校ニ各十五人和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス〇十一月九日管理者湯原

元一東京高等學校長ニ轉任セラル松本高等學校長茨木清次郎東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス

大正十一年三月二十七日體操家事科生徒伊藤マサイ外二十八人家事裁縫科委託生飯田美枝外四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十日臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘ告示第三百四十五號ヲ以テ當所ニ國語漢文科及理科ヲ増置シ同年四月ヨリ開始セラル〇同月十一日委託生細則中ニ改正ヲ加ヘ同時ニ學資支給規程ヲ制定ス〇五月四日家事裁縫科ノ委託生トシテ京都府立第一高等女學校東京裁縫女學校及共立女子職業學校ニ各十五人和洋裁縫女學校ニ十人ヲ委託ス〇五月十日本所體操家事科生徒トシテ蒲木フミ外三十人ニ入學ヲ許可ス〇五月十八日國語漢文科生徒トシテ石井徳外四十二人理

科生徒トシテ石田ユリ外二十七人ニ入學ヲ許可ス

大正十二年三月二十七日家事裁縫科委託生川原トク外三十九人ニ卒業證書ヲ授與ス〇同月二十八日委託生細則中ニ改正ヲ加ヘ從來ノ委託學校以外更ニ女子美術學校戸板裁縫女學校ニ生徒ヲ委託スルコトナル〇五月二日家事裁縫科生徒トシテ京都府立第一高等女學校東京女子專門學校共立女子職業學校ニ各十二人和洋裁縫女學校ニ八人、女子美術學校ニ六人戸板裁縫女學校ニ五人ヲ委託ス〇九月一日午前十一時五十八分稀有ノ大地震アリ續テ火災各所ニ起り東京女子高等師範學校亦類焼ノ厄ニ遭ヒ校舍及諸般ノ設備總ヘテ烏有ニ歸ス本所ノ被害亦相同シ〇九月二日東京音樂學校内ニ假事務所ヲ置ク〇十月一日假事務所ヲ東京府女子師範學校内ニ移ス〇十一月一日東京府

女子師範學校、東京高等師範學校、帝國女子專門學校等ノ一部ニ假教場ヲ設ケ授業ヲ開始ス
大正十三年 三月二十日舊校舍跡ニ新築中ノ
東京女子高等師範學校假校舍落成セシニ付同
校ト共ニ移轉復歸ス○三月二十七日理科家事
科飯川鐵外二十四人、體操家事科莉木フミ外二
十九人、國語漢文科石井德外四十人、理科石田ゆ
り外二十五人及家事裁縫科委託生太田定子外二
四十六人ニ卒業證書ヲ授與ス○三月二十九日
生徒委託規程細則中ニ改正ヲ加フ○四月二十一
八日國語漢文科石川登美代外四十人、體操家事
科池田富外三十人、理科家事科今澤きくよ外二
十四人ニ入學ヲ許ス○五月三日家事裁縫科委
託生トシテ石川千代子外十一人ヲ京都府立第
一高等女學校ニ、伊崎タニ外十一人ヲ東京女子
專門學校ニ、橋本ぐに外十一人ヲ共立女子職業
學校ニ、大石富貴外七人ヲ和洋裁縫女學校ニ加

藤睦子外四人ヲ女子美術學校ニ濱岡雪外二人ヲ戸板裁縫女學校ニ委託ス〇十月二十七日皇后陛下東京女子高等師範學校へ行啓アラセラレ當所ヲモ御巡覽アラセラル
大正十四年 三月十一日文部省告示第百四號ヲ以テ本所ニ歴史地理科ヲ増置シ大正十四年四月ヨリ開始セラル〇三月十八日歴史地理科設置ノ爲規則中ニ改正ヲ加フ〇三月三十七日家事裁縫科委託生沖森美香外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十一日歴史地理科生徒トシテ伊藤富美子外三十四人ニ入學ヲ許可ス〇十一月二十九日東京女子高等師範學校開校五十年祝賀記念式舉行ニ付皇后陛下行啓アラセラル本所生徒亦其ノ式ニ列ス
大正十五年 三月十五日家事裁縫科委託生細則中ニ改正ヲ加フ〇同日體操家事科生徒池田富外三十人國語漢文科生徒石川登美代外四十

一人家事裁縫科委託生原田恒子外五十人ニ卒業證書ヲ授與ス○三月三十日浦上チエコ外九人ヲ大正十四年度東京女子専門學校外四校委託生トシテ選拔ス○四月二十日規則中ニ改正ヲ加フ本改正ニ依リ體操家事科國語漢文科共ニ修業年限二箇年ナリシヲ延ヘテ三箇年トシ入學者ノ選拔ハ試験ニ據ルコトナル○四月十四日生徒學資支給規程中ニ改正ヲ加フ○四月二十八日國語漢文科生徒トシテ蒲木ウタ外三十四人體操家事科生徒トシテ今村フミ外十九人ニ入學ヲ許可シ五月三日授業ヲ開始ス○七月二十六日ヨリニ二十日間二箇年程度ノ卒業者學力補充ニ關スル講習會ヲ開ク
昭和二年 二月二十八日管理者茨木清次郎浦和高等學校長ニ任セラル浦和高等學校長吉岡鄉甫東京女子高等師範學校長ニ任セラレ本所ヲ管理ス○三月二十五日理科家事科生徒井口

アイ外二十二人、歴史地理科生徒伊藤富美子外三十四人家事裁縫科委託生石川千代子外四十三人ニ卒業證書ヲ授與ス〇三月三十日規則中ニ改正ヲ加ヘ歴史地理科ノ修業年限ヲ延ヘテ三箇年トシ理科家事科ノ選拔試験科目ヲ定ム〇四月二十七日理科家事科生徒トシテ板橋美代外二十人、歴史地理科生徒トシテ阿部とし外二十四人ニ入學ヲ許可ス〇五月十日歴史地理科生徒小木曾八千代ニ卒業證書ヲ授與ス〇七月二十六日ヨリ十日間卒業生ノタメ學力補充講習會ヲ開ク〇十一月一日本所規則ヲ改正シ同時ニ本所規則施行細則ヲ制定ス

昭和三年 三月二十五日家事裁縫科委託生加藤やちよ外七人ニ卒業證書ヲ授與ス家事裁縫科委託生ハ本年ヲ以テ全部卒業セリ〇七月二十六日ヨリ十日間中等教員ノ爲歴史地理及家事ノ講習會ヲ開ク

昭和四年三月二十五日國語漢文科小豆澤哲
子外三十四人、體操家事科秋田トク外二十六人
ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月三十日體操家事科
生徒トシテ赤倉光外二十八人ニ入學ヲ許可ス
〇七月二十二日ヨリ十日間中等教員ノ爲理科
及體操ノ講習會ヲ開ク

昭和五年三月二十七日皇后陛下東京女子高
等師範學校へ行啓アラセラレ當所ヲモ御巡覽
アラセラル〇三月二十八日理科家事科板橋美
代外十九人、歴史地理科阿部とし外二十四人ニ
卒業證書ヲ授與ス〇四月三十日理科家事科生
徒トシテ雨宮止女子外十九人、歴史地理科生徒
トシテ明石さき外十九人ニ入學ヲ許可ス〇七
月二十二日ヨリ十日間中等教員ノ爲體操及家
事ノ講習會ヲ開ク

昭和六年七月二十二日ヨリ十日間中等教員
ノ爲歴史、地理及體操ノ講習會ヲ開ク〇七月二

十七日當所寄宿舍ヲ小石川區久堅町七十四番
地ニ移轉ス

昭和七年二月十二日本所規則中ニ改正ヲ加
フ〇三月二十五日體操家事科赤倉光外二十六
人ニ卒業證書ヲ授與ス〇十二月二十八日東京
女子高等師範學校校舍新營工事竣成ニ付同校
ト共ニ移轉ヲ了ス

昭和八年三月二十五日理科家事科雨宮止女
子外十八人、歴史地理科明石さき外十八人ニ卒
業證書ヲ授與ス〇四月十一日理科家事科生徒
トシテ荒井ハナ外二十九人ニ入學ヲ許可ス
昭和九年十月本所校舍新營工事竣成ス

昭和十年三月二十五日體操家事科井關智惠
子外二十七人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十一
日體操家事科生徒トシテ阿部せつ子外二十九
人ニ入學ヲ許可ス

昭和十一年三月二十五日理科家事科新井ハ

ナ外二十八人ニ卒業證書ヲ授與ス〇四月十一
日家事裁縫科生徒トシテ阿部あい外二十八人
ニ入學ヲ許可ス

第二 學年曆

東京女子高等師範學校學年曆ヲ適用又ハ準用
ス

第三 關係法令

一 臨時教員養成所官制

(明治三十五年三月二十七日勅令第百
リ昭和四年四月二十二號マテ屢次改正)

第一條 臨時教員養成所ハ師範學校、中學校及
高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所
トス

第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定ス
ル帝國大學高等師範學校及直轄諸學校内ニ
之ヲ置ク

第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長
高等師範學校長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ
管理セシム

第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク
教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ

定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル

書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ
定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ嘱託シ授業
ヲ擔任セシムルコトヲ得

第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之
ヲ定ム

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(明治三十五年三月二十九日文部省令
正十一年四月二十六號マテ屢次改正)

二 臨時教員養成所規程

第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科英語
科數學科博物科物理化學科家事裁縫科體操

家事科理家事科歴史地理科理科音楽科體操科ノ一學科若ハ數學科ヲ置ク
第二條 前條各學科ノ修業年限ハ二箇年乃至三箇年トス
第三條 國語漢文科ノ學科目ハ修身教育國語漢文言語學歴史地理英語隨意科目體操隨意科目トス
第四條 英語科ノ學科目ハ修身教育英語國語及漢文言語學體操隨意科目トス
第五條 數學科ノ學科目ハ修身教育數學物理簿記英語體操隨意科目トス
第六條 博物科ノ學科目ハ修身教育動物植物生理及衛生礦物及地質英語體操隨意科目トス
第七條 物理化學科ノ學科目ハ修身教育物理化學數學圖畫及手工英語體操隨意科目トス
第七條ノ二 家事裁縫科ノ學科目ハ修身教育

第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身教育理科家事數學體操英語隨意科目トス
第七條ノ五 歷史地理科ノ學科目ハ修身教育歷史地理法制及經濟英語體操隨意科目トス
第七條ノ六 理科ノ學科目ハ修身教育物理化學動物植物生理及衛生礦物及地質體操英語隨意科目トス
第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身教育唱歌器學(オルガン又ハピアノ)國語音樂通論和聲論音樂史英語隨意科目トス
第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身教育體操柔道又ハ劍道生理及衛生英語隨意科目トス
第八條 各學科ノ修業年限及各學科目ノ毎週教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ認可

ヲ受クヘシ
第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ得
第十條 學年ハ四月一日ニ始り翌年三月三十日ニ終ル學年ハ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十日マテトス
休業日ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ
第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ但シ中學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限リ時宜ニヨリ試験ヲ行ハサルコトヲ得
第十一條ノ二 管理者ニ於テ特別ノ必要アリ

ト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當分ノ内家事裁縫科ニ限り其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試驗檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ得
前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ
第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得
第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ
管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ
第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徴收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徴收スルコトヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十條 削除

第二十一條 左ノ各號ニ該當スル者ハ在學中補給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ其ノ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者
二 第十五條但書ニ依リ退學シタル者

附則

本令ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際第十一條ノ二ノ規定ニ依リ現ニ其ノ教育ヲ委託セラレタル家事科生徒ハ之ヲ家事裁縫科ノ生徒ト看做ス

三 臨時教員養成所卒業者服務規則

女子高等師範學校卒業者服務規則(大正十年四月十九號)参照

四 臨時教員養成所學科名稱等
名稱
第六臨時教員養成所
(東京女子高等師範學校内)

五 臨時教員養成所管理者職務規程

(明治三十五年四月一日
寅人申第二百五十三號)

臨時教員養成所管理者職務規程ハ當該學校長ノ職務規程ヲ準用ス

	合計	英語	體操	地理	歷史	漢文	國語	教育	修身	學年		
										第一學年	第二學年	第三學年
二八	(二)	講讀	遊戲及教練	地理通論	本邦史	五 復文	二 講讀、文法	二 教育ノ原理	二 實踐倫理	時數每週 數授課	度	時數每週 數授課
三〇	(三)	二八	上	上	同上	同上	同上	同上	同上	時數每週 數授課	度	時數每週 數授課
三〇	(三)	二八	上	上	同上	同上	同上	同上	同上	時數每週 數授課	度	時數每週 數授課
三〇	(三)	二八	上	上	同上	同上	同上	同上	同上	時數每週 數授課	度	時數每週 數授課
三〇	(三)	二八	上	上	同上	同上	同上	同上	同上	時數每週 數授課	度	時數每週 數授課
三〇	(三)	二九	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	二九	二九	二九

學科	年	第一學年		第二學年	
		時數 每週 數量	程度	時數 每週 數量	程度
修 身	二	實踐倫理、作法	二 同 上	二	同上
教 育	二	教育ノ原理	二 同上	二	法令、教授法、教育
物 理	七	力、物性、熱、音、實驗 數學	八 光、電氣、磁氣、實驗 數學	八	光、電氣、磁氣、實驗 數學
化 學	五	無機化學、實驗	六 有機化學、實驗	六	有機化學、實驗
動 物	五	普通動物、實驗	四 同 上	四	同上
植 物	五	普通植物、實驗	四 同 上	四	同上
生 理 及 養	一				
物 地 質 及 鑛	二	鑛物、岩石、地殼ノ構	二 大體生理及衛生ノ	二	大體生理及衛生ノ
體 操	三	技術、操練、遊戲及競	三 同 上	三	同上
英 語	(二)	講讀、文法、書取	(二) 同 上	(二)	同上
合 計	(三一)		(三一)	(三)	

第八條 國語漢文科ノ各學年ニ於ケル各學科

第九條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

自ノ毎週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

第十二條 本所ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左
ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ

(二) 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(一)又ハ(二)ノ
學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於
テ本所ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メ
タル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコト
ヲ得

(一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者

(二) 專門學校入學者検定規程ニ依リ卒業
者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業
年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同
等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大
臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者

(三) 前號ノ外專門學校入學者検定規程ニ
依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗
檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

(四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗

九

検定ニ合格シタル者

三年齢十六年以上二十五年未満ニシテ夫
ヲ有セサル者

第十三條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル
入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ
推薦ヲ要ス

出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願
者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様
式ニ依ル入學志願者ノ入學志願票履歴書學
業成績調査人物考定書身體檢查書戶籍謄本
及寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第十四條 第十二條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當
スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ム
ル様式ニ依ル入學志願票履歴書身體檢查書
戶籍謄本及寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘ
シ

第十五條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務

ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第十三
條又ハ第十四條ニ掲記セル書類ノ外本屬長
官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

第十六條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一一
該當スル者ハ入學ヲ許可セス

一 身體虛弱ナル者

二 精神機能ニ障碍アル者

三 急治ノ見込ナキ重症トラホームヲ患フ
ル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇.五以上ニ矯正シ得
サル視力障碍ヲ有スル者

四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者

五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル
者

六 高度ノ脊柱變曲著シキ畸形又ハ運動障
碍ヲ有スル者

七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者

八 癫ヲ患フル者

保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル

一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ
該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人
ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ
居住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘ
シ

代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住
スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム
者ニシテ本所ノ要求スル場合ニ於テ保證人
ノ義務ヲ代理スヘキモノトス

第二十二條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定
ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ

代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替
ヘシムルコトアルヘシ

第二十三條 生徒ニハ人員ヲ限り學資トシテ
一箇年金參百圓ヲ給與ス

九 重症心臟疾患ヲ患フル者

一〇 惡性腫瘍腎臟疾患糖尿病又ハ重症貧血
ニ罹リ急治ノ見込ナキ者

一一 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者

一二 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ
異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル
者

第十七條 入學候補者ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ
入學候補者ヲ選抜ス

選拔試験ト科目及其ノ程度期日場所募集人
員其ノ他必要ナル事項ハ官報ヲ以テ之ヲ公
告ス

第十八條 入學候補者ニ對シ身體檢查及口頭
試問ヲ行ヒ入學者ヲ選抜ス

第十九條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓
書ヲ差出スヘシ

第二十條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ

第二十四條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但管理者ニ於テ特別ノ理由アリト認メタル者ハ此ノ限リニ在ラス

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者

二 學業進マシテ成業ノ目途立タサル者

三 品行修ラサル者

四 本所教育ノ趣旨ニ適セサル者

第二十六條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給セラレタル學資ヲ償還スヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 生徒ハ管理者ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス

第二十九條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス
第三十條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ各評點科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高トス
第三十一條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ各學期成績評點ノ和ヲ三除修業年限二箇年ノ者ニ在リテハ二除シテ之ヲ定ム

第三十二條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成績評點ノ和ヲ三除修業年限二箇年ノ者ニ在リテハ二除シテ之ヲ定ム
第三十三條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成績評點全課程ノ卒業ハ卒業成績評點ニ依リ之ヲ認定ス

第三十四條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

所印	卒業證書	族籍	何某
番號		年月日	

右者本所何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

第三十五條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生徒ニハ其ノ學業成績ヲ顧慮シ規定ノ學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ
前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ

第三十六條 本規則ハ昭和二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

所印	卒業證書	族籍	何某
番號		年月日	

第六臨時教員養成所管理者 東京女子高等師範學校長位勵學位爵何某

シ之ニ學資トシテ一箇年金貳百四拾圓ヲ支給ス

第二條 學資ハ給費生ヲ命シタル月ヨリ毎月

分割支給ス但月ノ十六日以後ニ於テ給費命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限り給費ハ半額トス特別ノ事由アル場合ニハ經伺ノ上給費命令ノ時日ニ係ラス其ノ年額ノ全部又ハ一部ヲ支給スルコトアルヘシ

第三條 學資ハ其ノ月二十三日休業日ナレハ繰下クニ之ヲ支給ス但七月ニ在リテハ五日ニ之ヲ支給ス

第四條 學資ノ支給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル者ニハ其ノ期間學資ノ支給ヲ中止ス但其ノ月ニ於ケル學資ノ支給ハ日割計算トス半途退學者ノ學資支給ニ就テハ前項但書ニ依ル

三 第六臨時教員養成所生徒心得得

一本所生徒ハ卒業ノ後國家教育ノ重任ニ當ルヘキ者ナリ故ニ特ニ教育ニ關スル勅語ノ大旨ヲ奉體シ徳ヲ修メ業ヲ勵ミ以テ其ノ本

分ヲ盡サンコトヲ期スヘシ

一常ニ貞淑勤儉ヲ旨トシ聊カモ虛偽浮薄ノ言行ヲナス可カラス言ハ衷心ヨリ發シ行ハ誠意ヨリ出テ女子ノ師表タルヘキ德操ヲ備

ヘンコトヲ務ムヘシ

一規定學則ヲ守ルハ勿論時々ノ訓諭命令ニ從ヒ尊長ヲ恭敬シ朋友ヲ信愛シ常に禮節ヲ正シクシテ師弟ノ義長幼ノ序ヲ明ニスヘシ平素衛生ニ注意シテ眠食勞逸ノ度ヲ節シ以テ身體ノ健康ヲ増進センコトヲ努ムヘシ

第五 細則

一 第六臨時教員養成所規則施行細則

第一條 東京女子高等師範學校規則施行細則
第四條乃至第十一條ハ之ヲ本所ニ適用ス
第二條 家事裁縫科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

理	國	裁	裁	家	數	修	學	學
科	語	縫	事	育	身	身	科目	年
二	一	三	二	一	一	一	第一學年	第二學年
二	一	三	二	一	一	一	第二學年	第三學年
二	一	三	三	一	一	一	第三學年	

音	理	國	體	家	數	修	學	學
樂	科	語	操	事	育	身	科目	年
一	二	一	三	二	一	一	第一學年	第二學年
一	二	一	三	二	一	一	第二學年	第三學年
一	二	一	三	二	一	一	第三學年	

第三條 體操家事科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

		學科目		學年		地歴		数修		體		英體		地動		化物		生物		教育		
		理	史	第一學年	第二學年	歴	歴	数	修	體	操	語	操	學	事	生	地	動	化	物	理	育
		三	三	一	一	一	一	一	一	一	(二)	(二)	一	一	二	二	二	二	二	二	一	
		三	三	一	一	一	一	一	一	一	(二)	(二)	一	一	二	二	二	二	二	二	一	
		三	三	一	一	一	一	一	一	一	(二)	(二)	一	一	二	二	二	二	二	二	一	
		三	三	一	一	一	一	一	一	一	(二)	(二)	一	一	二	二	二	二	二	二	一	

第七條 歷史地理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

計		國語及漢文	體操	英語	法制及經濟
二	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一

第八條 東京女子高等師範學校寄宿舍規則施行細則
第十五條乃至第二十五條ハ本所ニ適用又ハ準用ス

東京女子高等師範學校寄宿舍規程ハ之ヲ本所
寄宿舍ニ適用又ハ準用ス

所生徒ニ適用又ハ準用ス

三 生徒心得細則

四 職員服務規程

學科目		學年		英語		體操		地理		歷史		言語		漢文		國語		教育		修身	
修	身	第一學年	第二學年	計	語	操	學	理	史	學	語	文	語	文	國	育	育	身	第一學年	第二學年	第三學年
		(二)	(二)	一	(二)	一	二	一	一	一	(二)	一	一	二	三	一	一	一	一	一	
		(二)	(二)	一	(二)	一	二	一	一	一	(二)	一	一	二	三	一	一	一	一	一	
		(二)	(二)	一	(二)	一	二	一	一	一	(二)	一	一	二	三	一	一	一	一	一	
		(二)	(二)	一	(二)	一	二	一	一	一	(二)	一	一	二	三	一	一	一	一	一	

第六條 理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

東京女子高等師範學校職員服務規程ハ之ヲ本所職員ニ適用ス

五 事務分掌規程

東京女子高等師範學校校務分掌規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

六 文書處理規程

東京女子高等師範學校文書處理規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

七 物品會計規程細則

東京女子高等師範學校物品會計規程細則ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

八 非常心得

東京女子高等師範學校非常心得ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

第六 職員

(昭和十一年九月末調)

管理 者

東京女子高等師範學校長 下村壽一 京都

教 授

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

家 事

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

體 操

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

家 事

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

理 科

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

理 科

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

化 學

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

作 法

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

植物

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

教 師

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

講 師

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

職 員

東京女子高等師範學校女教員兼生徒主事 佐々木西野みよし

學東師東學東 師東師東師東 師東師東學東 師東師東 師東師東
校京京京京京京京京京京京京京京京京京京京京
助女學女訓女學女學女學女學女學女學女學女
教子尊子尊子尊子尊子尊子尊子尊子尊子
授子校子校子校子校子校子校子校子校子校子
兼高兼高兼高兼高兼高兼高兼高兼高
教高教高教高教高教高教高教高教高教
諭範授等諭範授等諭範授等諭範授等諭範授等
岡莊玉吉水久新松淺堀佐倉菅下田次郎東京
田田村永平野米又三兵東京
け安太郎なみみ山形三重

訓育事務	嘱託屋代孝子兵庫	嘱託江本ヨシ
庶務課會計掛勤務	書記(兼)堤善吉長崎	嘱託近藤恒
庶務課庶務掛、教務課	書記(兼)細井尊山形	嘱託渡部正子
生徒課圖書課勤務	書記原田義雄山口	嘱託屋代孝子
生徒課勤務	書記(兼)山内純雄山梨	嘱託本間辰藏新潟
圖書課勤務	嘱託朽木鉄吉東京	嘱託近藤恒
庶務課庶務掛、教務課	嘱託金井真八郎群馬	嘱託渡部正子
生徒課勤務	嘱託吉田義治東京	嘱託屋代孝子
庶務課會計掛勤務	嘱託西堂信一埼玉	嘱託本間辰藏新潟
庶務課庶務掛、教務課	嘱託野村正實山口	嘱託近藤恒
生徒課勤務	嘱託寺田熊助鹿兒島	嘱託渡部正子
庶務課會計掛勤務	嘱託菅沼隆静岡	嘱託屋代孝子
生徒課勤務	嘱託堀口きみこ	嘱託本間辰藏新潟
寄宿舍勤務	教授西野みよし	嘱託江本ヨシ
	嘱託前田のゑ	嘱託近藤恒
	嘱託堀口きみこ	嘱託渡部正子

吉吉山三檜塙西二長鶴坪辻谷高
成田本好山 澤宮沼見井村原橋
ツ瑞如登美ひ延泰弘あ定文 文
ヤ枝子子枝る子子子子子江光代
徳山東千茨茨三滋茨東岡靜徳靜
島梨京葉城城重賀城京山岡島岡
徳都東市第太太桐長青櫻第一不徳麿
京一第東島日本蔭山二鳥町
島留一立京田田生濱本蔭山二鳥町

黒熊北木川小出磯石池伊兄荒赤阿
崎代原内田黒口部井田藤内井堀部體操家事科第二學年
榮嘉婦利博レカ綾梅マ業ヨわせつ
子子子子イネ子香ヨ光子シカ子
茨岡熊千柄新福新岡山山神新靜宮
城山本葉木湯井湯山口形川湯岡城
久山東佐足新明長岡吳鶴神新瀬石
京第女石奈發松市立卷
喜陽六原利津師岡山岡川田

若米矢宮町早沼寺天常立田關齋小
崎津部本田川尻田藤松岡嶋口藤林
春は毒ちテ政敏千佐代てふ芳香千枝
子る幸美よ子子子仁子惠いみ子
富東福靜群福茨三岡福岡山茨秋北海道
山京島岡馬島城重山島山形城田
高高青福藤前福龍市四岡會岡橋東大網
女學女學女學日
岡部院島枝橋師崎立市山津山岡走

篠高熊上勝岡太牛上井奇安阿阿
山坂田參鄉山部田探澤田介木部部
末清知と昌幸秀澄嘉敦茂千枝智恵
子子惠し枝惠子子子子子子子
東兵東青神德山福宮和大東大山秋
京庫京森奈川烏形島城山分京分口田
武第一東京第三小横海酒磐福夕臺東大分第一
藏神戶標賀部田城島丘第一山口女師二

第七生徒

(昭和十一年七月末調)

(氏名ハ五十音順トス氏名ノ下段ハ本籍府縣名及出身學校ヲ「師」、女子師範學校ヲ「女師」トシ高學等女學校ヲ「省ク」)

東北區		府		四國區		中國區		近畿區	
山	秋	岩	宮	德	廣	岡	鳥	奈	兵
形	田	城	手	烏	口	烏	山	和	京滋
一	一	一	一	三	一	一	一	一	一
一一一	一一一	一一一	一一一	四	一	四	一	一	一
三	二	二	一	五	二	五	一	一	一
東	關	福	島	合	沖	區	州	九	國
千	埼	群	栢	計	繩	鹿	大	熊	愛
葉	玉	馬	木			宮	佐	長	香
一	三	一	一	二九		兒			
一一一	三	二	二	三〇		島	崎	分	知媛川
二	一	一	一	五九		本	崎	賀	
一一六	四		計			岡			

五
六學志願者及入學者本籍府縣學歷別

第八 卒業者

澤高 熊前 麻松 新柳 上新川 枝栗
橋田 田生 村帶野 川本
* * *

七 生徒年齢別

學科		學年		科		學		區	
家事裁縫科		入學者		種別		卒業年次		福佐長熊大宮崎本分岡賀崎	
第一學年	入學志願者	入學志願者	入學者	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	第一部	師範	學校	二三	二四
二三年 三月	最高年 齡	最年 齡	平均	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	第二部	學	校	二三	二四
一六一年 一月	最低年 齡	年齡	平均	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	小	高	等女學	一	一
一八年 九月	平均年 齡	年齡	平均	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	四修業年 限	高	等女學	五〇〇	○○
體操家事科		學年		科		學		沖繩鹿兒島	
第二學年		最年 齡		士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計		業年 限		臺灣朝鮮	
二二一年 九月	最高年 齡	最年 齡	年齡	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	五修業年 限	高	等女學	合計	三一八七
一七年 八月	最低年 齡	年齡	平均	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	八年限	高	等女學	三二九	一
一九年 一月	平均年 齡	年齡	平均	士和昭 十和昭 九和昭 八和昭 計	八年限	高	等女學	八二九八	一
七 生徒年齢別		六 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別		(昭和十一年度)		合計		三三〇	

六 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別
（昭和十一年度）

卒業者

東京裁縫女學校委託生
荆土曾陶澤柿尾
貝井根山村本中
キ雪カズキヒ
ン野エ子榮んで
静香新東東山千
岡川湯京京形葉

山八三松林早長中寺坂小藏
木本上原瀬町村尾巻山内
隆靜ひ日たスシミナ富ヤ春
枝枝セネカ一エエン子ス江
和京富愛岡香香三愛新岡
和歌山山都山知山川川重知湯山

大正四年五月
家事科卒業(一人)
東京裁縫女學校委託生
須賀原靜子

和洋裁縫女學校委託生
橋白本井みさ母し

新 茂長 潤
渴 城野 湯山城分木口京賀湯木岡

共立女子職業學校委託生

大正五年三月
家事科卒業(四十四人)
京都府立第一高等女學校委託生
小田内伊
小田島田東
アesseハ
ツはんナ
岩岐東宮
手阜京崎
吉吉的前松蘿藏木神上植井淺
田見場田浦綱内田坂木上尾
けマサキ多シシ恭初益喜
ハノ親ク代だ文ウ操子子子代
京德德香靜兵國青京鳥高兵富
都烏鳥川庫山森都取知庫山

眞大中田河龜 御岩細中菅三
藤山田中野井 館瀬川山原輪 家事科卒業
** * 大正四年三月
内内石入井井一馨有淺青阿阿
川田川澤上上色井坂見柳部蘇
記カ富かノ千保た貞シイトショ
並ネ恵川ブ鶴子す子メツヨ
青福高群宮和愛愛北柄新岩岐
森島知馬崎山媛知道木湯手卓
土近田申肥藤瀬野
渡結保山宮松邊城田口原本のサ富シマイトエ
ぶク子ヅスエ
山富岡新佐奈
形山山湯賀良

井久藤木渡武大成西 太岡泰 船山加渡鬼馬石
上恒卷谷邊部門田村 田田 本本藤邊塚場原
* *
新竹田鈴篠重坂粉小小桑工北喜河河笠岡大大副
小田川中木田友口川鹽山木藤島多野井井登山橋川
日月いちゆさヤ賀クなきミキみ熊ケカトと清
ネ與ねをうわヨ壽ニのさ政ツ順クつ尾いツエ子惠
愛大宮山崎茂長奈青長鳥岡宮福愛京高福福熊佐兵
媛分城形玉城崎良森野坂山崎岡媛都知井島本賀庫

中田林飯上竹 和石 大植 由石井廣小上
西野原内田川 橋野 村坂上田谷尾
* *
吉藪八矢村水三宮宮松巻細本堀藤藤瀬演服
江橋島田沼木崎田井島田田江本森原崎岡都
リウ千フ徳多孟きキヨヤキミヨイモニエカ
照シナラ萬ク子可いみミイコハルエコネイヘ代
北海道東崎鹿兒島三千和兵岩柄山廣山山富鹿
道岡京玉重葉山和歌山郡手木口鳥山口鳥山鳥川山

和洋裁縫女學校委託生	
成内玉後大我香石 田藤橋蘿童部川橋 チヨ須妙ツキテ ウラ磨馨安ルンふ	吉安山森宮堀鶴田關城佐 野江縣崎田田村間藤 や菊靜タ千ルたノジヤテ す江子カ代リよブンスル
北愛新東東沖香青 北海道知湯京京繩川森	塔島山廣香大山北廣福 玉根口島川分梨道島島
花原鳥佐河早石蘿原海嚴 澤田毛藤野川井井沼内田田山	成爲鑑松
山嶺三松古瀬岡樋濱豊西中戸對中新河大及飯 口毛本谷田口田川尾倉馬島聞上隅川島 千いちは美サキミリヒハミハたいよえタうト 代まゑゑ代ヨヨホノサマツルみそしいカめヨ	大正七年三月 家事科第一部卒業(二十一人)
東山靜石東宮鹿兒新福長山香青三青長佐宮堺 京形岡川京崎島道湯岡野口川森重森野賀城玉	*
杉山黒井中加高尾藤 澤本田畔村藤橋崎原	家事科第二部卒業(六十一人)
對高瀬鈴城佐佐佐小北菊河加上小大飯市岩市 馬橋戸木川藤蘿松澤地烏藤林川村澤倉烏 ちキ利きイエノカサ得キ初キ貞ハルエ かヌ子ぬクイブウトミヨ子イ子	横川 あげみ 長野
青香三宮鹿兒奈新宮長岩烏廣山大熊山 森川重城島良良湯崎島手烏湯取島分本形	*

共立女子職業學校委託生	
入間川	山山村美藤竹杉佐黒鷗伊伊 寺本松野田内浦藤坂下藤
かちよ	ウはつ壽宇シフチシヅエニ メ子女エミ文愛ヨ
宮城	新宮山大香東奈千北海東福 潟城梨分川京良葉京岡
	山樺花野城大本口岡村間和 静綾ウ千菊子豊夫タ代代 鳥長富沖廣取野野山細島
	森松原鈴志小鑑甲上元村田木鑑西田斐田 よ那ひ綾ひ名子野子喜 の美さ子ぞる野子喜 兵高靜大愛岡靜兵京 庫知岡阪知山岡庫都
	森松原鈴志小鑑甲上元村田木鑑西田斐田 よ那ひ綾ひ名子野子喜 の美さ子ぞる野子喜 青群香宮山鹿兒青茨福 森馬川城形島森城岡

東京裁縫女學校委託生	
秋原け壽美	吉三堀濱林田關岡大太火池 野田中中探中高田高 やたた喜田志アキラヨシエ ちづ久榮川アキラヨシエ 千靜堺三山東群高知福 菜岡玉重形和歌山神奈川 和歌山
	三諸川長野 龍尾 まき川 和歌山

共立女子職業學校委託生	吉浦	東京裁縫女學校委託生	山松
大奥市橋村河谷八重ミ	横山矢諸齋佐加大石相田	大本口富藤蘿原	山田重喜操
市職業學校委託生	鶴山中本口富藤蘿原	澤德サ梅千シ富浦ヨ梅たキヨ	千代代代イ代卷ナ尾野ネ子きシ
大奥市橋村河谷八重ミ	矢諸齋佐加大石相田	千代代代イ代卷ナ尾野ネ子きシ	喜操
神奈川岡	愛岩柄和長香山青岩東京富神奈川	石石	石川
奈川岡	媛手木山野川形森手京都山	奈川	川
大正九年三月體操家事科卒業(二十九人)	和洋裁縫女學校委託生	吉山山松原千鈴佐木	秋石香加黑齊高中野
宮藤長田下黒大市井卷川口田深西原	吉山山松原千鈴佐木	田本口田金木藤村	秋石香加黑齊高中野
豊やあ慈キソ玉喜代子ゑい子ヨウ枝美	ト靜文ハ春ト	ト靜文ハ春ト	秋石香加黑齊高中野
徳山青愛熊柄岐北海島形森媛本木阜道	トミノ子春貞乃ツ江シ浅	トミノ子春貞乃ツ江シ浅	秋石香加黑齊高中野
福富長富岡烏宮長東	新愛兵福山靜柄岩	新愛兵福山靜柄岩	新福長山愛福宮
島山野山根城崎京	湯知庫岡形岡木手	湯知庫岡形岡木手	山烏鴻島野口知井崎
荒林萱田服木鳥	田齋小村部	田村岡谷	石青葦井木原
木	*		
原中南得太田田關鈴信櫻佐小久保大江田伊足	大谷津原浦川藤利	大谷津原浦川藤利	大谷津留石川
村葉丸城中口木開井藤島池島内	江田伊足	江田伊足	大津留石川
ス安小カヨセキ定ハレキフ清ミタ糸照キモキクノ	大江田伊足	大江田伊足	大江田伊足
テ惠露ヨシキン子ヨヨミ子サマ子ヨジ	大江田伊足	大江田伊足	大江田伊足
熊高岡大柄山茨愛宮大香東岡新茨高長山長北海	北道	北道	北道
本知山分木形城知城阪川京山鴻城知野口野	神奈川	神奈川	神奈川

藤山守宮増田千
井岡屋本田所倉
京都府立第一高等女學校委託生

眞牧廣長谷杉田角兒
柴野瀬垣玉田田高
シゲノヤエシマ樂コ志
はつよやゑの幾美子代ヲ戯
渡渡吉邊邊吉田城岡宮宮宮
ハナヨガトオミトエ登岩八千文
愛美惠代文る

東京裁縫女學校委託生

模森森林庄小川石野中高齊
和洋裁縫女學校委託生
下司池保森崎條橋藤田田
キシキシキキキキキキキキ
ンナタカヨチナタマナヘシヨ愛
を貞子ヘシヨ愛

大正八年三月家事科第二部卒業(四十七人)

藤西中辻高杉駒川岡岡大津留石川
井川林田山木瀬田石川
キミエアキキクエアキキキエ
ミエアキキキエアキキキエ
三別竹關佐神宅府内根藤岡
キヤリト初テシエシエシエ
ヨスツミ音イシエシエシエ
石鹿児島木田崎湯

北佐甲上伊時吉三味鹿杉稻古久	稻古久
岡木斐利藤田野村富島山次部原	*
山村村水松橋長堀蓮楓塚末柴島新佐木河川加木大津小山	*
岡井山野木本川本田本瀬永田崎谷木野村崎藤寄	*
君千しつ静テまつ静滿フトフさコ小せとしハ静	*
初子早げチ江イ子枝壽ミキコよウ花いく満んナ江	*
魔鳥宮岐大香山和福神千長新福奈宮山千兵兵廣佐	*
魔兒鳥取崎草分川口山井川葉崎湯井良城形葉庫島賀	*
東京裁縫女學校委託生	四方*
竹反重佐荻有山矢松松二橋仁中德大伊湯淺	京都府立第一高等女學校委託生
内田村野原藤田野木宮見本子村弘島藤	科尾來川戸山上間未
千代子美シアシズマサタカ夏とハキ民サ美潔靜	初マカズ澄ナスノタカ代志音ツエ子
代ズヤノサヨヨ江よエミ與ガ代子子	品ふチふ澄マヨマラ
埼長富福鳥京福奈福宮香岡鹿高岡鳥京	アヤコ品みエチ子
玉川崎山岡根都岡良井崎川山鳥知山坂	仁西徂品城梶河風青森福藤西清救栗梶片秋
和洋裁縫女學校委託生	科尾來川戸山上間未
堀平萩野中中武炭藻影秋青原原澤野西川山崎山田柳	初マカズ澄ナスノタカ代志音ツエ子
由セイ知滿きく富イツキ雪つ基ス孝シ子壽の士キ操惠生	品ふチふ澄マヨマラ
山福奈岩山愛山富奈福香群形岡川手口知梨山良鳥川馬	アヤコ品みエチ子
共立女子職業學校委託生	仁西徂品城梶河風青森福藤西清救栗梶片秋

富山鶴宮下谷木尾田	京都府立第二部卒業(四十四人)
長谷川木平堀藤日高木下井卷高	尼原田本達木藤賀上島田
リ繁ゑ美ま政シハルヘサダヲ	サダヲ
ヅ野い知ゑ公清枝ヤナ	ハルヘ
福岡京長兵京岡並佐宮和歌井	福岡京長兵京岡並佐宮和歌井
岡山都崎庫都山取賀崎山	岡山都崎庫都山取賀崎山
東京裁縫女學校委託生	東京裁縫女學校委託生
共立女子職業學校委託生	仁西徂品城梶河風青森福藤西清救栗梶片秋
仁西徂品城梶河風青森福藤西清救栗梶片秋	森福藤西清救栗梶片秋
科尾來川戸山上間未	重森崎水鄉本島山
初マカズ澄ナスノタカ代志音ツエ子	美代子志津ゑ
品ふチふ澄マヨマラ	ヨママル
アヤコ品みエチ子	マサル
岡京奈山福長山新埼	岡京奈山福長山新埼
高長岡茨東奈香和歌山	高長岡茨東奈香和歌山
山都良口岡崎口鴻玉	山都良口岡崎口鴻玉
葛知野山城京良川山梨	葛知野山城京良川山梨
大正永石石野見原家事裁縫科卒業(七十二人)	大正十年三月
梗伊荒安根田鈴佐佐木近前榆根田垣岸中木佐佐木	和洋裁縫女學校委託生
本藤井東田垣岸中木佐佐木	渡山山三原邊口崎山口
セ俊保保ミサヲ世シゲヨミサヲ世シゲヨ	文松さたノミサヲ世シゲヨ
直イ子直イ子	ミサヲ世シゲヨ
德柄鳥飼佐佐福宮宮北海道	東愛埼佐佐福宮宮北海道
烏木根山	京媛玉賀島城
和洋裁縫女學校委託生	山長靜千佐
共立女子職業學校委託生	梨崎岡葉賀

共立女子職業學校委託生
吉山守松澤坂坂倉井稻
田田谷井田田口田澤井
初あ小鶴繁ちは柳今朝久
枝き喜江野せ壽子美子
京愛廣神奈川兵宮埼長廣
都知島川庫城玉野野島

矢宮辻津田田高瀬鈴小
間脇田野中中須田木西
千君ち美三千ミト
代子か代穂子代サ知ミ
徳愛三富新長三三長秋
島知重山湯野重重野田

大正十二年三月

新佐小桂川和洋裁縫女學校委託生
開藤林田原
松幾静ト
良きね江子
喜惠靜枝ク
高岡新北海佐
知山湯道寶

戴八平富高小北春打和
井木井田木松根井越和
良和文壽實堂八
子江子雄喜し重正
岡京廣群東高千東英
山都島馬京知葉京城
田湯

東京女子専門學校委託生
横松西小吉柿加井安有
山郷村林川山藤上達永
つ登保房清千綾トチア
きき美子子子枝子メキ子
山富京岡島福大福
形山都山根取岡岡分國

山村深藤彦長高住
頭井野澤根野崎田
ナタヨモミチマア
カカシ英子マエヤ
長岩山東愛滋長兵
崎手口京知賀崎庫

大上赤八
串野羽起
體操家事科卒業(二十九人)
岡江二上小荒
村口瓶原口川
チヒ清エけさの
カト美ミの代
大佐福福長佐

大正十一年三月

孫貞圭

家事裁縫科卒業(一人)

文千鈴須小龜金河奥遠
本秋木賀林尾崎野田藤
信テツフ壽はるキホ
猪イるチ子の靜富ヒヌ
朝高長東鹿島鳥東愛青新
阪賀島岡野賀鮮知崎京島取取京娛森湯

折横重恒是青二一小野伊押
原見久川枝木上宮島村藤
和田

*

森村向宮水濱中和谷竹館田關鈴杉榮柳柏酒河吉岡
尾井原野野村田内邊谷木崎山原原井南田島
ミ喜花きサミヤニ三枝榮きみち子エコ枝子エ子
ミサヲ子操枝んあきま敏シ三茂み留マサ子
福兵東岡愛宮山京鹿兒富愛島大靜岡愛高山兵宮群
烏庫京山知崎口都島山知玉取分岡山知知形庫崎馬

淺

栗小東京裁縫女學校委託生
原野信久
子惠

力宮西中清清坂猿小古江上岩飯
安川村村水元野山立藤野山泉田
シ美靜トシエ壽フジノ千松貞イ美
子知子操妙鶴枝子サヨロ枝
新岡佐愛島鹿兒島山宮熊和長廣
湯山賀知知根口本崎本京

松 浅伊栗	石吉 橫辛黒	◎ 美岡 今本 天柳 新
下 見形原國語漢文科卒業	橋井山島木	濃部村城野生里
*		
一石浅赤安一方師井野星藤常喜み代徳子和ち	吉秋山森毛村村水水美正橋根源澤山根利松野上島木代木日本マ常満綏ス壽ナき百カ巻トヨユハヌエ代留子ナ子ツ繁し代ツ子ミコキ	
大北崎熊三	長岡茨大宮福滋高北青鹿福長廣沖阪道玉本重	崎山城分崎井賀知道森島島島經
駒三赤福長塚工		
田上父田鳥本藤	森藤近大飯川井藤境田	佐鬼内瀬塚山
*	*	*
富外土照土津高高瀧庄下清齊後樹河永鬼大大入田崎居沼屋田山橋	野屋水藤藤生野雄塚井橋谷江ムはトき松節きクミヤケ久か好キモ敬光チ英メねシよ枝子のリヲエイ呼芳ぎ子ヌエ子子ヨ子玉	三青富茨堺福長岩大山兵愛山愛石大熊長高新京柄重森山城玉岡野手阪口庫媛形知川分本崎知湯都木
森 角 石	藤 今新高福田須 増原大青鍋	
下 田 川	原 井里木原溫藤 井 津柳島	
*		
岩色入今高石	若吉 橫與山安南東濱原高張檣堀	
崎部川井橋田	櫻田井嶽田川 山口田岸間橋内	
トち令コ ゆ	雪密彰ト千延サテ戴ニう	
ミよ子ト操り	枝枝子ミ能子子ル子清エめ英榮	
神山鳥北海千形取道阜葉	島福千沖山福德秋高香佐青福	
	根鷄葉經梨鳥鳥田知川寶森岡知	

共立女子職業學校委託生
和洋裁縫女學校委託生
矢村星深迺高祖齋倉石今合
吹田野川島田來藤科田田谷
智さ純貞タ福マツとく千ミツノ春
子だ子子ツ子エ好ゑゑ代子

山福千福宮 岡滋長富新徳奈山長崎廣福
形岡葉島城 山賀野山湯島良形野玉島島

吉坂五百後 佐 小横鈴 川木水 石
田口木 藤 々木 澤山木 上下科 非
理家事科卒業(二十五人)
中土露玉橋高妹鹽内兒笠金敷河鈴小荻岡鈴
尾手口置 橋尾野山島原田野野木
照シ譽 あせき やフヤ次貞なノ静き
代ツ子光新う孝政 やよい ミス枝子んブ江子香
秋奈愛島茨山岡三長愛福柄神山岐和新宮千大
田良媛根城形山重野知島木川梨阜山湯城葉分

◎ ◎ 岩九 ◎ 城 高 ◎ ◎ 井 荆 山淺飯馬背
井尾 殿 輜 上木 體操家事科卒業(三十人)
中傳辻高田鈴佐酒宮太植上眞牧 横森畠新中
野田 橋村木久井崎田植村原壁野 潤本山原島
久空イヤ千タ勝久喜かマな鐵シフ子
子ンチヨ枝ケ子尾代よ江子シモ
愛長福秋香千石兵長宮岩靜福神奈川湯
知野岡田川葉川庫野城手岡岡川口

卒業者

大正十四年三月
家事裁縫科卒業（四十四人）
京都府立第一高等女學校委託生

皆川和洋裁縫女學校委託生
石長奥梶内野口江静ヨシエ子
本タタク静江ヨシエ子
村矢浦松部ひさ子
三浦山田良美ヨシエ子
新潟秋田島根山形玉井福岡

名 桃 近内大 中 末平 齋山 小北小
塚 野 藤藤堀 烏 永良 藤元野村木

* * *
吉吉藤森宮水深馬林西藤全武下柴矢佐佐申上
成田本戸畠野山揚 部尾 田地田部藤藤村野
初正喜雪喜すヨトソタア智かマツ光ア鈴ト久
美野ゑ江子枝江のシクノカサ子うツね子コ枝夕世
新熊富栄岡愛鹿兒岩新福大朝宮沖東茨山東青熊
湯本山木山知島手湯井阪鮮城繩京城口京森本

五三

石井金崎佐々木八重三
坂口國代千葉
芝根順安秋田
堀川藤新山青鹿兒島
村田谷ハシマサキ
水田タケル

井手タマエ
みどり
熊本川崎馬群宮靜愛福山福岡知城岡口鳥
本生託委校業職女立共

京都府立第一高等女學校委託生
京都市立第一高等女學校委託生
東京女子専門學校委託生

渡邊治谷	◎ 小松崎
* 家事裁縫科卒業（五十一人）	
原内 道田 佐金 江上 田藤坂 邊伯 野口 田恒敏 喜美益 はつゑ 喜美江 惠子 いにわ 子	若吉 吉山 森丸 前堀 堀田 林井 田岡 中山 澤内 以富 美信 まか 信ハキア 敏よ 静止 子さ ひき 佐佐三群 佐激茨 新京山 千葉山 重馬 賀城 湯都 梨葉
鳥岡 兵石 愛北海 長和歌生 岸川 庫娘道崎山	大島 濃茨新山 千葉山 重馬賀城湯都梨葉
京都府立第一高等女学校委託生	
共立女子職業學校委託生	
幸齋石若 嶋平中寺田境木大石礪五百藏 岩岡田吉増堀	東京女子専門學校委託生
村藤黒狹崎島山戸中島沼井野岡田久よイ菊勝み静タネ喜貞幸千美喜	吉増堀
幸少達生子いエ子子節節つ江子久子生枝鶴	幸千美喜
新愛東富千福長島滋和歌堺秋愛千高京德愛	京德愛
湯知京山葉岡野根賀山玉田媛葉知都島媛	都島媛
女子美術學校委託生	
佐栗岡大竹林田津と英子	中佐草大小岩澤藤地胡澤城カ一チヨエ
大津と英子	成日裕仁谷久
福岐新廣	千福宮北山
湯阜烏	井崎葉梨道

水管科原	佐河竹◎ 佐木野部	岡塩村谷	飯田松田	吉和南
大正十五年三月 體操家事科卒業（三十人）				
關石鈴佐谷附禾木	野河加邊井	大興山	梅深池	井猪木
智愛沙喜子	光一富美子	山田	本井田	天元寺
子惠きズ子	ハシタチ	上狩	上狩	サ
新岩崎兵兒	千代枝	猿	雪子	瞳
湯手玉庫島	エコ	大岐	チフジ	秀
知口知知分	蒲富	熊	志	タ子
草本岡川	操秀	福	奈	廣
本岡川	子	宮	奈	廣
岡崎島	エコ	福	宮	宮
島城島	蒲富	奈	奈	奈
仁加小矢石鹽山成松				
田藤原澤川田	笠原澤川田	國語漢文科卒業	下	合
齊小工清黑竹池岩秋高堀廣平新中土高多羅尼司				
藤林藤原田内上田山	原田内上田山	國野井濟	小	小
ツ經ムさき登美枝子	登美枝子	胡富繁	羅富繁	羅富繁
ネ値子ラ子エ淑代延	淑代延	美子	テ幸子	テ幸子
柄山北海熊福秋長島香石香岡京兵宮岩宮福廣	長島香石	京兵宮岩宮福廣	和歌山	和歌山
木形道本井田野根川	本井田野根川	川川山都庫城手城島	島	島
日谷幹須永寺太武白坂佐				
野内藤山	本	地	田	根手藤
藤小浜春烟西吉豊等森土石高樋瀬鈴鈴島白櫻妹秋				
野寺口成野山開田力政谷川未口間木木崎井又尾山	口成野山開田力政谷川未口間木木崎井又尾山			
ましづえチキミノ	鶴敏淑利能多茂	タケシヨ育勝利恒	サ包	サ包
さえチトセ子子エ子子喜登	子子喜登	子子喜登	タケシヨ育勝利恒	タケシヨ育勝利恒
宮宮青鹿兵佐鹿兒	東石廣富東山福群石靜富岩大岡宮	大岡宮	大岡宮	大岡宮
城森島庫賀島	京川島山京口島馬川岡山手分山城	京川島山京口島馬川岡山手分山城	京川島山京口島馬川岡山手分山城	京川島山京口島馬川岡山手分山城

卒業者

東京女子専門學校委託生	増平齊木川嶽石安 本塚敏和歌子廣千島葉	渡邊	阪本
家事裁縫科卒業(四十四人)			
京都府立第一高等女學校委託生	田川藤井清芳ミ愛美千代子	山本添田綾子	山山山森富美子
二	子章子子ツ子智子	宮子ゑ	田添田綾子
キ勝子	香和新兵福富京京香 川山湯庫井山都都都川	福大京堺岡	福大京堺岡
島葉			
共立女子職業學校委託生			
森平林名音鈴浦鶴新 岡島執波木崎沼井 豊富まつ久俊文シズ 子光子ヨ子ヨ子ヨ	禱藤南土田高酒佐木川 森野谷田代橋井口保島 美チ鈴サコ千八英茂 麗ヨウ子ヌ順チ代重子子	高東廣山廣靜堺福千 知京島梨島岡玉岡葉	三山愛島岐新和岐靜和 重口知根阜湯山阜岡山
和洋裁縫女學校委託生			
昭和二年五月 小木曾八千代、長野	矢長野園房時子蕙 大山分口	坂本平島佳代陳子 山藤永菊子	光田關水本貞子 大榎本富子喜子
女子美術學校委託生			
戸板裁縫女學校委託生	大山	兵千長新庫葉堺湯	山高愛岐宮大山 口知知城分形

五七

栗黒今梅安	原川澤津藤	昭和二年三月	理科家事科卒業(二十三人)	戸板裁縫女學校委託生
小林吉北内石井重有	小山田村川久田	小豆譯	有田智恵子	尾崎峰士忠西
寺田岡村井ノ口アナ	内田田川里信	譯	久田智恵子	島摩芳子
敏智君きくよイタ	北井田里信	アナ	子喜美子	伊シ子
志代慧子	田川里信	タ	英墨	ヨリノ
子	三	三	廣玉山	北海道
堺岡富山山福山三	鹿兒島山形重島	山	山京口	山京口
玉山山口梨井形重島	島	形	日都	日都

大越	村上	武宮	潮戸
歴史地理科卒業(三十四人)			
大石池池池伊豆譯	吉深原奈豊石瀧田部	菅下清後近	菅下清後近
野川田谷谷藤成澤	成澤田良島井	波宮水藤	波宮水藤
豊富まつ久俊文シズ	千ト富き光澄	紹卜セ芳セ	紹卜セ芳セ
子光子ヨ子ヨ子ヨ	子江子子ミキ枝エ	富美恵榮	富美恵榮
高東廣山廣靜堺福千	福靜廣靜富富島	德福石青山熊柄福廣新長	德福石青山熊柄福廣新長
知京島梨島岡玉岡葉	島岡島岡山山根	島岡川森川美木木島島鴻野道	島岡川森川美木木島島鴻野道

五六

村松	星細野見	林鈴木	谷高崎島	秋中小山
和洋裁縫女學校委託生				
田村三三皆白岩福天服永中時松梅高鈴清河河櫛神	中上浦宅谷杵間島野原村田田	中上浦宅谷杵間島野原村田田	中上浦宅谷杵間島野原村田田	中上浦宅谷杵間島野原村田田
昌忍エ子た江子	ヘツシ文明喜代子	うテ安衣登子	うテ安衣登子	うテ安衣登子
長愛愛新岐北	北清さ文代子	ラノシゲノタラル子	ラノシゲノタラル子	ラノシゲノタラル子
野媛媛湯阜	和歌山庫	和歌山庫	和歌山庫	和歌山庫

蓮根對塙塙 田曾根岡 見本馬越原中	九杉柳太森岩田村竹大須坂小高久狩川尾大 山浦原田井波瀬澤里藤本林良田原崎野 秋静ヒふア勢なミキ清綾カ信美好豊 つな代江よ枝デジサ喜かヲク操江節子ッ子代子 山茨静青群茨柄岡群廣茨大群鹿静福長茨愛千 梨城岡森場城木山馬島城分馬島岡島崎城知葉
福兒河小 家島原沼	前藤久野野高鈴井小久木岡金加岡大桑小内板 島原保原村島木深池保下上澤來武島黒尾橋 み淑通澄文良ぬ由ヒソタ敏カミ去宮キ文美 つ子子子江子い三子ノカ子エド子徳ヨ子代 長山香富廣福柳大變富福岡香熊山柄茨新福富 野口川山島岡木阪媛山岡山川本梨木城湯岡山
直鈴桑紀稻 井木原葉	三星古桑内鈴小白鹽七齋氣千河太白池有朝阿 浦野谷原藤木木寺石田種藤賀野野田川田木妻部 アイキエ千あニ宮周け恵美フ富和つ茂と 孝磨子コワミエ代いリ子絹子ミ子香る英之文し 石東山柄長愛茨宮福京長靜靜大福岡茨鹿兒愛長靜 川京口木野知城城岡都崎岡岡分岡山城島媛野岡
五九	歴史地理科卒業(二十五人)

昭和三年三月 家事裁縫科卒業(八人) 東京女子専門學校委託生 加藤やちよ	和洋裁縫女學校委託生 稻垣ハル 中田房子 木幡千代 西澤多計代	共立女子職業學校委託生 小幡英 馬場春子 戸板裁縫女學校委託生 堺長福 玉野北海道島	昭和四年三月 國語漢文科卒業(三十五人) 福愛廣宮 堺長福 玉野北海道島
信佐神久保田 耕藤代村谷	木金浦織今池有 村谷立澤	小立澤	
中高高新戸白中佐深窪赤野金風加小伊内大南牛 川橋須庄田井島藤谷島原本子間瀬川村田貫波尾飛 ミ綾ハ芳熙ミ正千ひり仁歌千ハ五三枝勝ミ子 ヨ子斐ル枝子コ枝綠子さん子子代ナ枝勝ミ子 富石三福石山新山東神奈新茨東静千島東山島 山川重岡川形湯口京川湯城京岡葉根京玉川京口根	中高高新戸白中佐深窪赤野金風加小伊内大南牛 川橋須庄田井島藤谷島原本子間瀬川村田貫波尾飛 ミ綾ハ芳熙ミ正千ひり仁歌千ハ五三枝勝ミ子 ヨ子斐ル枝子コ枝綠子さん子子代ナ枝勝ミ子 富石三福石山新山東神奈新茨東静千島東山島 山川重岡川形湯口京川湯城京岡葉根京玉川京口根	中高高新戸白中佐深窪赤野金風加小伊内大南牛 川橋須庄田井島藤谷島原本子間瀬川村田貫波尾飛 ミ綾ハ芳熙ミ正千ひり仁歌千ハ五三枝勝ミ子 ヨ子斐ル枝子コ枝綠子さん子子代ナ枝勝ミ子 富石三福石山新山東神奈新茨東静千島東山島 山川重岡川形湯口京川湯城京岡葉根京玉川京口根	
泉渡森廣早小中◎ 邊川潤佐杉島	體操家事科卒業(二十七人) 江石三荆熟安秋 崎坂由木田藤野本根月野川田木田上條野 トミ敏ウとトシヨ子タ綠よ佐富富新千岐福 賀山山湯葉阜島	中北野長谷川上條野 高織長谷川木田木田上條野 浦津治よ園アサヨ 貴代子登喜世子 キクエ子大三山山富兵島東兵靜富長富 分重口梨山庫根京山野山	五八

昭和十年三月
體操家事科卒業（二十八人）
後藤

小大眞茨井石石
黒島村木關探川
ウ愛ふ壽智英シゲコ
タ子ゆ子子コ
新神奈京山静富徳
湯川都形岡山鳥
村古永名高杉眞佐佐々
木谷松和山下見渡木木田林
キミ春和八とみひさ
ミオ子賀子みにゑ順よエ芳
神山熊茨千群靜兵宮柄靜東
奈川日本城葉馬岡庫城木岡京

*
森森松花檜中中中友寺土高鈴正後近小久金勝小曾
下山岡崎條島川部本谷木木田藤藤泉保澤戸
きテ秀下ミ美美キハ邦靜正はハ節壽早性
ゑツ子典枝秀リ代子ヨ澄ノ子江子子子苗子
靜青東秋佐福佐山東愛富東千山大靜石東新靜宮
岡森京田賀島賀口京知山京葉口分岡川京湯岡崎

昭和十一年三月
理科家事科卒業（二十九人）
理家

露多田瀧砂佐黒久北槐岡岡大内岩伊石池荒
崎田島口田藤崎田村尾田竹川山崎藤川上井
由千美き房茂幸ア靜み千金芳ウ園喜よまハ
紀穂子よ靜子枝子イ代ゆ子子メ子美子つナ
千兵福三富秋島東新靜長岡柄兵東長千茨長新
葉庫井重山田根京湯岡野山木庫京野葉城野湯

昭和七年三月
體操家事科卒業（二十七人）
山室口
菊池伊藤山
横山直西ケ谷
關本非谷
貞武ヒ急
子子サみ
崎福秋山山新岩東新鹿兒新山東
玉島島田口梨湯手京湯温泉形京
關白庄島貞齋久宮木川小龜宇赤梅
川井ノ森永藤田川藤崎濱井美津倉
敏キ貞美芳信好キ清照あ
枝ヨ稻子子子枝房代子ミ子子い光
崎福秋山山新岩東新鹿兒新山東
玉島島田口梨湯手京湯温泉形京

昭和八年三月
理科家事科卒業（十九人）
上田伊藤林羽野山
渡山日福長細土遠仲外村竹
邊川沖留川井師藤村池越下
千綾い節靜日出子
いは子の子江子
茨東長神福茨山
北海千三福新東石石千鳥鹿福
城京野川岡城梨
川神元入水飯雨
又谷山澤野塙宮
千綾い節靜日出子
いは子の子江子
茨東長神福茨山
北海千三福新東石石千鳥鹿福
城京野川岡城梨

昭和八年三月
歴史地理科卒業（十九人）
谷野
岡大岩井荒明
安桃橋間上木石
光シミツ桃菊よさ
子ヅエ枝枝ねき
埼東福山岡愛福
玉京岡梨山知岡
渡矢本最室古根
邊崎島上谷垣岸川田伯村
い惠龜代幸松八重子
し榮代文枝子メ
埼東福山岡愛福
玉京岡梨山知岡
静山埼神奈北海道
岡梨玉島鹿兒島
手

二 卒業者數

卒業者ハ總計千二百九十七人ニシテ其ノ年次學科別左ノ如シ

年 次	學 科	卒業者ハ總計千二百九十七人ニシテ其ノ年次學科別左ノ如シ
大正十一年	科語 英	二十六
大正十二年	科事 家	五二
大正十三年	部一第一 家事	二
大正十四年	部二第二 科	二
大正十五年	科裁 繕 家事	一七
大正十六年	科家 體操	二九
大正十七年	科家 理科	一九
大正十八年	科漢 國文 語	一九
大正十九年	科理	一九
大正二十年	科地 歷史	一九
大正二十一年	學高立京 校等第都 女一府 家事科、裁縫科、家事科 第二部(委託生)	四二三四九三三二
大正二十一年	學專女東 校門子京	二三〇三九三〇八
大正二十一年	學職女共 校業子立	二三四三七三二二
大正二十一年	校女裁和 學繕洋	九〇八八七八〇二
大正二十一年	學美 女子 術	一
大正二十一年	校女裁學繕板	一
大正二十一年	生講 聽	一
大正二十一年	計	七七七四八四四八二
大正二十一年		六三三七二五四八二
大正二十一年		六一六

山彌都古藤廣野野中
久田末城屋井澤本口澤
文章春敏愛妙稔武
子子綠菜子子子子
東岡岡東香福東堺東
京山山京川島京玉京

第九 敷地及建物

敷地ハ東京女子高等師範學校敷地ヲ使用ス
建物ハ在己本所建物、ト更良テニ高等師範

校建物ヲ使用ス

卷之三

一坪九合六勺

敷地及建物

六五

	昭和	大正十 年	大正十 二年	大正十 三年	大正十 四年	大正十 五年	大正十 六年	大正十 七年							
合計	昭和十 一年	昭和十 二年	昭和十 三年	昭和十 四年	昭和十 五年	昭和十 六年	昭和十 七年	昭和十 八年	昭和十 九年	昭和十 二十年	昭和十 二年	昭和十 三年	昭和十 四年	昭和十 五年	
二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二〇二	二	二	二	二	三	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一六九	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一八	一	一	一	一	一	三五	四	一	一	一	一	一	一	一	一
二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七九	一	九	一	五	一	五	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一五六	一	五	一	五	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一五一	一	五	一	五	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一四六	一	四	一	四	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九八	一	八	一	八	一	八	一	二	二	二	二	二	二	二	二
一三	一	三	一	三	一	三	一	三	三	三	三	三	三	三	三
八一	一	八	一	八	一	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一二、二九七	一	二	一	二	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二九七	二	二	三	二	四	五	六	二	八	一〇	二	四	四	四	四〇

東京女子高等師範學校

(非賣品)

昭和十一年十月十日印刷

昭和十一年十月十五日發行

東京市麹町區九段一丁目二十番地一

合資會社佐藤正三商店

印刷者 藤田計隆

東京市本鄉區真砂町十五番地
印刷所 佐藤正三商店印刷部

東京女子高等師範學校

新編「文部省規定」試験用書
別冊第一
新編「文部省規定」試験用書
別冊第二
新編「文部省規定」試験用書
別冊第三
新編「文部省規定」試験用書
別冊第四